

佐賀市文化財調査報告書第42集

むら とく なが
村 徳 永 遺 跡

— I 地区の調査 —

平成4年3月

佐賀市教育委員会

発刊にあたって

本書は、県道薬師丸・佐賀停車場線建設に先立ち、佐賀市教育委員会が平成2年度に発掘調査を実施した村徳永遺跡（L地区）の発掘調査報告書であります。

佐賀市教育委員会では、昭和63年度から毎年継続して、村徳永遺跡の発掘調査を行なってきました。これまでにA～C地区（昭和63年度）、D～H地区（平成元年度）、J・K地区（平成2年度）の調査を行い、今年度はL地区の調査を行いました。

その結果、村徳永遺跡は、縄文時代から室町時代にかけての複合遺跡であることが明らかになりました。特に弥生時代の集落跡は広い範囲にわたって確認されており、この地に当時の大規模な集落が存在していたことを証明しています。

今回の調査では、弥生時代後半の遺構・遺物を数多く検出し、多大な成果を収めることができました。検出した遺構は、竪穴住居・掘立柱建物・周溝状遺構・井戸・土壇・溝などで、多くの弥生土器が出土しました。特に昨年度の調査に引き続き検出した竪穴住居が、東側へ広がることが確認でき、掘立柱建物と竪穴住居との関係を考える上で、貴重な知見を得ることができました。

これらの資料は、佐賀市における弥生時代の人々の生活を知る上で貴重なものであり、この報告書が、郷土の歴史や文化財に対する認識と理解に、少しでも役立てば幸いです。

最後になりましたが、調査に際しまして、ご協力いただきました佐賀県土木部、佐賀県教育委員会、並びに地元の方々に対し、深くお礼申し上げます。

平成4年3月

佐賀市教育委員会
教育長 山田 清人

例 言

1. 本書は、一般県道薬師丸・佐賀停車場線緊急整備事業に伴い、平成3年度に実施した村徳永遺跡Ⅰ地区の発掘調査報告書である。
2. 調査は佐賀県土木部の委託を受けて、佐賀市教育委員会が実施した。
3. 調査地の所在および規模などは以下のとおり。

遺跡登録番号	2037・3054・5023	遺 跡 略 号	MTN-L
調 査 地	佐賀市久保泉町大字上和泉字徳永	開 発 面 積	4,100㎡
調査対象面積	4,100㎡	調査実施面積	3,300㎡
遺跡調査番号	9101	調 査 期 間	平成3年4月10日～同年7月12日

4. 発掘作業・整理作業・報告書作成の分担は以下のとおり。

表土除去	佐賀県土木事務所（山豊建設株式会社）
空中写真	有限会社 空中写真企画
遺構実測	埋蔵文化財サポートシステム
個別遺構実測	埋蔵文化財サポートシステム
	友添丸子・原 京子・龍由美子・副島かすみ・山口一郎・西田 巖
遺構・遺物写真	西田
遺物復元	鬼崎玲子・西首金子・大木和子
遺物実測	野中スヤ・大木和子・木島慎治・西田
製図	木島慎治・前田達男・古賀章彦・楠本正士・西田

5. 調査・整理記録及び出土遺物は、佐賀市文化財資料館（佐賀市本庄町大字本庄1121）で一括保管している。
6. 本書の執筆・編集は、西田がこれにあたった。

凡 例

1. 遺構については略記号を用いる。調査区ごとに連番号をつけ、番号の前に遺構分類番号をつけた。分類は以下のとおり。

SA:棚例	SB:掘立柱建物	SD:溝	SE:井戸	SH:堅穴住居	SK:土壇	SR:周溝状遺構	SX:不明遺構	P:小穴・柱穴
-------	----------	------	-------	---------	-------	----------	---------	---------

2. 原則として、遺構の測定値はm単位、遺物のそれはcm単位とした。
3. 表示した方位は、すべて座標北（G.N.）である。

本文目次

I. 序 説	1	(1) 竪穴住居	9
1. 調査にいたる経過	1	(2) 掘立柱建物	17
2. 調査の組織	1	(3) 周溝状遺構	40
II. 遺跡の位置と環境	3	(4) 井 戸	47
1. 遺跡の位置	3	(5) 土 壙	59
2. 歴史的環境	3	(6) 溝	92
III. 調査の概要	5	2. 平安時代の遺構と遺物	94
1. 調査の概要	5	(1) 土 壙	94
2. 調査成果の概要	5	(2) 溝	95
IV. 調査の記録	9	3. その他の出土遺物	96
1. 弥生時代の遺構と遺物	9	V. 小 結	97

挿 図 目 次

Fig. 1 村徳永遺跡周辺遺跡分布図 (1/25,000)	2	Fig. 28 SB115出土遺物実測図 (1/4)	28
Fig. 2 村徳永遺跡L地区グリッド設定図 (1/2,000)	4	Fig. 29 SB116・117掘立柱建物実測図 (1/60)	29
Fig. 3 村徳永遺跡L地区遺構配置図 (1/300)	7・8	Fig. 30 SB118・119掘立柱建物実測図 (1/60)	30
Fig. 4 SH071竪穴住居実測図 (1/60)	9	Fig. 31 SB120掘立柱建物実測図 (1/60)	31
Fig. 5 SH072竪穴住居実測図 (1/60)	10	Fig. 32 SB121掘立柱建物実測図 (1/60)	32
Fig. 6 SH072出土遺物実測図 (1/4・1/2)	11	Fig. 33 SB121出土遺物実測図 (1/4)	32
Fig. 7 SH073・074竪穴住居実測図 (1/60)	12	Fig. 34 SB122・123掘立柱建物実測図 (1/60)	33
Fig. 8 SH073出土遺物実測図 (1/4)	13	Fig. 35 SB123出土遺物実測図 (1/4)	34
Fig. 9 SH074出土遺物実測図 (1/4・1/3)	14	Fig. 36 SB125掘立柱建物実測図 (1/60)	34
Fig. 10 SH075竪穴住居実測図 (1/60)	15	Fig. 37 SB126掘立柱建物実測図 (1/60)	35
Fig. 11 SH075出土遺物実測図 (1/4)	15	Fig. 38 SB128掘立柱建物実測図 (1/60)	35
Fig. 12 SH076竪穴住居実測図 (1/60)	16	Fig. 39 SB129・130掘立柱建物実測図 (1/60)	39
Fig. 13 SH076出土遺物実測図 (1/4)	16	Fig. 40 SB129・130出土遺物実測図 (1/4)	38
Fig. 14 SB101掘立柱建物実測図 (1/80)	17	Fig. 41 SB132・133掘立柱建物実測図 (1/60)	39
Fig. 15 SB101出土遺物実測図 (1/4)	18	Fig. 42 SR011周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)	40
Fig. 16 SB102掘立柱建物実測図 (1/60)	19	Fig. 43 SR011出土遺物実測図 (1/4)	40
Fig. 17 SB103掘立柱建物実測図 (1/60)	20	Fig. 44 SR012・013周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)	41
Fig. 18 SB102・103出土遺物実測図 (1/4)	20	Fig. 45 SR012・013出土遺物実測図 (1/4)	41
Fig. 19 SB104掘立柱建物実測図 (1/60)	21	Fig. 46 SR014・037周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)	42
Fig. 21 SB105掘立柱建物実測図 (1/60)	22	Fig. 47 SR014出土遺物実測図 (1/4)	43
Fig. 20 SB104出土遺物実測図 (1/4)	22	Fig. 48 SR037出土遺物実測図 (1/4)	43
Fig. 22 SB108掘立柱建物実測図 (1/60)	23	Fig. 49 SR051・052周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)	44
Fig. 23 SB109・111掘立柱建物実測図 (1/60)	24	Fig. 50 SR051・052出土遺物実測図 (1/4)	45
Fig. 24 SB109出土遺物実測図 (1/4)	25	Fig. 51 SR053周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)	45
Fig. 25 SB112掘立柱建物実測図 (1/60)	25	Fig. 52 SR053出土遺物実測図 (1/4)	46
Fig. 26 SB113・114掘立柱建物実測図 (1/60)	26	Fig. 53 SR056周溝状遺構実測図 (1/80)	46
Fig. 27 SB115掘立柱建物実測図 (1/60)	28	Fig. 54 SE007井戸実測図 (1/30)	47

Fig.55	SE007出土遺物実測図(1/4)	48	Fig.85	SK006出土遺物実測図③(1/4)	75
Fig.56	SE008井戸実測図(1/40)	49	Fig.86	SK034土壌実測図(1/60)	76
Fig.57	SE008出土遺物実測図①(1/4)	50	Fig.87	SK034出土遺物実測図①(1/6)	76
Fig.58	SE008出土遺物実測図②(1/4・1/3)	51	Fig.88	SK034出土遺物実測図②(1/4)	77
Fig.59	SE032井戸実測図(1/30)	52	Fig.89	SK034出土遺物実測図③(1/4・1・3)	78
Fig.60	SE032出土遺物実測図(1/4)	52	Fig.90	SK035土壌実測図(1/40)	79
Fig.61	SE060井戸実測図(1/30)	53	Fig.91	SK039土壌実測図(1/40)	79
Fig.62	SE060出土遺物実測図①(1/6)	54	Fig.92	SK035出土遺物実測図(1/4)	80
Fig.63	SE060出土遺物実測図②(1/4)	55	Fig.93	SK039出土遺物実測図①(1/6)	80
Fig.64	SE060出土遺物実測図③(1/4・1/3)	56	Fig.94	SK039出土遺物実測図②(1/4)	81
Fig.65	SE068井戸実測図(1/40)	57	Fig.95	SK039出土遺物実測図③(1/4)	82
Fig.66	SE068出土遺物実測図①(1/4)	58	Fig.96	SK039出土遺物実測図④(1/4)	83
Fig.67	SE068出土遺物実測図②(1/4)	59	Fig.97	SK039出土遺物実測図⑤(1/4)	84
Fig.68	SK015・016土壌実測図(1/40)	59	Fig.98	SK041土壌実測図(1/3)	85
Fig.69	SK015・016出土遺物実測図(1/4・1/3)	60	Fig.99	SK041出土遺物実測図(1/4)	86
Fig.70	SK033土壌実測図(1/60)	61	Fig.100	SK042・043・044土壌実測図(1/60)	87
Fig.71	SK033出土遺物実測図(1/4)	62	Fig.101	SK044出土遺物実測図(1/4)	87
Fig.72	SK066土壌実測図(1/60)	63	Fig.102	SK058・059土壌実測図(1/40)	88
Fig.73	SK066出土遺物実測図(1/4)	63	Fig.103	SK058・059出土遺物実測図(1/4)	89
Fig.74	SK005土壌実測図(1/40)	64	Fig.104	SK061土壌実測図(1/60)	89
Fig.75	SK005出土遺物実測図①(1/6)	65	Fig.105	SK061出土遺物実測図(1/4)	90
Fig.76	SK005出土遺物実測図②(1/4)	66	Fig.106	SK065土壌実測図(1/60)	91
Fig.77	SK005出土遺物実測図③(1/4・1/6)	67	Fig.107	SK065出土遺物実測図(1/4)	92
Fig.78	SK005出土遺物実測図④(1/4)	68	Fig.108	SD031溝土層断面図(1/20)	92
Fig.79	SK005出土遺物実測図⑤(1/4)	69	Fig.109	SK031出土遺物実測図(1/4)	93
Fig.80	SK005出土遺物実測図⑥(1/4)	70	Fig.110	SK004・067土壌実測図(1/40)	94
Fig.81	SK005出土遺物実測図⑦(1/4・1/2)	71	Fig.111	SK004・067出土遺物実測図(1/4)	95
Fig.82	SK006土壌実測図(1/30)	72	Fig.112	SD003溝土層断面図(1/40)	95
Fig.83	SK006出土遺物実測図①(1/4)	73	Fig.113	SD003出土遺物実測図(1/4)	96
Fig.84	SK006出土遺物実測図②(1/4)	74	Fig.114	その他の出土遺物(1/1)	96

図 版 目 次

PL. 1	村徳永遺跡L地区全景
PL. 2	(1) 村徳永遺跡L地区全景 (2) 掘立柱建物群周辺
PL. 3	(1)・(2) L地区北端部全景 (3) SH072竪穴住居 (4) SH073・074竪穴住居 (5) SH074遺物出土状況 (6) SH076竪穴住居 (7) SB101掘立柱建物 (8) SB102掘立柱建物
PL. 4	(1) SB101 P20土層断面 (2) SB105掘立柱建物 (3) SB113掘立柱建物 (4) SB113 P3土層断面 (5) SR052周溝状遺構 (6) SR052土層断面 (7) SR051周溝状遺構 (8) SE032井戸
PL. 5	(1) SE060井戸 (2) SE068井戸 (3) SK005土壌 (4) SK006土壌 (5) SK039土壌 (6) SK041土壌 (7) SD003溝
PL. 6	1, SH074 2・3, SE008 4～8, SE060
PL. 7	9, SE060 10, SE068 11～16, SK005
PL. 8	17・18, SK005 19～23, SK006
PL. 9	24～30, SK039 31, SK061

I. 序 説

1. 調査にいたる経過

一般県道薬師丸佐賀停車場線緊急地方道整備事業により、久保泉地区での道路新設工事が計画され、佐賀県土木部から平成2年2月6日付で、佐賀市教育委員会に対し開発計画が通知された。当該地区は村徳永遺跡として周知され、すでに農業基盤整備事業、県道小城・北茂安線建設に伴い発掘調査が実施されていた。また周辺では農業基盤整備事業に伴う埋蔵文化財確認調査が実施され、70,000㎡以上にわたり遺跡の広がりが確認されていた。そのため道路新設工事によって地下の埋蔵文化財が破壊されるおそれを考慮して、県土木部と協議のもと工事に先立ち埋蔵文化財確認調査を実施した。道路新設部分4,100㎡を対象に、平成2年4月27日に確認調査をな行い、路線内の3,300㎡について遺跡の広がりを確認した。

この調査結果をもとに佐賀県教育委員会も交え、県土木部と佐賀市教育委員会との間で協議を重ねた。その結果、遺跡の現状保存は困難であるため、工事に先立ち発掘調査を実施し、記録保存を図ることとなった。県土木部は、平成2年度中の工事着手を要望されたが、佐賀市教育委員会の体制が整わず、平成3年4月から調査を開始することで協議がまとまった。

発掘調査は平成3年4月10日から開始し、同年7月12日にすべての現場作業を終了した。調査期間中は季節がら雨が多く、排水作業に長時間を費やさざるを得なかった。そのため終了時期が予定より若干遅れる結果となったが、作業員各位の健闘と多くの人々の協力により無事に調査を終了することができた。ここに記して感謝申し上げたい。

また出土遺物の整理作業及び発掘調査報告書作成は、佐賀市文化財資料館で行った。

2. 調査の組織

調査主体 佐賀市教育委員会

事務局 佐賀市教育委員会 文化課

文化課長 中野和彦

文化係長 野口義通（庶務担当）

事務吏員 甲木亮一（庶務担当）

文化財係長 福田義彦

事務吏員 木島慎治（確認調査担当）

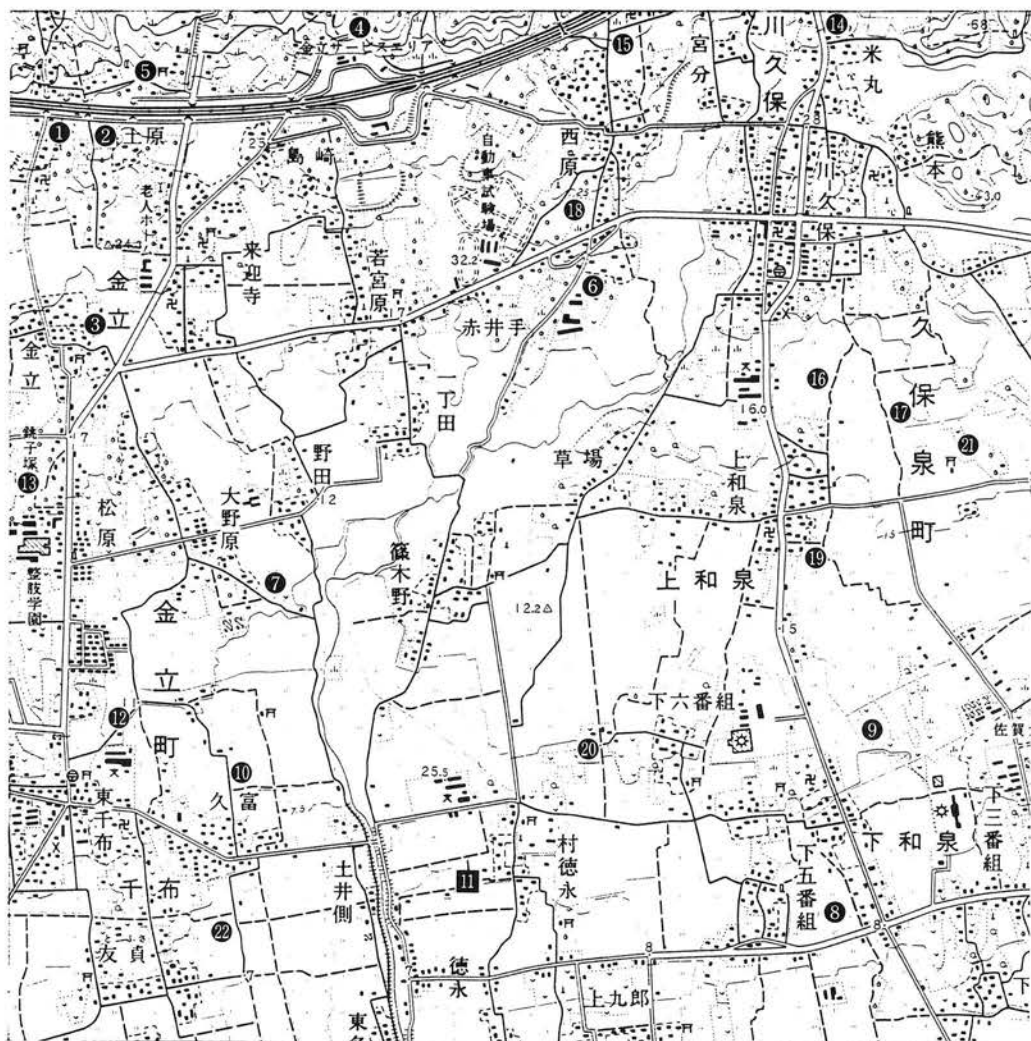
西田 巖・山口一郎（本調査担当）

発掘作業員 井上ミツエ・江口ケサエ・宮地富子・小副川勝美・小副川富子・鳥谷ヨシノ・緒方敏子・下村保枝・小林美智子・武藤ツル代・山木江美子・小林澄子・千住藤

I. 序 説

子・中島久子・宮地峰子・内村美里・角田千代乃・富永ツヤ子・山田八重子・角田絹子・大野ユキエ・小出香澄・亀川すえみ・友添丸子・原 京子・龍由美子・副島かすみ・福田妙子・武富サチコ・武富ヨシエ・大林里子・江下生子・宮崎久枝・平方スミ子

調査協力 地元各位・佐賀県土木部・佐賀県教育委員会・佐賀県農林部・久保泉土地改良区



- | | | | | | |
|--------|---------|---------|-----------|--------|--------|
| ①大門遺跡 | ②金立開拓遺跡 | ③来迎寺遺跡 | ④丸山遺跡 | ⑤黒土原遺跡 | ⑥琵琶原遺跡 |
| ⑦大野原遺跡 | ⑧立野遺跡 | ⑨泉三本栗遺跡 | ⑩久富遺跡 | ⑪村徳永遺跡 | ⑫東千布遺跡 |
| ⑬銚子塚 | ⑭関行丸古墳 | ⑮西原遺跡 | ⑯原ノ町遺跡 | ⑰東高田遺跡 | ⑱大日遺跡 |
| ⑲上和泉遺跡 | ⑳古村遺跡 | ㉑櫟木遺跡 | ㉒千布二本黒木遺跡 | | |

Fig. 1 村徳永遺跡周辺遺跡分布図 (1/25,000)

II. 遺跡の位置と環境

1. 遺跡の位置

佐賀市は、佐賀県の東南部に位置し、東は神埼・千代田・諸富町、西は大和・三日月町、北は大和町と接している。市の北部には脊振山系が連なっており、その南麓には舌状丘陵が派生している。また南部には沖積平野が有明海沿岸まで広がっている。

久保泉町は、南は沖積平野の北部、北は脊振山系にかかる地域で、西端にある巨勢川が南北にその流路をとっている。周辺の宅地化は進んでおらず、大部分は田・畑等の農地として利用されている。

村徳永遺跡はこのような平野部に位置しており、標高5.5～7.0mを測る。調査区の西方約200mには巨勢川が、北側には県道小城・北茂安線が東西に走る。周辺は大部分が水田あるいは畑として利用されている。一帯に広がる水田に大きな起伏はないものの、わずかに認められる比高差から旧地形を推察することができる。

2. 歴史的環境

佐賀市内には多くの遺跡が存在するが、その大部分が脊振山麓部一帯及びそこから南へ広がる平野部に集中する。

縄文時代の遺跡の様相は不明な点が多いが、大門遺跡¹⁾(前期、後・晩期)、金立開拓遺跡²⁾(早・前期、後期)、来迎寺遺跡³⁾(中期・後期)等で調査が行われ、各時期の土器とともに大量の石器が出土している。また丸山遺跡⁴⁾・黒土原遺跡⁵⁾では、支石墓・甕棺墓等の埋葬施設が検出されている。

弥生時代の集落遺跡としては、琵琶原遺跡⁶⁾・大野原遺跡⁷⁾・立野遺跡⁸⁾・泉三本栗遺跡⁹⁾・久富遺跡¹⁰⁾・村徳永遺跡¹¹⁾等で調査が行なわれている。琵琶原遺跡・大野原遺跡では、弥生時代後期～古墳時代初頭にかけての竪穴住居が、狭小な調査区のなかに密集して検出されている。また村徳永遺跡では後期前半を中心に100棟以上もの掘立柱建物が確認されており、この周辺一帯に大規模集落が存在していたことが明らかになりつつある。立野遺跡では、中期の竪穴住居・掘立柱建物・周溝状遺構が検出され、泉三本栗遺跡では、前期末～中期にかけての竪穴住居が検出されている。久富遺跡は、中期初頭の竪穴住居が検出されている。埋葬遺跡としては、東千布遺跡¹²⁾・黒土原遺跡¹³⁾・増田遺跡¹³⁾(範囲外)等で調査が行なわれ、前期～中期にかけての甕棺墓群及び土壙墓が検出されている。

古墳時代の遺跡としては、銚子塚¹⁴⁾や関行丸古墳¹⁵⁾等の前方後円墳をはじめ脊振山麓一帯に多くの古墳が存在する。その大部分は後期の群集墳で、大門・金立・西原・丸山等の古墳群がある。

II. 遺跡の位置と環境

集落遺跡としては、琵琶原遺跡・大野原遺跡・西原遺跡¹⁶⁾・泉三本栗遺跡・本村遺跡¹⁷⁾（範囲外）・原ノ町遺跡¹⁸⁾・東高田遺跡¹⁹⁾等がある。特に東高田遺跡では、50軒近い後期の竪穴住居が検出されており、後期群集墳との関連を考える上で興味深い。

奈良・平安時代の遺跡については、大日遺跡²⁰⁾・上和泉遺跡²¹⁾・泉三本栗遺跡・古村遺跡²²⁾・原ノ町遺跡²³⁾・東高田遺跡・櫟木遺跡等で集落の一部が調査されている。大日遺跡・東高田遺跡では、奈良時代の竪穴住居を伴わない掘立柱建物群が検出されている。上和泉遺跡では、平安時代前半の良好な一括資料が出土している。また東高田遺跡・大野原遺跡では官道と考えられる遺構を検出している。

中世遺跡は近年その調査例が増加し、その様相が明らかにされつつある。立野遺跡・千布二本黒木遺跡²⁴⁾・本村遺跡（範囲外）等で調査が行なわれ、特に本村遺跡をはじめ、集落を区画する溝が村徳永遺跡でも検出されている。今後の調査例の増加と文献史料からのアプローチにより、中世村落のありかたが明らかにされていくものと期待される。

< 註 >

- 1) 木下之治編『大門遺跡－1次調査－』佐賀市文化財調査報告書第8集 佐賀市教育委員会 1972
木下之治編『大門遺跡－2次調査－』佐賀市文化財調査報告書第9集 佐賀市教育委員会 1973
- 2) 蒲原宏行ほか『金立開拓遺跡』佐賀県文化財調査報告書第77集 佐賀県教育委員会 1984
- 3) 加藤元信『来迎寺遺跡』佐賀市文化財調査報告書第27集 佐賀市教育委員会 1990
- 4) 東中川忠美ほか『久保泉丸山遺跡』佐賀県文化財調査報告書第51集 佐賀県教育委員会 1986
- 5) 福田義彦『黒土原遺跡』佐賀市文化財調査報告書第19集 佐賀市教育委員会 1987
- 6) 福田義彦『琵琶原遺跡』佐賀市文化財調査報告書第27集 佐賀市教育委員会 1981
- 7) 1991年度佐賀市教育委員会調査実施
- 8) 福田義彦『立野遺跡・村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第27集 佐賀市教育委員会 1989
- 9) 福田義彦『泉三本栗遺跡』佐賀市文化財調査報告書第18集 佐賀市教育委員会 1987
- 10) 福田義彦『久富遺跡』『東千布遺跡』佐賀市文化財調査報告書第18集 佐賀市教育委員会 1985
- 11) 福田義彦『立野遺跡・村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第27集 佐賀市教育委員会 1989
木島慎治『村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第26集 佐賀市教育委員会 1989
木島慎治『村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第32集 佐賀市教育委員会 1990
前田達男『村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第34集 佐賀市教育委員会 1991
- 12) 10)に同じ
- 13) 1990・1991年度佐賀市教育委員会調査実施
- 14) 木下之治編『銚子塚』佐賀市教育委員会 1976
- 15) 渡辺正気『佐賀市関行丸古墳』佐賀県史蹟名勝天然記念物調査報告第七輯 佐賀県教育委員会 1955
- 16) 東中川忠美ほか『西原遺跡』佐賀県文化財調査報告書第66集 佐賀県教育委員会 1983
- 17) 前田達男『本村遺跡』佐賀市文化財調査報告書第28・29集 佐賀市教育委員会 1990
- 18) 西田巖編『原ノ町遺跡・東高田遺跡・櫟木遺跡・北宿遺跡・南宿遺跡』佐賀市文化財調査報告書第38集 佐賀市教育委員会 1992
- 19) 18)に同じ
- 20) 木島慎治『大日遺跡』佐賀市文化財調査報告書第25集 佐賀市教育委員会 1989
- 21) 福田義彦『上和泉遺跡』佐賀市文化財調査報告書第20・21集 佐賀市教育委員会 1988
- 22) 木島慎治ほか『古村遺跡ほか』佐賀市文化財調査報告書第25集 佐賀市教育委員会 1990
- 23) 18)に同じ
- 24) 1991年度佐賀市教育委員会調査実施

III. 調査の概要

1. 調査の概要

調査は掘削機による表土除去作業から開始した。表土は遺物包含層も含め30～60cm程度で、基盤は黄褐色の砂質土もしくはやや粘性のある土であった。遺構検出面は7.0～6.0mで、南東方向にむかって緩やかに傾斜する。そのため調査区の南西方向に厚さ10～20cm程度の黒褐色の遺物包含層が堆積していた。遺構埋土は基本的に黒褐色土で比較的容易に検出することができた。

表土除去後、国土座標を基準に5m方眼のグリッドを設定し、人力による掘削及び記録作業に入った。このグリッドは調査の基本となるもので、遺構検出作業及び1/100の遺構配置図・1/20の全体平面図を作成する際の基準とした。グリッドには今後の調査にも対応できるように、国土座標 $X = +33K400$ 、 $Y = -63K900$ の交点を基準とし、そこから北にAA、AB、AC…、東に1、2、3…と名称を与え、それぞれ1グリッドをAA-1、AA-2と表示することにした。

調査対象地は幅12m程度の南北に細長い調査区で、上記グリッドのAM～CD-66～81にあたる。水田下にあり、開墾時の削平等により遺構の残存状態は良好とはいえなかった。

2. 調査成果の概要

今回検出した遺構は弥生時代のものが中心で、他時期では平安時代の土壌、溝を数基検出したのみである。

弥生時代の遺構としては竪穴住居6軒、掘立柱建物30棟、周溝状遺構11基、井戸5基、その他土壌、溝、小穴多数を検出し、特にこれらの遺構は調査区の北寄りに集中していた。竪穴住居は一辺が4～5mの隅丸方形もしくは隅丸長方形を呈し、中央部に炉を設けていた。主柱穴は確認されておらず、どのような構造であったかは明らかでない。掘立柱建物はそのほとんどが1×1間の規模で、それ以外では2×1間1棟、6×4間1棟を検出した。竪穴住居と切り合い関係にあるものはすべて建物の方が後出しており、竪穴住居と掘立柱建物との関連を考える上で興味深い。またSB101は6×4間と大型で、F地区のSB015・014、G地区のSB333等とともに特異的な存在である。土壌の中には土器溜めと考えられるものが含まれており、大量の土器が出土した。

平安時代の遺構としては土壌2基、溝数条を検出し、土師器の坏、碗等の遺物が出土した。

今回で村徳永遺跡の調査は4例目で、調査面積は2,5000㎡を超える。すべて狭小な調査区で遺跡の全貌は明らかにできないが、多大な調査成果を収めることができた。少なくともこの地に、弥生時代後期前半を中心とした大規模集落が営まれていたことは間違いないようである。

III. 調査の概要

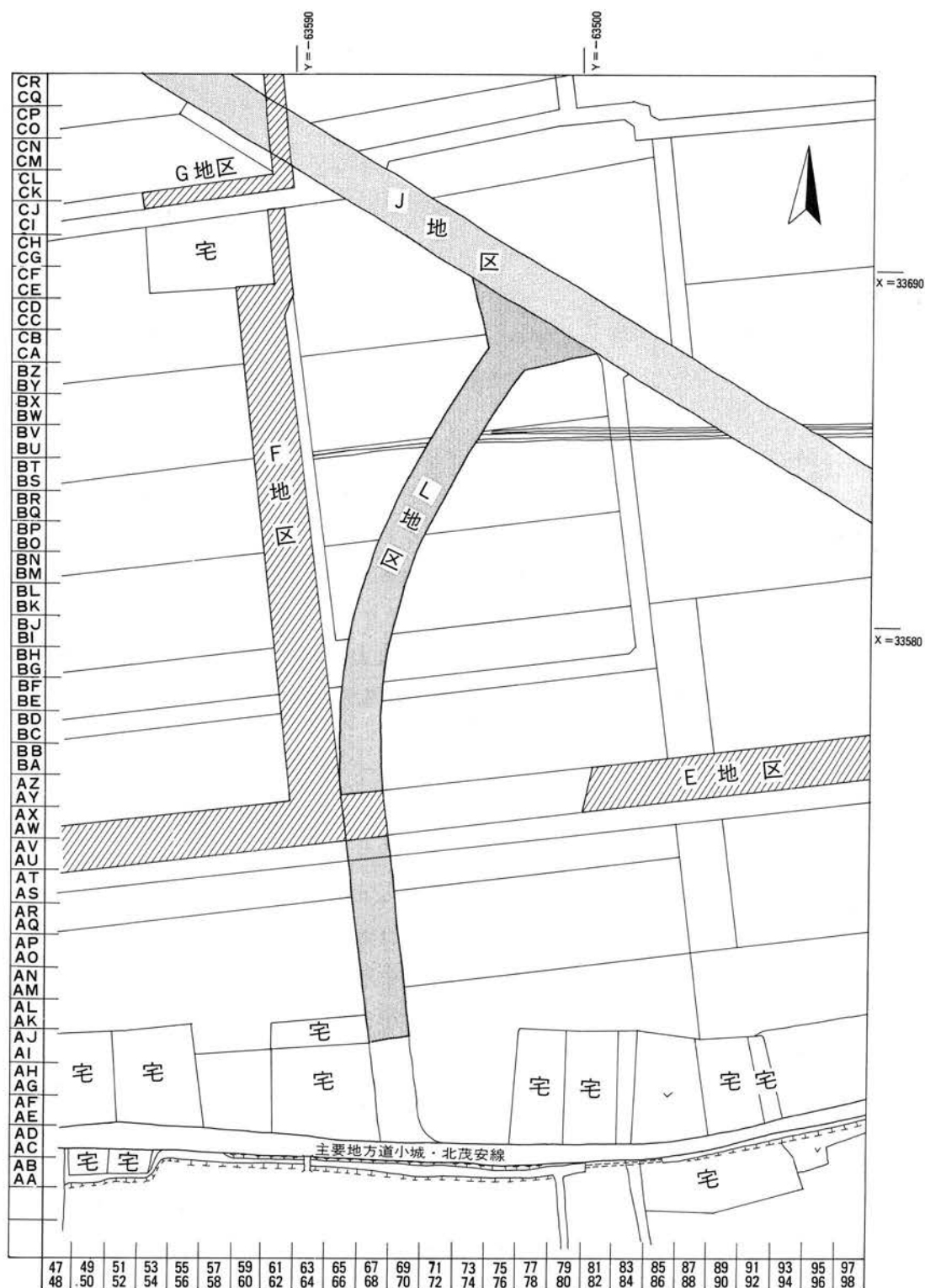


Fig. 2 村徳永遺跡L地区グリッド設定図 (1/2,000)

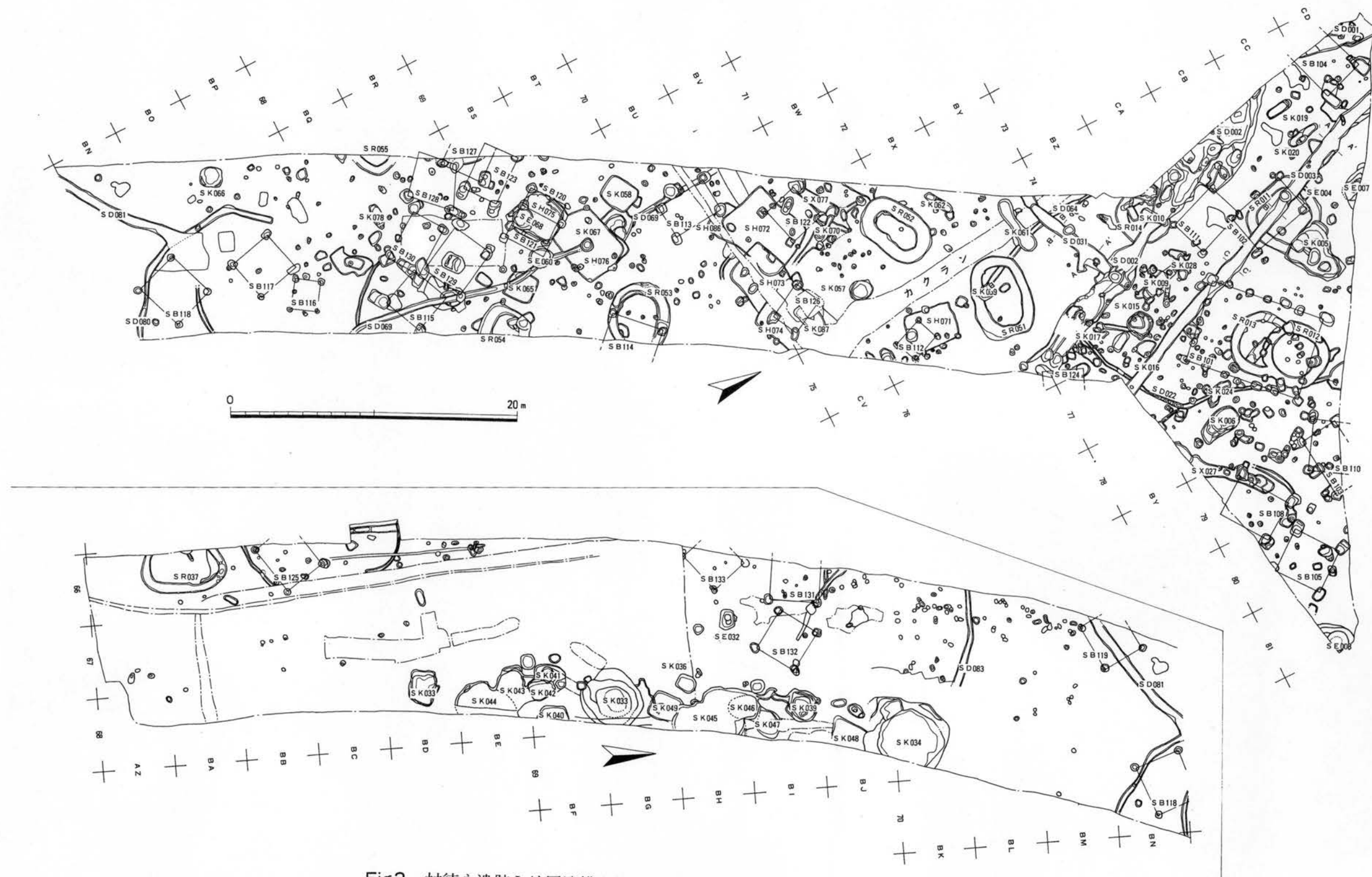


Fig3 村德永遺跡L地区遺構配置図 (1/300)

IV. 調査の記録

1. 弥生時代の遺構と遺物

(1) 竪穴住居

調査区の北寄りに比較的集中して6軒確認している。平面プランはすべて隅丸方形もしくは長方形を基調とする。いずれも支柱穴は確認できず、削平のためか全体的に残存状態は良好とはいえなかった。また掘立柱建物と切り合いがあるものは、すべて竪穴住居の方が先行していた。

SH071竪穴住居 (Fig. 4)

BX・BY-75グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SB112と切り合うが、その先後関係は不明。ただ他の掘立柱建物と竪穴住居の切り合い関係から判断すると、本住居が先行している可能性が高い。平面形は長軸3.7m、短軸2.7mの方形プランを呈し、ほとんど床面まで削平されていた。床面には暗褐色土と黄褐色土を叩き締めた貼床を施す。南壁沿い中央に楕円形の堀り込みが認められるが、本住居に伴うものかどうかは不明。支柱穴及び炉等については確認できなかった。

遺物は貼床及び検出面より弥生土器片がビニール1袋程度出土したが、図示できるものはなかった。

SH072竪穴住居 (Fig. 5)

BU-72・73グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SB122、SH073と切り合い関係にあり、いずれも本住居が先行する。平面形は北辺4.2m、南辺5.4m、東辺4.3m、西辺3.8mのやや南側に広がる歪な形態だが、概ね方形プランを呈している。床面までの深さは10cm前後で、暗褐色の埋土が堆積していた。床面には暗褐色土と黄褐色土を叩き締めた貼床を施す。床面下層は周壁沿いが他より若干深めに堀り込まれていた。炉はほぼ中央部に設けてら

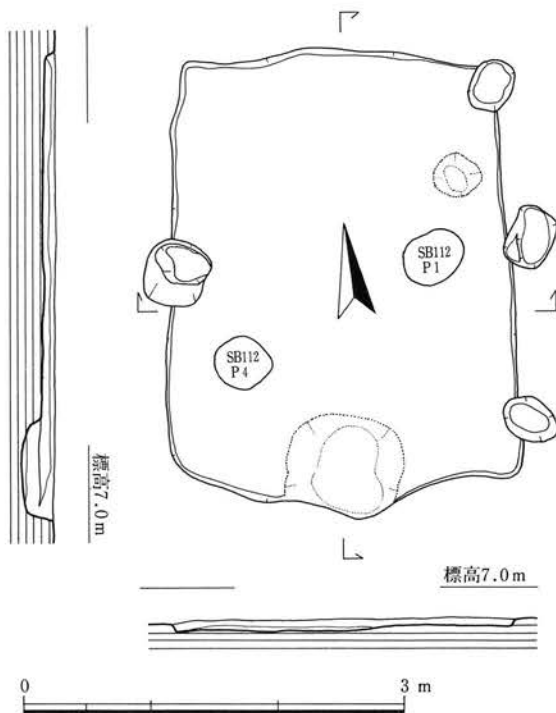


Fig. 4 SH071竪穴住居実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

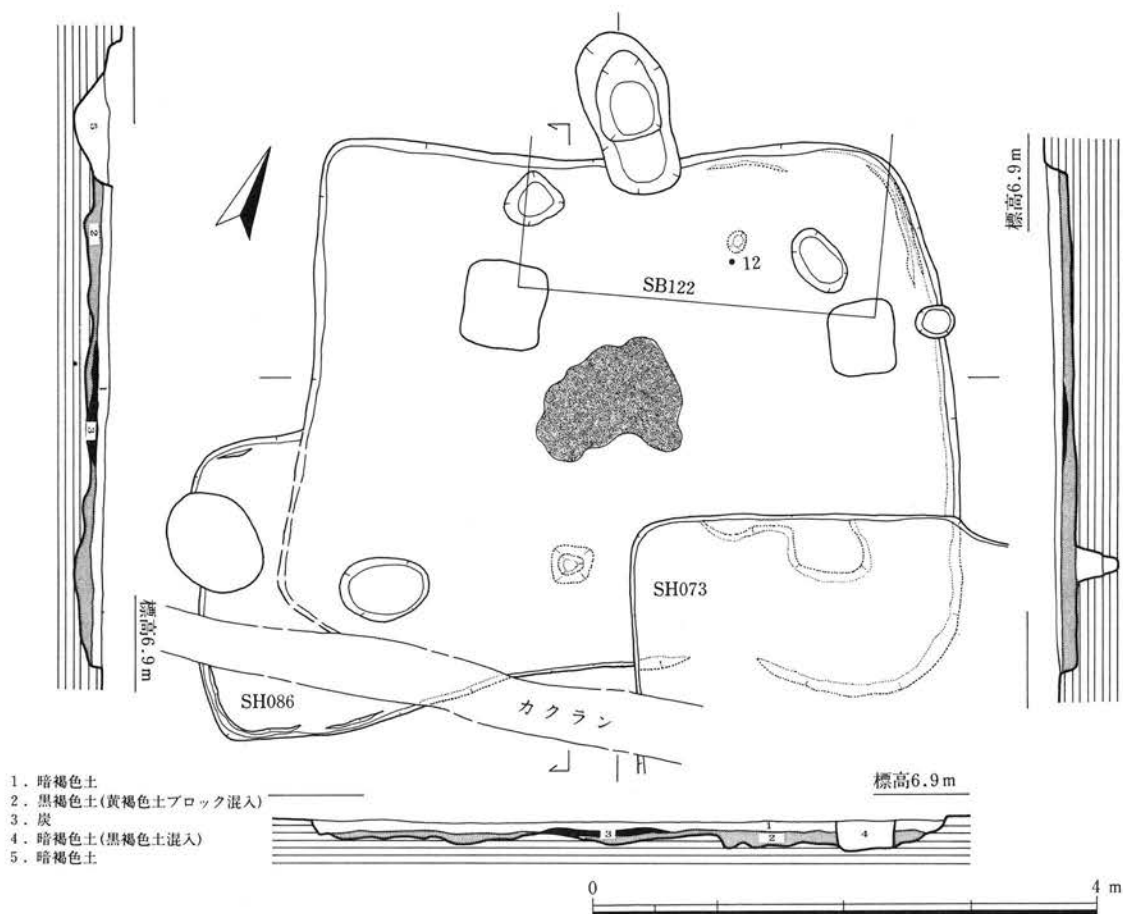


Fig. 5 SH072竪穴住居実測図 (1/60)

れていたらしく、炭の拡がりを検出した。また部分的に壁溝の痕跡がみつめられる。主柱穴は不明。南西隅に幅2.3mの方形の張り出し部分があるが、調査時にはSH086と呼称し、別住居として捉えたが、規模的な面から考えて、本住居の拡張部である可能性がある。

遺物は埋土中より弥生土器が、床面直上より小型方柱状片刃石斧が出土。全部でビニール3袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 6) 12は床面直上、7は貼床、それ以外はすべて埋土出土。

甕 (1～5) 1～3は口縁部破片。復元口径21.4～27.2cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を基調とする。淡褐色を呈する。4・5は底部破片で、復元底径8.0cm、10.0cm。基本的に外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。4は外面に丹塗りの痕跡が認められる。淡褐色～淡橙褐色を呈する。

壺 (6～8) いずれも口縁部破片である。復元口径13.0～16.4cm。口縁部横ナデ、内面ナデ調整、外面は7でハケ目調整が行なわれる。さらに7は口縁部に穿孔が施される。また5は内

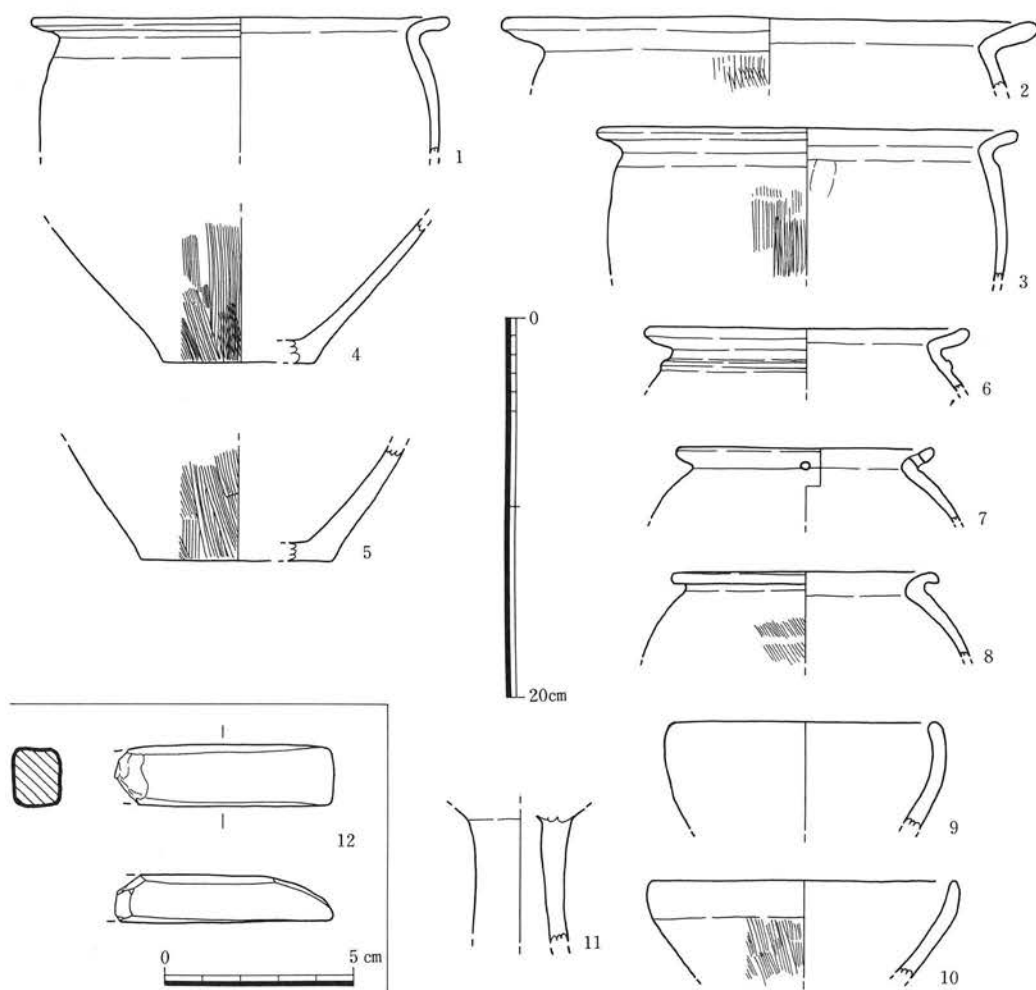


Fig. 6 SH072出土遺物実測図 (1/4 · 1/2)

外面に丹塗りが施されている。淡褐色を呈する。

鉢 (9・10) 復元口径13.4~15.8cm。9は口縁部横ナデ、他はナデ調整。明褐色を呈する。10は口縁部横ナデ、内面ナデ、外面ハケ目調整を行う。暗褐色を呈する。

高坏 (11) 脚部破片。磨耗のため調整不明瞭だが、内面にはしほり痕が、外面には丹塗りの痕跡が認められる。淡褐色を呈する。

小型方柱状片刃石斧 (12) 欠損品で残存長5.8cm、最大幅1.6cm。淡緑色を呈する。

SH073竪穴住居 (Fig. 7)

BU・BV-73・74グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SH072を切り、SH074に切られる。またほぼ中央部を東西に攪乱溝が横切る。平面形は長軸3.4+ α m、短軸3.2mの長方

IV. 調査の記録

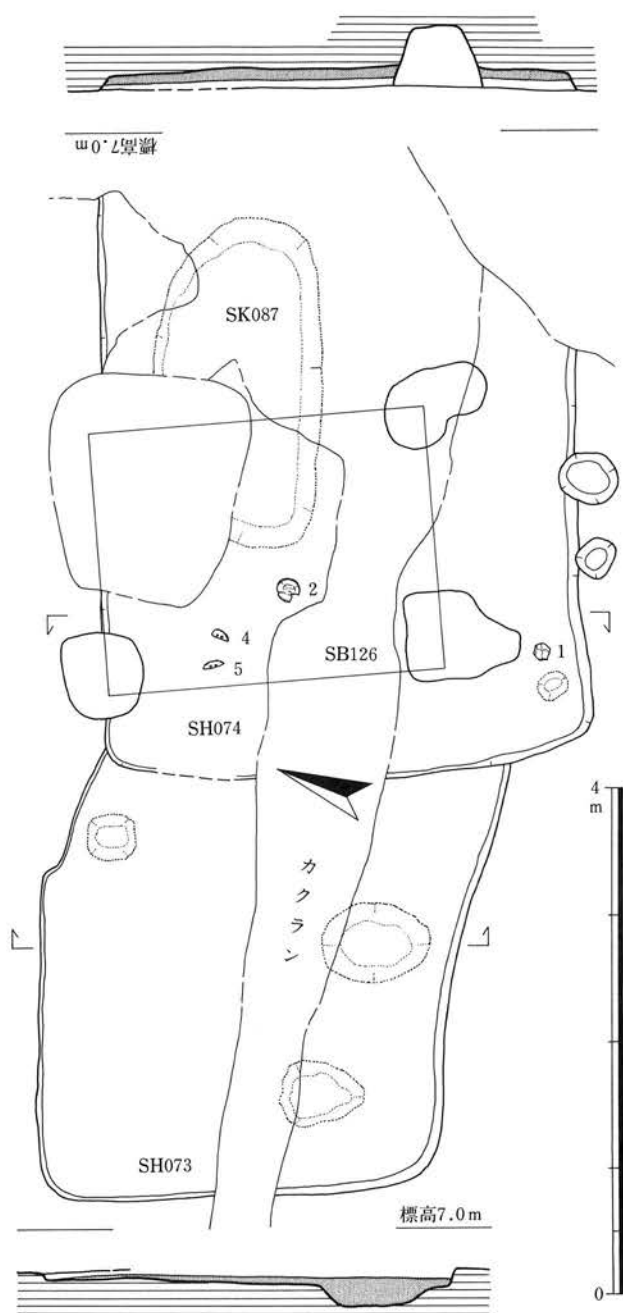


Fig. 7 SH073・074竪穴住居実測図 (1/60)

面指ナデ調整。赤褐色を呈する。

器台 (11) 復元受部径16.6cm、同裾部径17.2cm、器高22.2cm。外面縦方向のハケ目、内面は受部を横方向のハケ目、他は工具によるナデ調整を行う。外面褐色、内面暗褐色を呈する。

形プランを呈すると思われる。床面までの深さは3～8cm程度で、床面には暗褐色土と黄褐色土を叩き締めた貼床を施す。炉及び主柱穴については不明。

遺物は埋土、床面直上、貼床より弥生土器がビニール3袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 8) 7は貼床、それ以外は埋土出土。

甕 (1～7) 1～4は口縁部破片。復元口径25.2～36.0cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデを基本とする。淡褐色～淡橙褐色を呈する。4は口縁部外面にヘラを軽くあてた刻目風の文様が施される。5～7は底部破片で、基本的に外面縦方向のハケ目調整、内面は指押さえをナデ消している。淡褐色～暗褐色。7は外底面に葉脈痕が残る。

壺 (8) 肩部及び胴部中位にそれぞれ1条の突帯を巡らす。外面ハケ目、内面ナデ調整を行う。淡黄褐色。

鉢 (9) 復元口径11.8cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。淡褐色を呈する。

支脚 (10) 受部を欠損。外

1. 弥生時代の遺構と遺物(竪穴住居)

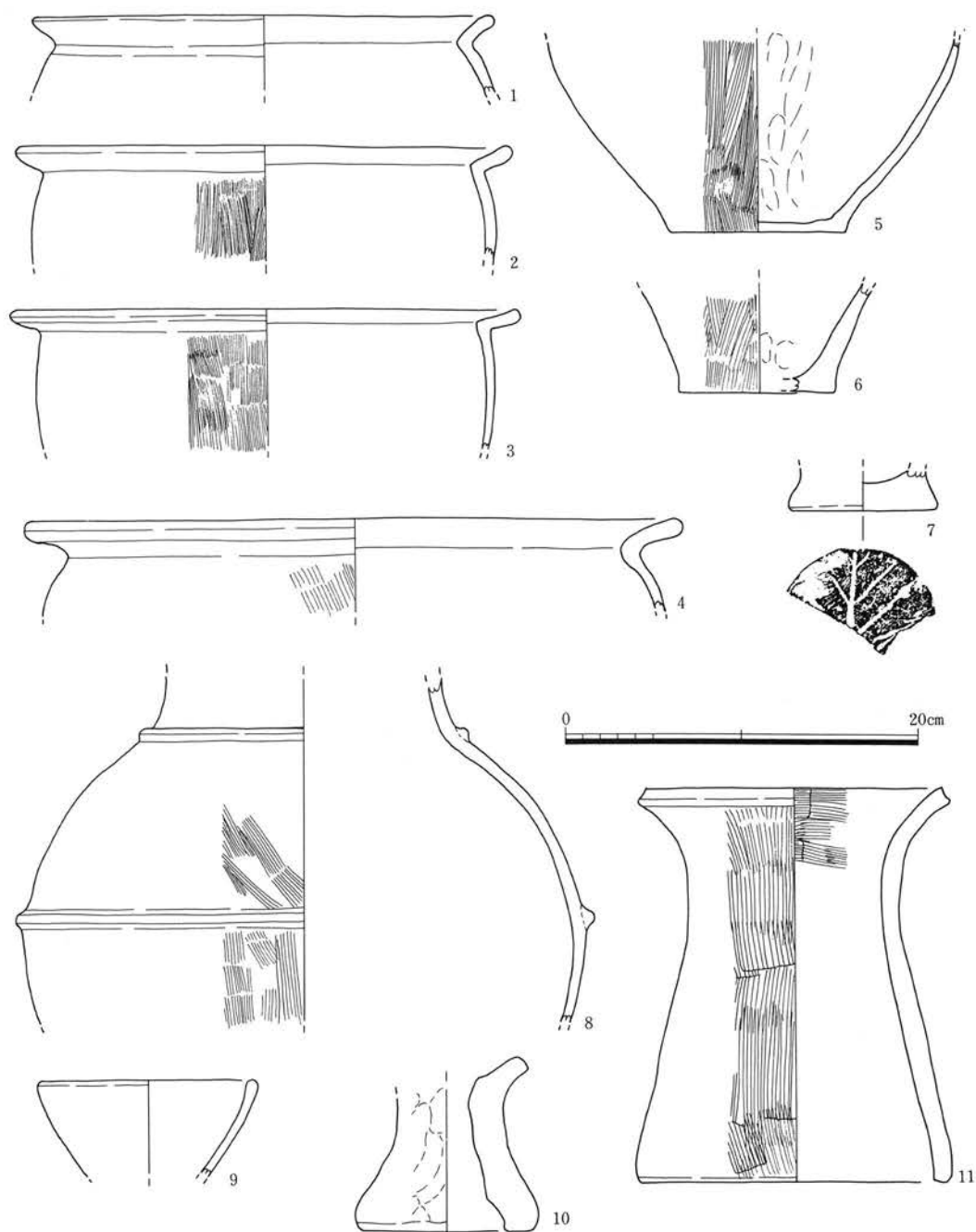


Fig. 8 SH073出土遺物実測図 (1/4)

SH074竪穴住居 (Fig. 7)

BU・BV-74グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SB126に切られ、SH073、SK087を切る。遺構の中央部及び東壁を攪乱溝によって削られる。平面形は長軸 $4.5+\alpha$ m、短軸

IV. 調査の記録

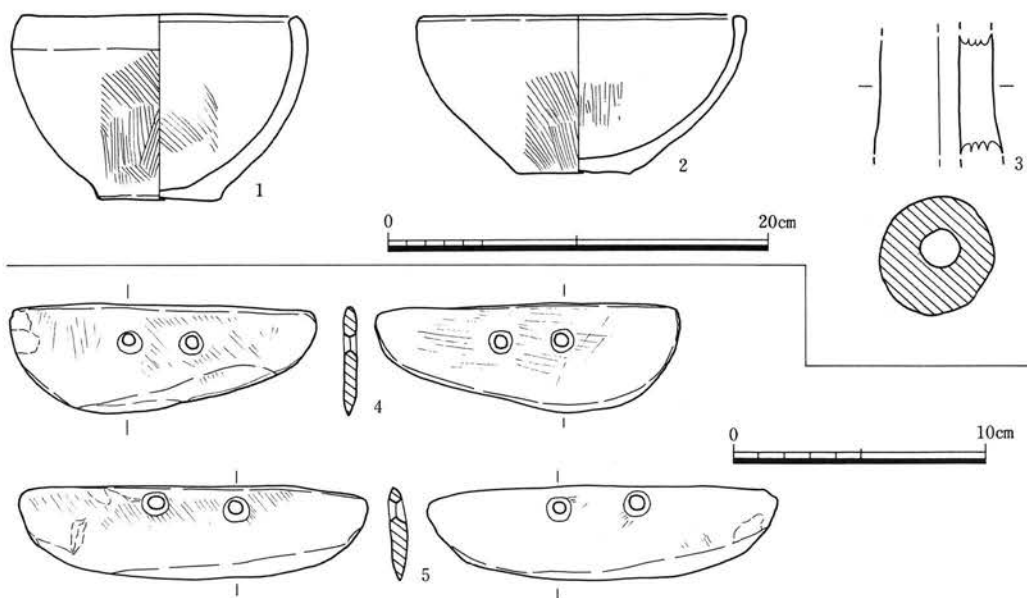


Fig. 9 SH074出土遺物実測図 (1/4・1/3)

3.8mの長方形プランを呈するものと思われる。床面までの高さは5～8cm程度で、床面には暗褐色土と黄褐色土を叩き締めた貼床を施す。炉及び支柱穴については不明。

遺物は埋土中、床面直上、貼床より弥生土器、石包丁等がビニール2袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 9) 4は埋土、それ以外は床面直上出土。

鉢 (1・2) 復元口径14.4cm、16.4cm。口縁部横ナデ、底内外面ナデ、他はハケ目調整を行う。両者とも淡褐色を呈する。

甕口 (3) 両端部を欠損する。径6.1cm。褐色を呈する。

石包丁 (4・5) 両者とも比較的丁寧に研磨する。4は最大長11.8cm、最大幅4.3cm。5は最大長13.5cm、最大幅3.6cm。粘板岩系か。

SH075竪穴住居 (Fig. 10)

BS-71グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SB120・121、SH076、SE068と切り合い関係にあり、いずれも本住居が先行する。平面形は長軸3.4m、短軸3.2mの方形プランを呈する。床面までの深さは50cm程度で、とくに貼床を施した痕跡は認められなかった。炉及び支柱穴は不明。

遺物は埋土中より弥生土器がビニール2袋程度出土した。

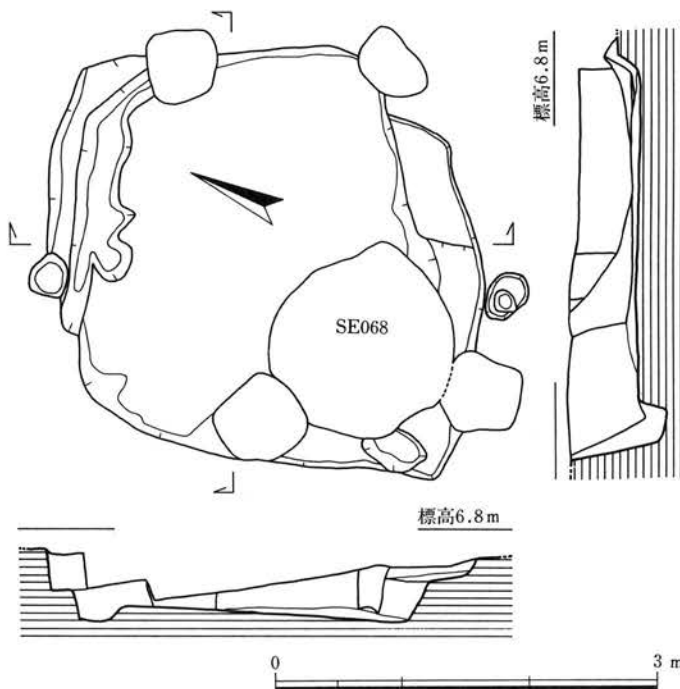
出土遺物 (Fig. 11)

甕 (1) 底部破片。復元底径6.4cm。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。明褐色を呈する。

袋状口縁壺 (2・3)

いずれも口縁部破片。復元口径10.6cm、10.1cm。器面は横ナデ及びナデ調整。暗褐色～茶褐色を呈する。3は口縁端部の屈曲が著しい。

器台 (4) 受部破片。復元受部径11.5cm。外面縦方向のハケ目、内面横方向のハケ目調整を行う。淡褐色を呈する。



SH076竪穴住居 (Fig.12)

B S・B T-71・72グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SH075、SR056を切り、S B121、S K062、S D069に切られる。平面形は長軸4.8m、短軸3.5mの長方形プランを呈し、床面までの深さは5～10cm程度である。床面には明確な貼床は施されておらず、凹面に補充して整地する程度である。炉は中央部に設けられていたらしく、SK067に大部分削られているが、炭の拡がりを検出した。主柱穴は確認されなかった。

遺物は埋土中より弥生土器がビニール4袋程度出土した。

出土遺物 (Fig. 13)

甕 (1・2) いずれも口縁部破片。復元口径19.6cm、22.8cm。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。淡褐色～褐色を呈する。

壺 (3) 底部破片。外面ハケ目、他はナデ調整。淡褐色を呈する。

高坏 (4) 底部破片。復元脚部径16.0cm。外面ハケ目、内面ナデ調整。外面には丹塗りを施

Fig. 10 SH075竪穴住居実測図 (1/60)

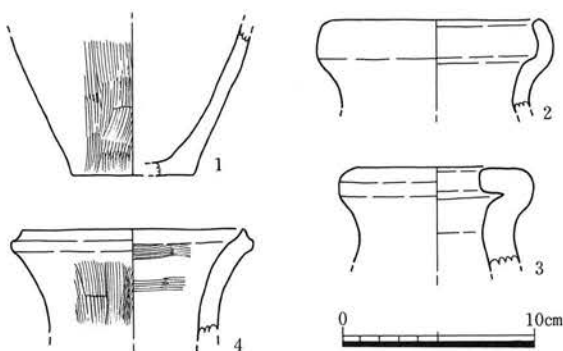


Fig. 11 SH075出土遺物実測図 (1/4)

IV. 調査の記録

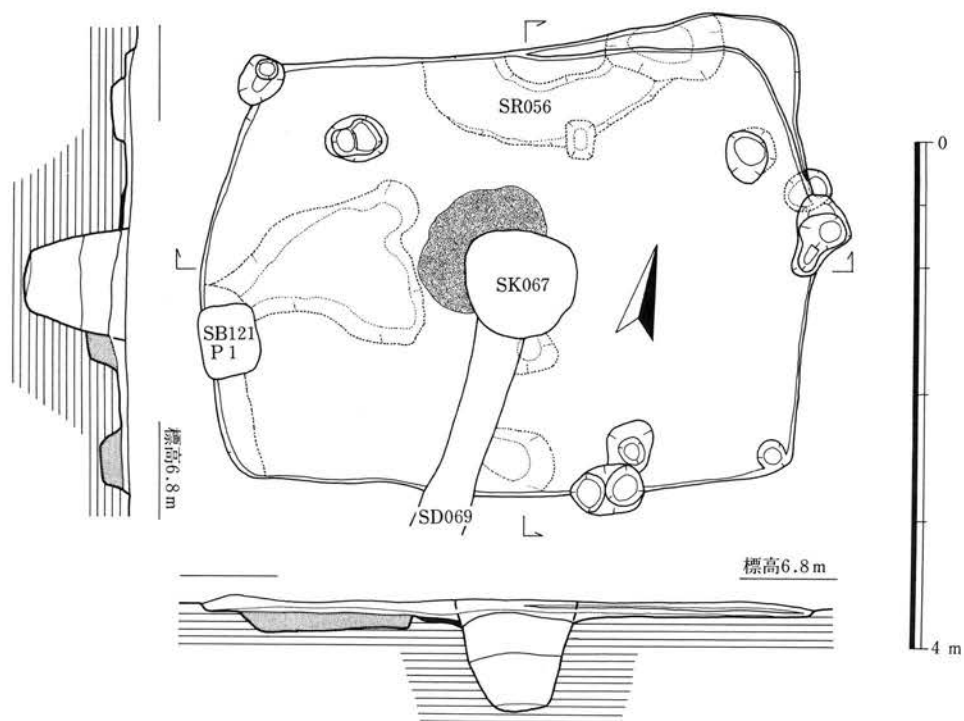


Fig. 12 SH076 竪穴住居実測図 (1/60)

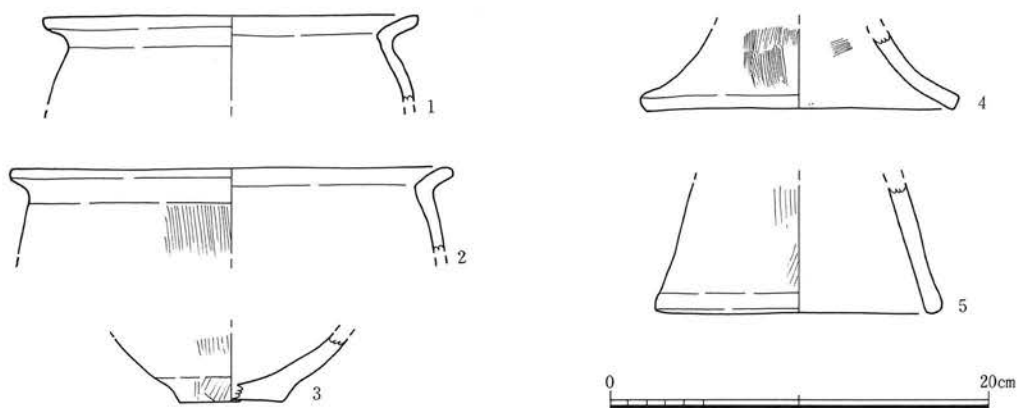


Fig. 13 SH076 出土遺物実測図 (1/4)

す。外面赤褐色、内面淡褐色を呈する。

器台（5） 裾部破片。復元裾部径14.0cm。外面ハケ目後ナデ、内面工具によるナデ調整を行う。暗褐色を呈する。

(2) 掘立柱建物

調査区の北寄り、竪穴住居の周辺でその多くを検出した。大多数は1×1間もしくは2×1間の規模であった。その中でもSB101は6×4間と大型の建物で、他と比べると特異的な存在である。他の建物とは違った何か特別な機能を有していたことが考えられる。

全体で30棟の掘立柱建物を検出したが、ここでは検出状況の比較的良好な27棟について報告する。

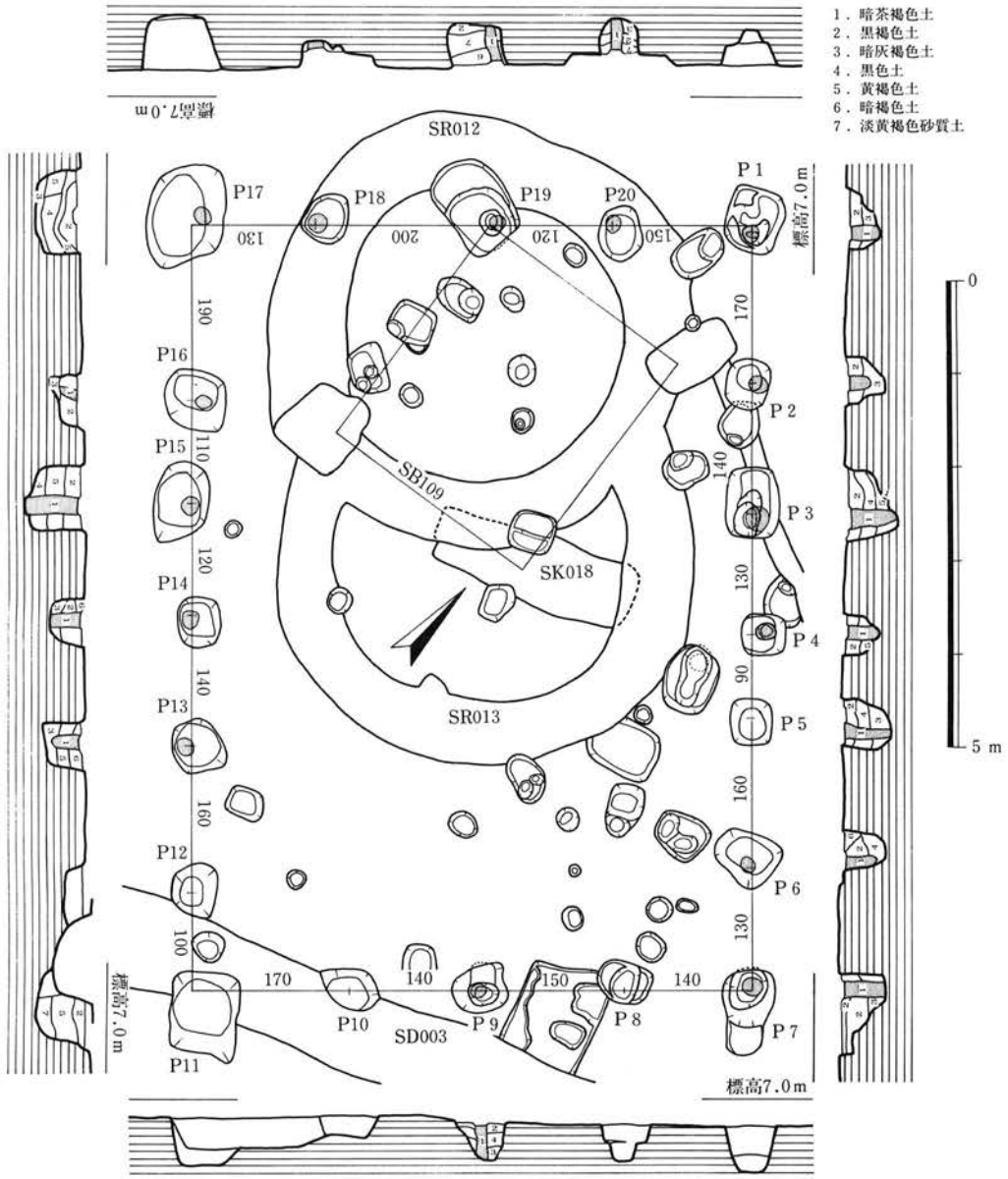


Fig. 14 SB101掘立柱建物実測図 (1/80)

IV. 調査の記録

S B101掘立柱建物 (Fig. 14)

BZ～CB-76～78グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SR012を切り、SD003に切られる。またSK018と重複関係にあり、なおかつSB109と切り合い関係にあるが、その先後関係は不明。6×4間の建物で、桁行8.2m、梁行6.0mの規模を有する。桁行をN-43°-Eにとる。柱間は図示したとおり。その規模から別時期の建物の可能性があるが、周辺の建物との方位の類似性と柱穴出土の遺物が弥生時代のものに限られることから、弥生時代の建物として報告する。柱穴掘方は楕円形もしくは隅丸方形に近く、その規模は一辺0.5～1.0m、深さ0.4～0.6m程度である。柱穴埋土は黒褐色土と黄褐色土を一応互層をなす程度に突き固めている。総数15個の柱穴で径18～25cm程度の柱痕跡を検出している。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール3袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 15) 7はP2、8はP3、5はP4、4はP7、3はP8、6はP14、1・2はP15出土。

甕(1～5) 1・2は口縁部破片。1は復元口径40.6cm。口縁部下端に1条の突帯を巡らす。口縁部横ナデ、外面はハケ目調整、内面はハケ目後ナデ消す。橙褐色を呈する。2は復元

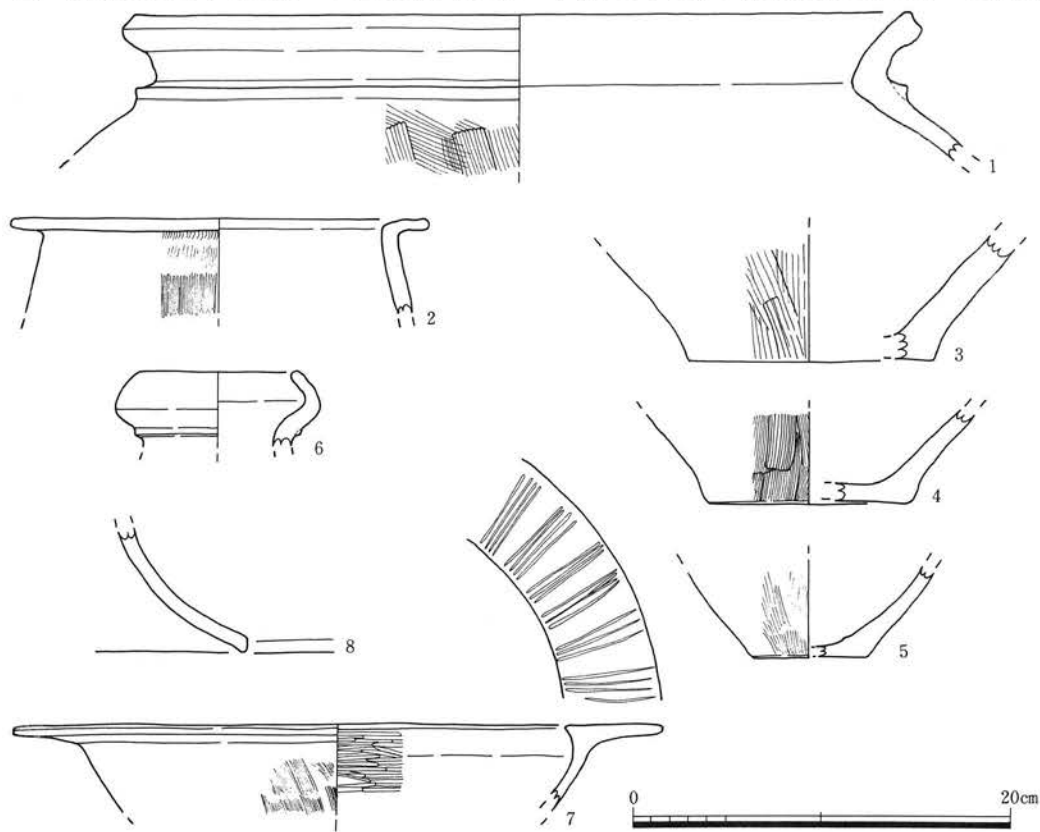


Fig. 15 SB101出土遺物実測図 (1/4)

口内径17.0cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。淡褐色を呈する。3～5は底部破片。基本的に外面縦方向のハケ目、他はナデ調整を行う。3・4には外面に黒斑が認められる。淡褐色～橙褐色を呈する。

袋状口縁壺(6) 復元口径8.2cm。内外面横ナデ調整で、丹塗りの痕跡が認められる。

高坏(7・8) 7は口縁部破片。復元口径23.8cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ヘラミガキ調整。また口縁部上面にはヘラ状工具による暗文が放射状に施されている。さらに内外面丹塗りをを行う。8は脚部破片。内面ナデ調整の他は、調整不明瞭。褐色を呈する。

SB102掘立柱建物 (Fig. 16)

CB・CC-75・76グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SR011を切り、SB111、SE004、SD003と重複関係にある。2×1間の建物で、桁行4.2m、梁行2.9mの規模を有する。桁行をN-13°-Wにとる。柱間は図示したとおり。柱穴掘方は隅丸長方形～楕円形で、その規模は一辺0.6～0.8m、深さ0.3～0.4m程度である。またP3～5で径18～25cm程度の柱痕跡を検出している。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール1袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 18) 1はP2出土。

甕(1) 口縁部破片。復元口径21.6cm。口縁部横ナデ調整で褐色を呈する。

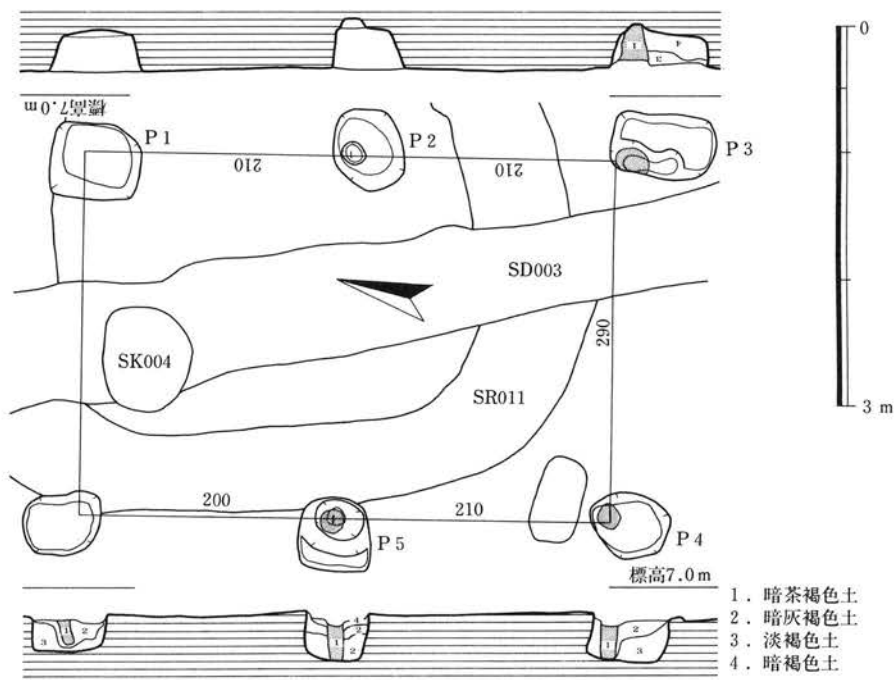


Fig. 16 SB102掘立柱建物実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

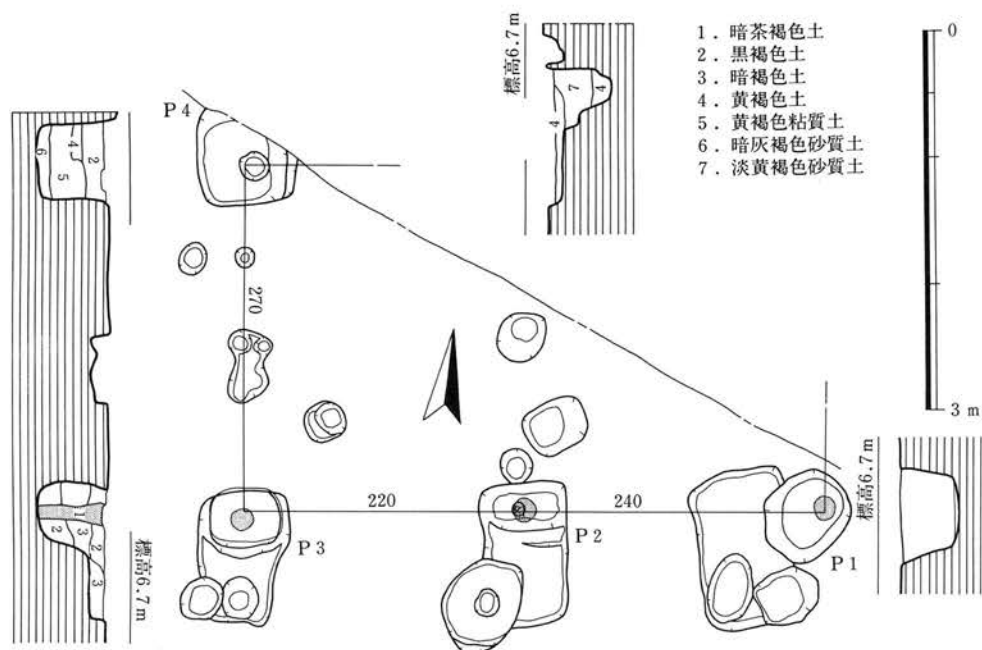


Fig. 17 SB103掘立柱建物実測図 (1/60)

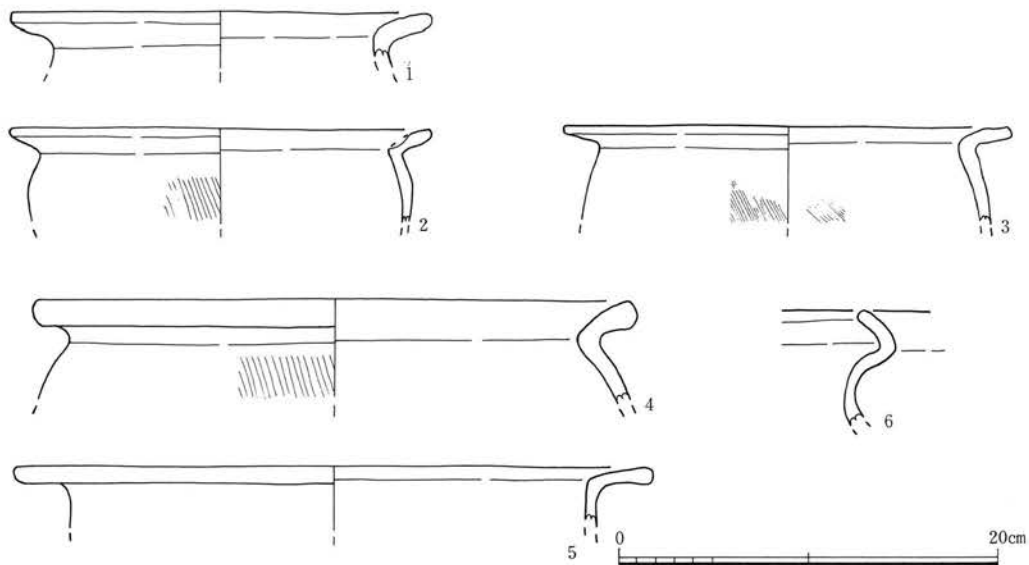


Fig. 18 SB102・103出土遺物実測図 (1/4)

SB103掘立柱建物 (Fig. 17)

CA・CB-79・80グリッドで検出した。検出面の標高は6.5m。SB110と切り合い関係にあり、本建物が先行する。遺構の半分程度が調査区外にありその全貌は知り得ないが、恐らく2×1間の建物になると思われる。梁行をN-6°-Wにとる。柱間は図示したとおり。P3-4の間で

検出しているピットは位置関係より支柱穴になる可能性がある。柱穴掘方は隅丸長方形に近く、その規模は長軸1.0～1.2m、短軸0.7m、深さ0.5～0.6m程度である。P2・3は2段掘り状を呈する。またP1～3で径18cm程度の柱痕跡を、さらにP2では柱痕を検出している。柱穴埋土は黒褐色土と黄褐色土を一応互層になる程度に突き固めている。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール1袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 18) 4はP1、2はP2、3・5・6はP4出土。

甕(2～5) すべて口縁部破片。復元口径21.6～32.8cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整を基本とする。淡褐色～暗褐色を呈する。

袋状口縁壺(6) 口縁部破片。口縁部横ナデ、頸部外面ナデ、同内面工具によるナデ調整。暗赤褐色を呈する。

SB104掘立柱建物 (Fig. 19)

CD-74・75グリッドで検出した。検出面の標高は6.9m。遺構の一部は調査区外にあり、全貌は知り得ないが、恐らく1×1間の建物になると思われる。柱穴掘方は隅丸長方形に近く、その規模は長軸1.5m、短軸0.7～0.9m、深さ0.7～0.8m程度である。柱穴埋土は黒褐色土と黄褐色土を版築状に突き固めている。またP1は土層断面より抜き取り痕が認められる。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール1袋程度出土した。P2の埋土中より底部～胴部にかけて1/2程度残存する甕が出土している。

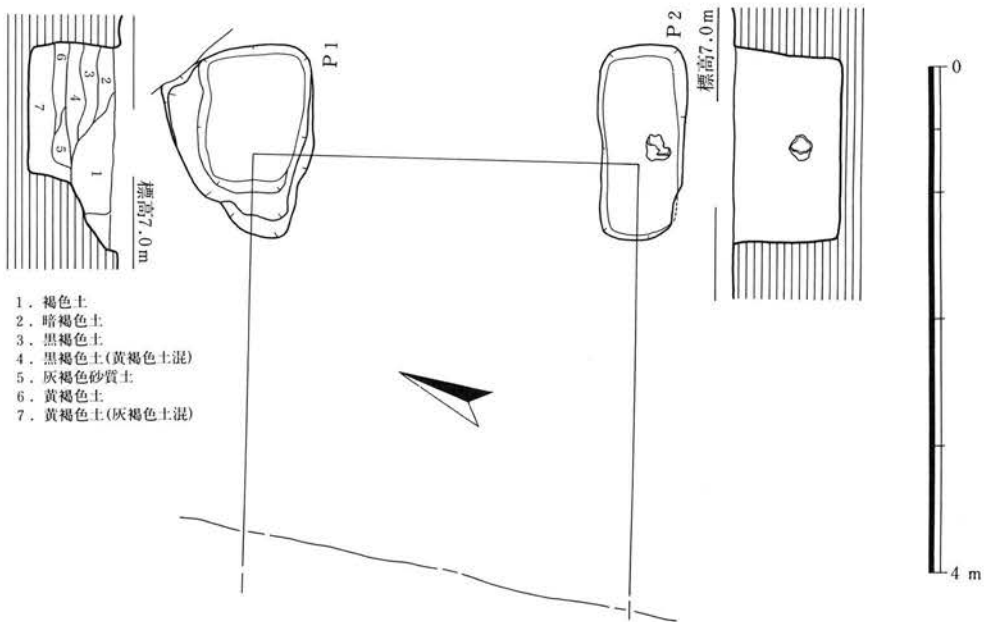


Fig. 19 SB104掘立柱建物実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

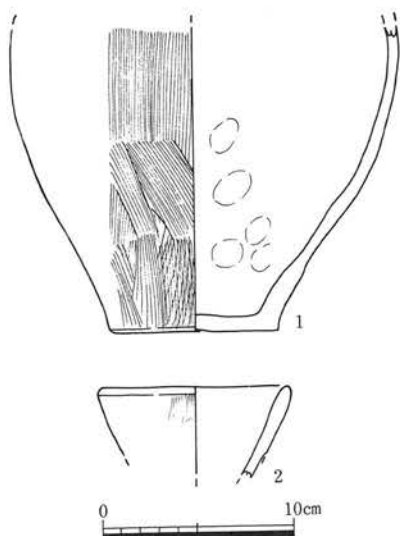


Fig.20 SB104出土遺物実測図 (1/4)

出土遺物 (Fig. 20) 1はP 2、2はP 4出土。

甕(1) 外面縦方向のハケ目、他はナデ調整で、内面に部分的に指頭圧痕が残る。明褐色。胴部外面下端から外底面にかけて黒斑が認められる。

鉢(2) 復元口径9.6cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。褐色を呈する。

SB 105掘立柱建物 (Fig. 21)

BZ・CA-80・81グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。1×1間の建物でP 2の大部分が調査区外にある。桁行3.6m、梁行3.15mの規模を有する。桁行をN-55°-Eにとる。柱穴掘方は隅丸長方形で、その規模は長軸1.0m、短軸0.7~0.8m、深さ0.4~0.5m程度である。P 3・5は断面2段掘り状

を呈する。柱穴埋土は黒褐色土~暗褐色土を版築状に突き固めている。またP 1で径20cm程度の柱痕跡を検出している。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土したが、図示できるものはなかった。

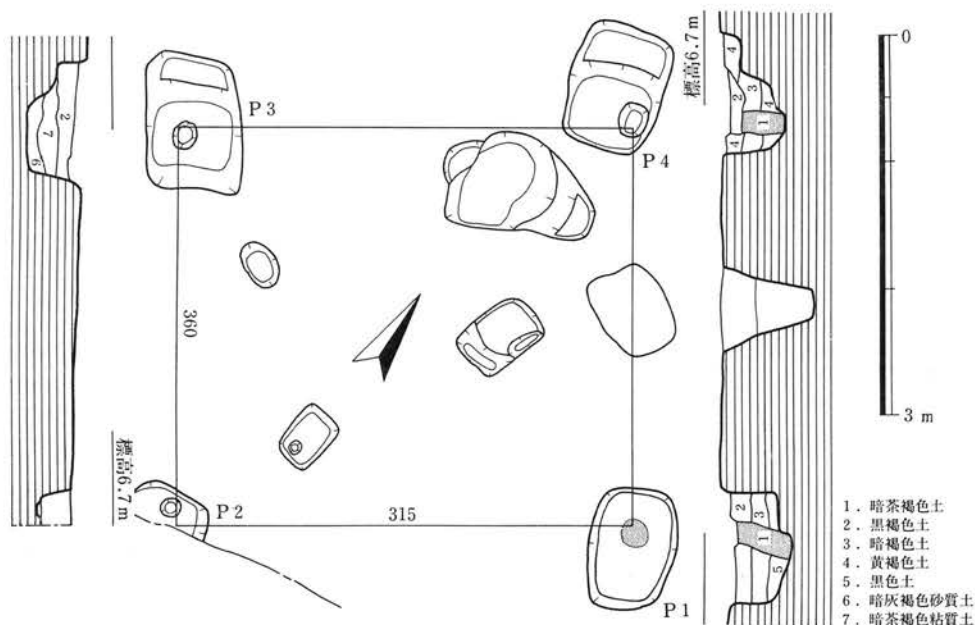


Fig. 21 SB105掘立柱建物実測図 (1/60)

1. 弥生時代の遺構と遺物(掘立柱建物)

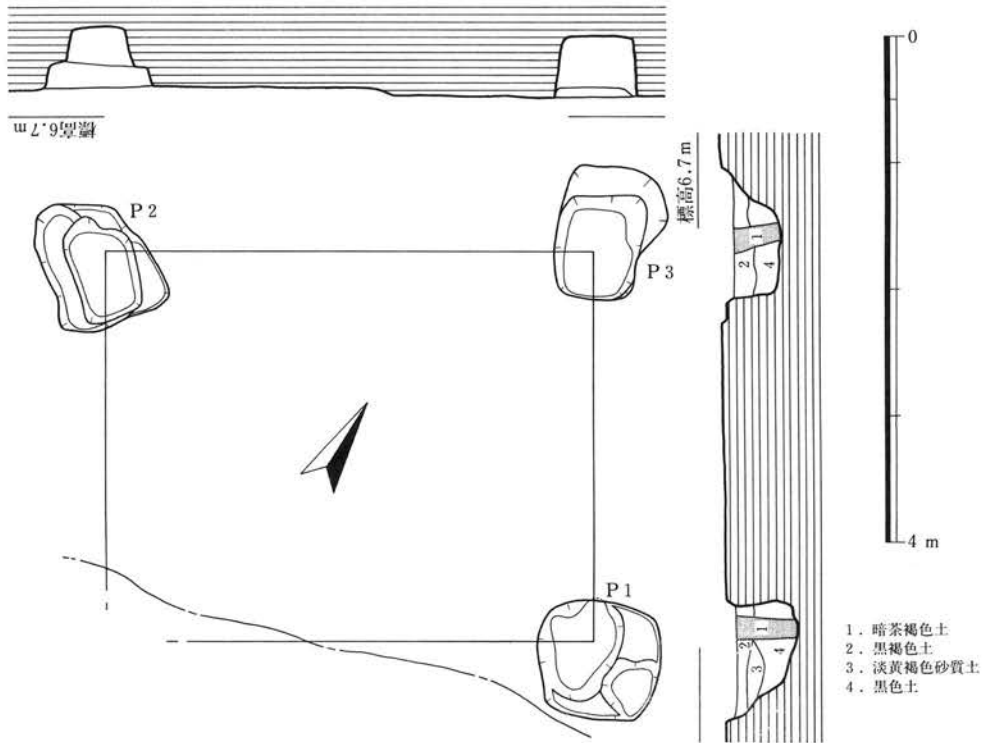


Fig. 22 SB108掘立柱建物実測図 (1/60)

SB108掘立柱建物 (Fig. 22)

BZ・CA-79・80グリッドで検出した。検出面の標高は6.5m。1×1間の建物で柱穴の1つは調査区外にある。桁行3.9m、梁行3.1mの規模を有し、桁行をN-60°-Eにとる。柱穴掘方は不整形～不整長方形で、その規模は長軸0.9～1.1m、短軸0.7～0.8m、深さ0.5m前後である。P1・3では径15cm程度の柱痕跡を検出している。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土しているが、図示できるものはなかった。

SB109掘立柱建物 (Fig. 23)

CA・CB-77・78グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SR012、SK018を切り、SB101と切り合うが、その先後関係は不明。1×1間の建物で、桁行2.75m、梁行2.5mの規模を有する。P3はSK018を切っていると思われるが、検出することができなかった。梁行をN-3°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸方形～長方形で、その規模は長軸0.8～1.0m、短軸0.6～0.8m、深さ0.5～0.6m程度である。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール1袋程度出土している。

IV. 調査の記録

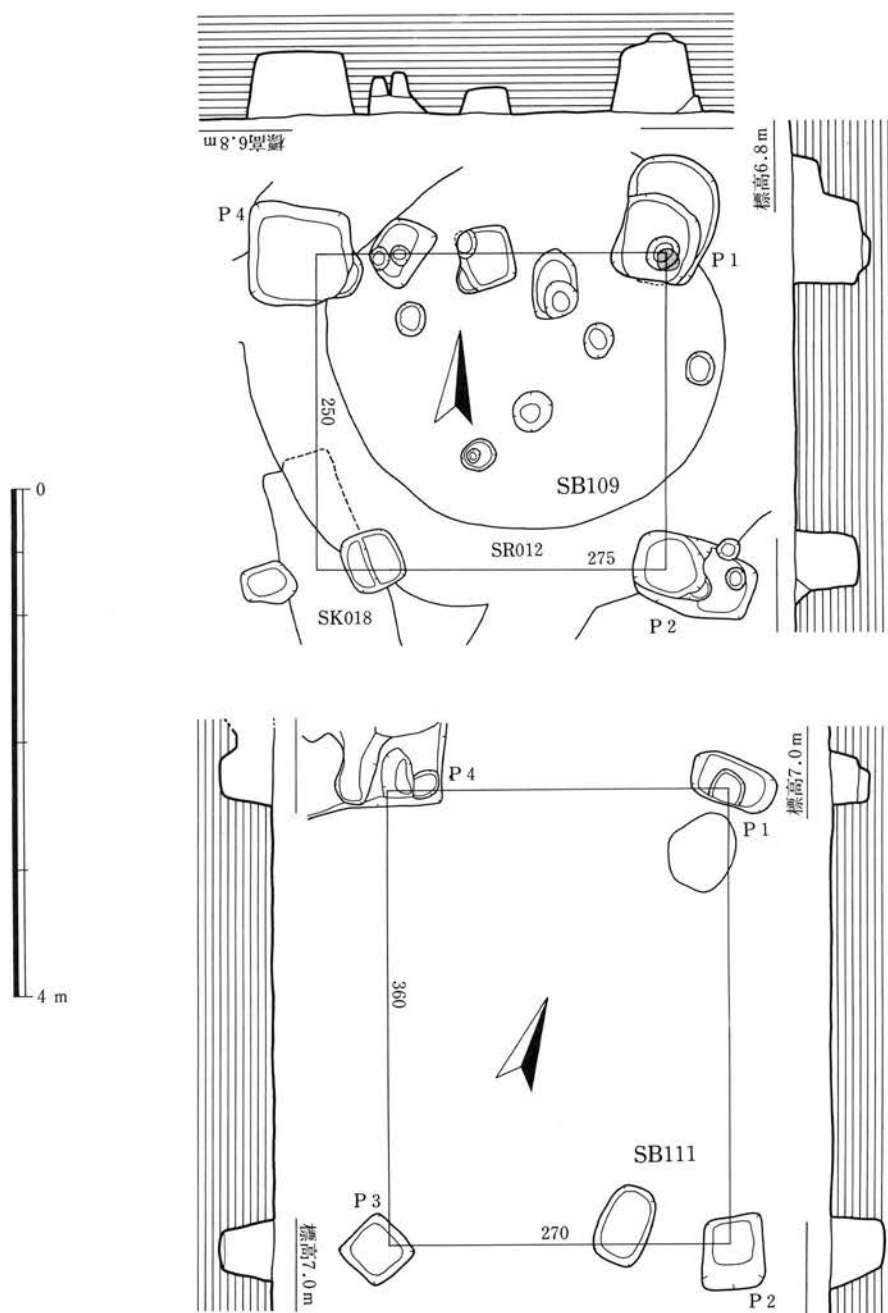


Fig. 23 SB109・111掘立柱建物実測図 (1/60)

出土遺物 (Fig. 24) 3はP2、それ以外はすべてP4出土。

甕 (1～3) すべて口縁部破片。基本的に口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整を行う。2は内面に、3は口縁部内面にハケ目が認められる。1は復元口径20.0cm。褐色～淡赤褐

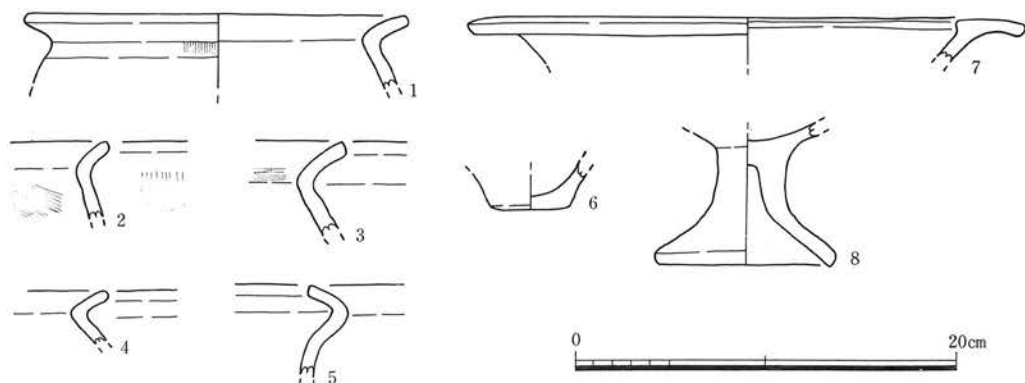


Fig. 24 SB109出土遺物実測図 (1/4)

色を呈する。

壺(4・5) いずれも口縁部破片。4は磨耗のため調整不明瞭。茶褐色を呈する。5は袋状口縁壺。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡黄褐色を呈する。

鉢(6) 底部破片。内外面ナデ調整で、外面には黒斑が認められる。茶褐色を呈する。

高坏(7・8) 7は口縁部破片。復元口内径22.0cm。磨耗のため調整不明瞭。明褐色を呈する。8は脚部破片。復元脚部径8.9cm。内面はナデ調整でしほり痕有り。外面は調整不明瞭。淡褐色を呈する。

SB111掘立柱建物 (Fig. 23)

CA・CB-75・76グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。SR014を切り、SD002に切られる。またSB102と重複関係にあるが、その先後関係は不明。1×1間の建物で、桁行3.6m、梁行2.7mの規模を有する。桁行をN-19°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸方形もしくは隅丸長方形で、その規模は一辺が0.5~0.7m、深さ0.3~0.4m程度である。遺物は全く出土していない。

SB112掘立柱建物 (Fig. 25)

BW-75グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。P1をSH071の床面で検出していることより、本建物はSH071より後出するものと思われる。1×1間の小型の建物で、桁行2.1~2.4m、梁行1.8mの規模を有する。桁

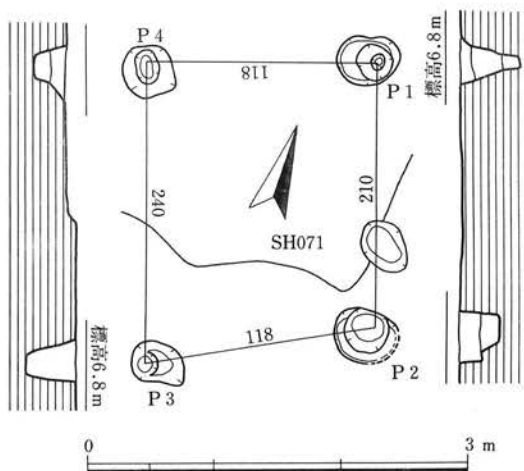


Fig. 25 SB112掘立柱建物実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

行をN-29°-Wにとる。柱穴掘方は不整円形～方形で、その規模は径0.3～0.5m、深さ0.3～0.5m程度である。遺物は全く出土していない。

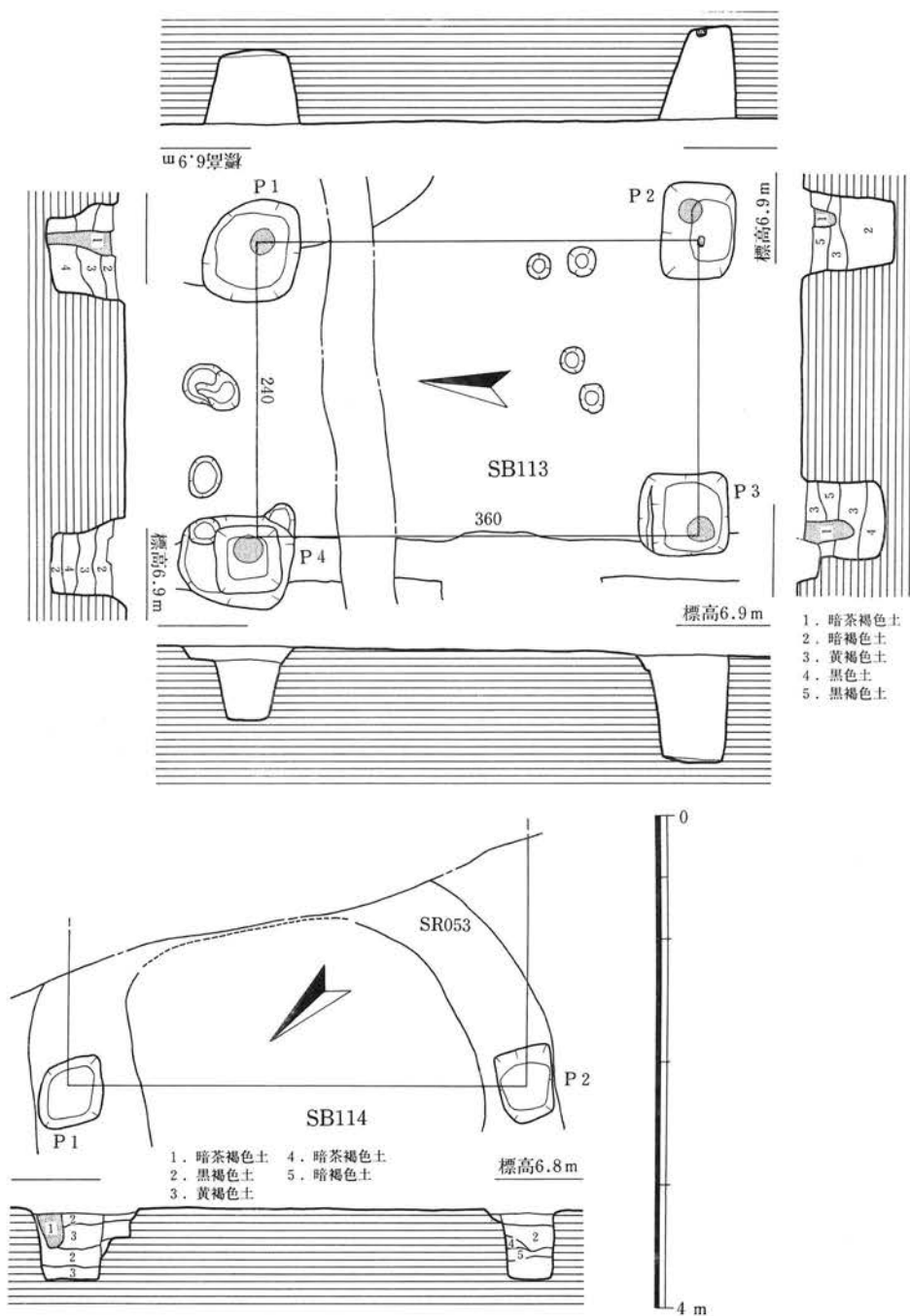


Fig. 26 SB113・114掘立柱建物実測図 (1/60)

S B 113掘立柱建物 (Fig. 26)

BU-72グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SH085を切り、SD069に切られる。1×1間の建物で、桁行3.6m、梁行2.4mの規模を有する。桁行をN-3°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸方形～長方形で、その規模は長軸0.7～0.9m、短軸0.6～0.7m。P 1・2は長軸を梁行方向に、P 3・4は長軸を桁行方向にとるようである。柱穴埋土は黒褐色土と黄褐色土を互層に突き固めている。またすべての柱穴で径18～20cm程度の柱痕跡を、さらにP 2からは柱痕を検出した。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール1袋程度出土したが、図示できるものはなかった。

S B 114掘立柱建物 (Fig. 26)

BT-73グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SR053を切り合い関係にあり、本建物が後出する。遺構の半分以上は調査区外にあるためその全貌は知り得ないが、恐らく1×1間の建物になると思われる。柱穴掘方は隅丸方形で、その規模は一辺が0.5～0.6m、深さ0.6m前後である。柱穴埋土は黒褐色土と黄褐色土を互層に突き固めている。またP 1では径20cm程度の柱痕跡を検出している。遺物は全く出土していない。

S B 115掘立柱建物 (Fig. 27)

BQ・BR-71・72グリッドで検出した。検出面の標高は6.5m。SB129・130に切られ、P 2の半分以上は調査区外にある。1×1間の建物で、桁行3.15m、梁行3.0mの規模を有する。梁行をN-23°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸長方形に近く、その規模は長軸1.5m、短軸0.6～0.9m、深さ0.5～0.6mの規模を有する。断面形は2段掘り状を呈し、埋土は黒褐色土～褐色土を版築状に突き固める。またP 3・4で径12～18cm程度の柱痕跡を検出している。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール2袋程度出土した。

出土遺物 (Fig. 28) 1はP 1、2～4はP 3、5はP 4出土。

甕(1～3) 1は口縁端部を欠損する。外面縦・斜め方向のハケ目、内面不定方向のハケ目調整。胴部外面中位から外底面にかけて黒斑が認められる。茶褐色を呈する。2・3は底部破片。基本的に外面ハケ目、内面ナデ調整。2は外面下端が工具によるナデ、3は内面に指頭圧痕が残る。淡褐色～褐色を呈する。

壺(4) 口縁部破片。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡黄褐色を呈する。

鉢(5) 口縁部破片。口縁端部横ナデ、外面ハケ目、内面工具によるナデ調整を行う。外面淡黄褐色、内面明褐色を呈する。

IV. 調査の記録

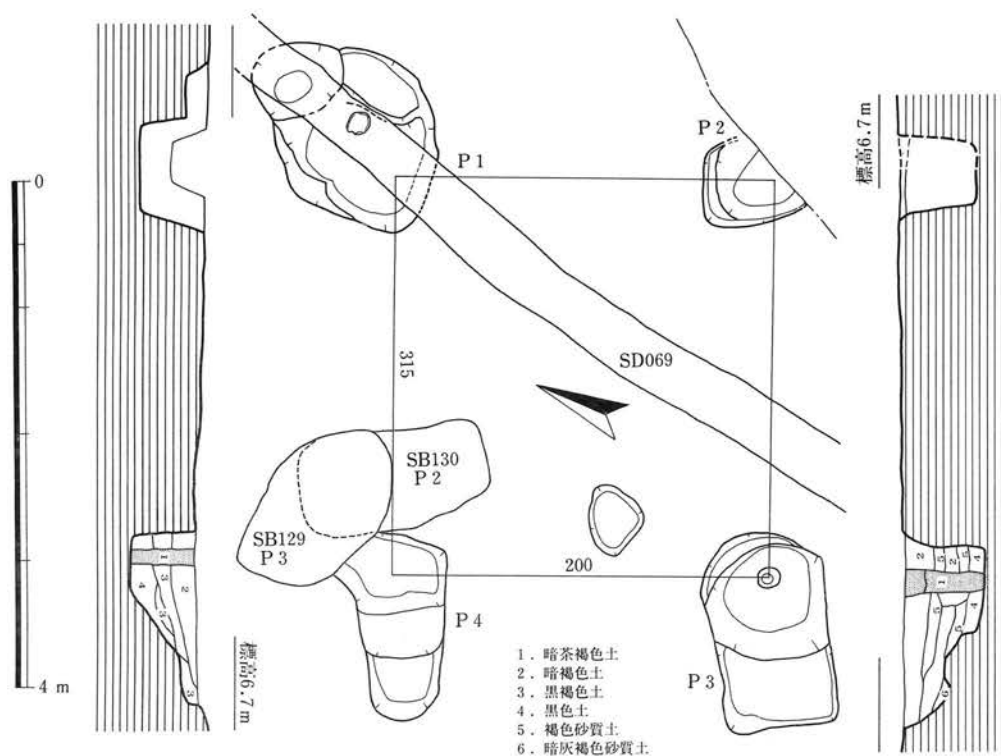


Fig. 27 SB115掘立柱建物実測図 (1/60)

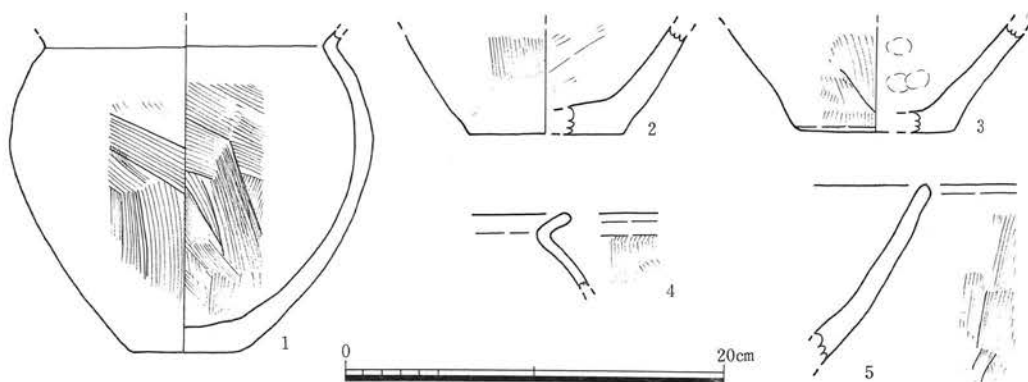


Fig. 28 SB115出土遺物実測図 (1/4)

S B116掘立柱建物 (Fig. 29)

B P-70・71グリッドで検出した。検出面の標高は6.5m。1×1間の小型の建物で、桁行2.05～2.2m、梁行1.75～1.9m。P1-P4、P1-P2、P2-P3間にそれぞれ1個ずつピットを検出しており、2×2間の建物になる可能性もある。梁行をN-37°-Eにとる。柱穴掘方は不整形形で、その規模は一辺が0.3～0.5m、深さ0.4～0.5m程度である。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土しているが、図示できるものはなかった。

S B 117掘立柱建物 (Fig. 29)

BO・BP-70グリッドで検出した。検出面の標高は6.5m。1×1間の建物で、桁行3.3m、梁行3.1mの規模を有する。桁行をN-14°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸長方形もしくは円形で、その規模は長軸0.5～1.0m、短軸0.4～0.5m、深さ0.5～0.7m程度である。またP3・4で径20～24cm程度の柱痕跡を検出している。遺物は全く出土していない。

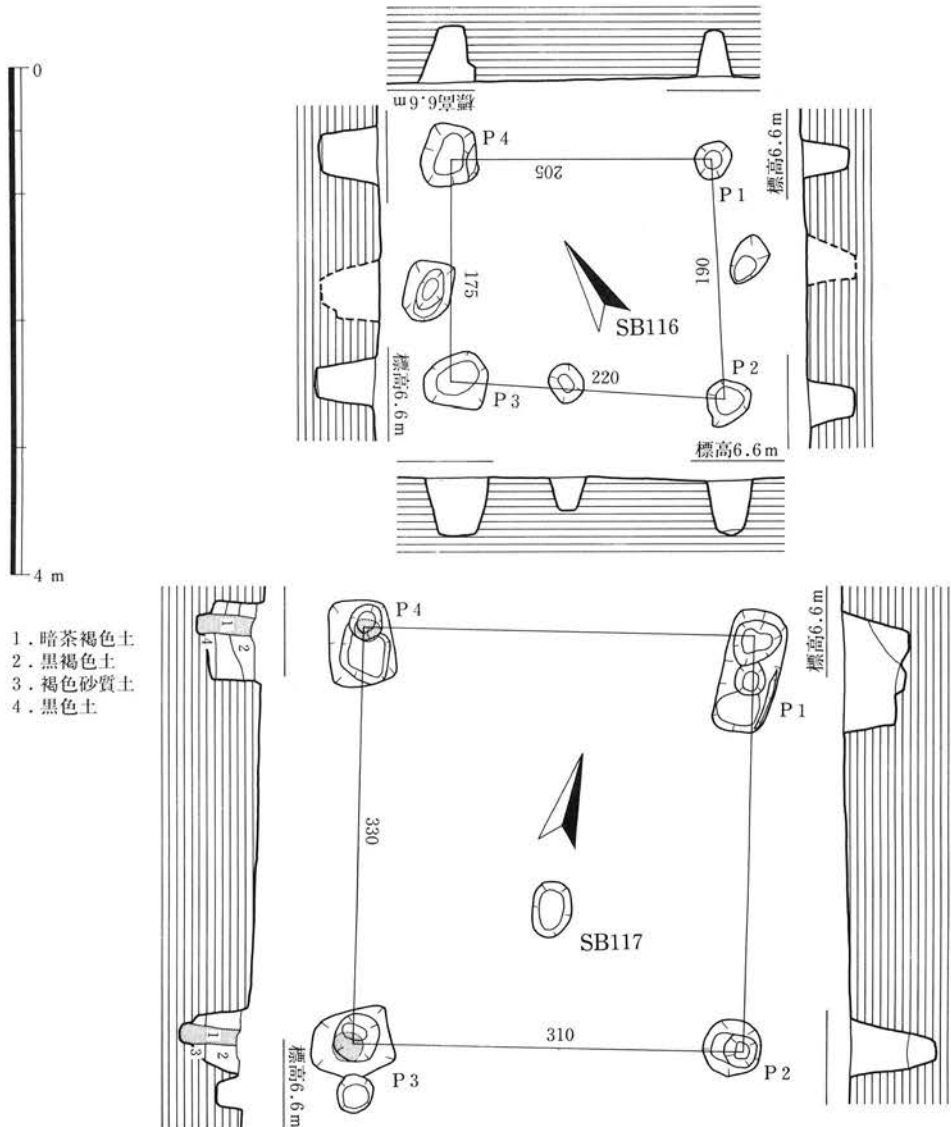


Fig. 29 SB116・117掘立柱建物実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

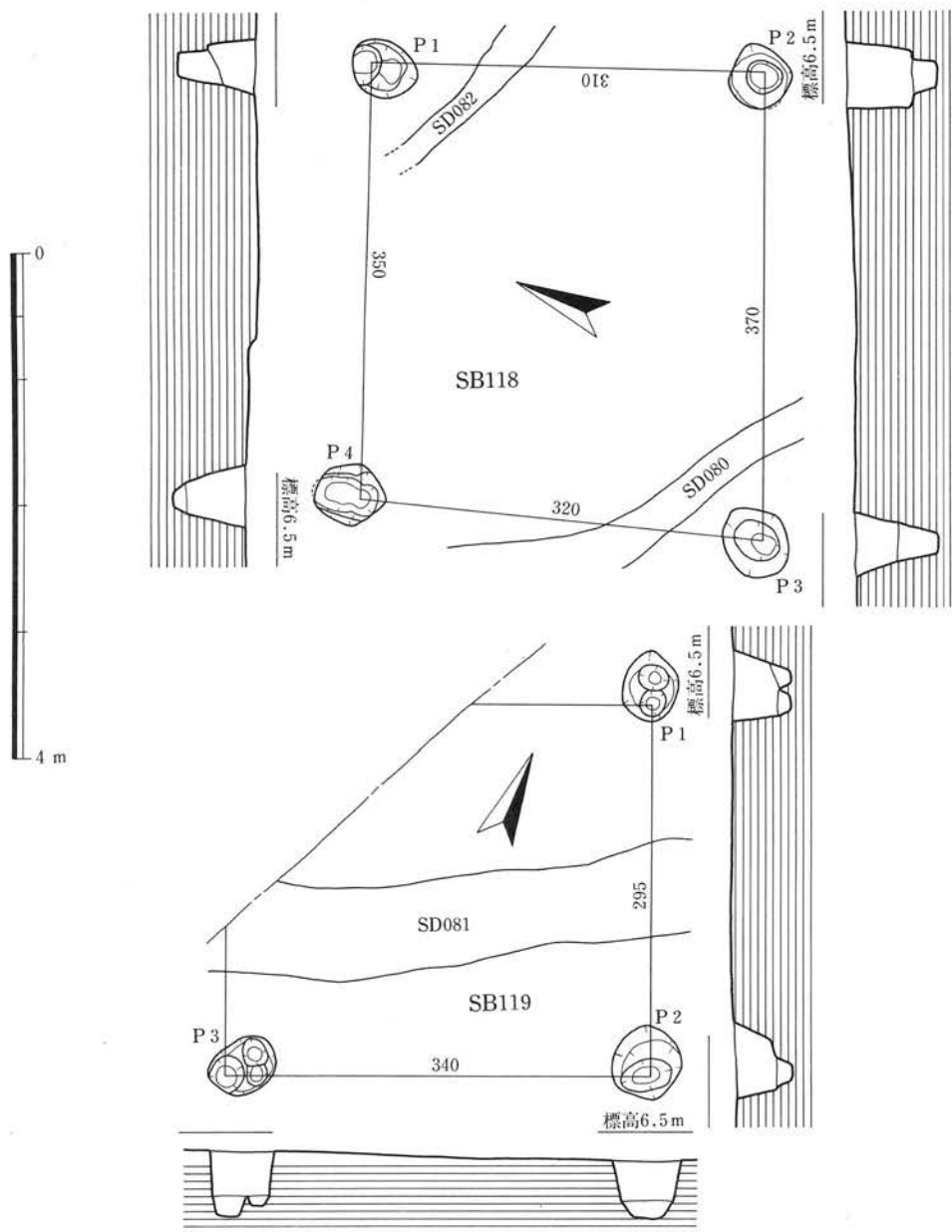


Fig. 30 SB118・119掘立柱建物実測図 (1/60)

SB118掘立柱建物 (Fig. 30)

BN・BO-69・70グリッドで検出した。検出面の標高は6.3m。SD080と重複関係にある。1×1間の建物で、桁行3.5～3.7m、梁行3.1～3.2mの規模を有する。梁行をN-23°-Wにとる。柱穴掘方は不整円形で、その規模は径0.5m、深さ0.6～0.7m程度である。遺物は全く出土していない。

S B 119掘立柱建物 (Fig. 30)

BM・BN-68グリッドで検出した。検出面の標高は6.3m。S D081と重複関係にある。建物の一部は調査区外にありその全貌は知り得ないが、1×1間の建物になると考えられる。桁行3.4m、梁行2.95mの規模を有し、梁行をN-25°-Wにとる。柱穴掘方は不整円形で、その規模は径0.4～0.5m、深さ0.5m前後である。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土しているが、図示できるものはなかった。

S B 120掘立柱建物

(Fig. 31)

BS・BT-71・72グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SH075を切る。またSE068と切り合い、さらにSB121と重複するが、その先後関係は不明。1×1間の建物で、桁行3.0m、梁行2.8mの規模を有する。P1-P4間にあるピットは支柱穴になる可能性がある。桁行をN-37°-Wにとる。柱穴掘方は不整形～円形で、その規模は

一辺が0.3～0.7m、深さ0.3～0.5m程度である。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土しているが、図示できるものはなかった。

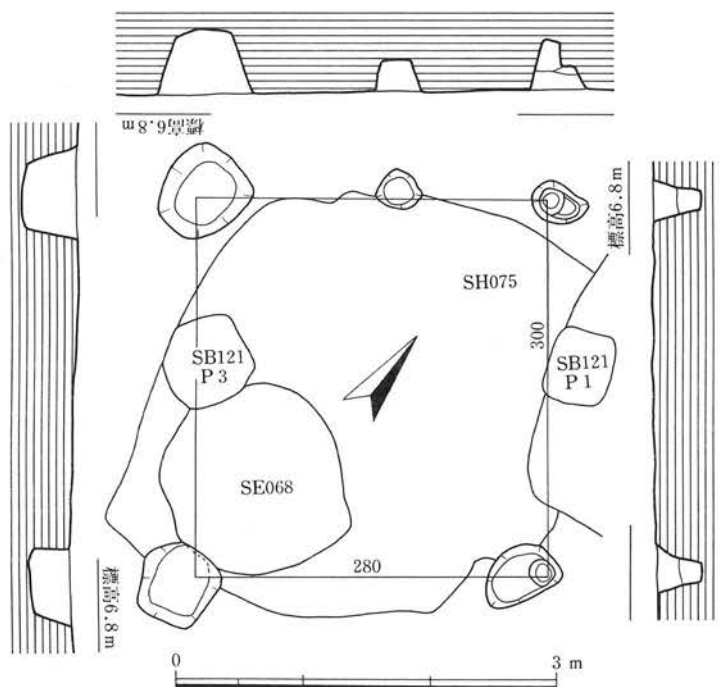


Fig. 31 SB120掘立柱建物実測図 (1/60)

S B 121掘立柱建物 (Fig. 32)

BS-71・72グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SH075・076を切る。またSE068と切り合い、SB120と重複するが、その先後関係は不明。また柱穴の1個がSE060と切り合うが、その先後関係を明確にすることはできなかった。1×1間の建物で、桁行2.9m、梁行2.6mの規模を有する。梁行をN-35°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸方形に近く、その規模は一辺が0.6～0.7m、深さ0.5m前後である。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土している。

IV. 調査の記録

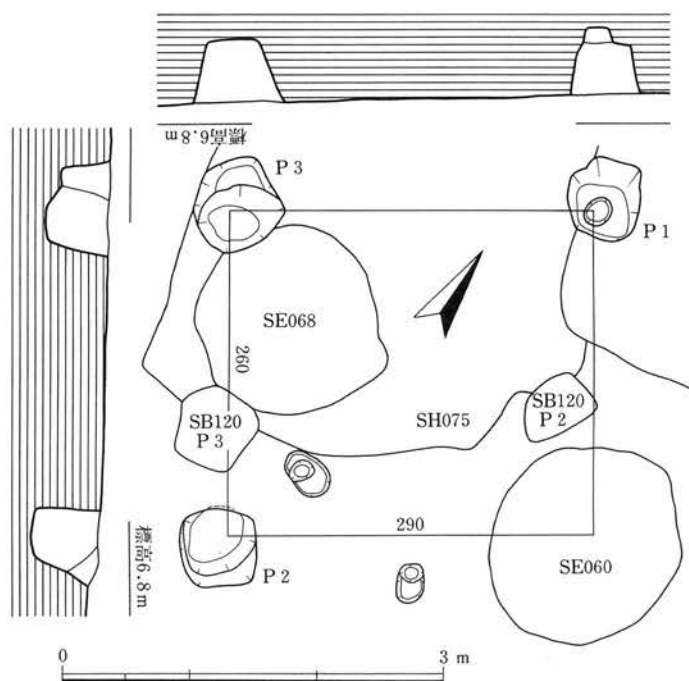


Fig. 32 SB121掘立柱建物実測図 (1/60)

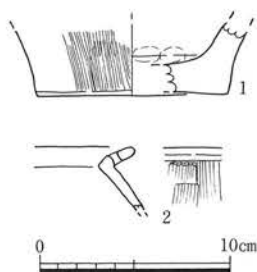


Fig. 33 SB121出土遺物
実測図 (1/4)

出土遺物 (Fig. 33)

1・2ともP2出土。

甕(1) 底部破片。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。内面には指頭圧痕が残る。外面暗褐色、内面黄褐色を呈する。

壺(2) 口縁部破片。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。口縁部に穿孔有り。暗褐色を呈する。

S B 122掘立柱建物

(Fig. 34)

B V・B W-72・73グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。S H 072、S K

070と切り合い関係にあり、いずれも本建物が後出する。1×1間の建物で、桁行2.8m、梁行2.7mの規模を有する。P1-P4間にあるピットは支柱穴になるか。梁行をN-17°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸方形～長方形に近く、その規模は長軸0.6～1.0m、短軸0.6～0.8m程度である。P1・3・4は断面2段掘り状を呈する。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール2袋程度出土したが、図示できるものはなかった。

S B 123掘立柱建物 (Fig. 34)

B R・B S-70・71グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。S B 127と重複するが、その先後関係は不明。遺構の半分程度が調査区外にあるためその全貌は知り得ないが、恐らく1×1間の建物になると思われる。桁行3.6m、梁行2.4mの規模で、桁行をN-38°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸長方形に近く、その規模は長軸1.2～1.3m、短軸0.7～0.8m、深さ0.5m前後である。断面形は2段掘り状を呈する。柱穴埋土は黒褐色土と黄褐色土が一応互層をなす程度に突き固めている。またP2・3で径15～18cm程度の柱痕跡を検出している。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール2袋程度出土している。

1. 弥生時代の遺構と遺物(掘立柱建物)

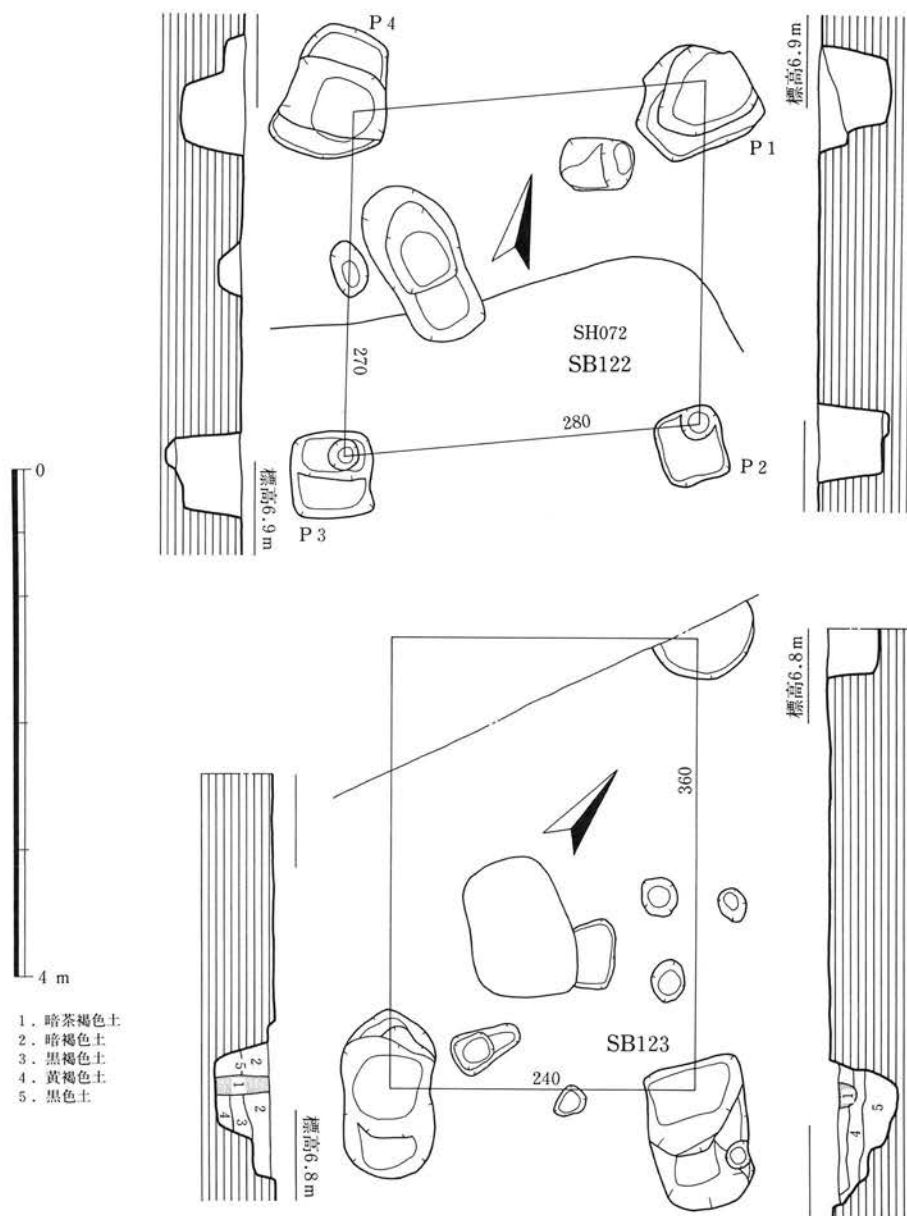


Fig. 34 SB122・123掘立柱建物実測図 (1/60)

出土遺物 (Fig. 35) 1はP3出土。

壺(1) 袋状口縁壺か。胴部中位に突帯を巡らす。外面縦方向のハケ目、内面不定方向のハケ目調整。内底付近に指頭圧痕を残す。また胴部外面中位と外底付近に黒斑が認められる。外面暗褐色、内面褐色を呈する。

IV. 調査の記録

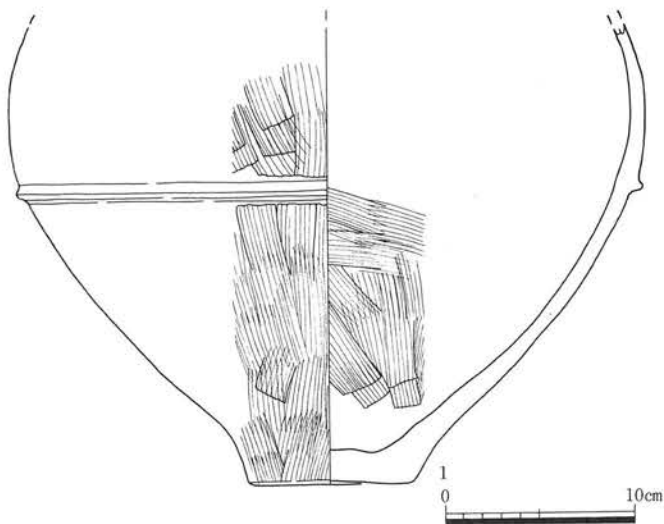


Fig. 35 SB123出土遺物実測図 (1/4)

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土したが、図示できるものはなかった。

S B 126掘立柱建物 (Fig. 37)

B V-75グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。S H074を切り、S K087と重複する。

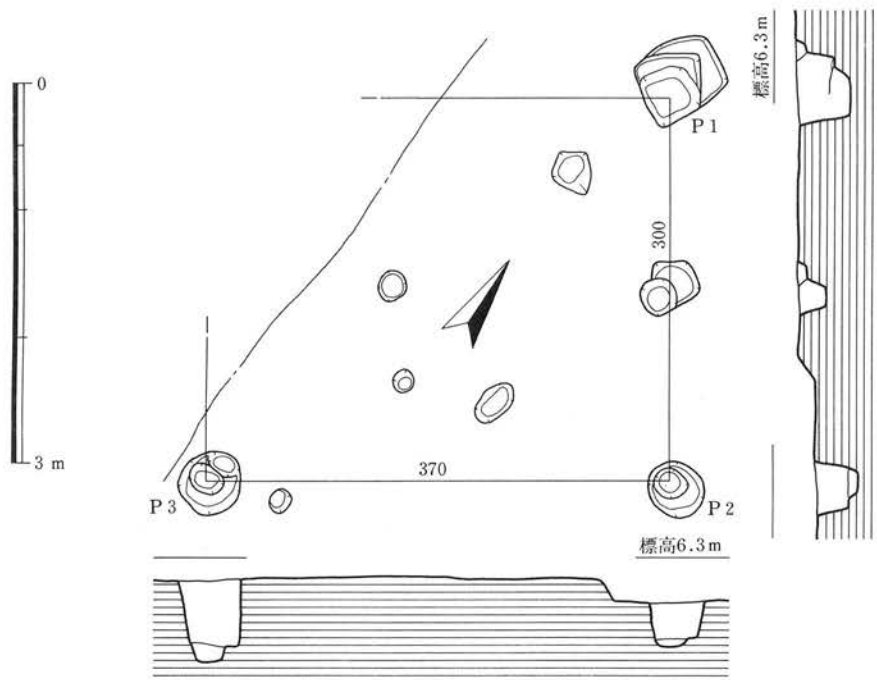


Fig. 36 SB125掘立柱建物実測図 (1/60)

また柱穴1個と、遺構の南側を攪乱溝によって削られる。1×1間の建物で、桁行2.7m、梁行2.1mの規模を有する。桁行をN-26°-Wにとる。柱穴掘方は不整形形で、その規模は長軸0.7~0.9m、短軸0.5~0.7m、深さ0.5~0.6m程度である。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土したが、図示できるものはなかった。

SB 128掘立柱建物 (Fig. 38)

BR-70・71グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SB127と重複するが、その先後関係は不明。また遺構の一部が調査区外にありその全貌は知り得ないが、恐らく1×1間の建物になると思われる。

桁行3.25m、梁行3.1mの規模を有し、桁行をN-44°-Eにとる。柱穴掘方は不整形形~長方形で、その規模は長軸0.9~1.6m、短軸0.5~0.9m、深さ0.4~0.5m程度である。P3で径14cm程度の柱痕跡を検出している。遺物は全く出土していない。

SB 129掘立柱建物

(Fig. 39)

BQ・BR-71・72グリッドで検出した。検出面の標高は6.5m。SB130、SD069と切り合い関係にあり、いずれも本建物

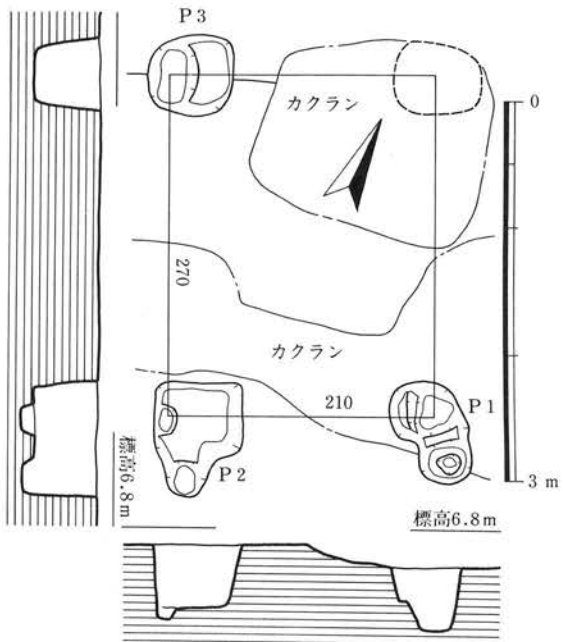


Fig. 37 SB126掘立柱建物実測図 (1/60)

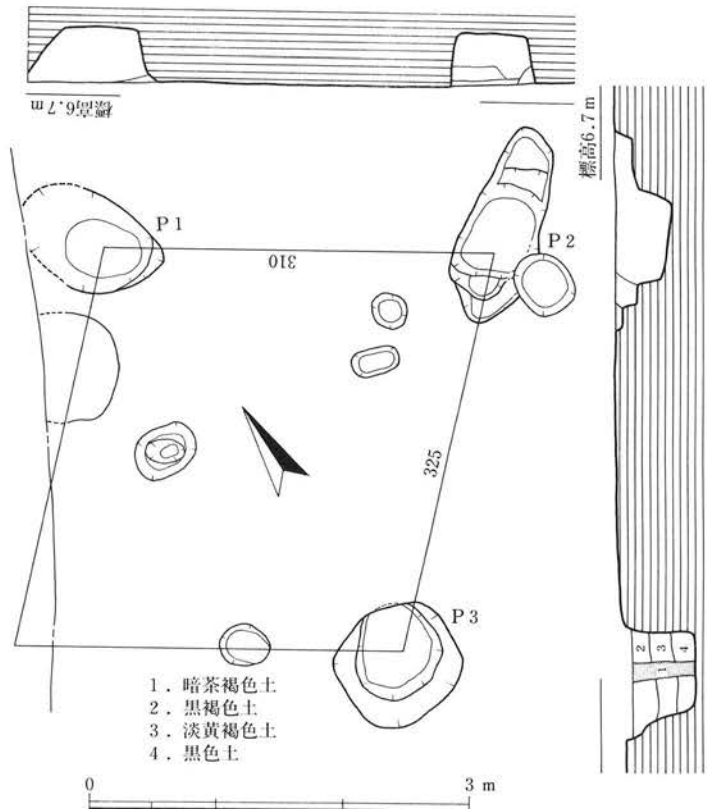


Fig. 38 SB128掘立柱建物実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

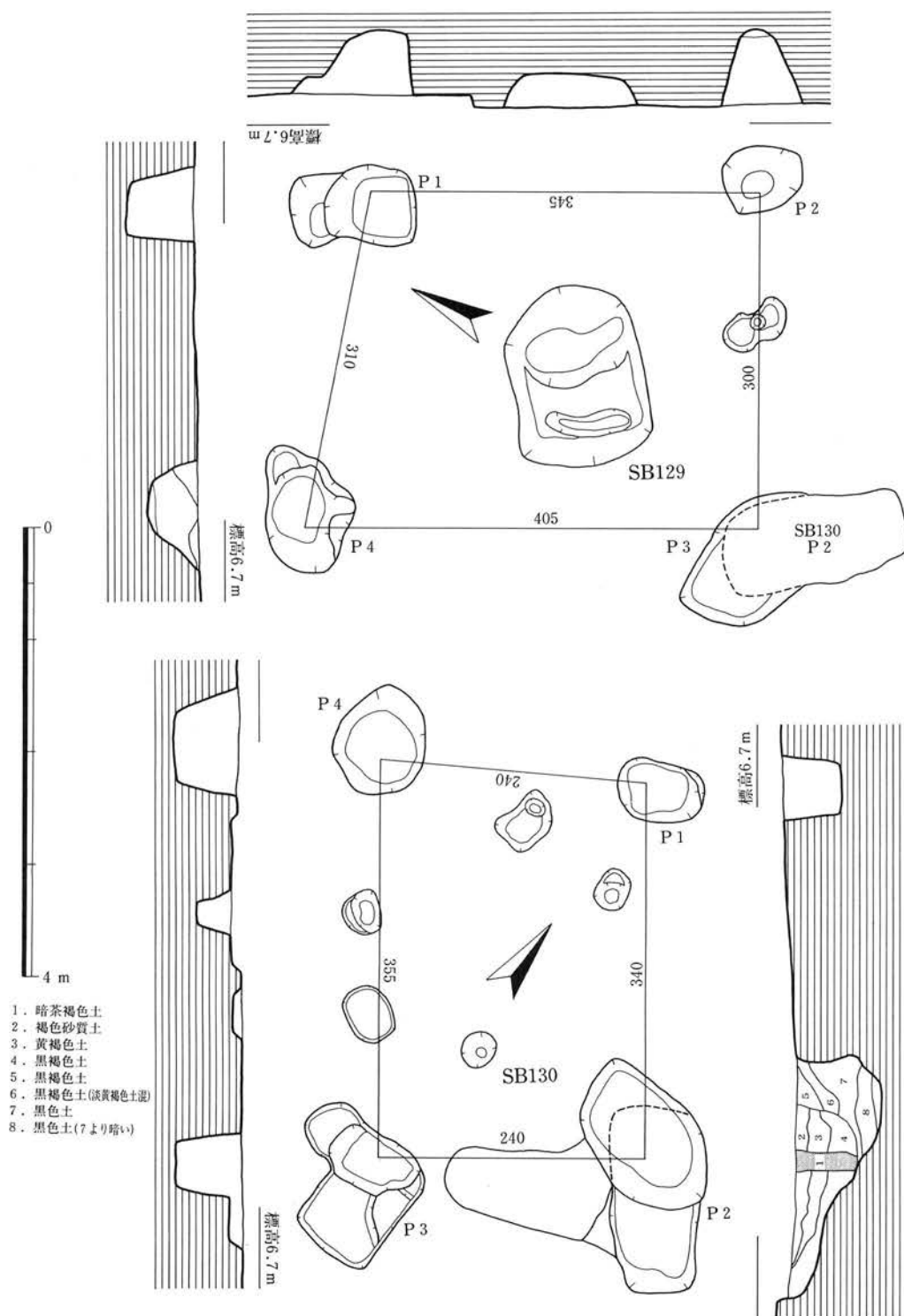


Fig. 39 SB129・130掘立柱建物実測図 (1/60)

が先行する。1×1間の建物で、桁行4.05～3.45m、梁行3.0～3.1mの規模を有する。中央部には束柱の柱穴であろうか、1.6m×1.2mの土壇状のものが存在する。桁行をN-28°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸長方形もしくは不整形で、その規模は長軸0.7～1.1m、短軸0.6～0.8m、深さ0.4～0.7m程度である。P1は断面形が2段掘り状を呈する。

遺物は柱穴より弥生土器片がわずかに出土している。

出土遺物 (Fig. 40) 1はP1出土。

甕(1) 口縁部破片。復元口径18.2cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。内面に煤の付着が認められる。淡褐色を呈する。

S B 130掘立柱建物 (Fig. 39)

BQ・BR-71・72グリッドで検出した。検出面の標高は6.5m。S B 115・129と切り合い関係にありいずれも本建物が後出する。1×1間の建物で、桁行3.55～3.4m、梁行2.4mの規模を有する。桁行をN-37°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸長方形～不整円形で、その規模は長軸0.8～1.2m、短軸0.5～0.8m、深さ0.5～0.6m程度である。柱穴埋土はP2で、黒褐色土と黄褐色土が一応互層をなす程度に突き固めている。またP2で径18cm程度の柱痕跡を検出している。

遺物は柱穴より弥生土器片がビニール3袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 40) 5はP1、4はP2、3はP3、それ以外はP4出土。

甕(2～5) 2は復元口径21.8cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面工具によるナデ調整。外面暗褐色、内面明褐色を呈する。3・4は口縁部破片。復元口径24.0cm、30.1cm。基本的に口縁部横ナデ、内面ナデ調整。外面は3はナデ、4は粗いハケ目調整。3の外面には煤の付着が、4の外面には黒斑が認められる。淡黄褐色～暗褐色を呈する。5は底部破片で、外面ハケ目調整の他はすべてナデ調整。暗赤褐色を呈する。

壺(6) 袋状口縁壺か。胴部中位と頸部下端にそれぞれ1条の突帯を巡らす。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。暗褐色を呈する。

鉢(7) 全体の2/3程度残存。復元口径18.8cm、底径7.6cm、器高12.0cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。暗褐色を呈する。

器台(8) 復元受部径15.5cm、同裾部径15.5cm、器高18.5cm。外面縦方向のハケ目調整。内面は受部が横方向のハケ目、他はナデ調整。明褐色を呈する。

S B 132掘立柱建物 (Fig. 41)

BI-67・68グリッドで検出した。検出面の標高は6.1m。1×1間の建物で、桁行3.2m、梁行3.15mの規模を有する。桁行をN-37°-Wにとる。柱穴掘方は隅丸方形～楕円形に近く、その規模は長軸0.5～0.8m、短軸0.5～0.6m、深さ0.3～0.5m程度である。またP2からはわずか

IV. 調査の記録

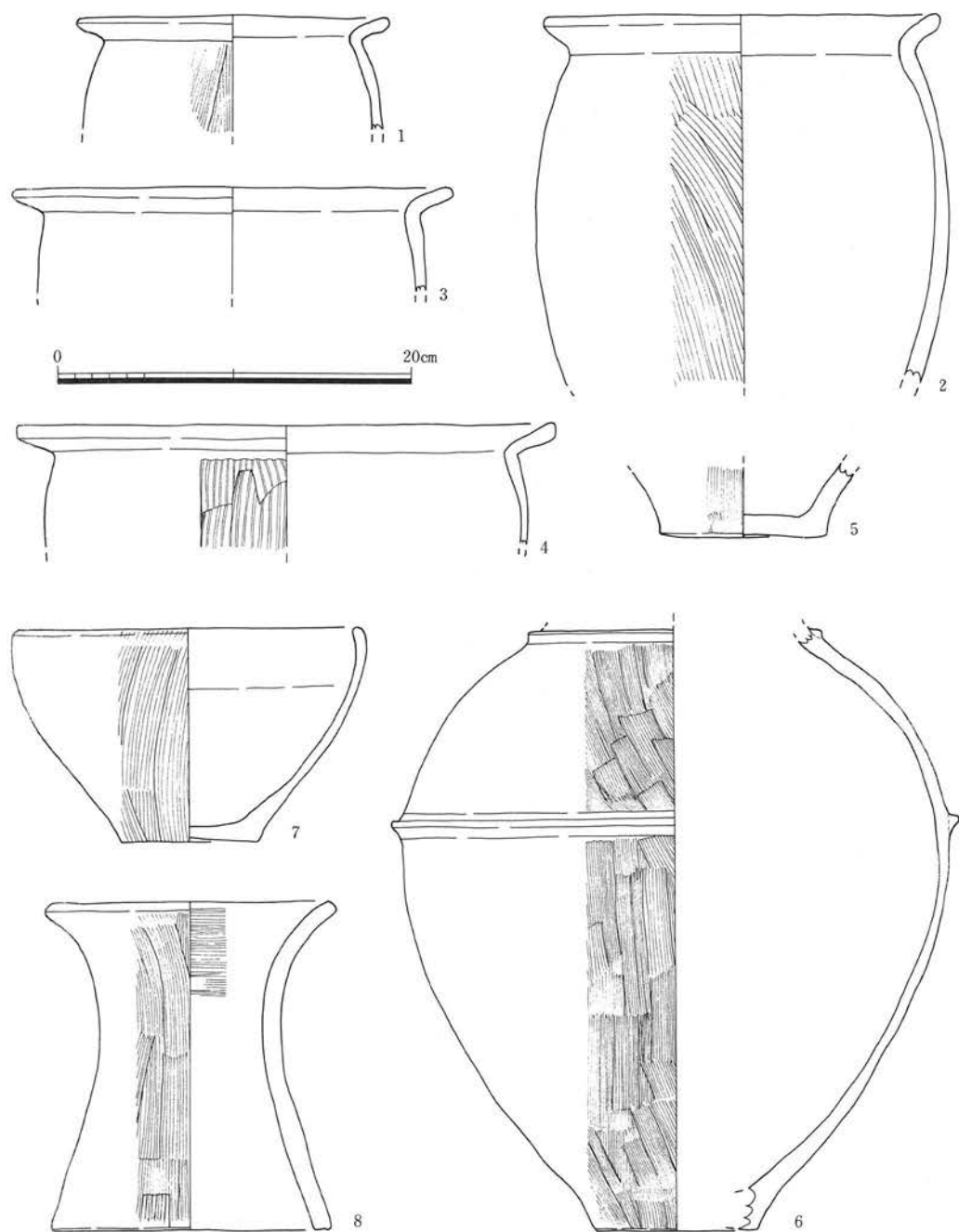


Fig. 40 SB129・130出土遺物実測図 (1/4)

ではあるが、柱痕が検出されている。遺物は全く出土していない。

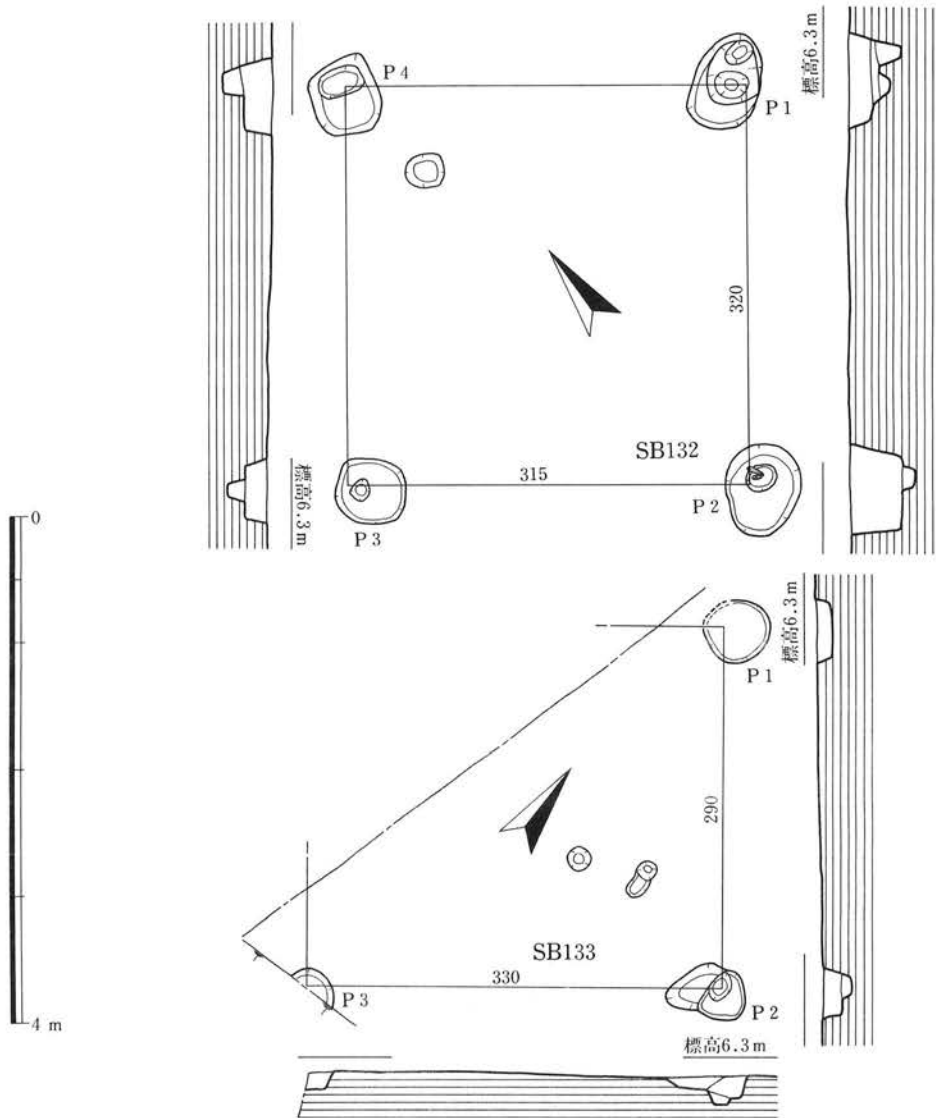


Fig. 41 SB132・133掘立柱建物実測図 (1/60)

S B133掘立柱建物 (Fig. 41)

BH・B I-66・67グリッドで検出した。検出面の標高は6.2m。遺構の一部は調査区外にあり、さらにP3の大部分は攪乱により削られている。そのため遺構の全貌は知り得ないが、恐らく1×1間の建物になると思われる。桁行3.3m、梁行2.9mの規模を有し、梁行をN-38°-Wにとる。柱穴掘方は円形もしくは不整形で、その規模は径0.5m、深さ0.1～0.2m程度で、削平のためか残存状態が悪い。遺物は全く出土していない。

IV. 調査の記録

(3) 周溝状遺構

調査区の北寄り竪穴住居と掘立柱建物が集中する部分で10基、調査区の南寄りで1基検出した。平面形は隅丸方形～円形に近く、遺構内部には墓壙や柱穴などの何らかの施設を設けたような痕跡は認められなかった。また竪穴住居及び掘立柱建物と切り合い関係のあるものは、すべて周溝状遺構の方が先行していた。

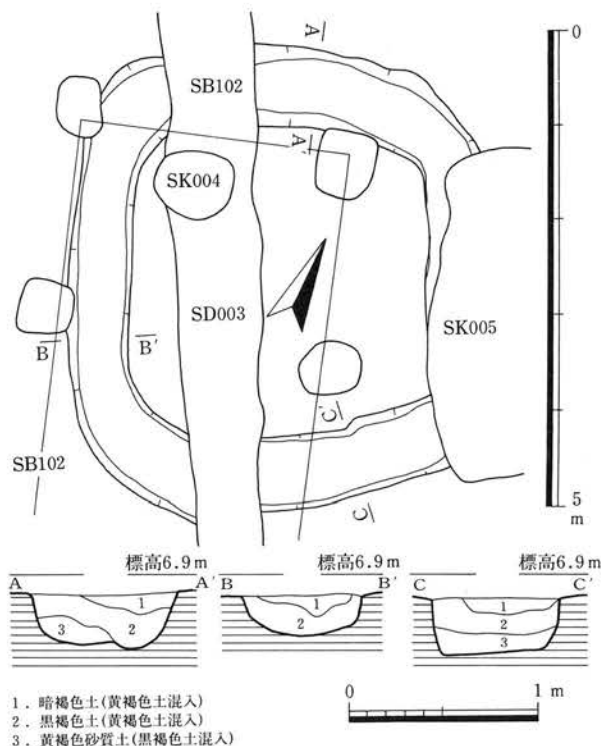


Fig. 42 SR011周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)

高坏 (3) 復元口径22.8cm。口縁部横ナデ以外は調整不明瞭。淡黄褐色を呈する。

SR012・013周溝状遺構 (Fig. 44)

CA・CB-77・78グリッドで検出した。検出面の標高は6.7～6.8m。SB101・109に切られ、SK018を切る。調査時はSR012・013と別遺構として取り扱ったが、明確な切り合い関係

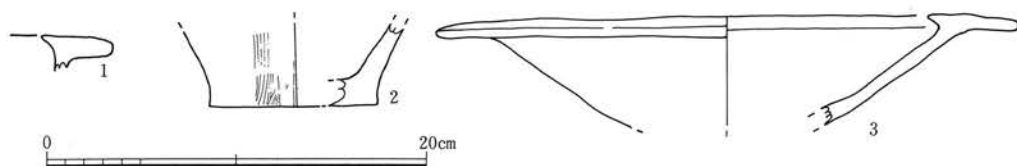


Fig. 43 SR011出土遺物実測図 (1/4)

SR011周溝状遺構 (Fig. 42)

CB・CC-75・76グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。SB102、SK005、SD003に切られ、SE004と重複関係にある。平面形は径4.9m前後の円形に近く、溝の規模は幅0.6～0.8m、深さ0.2～0.4m程度である。底面は概ね平坦で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は3層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。

遺物は埋土中より弥生土器片がビニール2袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 43)

甕 (1・2) 1は口縁端部破片。横ナデ調整で淡褐色を呈する。2は底部破片。外面ハケ目、他はナデ調整。淡褐色を呈する。

1. 弥生時代の遺構と遺物(周溝状遺構)

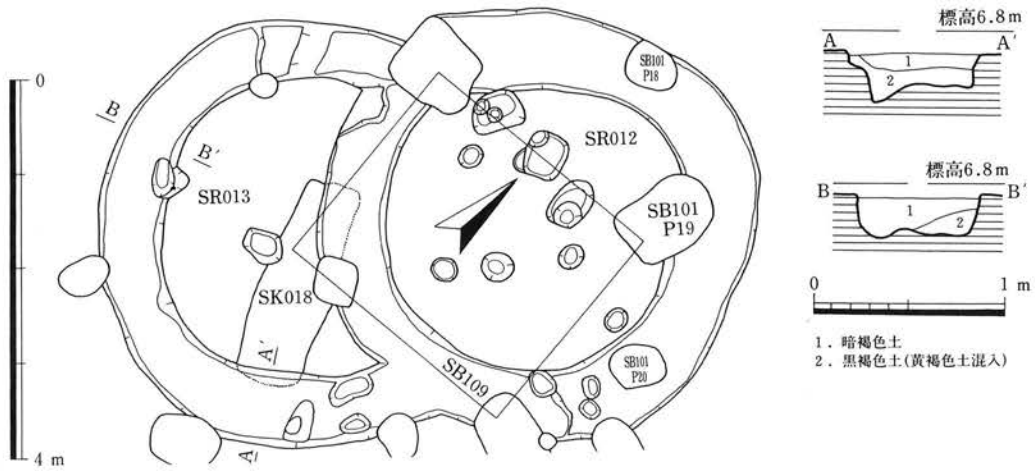


Fig. 44 SR012・013周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)

はなく、もともと連結していた可能性が高い。平面形は、径4.7m前後の円形に近いSR012に、ほぼ同じ規模の半円形状のSR013を接続した形状を呈する。溝の規模は、幅0.6～0.8m、深さ0.2～0.3m程度である。底面は細かい凸凹が著しく、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は2層に大別できいずれも自然堆積による埋没状況を示す。また周溝内にはいくつかのピットを検出しているが、本遺構に伴うものかどうかは不明。

遺物は埋土中より弥生土器片がビニール5袋程度出土している。

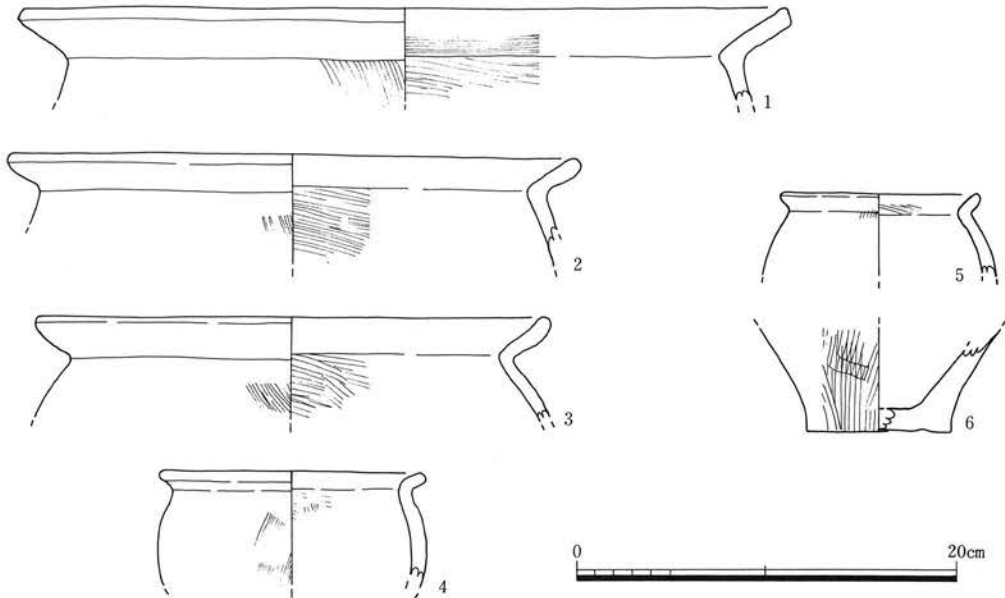


Fig. 45 SR012・013出土遺物実測図 (1/4)

IV. 調査の記録

出土遺物 (Fig. 45) 1～4はSR012、5・6はSR013出土。

甕 (1～6) 1～5は口縁部破片。1～3は復元口径26.4～40.0cm。口縁部横ナデ、他はハケ目調整。淡褐色～暗褐色を呈する。4は小型で復元口径13.5cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡褐色を呈する。5は復元口径9.9cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。部分的にハケ目が残る。淡橙褐色を呈する。6は底部破片。外面ハケ目、他はナデ調整。内面淡褐色、外面暗褐色を呈する。

SR014周溝状遺構 (Fig. 46)

BZ・CA-75グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。SB111、SD002、P81に切れ、SK010を切る。た遺構の一部が調査区外にあるためその全貌は知り得ないが、恐らく径4.0m前後の円形に近い形状を呈すると思われる。溝の規模は幅0.8m、深さ0.2～0.3m程度である。埋土は黒褐色土であった。

遺物は埋土中より弥生土器片がビニール2袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 47)

甕 (1～3) 1は口縁部破片。復元口径22.8cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ハケ目調整。2～3は底部破片。外面は2はハケ目、3は工具によるナデ、他はナデ調整。淡褐色～淡橙褐色を呈する。

高坏 (4) 脚部破片。外面工具によるナデ調整、内面にはしほり痕が認められる。

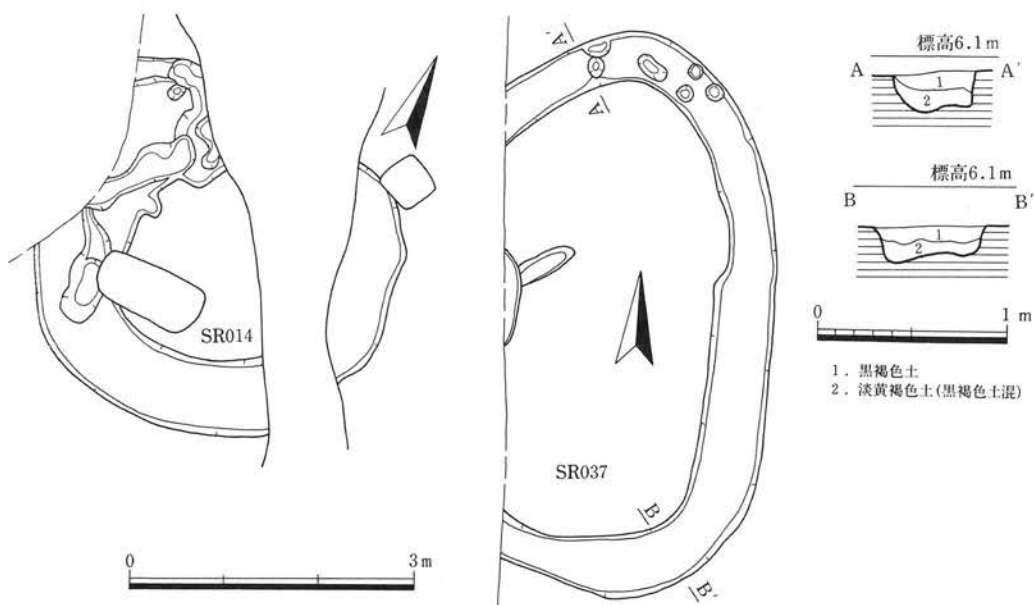


Fig. 46 SR014・037周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)

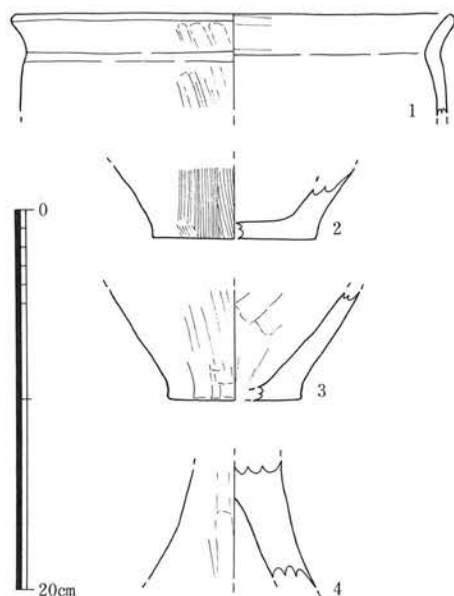


Fig. 47 SR014出土遺物実測図 (1/4)

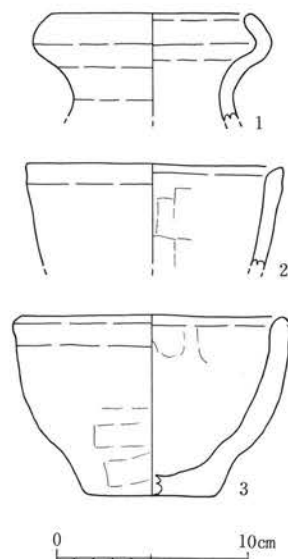


Fig. 48 SR037出土遺物
実測図 (1/4)

S R037周溝状遺構 (Fig. 46)

A Z・B A-66グリッドで検出した。検出面の標高は5.9～6.0m。遺構の半分程度が調査区外にあり、その全貌は知り得ないが、恐らく長軸6.0m、短軸2.9+αmの楕円形を呈するのではなかろうか。また位置関係からF地区のS R047と連結する可能性がある。溝の規模は、幅0.5～0.6m、深さ0.2m程度である。底面は概ね平坦で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は2層に大別でき、いずれも自然堆積によるものと考えられる。

遺物は埋土中より弥生土器片がビニール1袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 48)

袋状口縁壺 (1) 口縁部破片。復元口径10.4cm。器面はナデもしくは横ナデ調整。内外面に丹塗りを行う。

鉢 (2・3) 復元口径13.1cm・13.4cm。器面は基本的に工具によるナデ調整を行う。2は外面に黒斑が認められる。両者とも褐色を呈する。

S R051周溝状遺構 (Fig. 49)

B X・B Y-75・76グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。S K059、S D064と切り合い関係にあり、いずれも本遺構が先行する。平面形は長軸5.7m、短軸4.0mの隅丸長方形に近い形状を呈する。溝の規模は幅0.8～1.0m、深さ0.2～0.3m程度である。底面は平坦で、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は3層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。

IV. 調査の記録

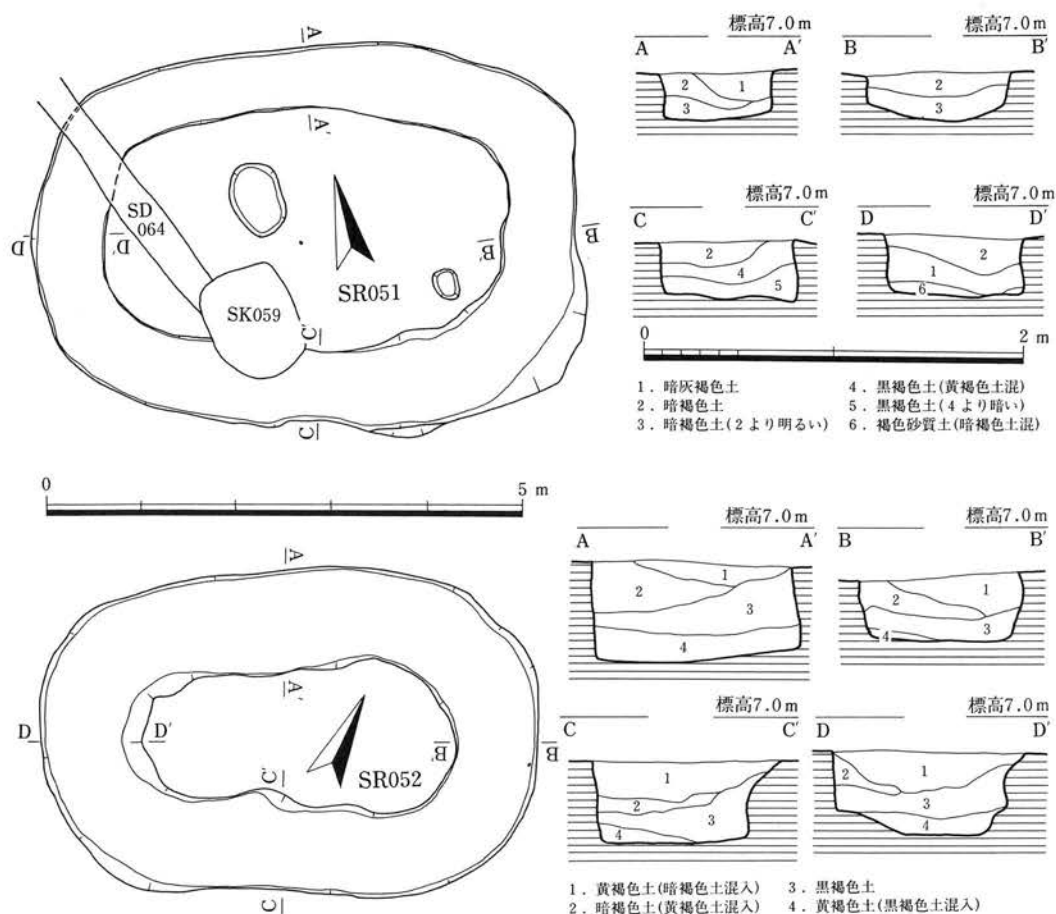


Fig. 49 SR051・052周溝状遺構実測図 (1/80・1/40)

遺物は埋土中より弥生土器片がビニール3袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 50)

鉢 (1) 復元口径6.9cm、器高5.2cm。内外面指ナデ調整。淡褐色～暗褐色を呈する。

S R 052周溝状遺構 (Fig. 49)

BW・B X-73・74グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。平面形は長軸5.2m、短軸3.4mの楕円形を呈し、溝の規模は幅1.0～1.1m、深さ0.4～0.5m程度である。他の周溝状遺構に比べると、周溝内部の面積が狭い。底面は概ね平坦で、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は4層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。

遺物は埋土中より弥生土器片がビニール4袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 50)

甕 (2・3) 2は口縁部破片。復元口径39.0cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面

1. 弥生時代の遺構と遺物(周溝状遺構)

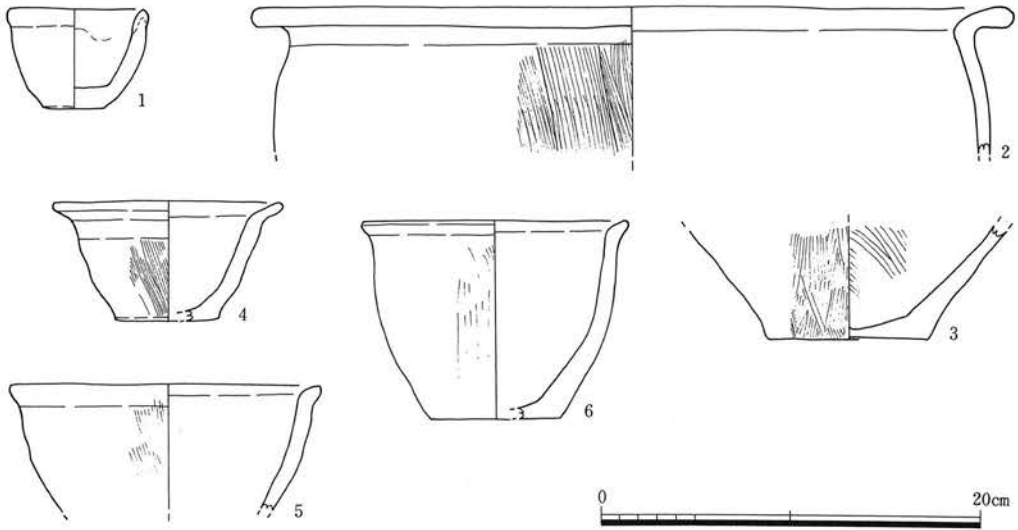


Fig. 50 SR051・052出土遺物実測図 (1/4)

ナデ調整。淡褐色を呈する。3は底部破片。外面ハケ目、内面の一部にハケ目、他はナデ調整。外面に黒斑が認められる。赤褐色を呈する。

鉢(4～6) 復元口径11.8～16.2cm。基本的に口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整を行う。4は底部付近外面に黒斑が認められる。淡褐色～橙褐色を呈する。

S R 053周溝状遺構 (Fig. 51)

B S・B T-73グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。S B114と切り合い関係にあり、本遺構が先行する。また遺構の一部は調査区外にありその全貌は知り得ないが、恐らく長軸4.1+αm、短軸4.3mの楕円形を呈すると思われる。溝の規模は、幅0.6～0.9m、深さ0.2～0.3m程度である。底面はやや凸凹があり、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は3層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。また周溝内部にいくつかの小ピットを検出しているが、本遺構に伴うものかどうかは不明。

遺物は埋土中より弥生土器片がビニール 4

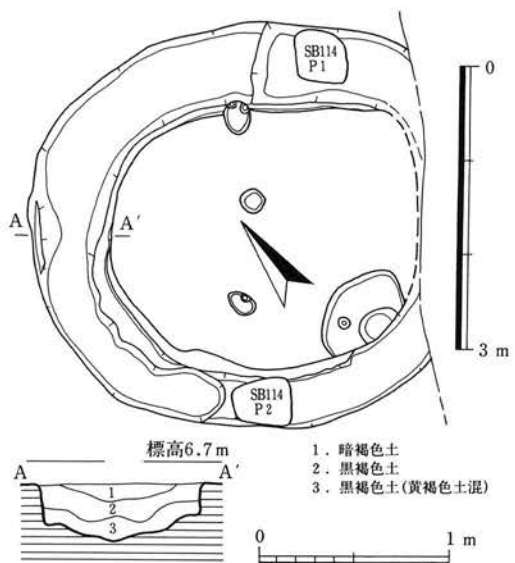


Fig.51 SR053周溝状遺構実測図(1/80・1/40)

IV. 調査の記録

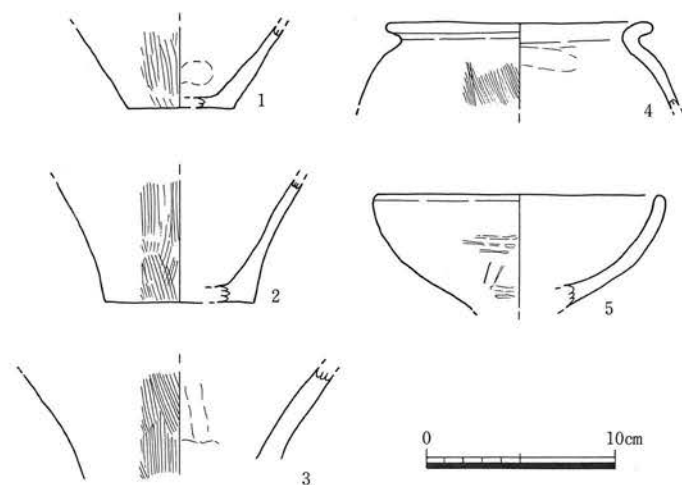


Fig. 52 SR053出土遺物実測図 (1/4)

袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 52)

甕 (1～3) いずれも底部破片。基本的に外面縦方向のハケ目、他はナデ調整。2は外底面に黒斑が認められる。淡褐色～暗褐色を呈する。

壺 (4) 復元口径13.4 cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡褐色を呈する。

鉢 (5) 復元口径14.8 cm。器面はナデもしくは横ナデ調整を基本とする。外面にはわずかではあるがヘラミガキ調整が認められる。また内外面丹塗りをを行う。

S R 056周溝状遺構 (Fig. 53)

B T-72グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。S H076、S K058と切り合い関係にあり、いずれも本遺構が先行する。平面形は長軸2.5m、短軸2.2mの隅丸方形に近い形状を呈し、溝の規模は幅0.5～0.7m、深さ0.2～0.3m程度である。底面は概ね平坦で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土であった。今回までの村徳永遺跡の調査のなかで、周溝状遺構が掘立柱建物と切り合う例は相当数あるのだが、竪穴住居と切り合うのは、本遺構とG地区のS R205とS R207の3例のみである。そのうち切り合い関係が明確なものは、すべて周溝状遺構の方が先行しているようである。

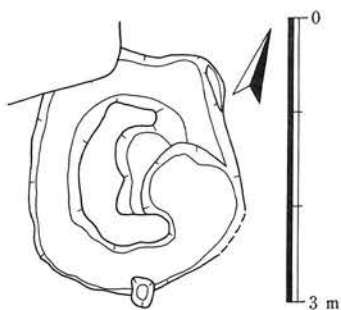


Fig. 53 SR056周溝状遺構
実測図 (1/80)

遺物は弥生土器片がわずかに出土しているが、図示できるものはなかった。

(4) 井 戸

掘立柱建物の周辺で5基検出した。

SE007井戸 (Fig. 54)

CC・CD-76グリッドで検出した。検出面の標高は6.9m。遺構の半分以上は調査区外にあり、その全貌は知り得ないが、検出できた部分の長軸は3.3m、深さ1.5m程度であった。断面形は2～3段掘り状を呈し、底面はほぼ平坦である。埋土は黒褐色土を基調としていた。

遺物は底付近より鉢が2個、その他埋土中より弥生土器片がビニール4袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 55)

甕(1～4) すべて口縁部破片。復元口径20.2～34.6cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整を基本とする。2・3は口縁部内面にハケ目が認められる。2・3は器形より鉢になる可能性がある。褐色～暗褐色を呈する。

袋状口縁壺(5) 復元口径17.6cm。基本的に内外面横ナデ調整。部分的にハケ目が認められる。褐色を呈する。

鉢(6～9) 復元口径8.9～25.2cm。基本的に口縁端部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデもしくは工具によるナデ、外底面ナデ調整を行う。6・8では内面に部分的ではあるが、ハケ目が

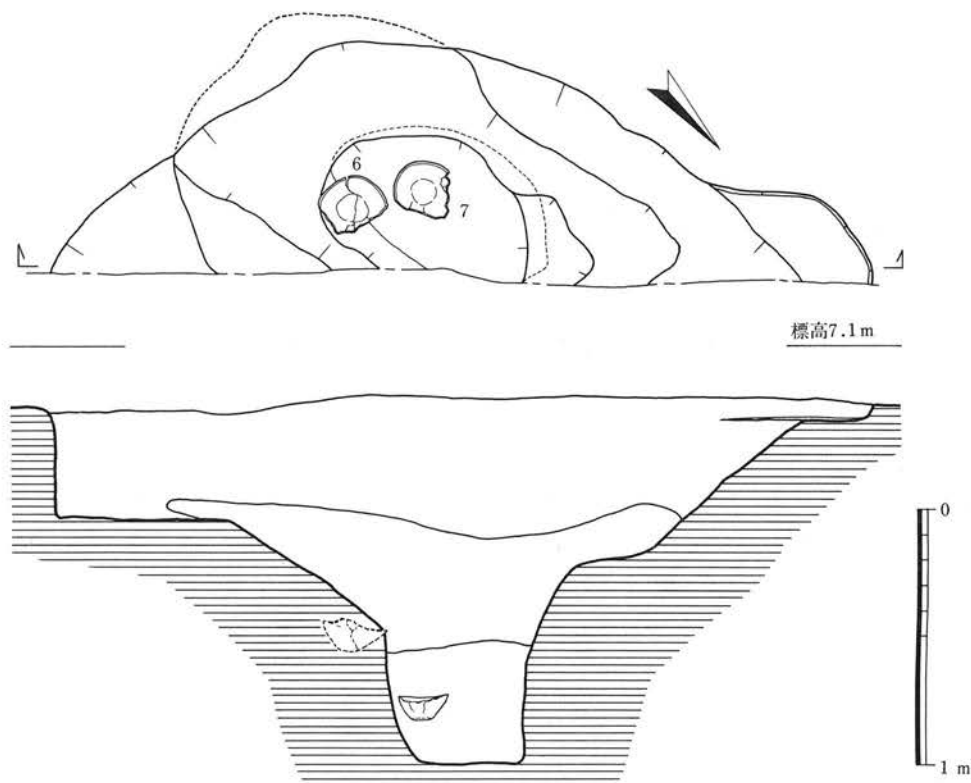


Fig. 54 SE007井戸実測図 (1/30)

IV. 調査の記録

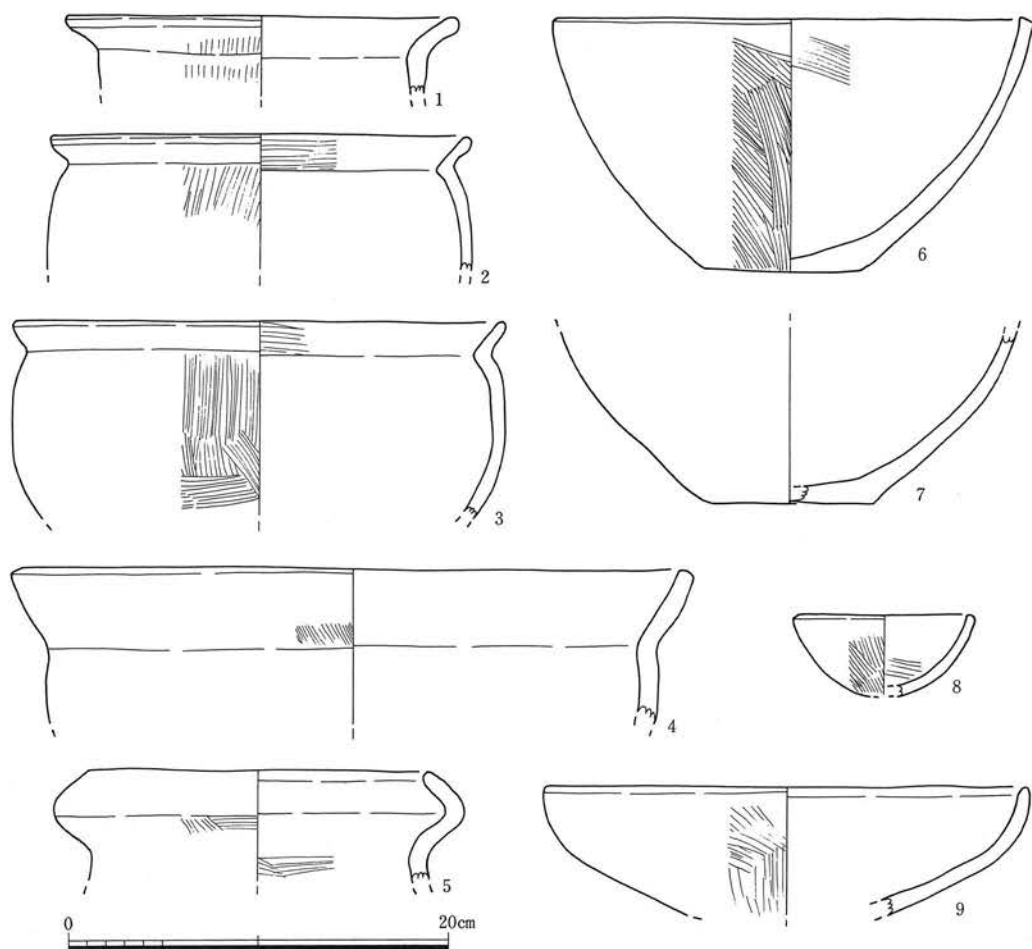


Fig. 55 SE007出土遺物実測図 (1/4)

残る。また6・7は外面に黒斑が認められる。8は茶褐色、他は褐色を呈する。

SE008井戸 (Fig. 56)

BZ・CA-81グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。遺構の半分程度は調査区外にあり、その全貌は知り得ないが、検出できた部分の長軸は2.4m、深さ1.6+αmであった。なお壁面崩落の危険性があったため完掘することはできなかった。壁面はやや角度をもって立ち上がる。埋土は9層に大別でき、いずれも自然堆積によるものと判断される。

埋土中からはコンテナ1箱程度の弥生土器片のほか、若干の自然木と榎の実がバケツ1杯程度出土した。

出土遺物 (Fig. 57・58)

甕 (1~10) 1は口径17.8cm、器高34.0cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目後ナデ、内面ナデ調

整。内底面には指頭圧痕が残る。胴部外面下半に黒斑が認められる。口径のわりに胴部が外方に張り出す。明褐色を呈する。2～5は口縁部破片。復元口径20.8～33.4cm。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面工具によるナデ調整を行う。5は体部上端に断面三角形の突帯を巡らす。淡褐色～褐色を呈する。6は口縁部17.0cm、復元底径8.2cm、器高19.0cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面工具によるナデ調整。体部外面上半に黒斑が認められる。7は口縁端部と底部を欠損する。外面縦方向のハケ目、内面斜方向のハケ目調整。茶褐色。8は口縁部破片。復元口径13.6cm。器面はナデ及び横ナデ調整で、淡褐色を呈する。9・10は底部破片。基本的に外面縦方向のハケ目、他はナデ調整。褐色を呈する。

壺 (11～16) 11～13は広口壺。11は口縁部破片で、復元口径21.4cm。口縁端部横ナデ、内面ハケ目、他はナデ調整。頸部に断面三角形の突帯を巡らす。茶褐色。12は口縁部を欠損する。頸部下端に2条の突帯を巡らす。外面ハケ目、内面ナデ調整。体部下半から外底にかけて黒斑が認められる。褐色。13はほぼ完形に近く、口径14.1cm、器高21.0cmを測る。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面工具によるナデ調整。明褐色。14は袋状口縁壺。復元口径10.4cm。内外面横ナデ調整で、茶褐色を呈する。15は復元口径10.0cm。内外面横ナデ調整で、口縁部に穿孔を施す。淡褐色。16は底部破片。外面ハケ目、内面ナデ調整。茶褐色。

鉢 (17) 復元口径11.0cm。口縁端部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。内面には指頭圧痕を残す。淡褐色を呈する。

高坏 (18・19) 18は脚部破片。復元脚部径10.0cm。磨耗のため調整不明瞭。淡褐色。19は坏部破片。内面ナデ調整、外面は調整不明瞭。茶褐色。

石包丁 (20) 残存長8.7cm、幅4.9cm。上位に2個の穿孔を有する。穿孔は両側から行う。全体に磨耗している。

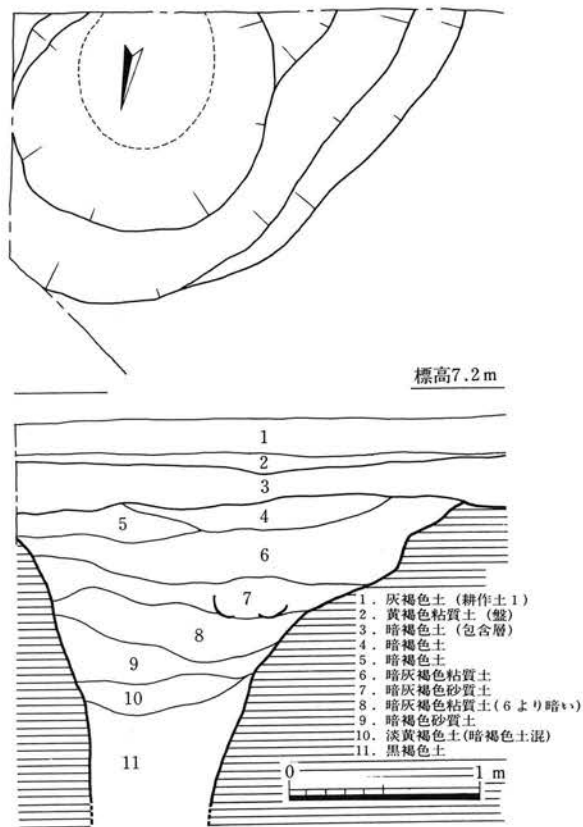


Fig. 56 SE008井戸実測図 (1/40)

IV. 調査の記録

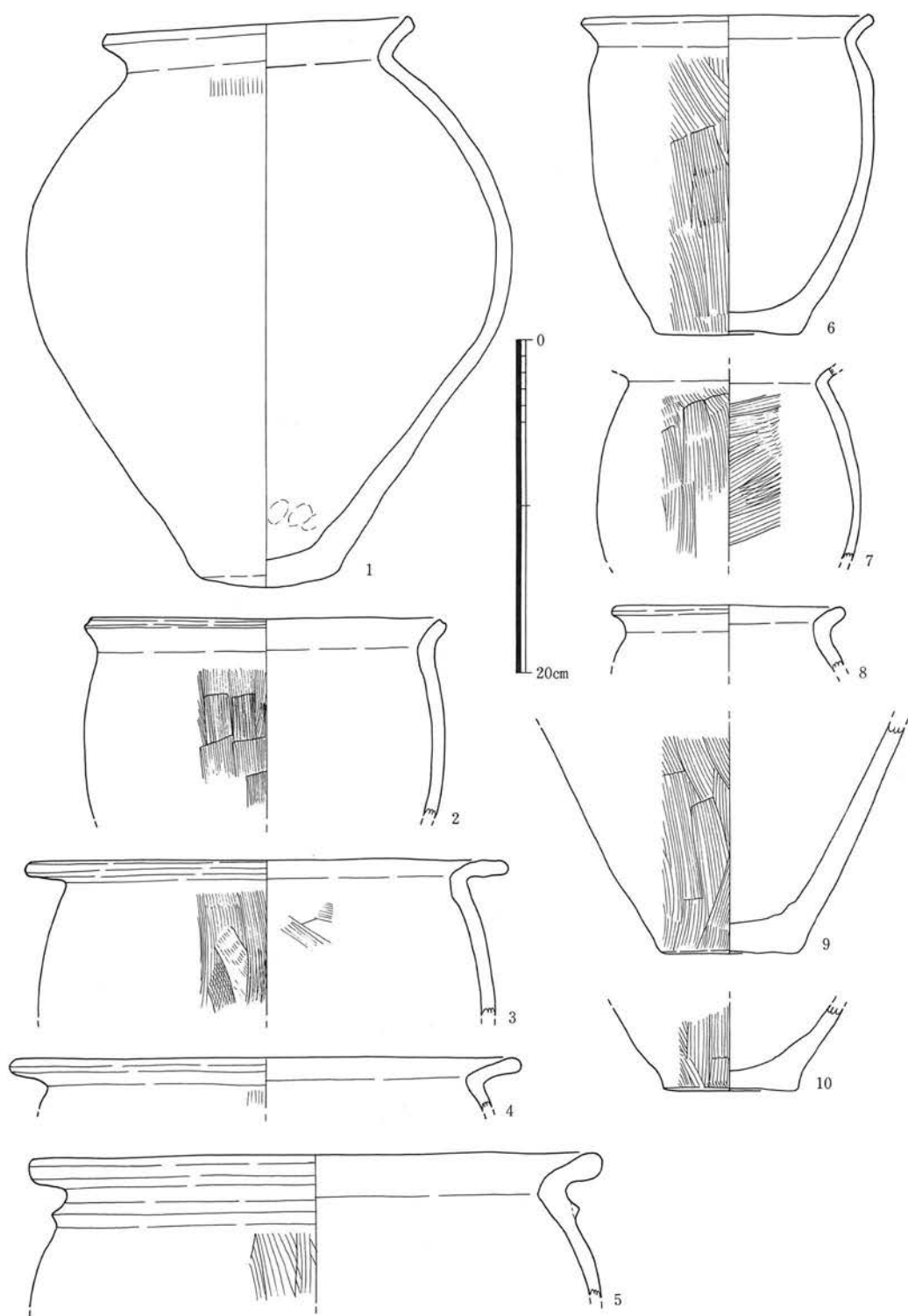


Fig. 57 SE008出土遺物実測図① (1/4)

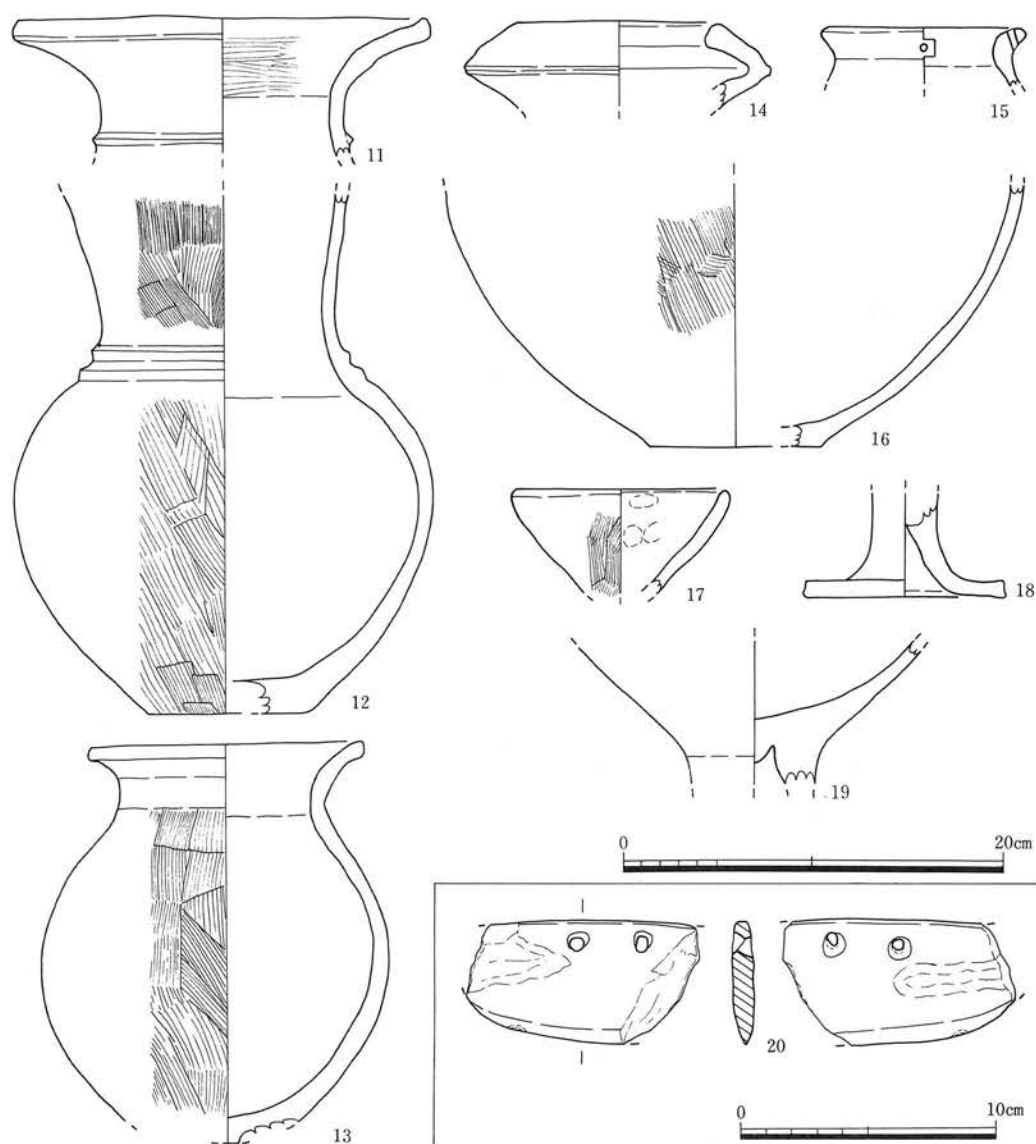


Fig. 58 SE008出土遺物実測図② (1/4・1/3)

S E 032井戸 (Fig. 59)

BH-67グリッドで検出した。検出面の標高は6.1m。平面形は長軸1.35m、短軸1.0mの隅丸長方形に近い形状を呈し、深さ1.15mを測る。断面形は東側が2段掘り状を呈し、底面はレンズ状で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は10層に大別でき、いずれも自然堆積によるものと判断される。位置関係からS B131～133等に伴うものであろうか。

遺物は底面付近で完存に近い甕が、埋土中から弥生土器がビニール1袋程度出土している。

IV. 調査の記録

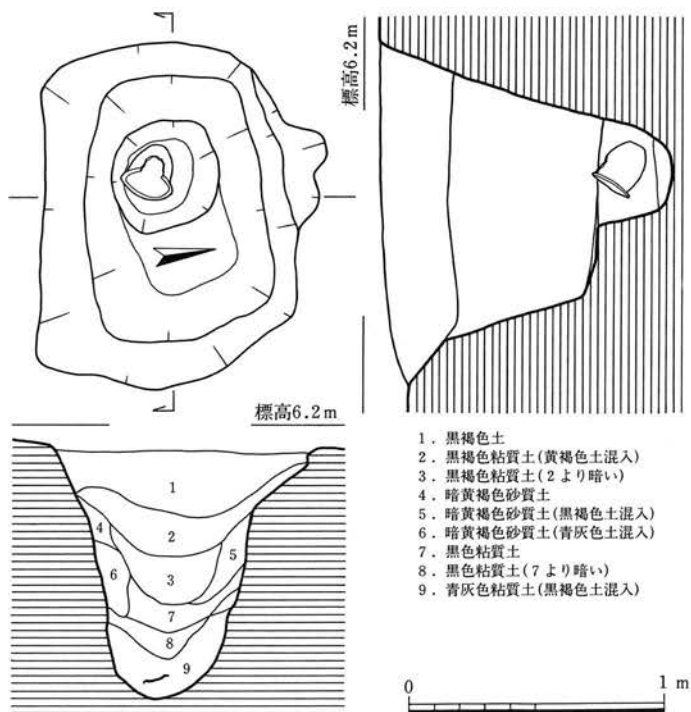


Fig. 59 SE032井戸実測図 (1/30)

明瞭。茶褐色を呈する。

SE060井戸 (Fig. 61)

BS-72グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SD069に切られ、SB121と重複するがその先後関係は不明。平面形は径1.5~1.6mの円形に近い形状を呈し、深さ1.25mを測る。底面はレンズ状で、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は4層に大別でき、いずれも自然堆積

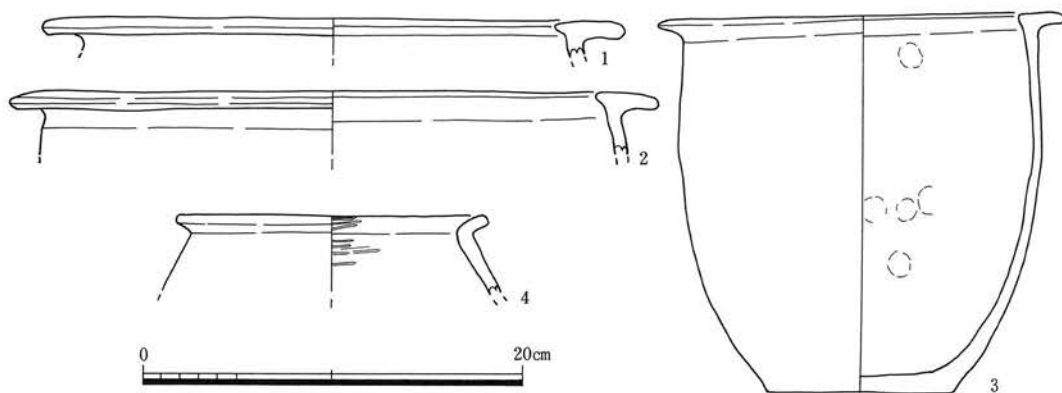


Fig. 60 SE032出土遺物実測図 (1/4)

出土遺物 (Fig. 60)

甕(1~3) 1・2は口縁部破片。復元内口径23.2cm、27.4cm。内外面横ナデ調整。褐色を呈する。3は完形に近く、内口径16.2cm、底径9.8cm、器高19.0cm。内面には指頭圧痕が残る。体部中位外面及び外底に黒斑が認められる。褐色を呈する。

壺(4) 復元口径11.4cm。口縁部横ナデ調整。内面はわずかではあるがヘラミガキが認められ、外面は磨耗のため調整不

1. 弥生時代の遺構と遺物(井戸)

によるものと判断される。

埋土中からは自然木その他、コンテナ3箱程度の弥生土器、石器等が、特に4層に集中して出土した。

出土遺物 (Fig. 62~64)

甕 (1~12) 1~3はほぼ完形に近い。口径はそれぞれ23.8cm、24.4cm、23.6cm、底径は10.0cm、8.5cm、7.4cm、器高は33.8cm、36.9cm、33.3cm。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。淡褐色~暗褐色。1は口縁部がやや歪み、煤の付着が認められる。また口縁部内面は横方向のハケ目調整を行う。4~8は口縁部から胴部にかけての破片。復元口径23.8~26.8cm。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向もしくは斜方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。4・5は内面不定方向のハケ目調整。6は内面に部分的に指頭圧痕を残し、8は口縁部内面に横方向のハケ目調整を行う。褐色~暗褐色。9・10は底部から胴部にかけての破片。底径はそれぞれ7.8cm、8.9cm。外面縦方向もしくは斜方向のハケ目、内面ナデ調整。9は内外面に煤が付着する。褐色を呈する。11・12はやや小型の甕。11はほぼ完形で、口径19.2cm、底径6.8cm、器高19.4cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。外面には煤の付着が認められる。暗褐色。12は復元口径18.8cm、器高17.0cm。口縁部横ナデ、外面は調整不明瞭、内面ナデ調整を行う。外底の一部に黒斑が認められる。褐色を呈する。

袋状口縁壺 (13~15) 13・14は口縁部破片。口径はそれぞれ17.8cm、17.5cm。両者とも頸部と胴部の境に1条の突帯を巡らす。基本的に口縁部横ナデ、頸部外面縦方向のハケ目、同内面横方向のハケ目、胴部外面縦及び横方向のハケ目、同内面ナデ調整。13は暗褐色、14は淡褐色を呈する。15は口縁部を欠損する。頸部と胴部の境に2条の、胴部中位に1条の突帯を巡らす。

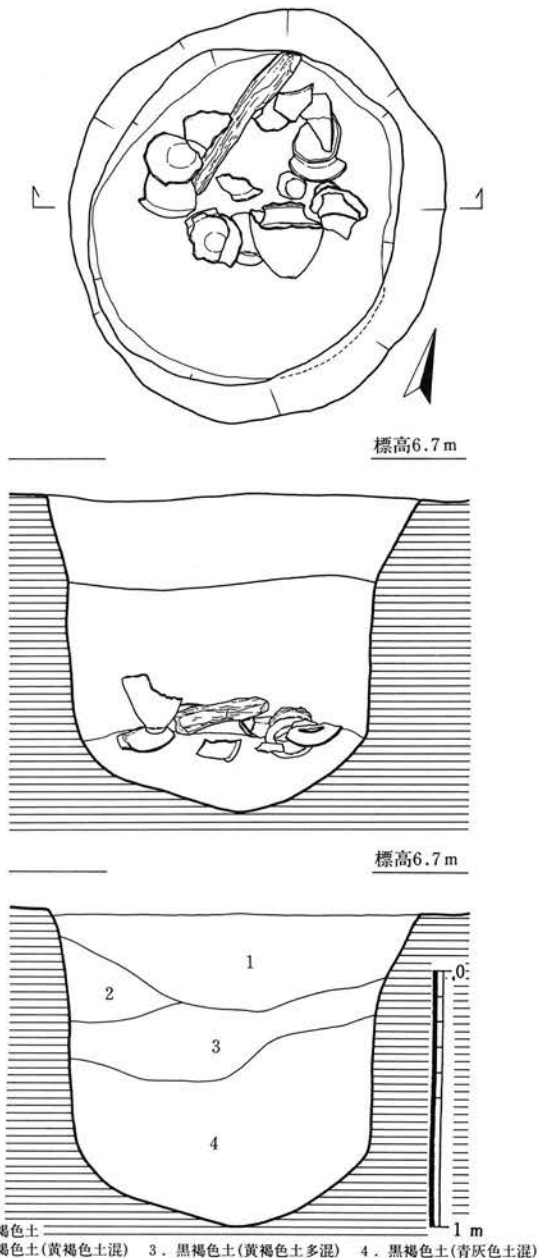


Fig. 61 SE060井戸実測図 (1/30)

IV. 調査の記録

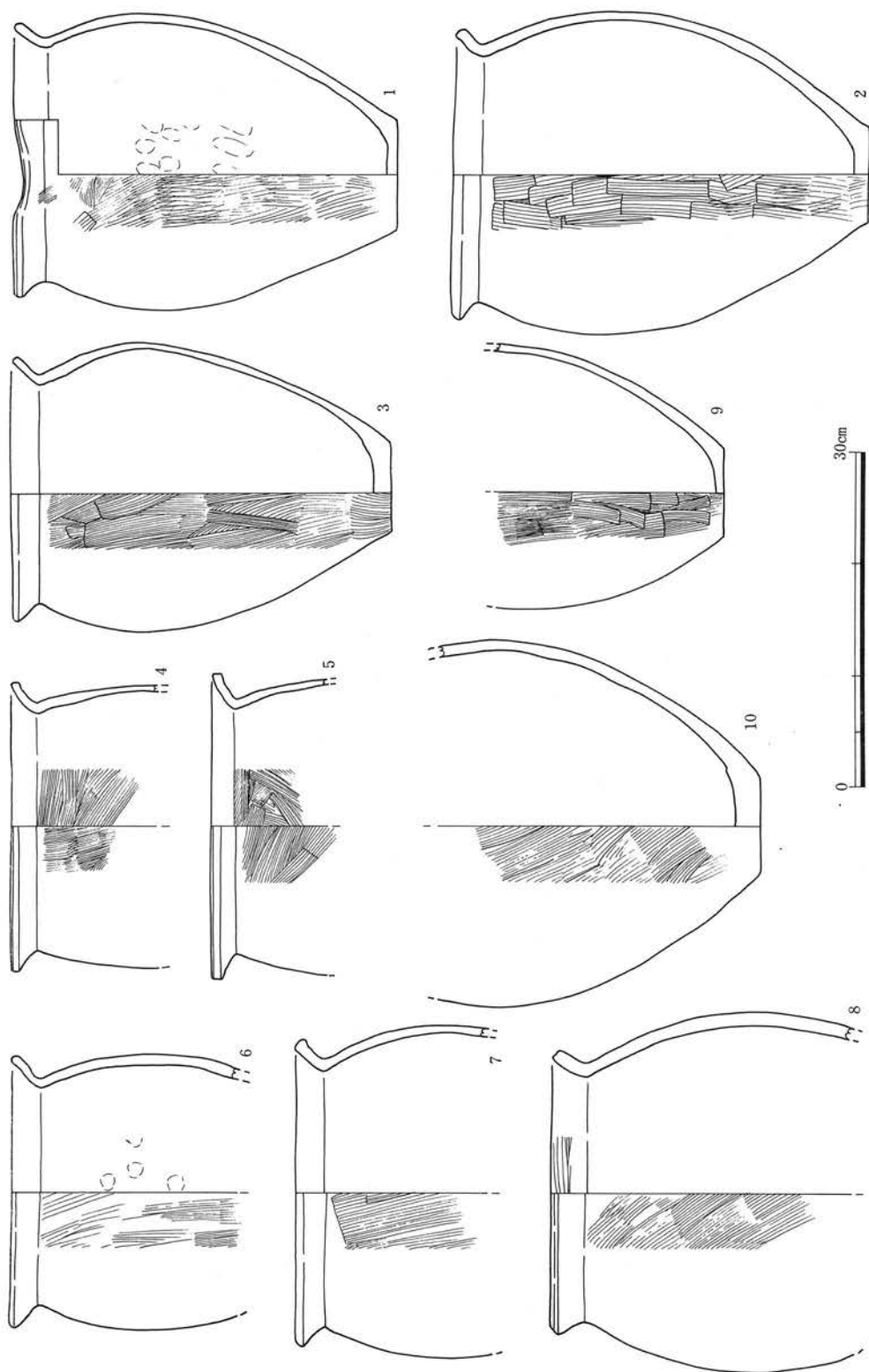


Fig. 62 SE060出土遺物実測図① (1/6)

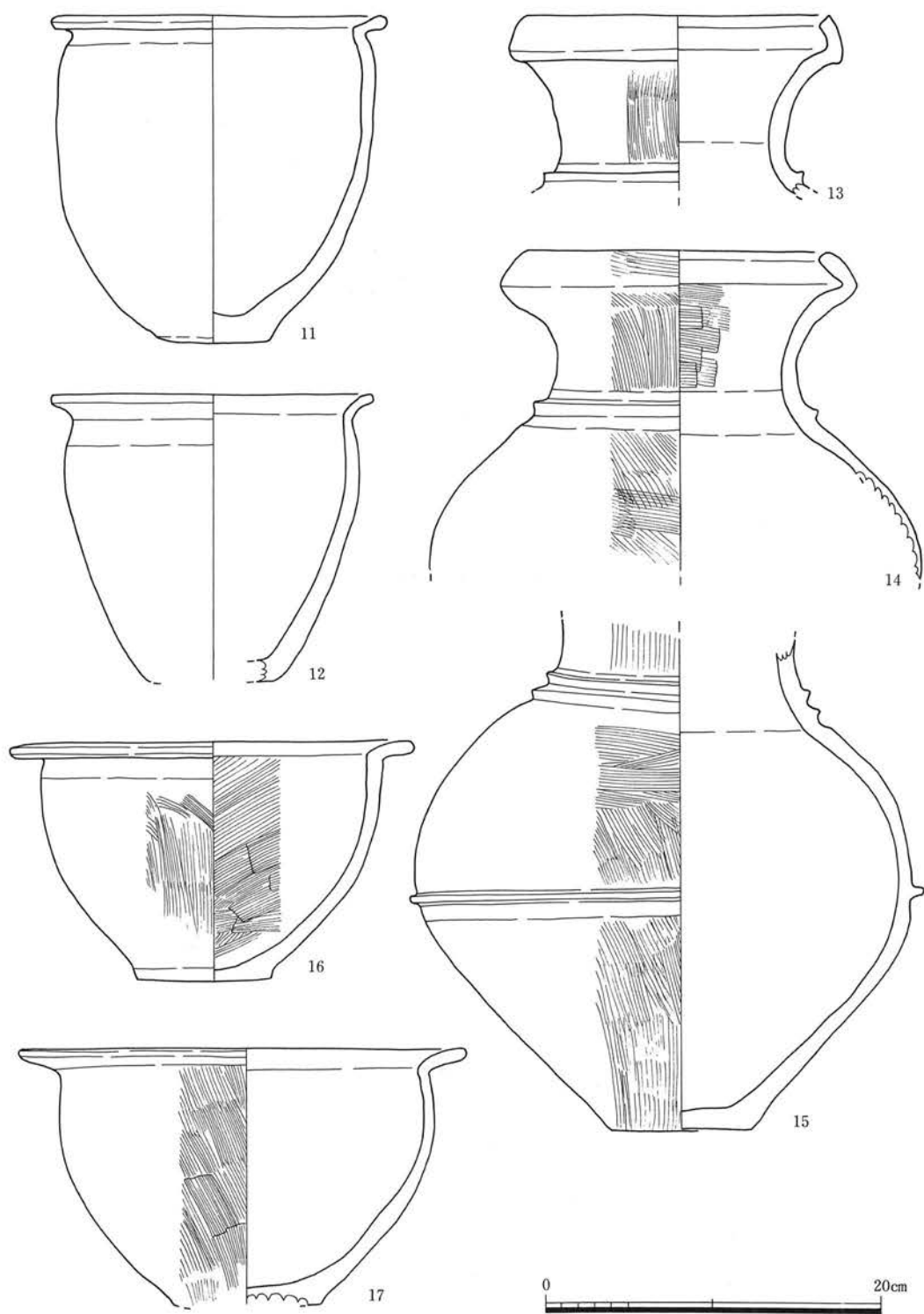


Fig. 63 SE060出土遺物実測図② (1/4)

IV. 調査の記録

胴部上位外面は横方向のハケ目、中位以下は縦方向のハケ目、内面はナデ調整を行う。淡褐色を呈する。

鉢 (16・17) 口径24.0cm、25.8cm、器高14.1cm、15.2cm。基本的に口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面は16はハケ目、17はナデ調整を行う。16は胴部下位から外底にかけて黒斑が認められる。16は褐色、17は明褐色を呈する。

高坏 (18・19) いずれも脚部破片。18は復元脚部径13.7cm。全体に調整不明瞭で、内面にはしほり痕が認められる。淡褐色を呈する。19は復元脚部径19.6cm。外面ハケ目調整、内面は下端がハケ目調整の他はナデ調整。褐色を呈する。

器台 (20~23) 20は完存品で受部径11.5cm、裾部径13.5cm、器高18.3cm。受部及び裾部の端部は横ナデ、外面縦方向のハケ目調整、内面はナデ調整で一部にハケ目が認められる。暗褐色。21・22はそれぞれ復元裾部径11.4cm、11.9cm。外面工具によるナデ調整、内面は21は工具によるナデ、22は指押さえ後ナデを加える。褐色を呈する。23は小型の器台で、受部径5.9cm、裾部径8.8cm、器高7.3cm。外面工具によるナデ、内面ナデ調整。茶褐色を呈する。

石包丁 (24) 欠損品で、残存長6.6cm、幅5.0cm。2個の穿孔が認められるが、1個は途中で穿孔を止めている。刃部は比較的丁寧に研ぎだす。粘板岩系か。

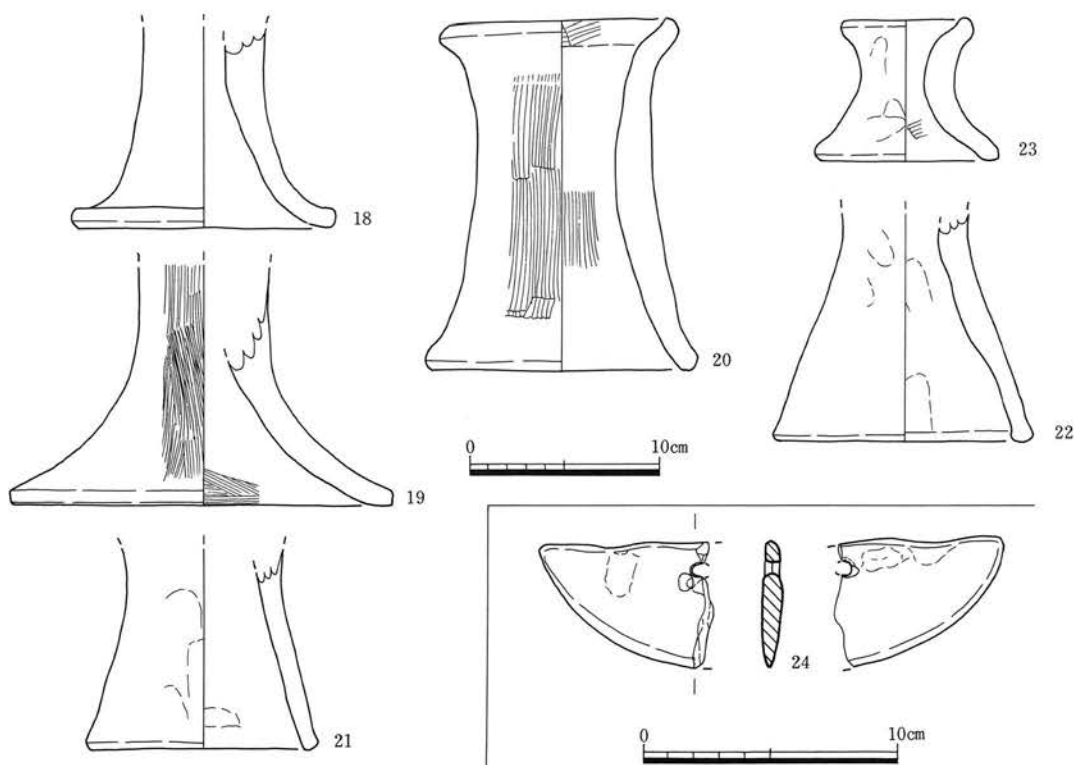


Fig. 64 SE060出土遺物実測図 ③ (1/4・1/3)

S E 068井戸 (Fig. 65)

B S-71グリッドで検出した。検出面の標高は6.1m。S H075を切り、S B120・121と切り合うがその先後関係は不明。平面形は径1.5m程度の円形に近い形状を呈し、深さ1.8+ α mを測る。なお壁面崩落の危険性があったため完掘することはできなかった。壁面は南側は垂直に近く、北側はそれよりやや緩く立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調としていた。

埋土中からは自然木その他、コンテナ2箱程度の弥生土器が出土した。

出土遺物 (Fig. 66・67)

甕(1～3) 1は口縁部破片。復元口径33.0cm。口縁部内面横方向のハケ目、内面ナデ、他は横ナデ調整。外面には煤の付着が認められる。淡褐色を呈する。2は底部から胴部にかけての破片で、底径8.4cm。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。内面には部分的に指頭圧痕を残す。また胴部下位には黒斑が認められる。淡褐色。3はほぼ完形で、口径16.6cm、底径7.4cm、器高17.7cm。胴部中位には焼成後に穿たれた穿孔を有する。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡茶褐色を呈する。

袋状口縁壺(4～7) 4はほぼ完存。口径14.0cm、底径8.5cm、器高36.2cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面は頸部が工具によるナデ、他はナデ調整を行う。赤褐色を呈する。5・6は口縁部破片。5は口径19.9cm。頸部に低い突帯を2条巡らす。口縁部横ナデ、外面ナデ、内面は上位を横方向のハケ目、他はナデ調整。赤褐色。6は復元口径18.4cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面はナデを基調とし部分的にハケ目調整を行う。赤褐色。7は胴部上位破片。上端と中位にそれぞれ1条の突帯を巡らす。外面縦方向のハケ目、内面斜方向のハケ目調整。赤褐色を呈する。

鉢(8) 復元口径13.7cm、同底径5.3cm、器高7.8cm。口縁端部横ナデ、外面ナデ、内面工具によるナデ調整。褐色を呈する。

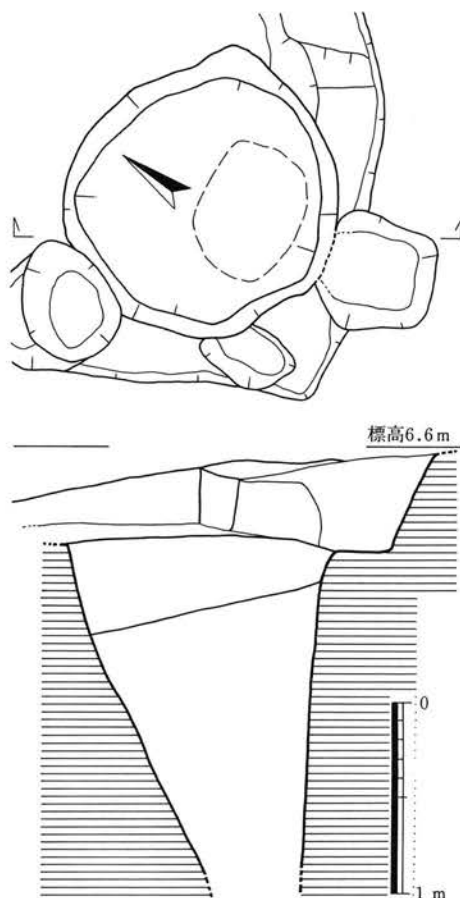


Fig. 65 SE068井戸実測図 (1/40)

IV. 調査の記録

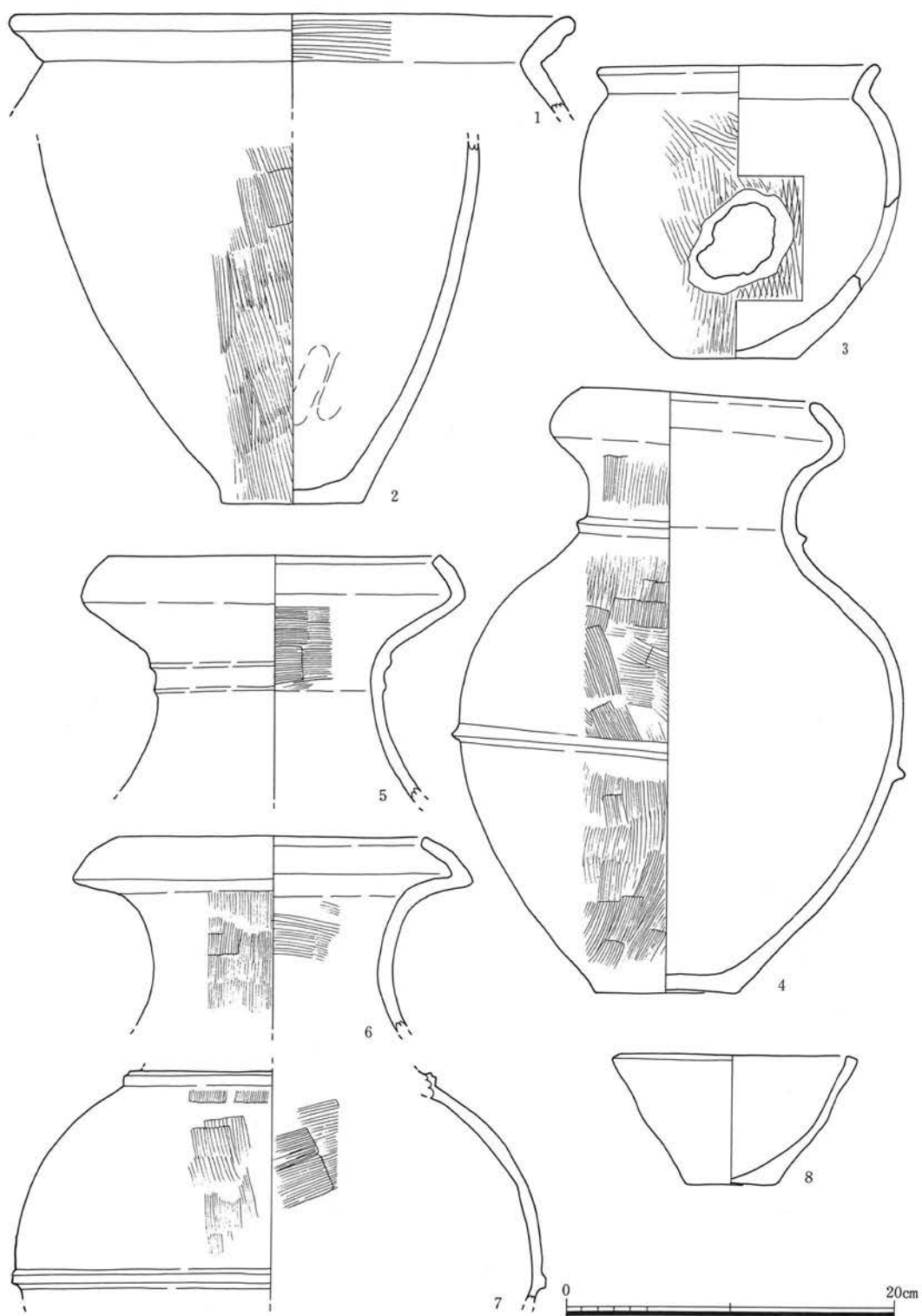


Fig. 66 SE068出土遺物実測図① (1/4)

投弾 (9) 残存長4.2cm、径2.5cm。褐色を呈する。

砥石 (10) 3面が使用されている。残存長6.4cm、残存幅6.1cm、断面厚3.0cm。

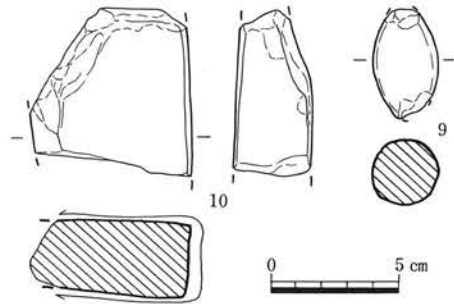


Fig. 67 SE068出土遺物実測図② (1/4)

(5) 土 壌

総数45基の土壌を検出した。その中でもSK005・006・039などは土器溜めと考えられる土壌で、大量の弥生土器が出土した。ここでは刻目突帯文土器を出土した土壌をはじめに記述し、以下遺構番号順に述べていくことにする。

SK015土壌 (Fig. 68)

BZ-76グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。平面形は径1.7mの隅丸方形～円形を呈し、深さ0.35～0.45mを測る。断面形は2段掘り～3段掘り状を呈し、埋土は黒褐色土1層であった。遺物は埋土中よりビニール2袋程度出土している。

出土遺物 (Fig. 69)

甕 (1～5) 1は底部から胴部にかけての破片。肩部にヘラによる刻目を施した突帯を巡らす。外面は不明瞭だが削り風の擦過を施し、内面は工具によるナデ調整を行う。茶褐色。2は

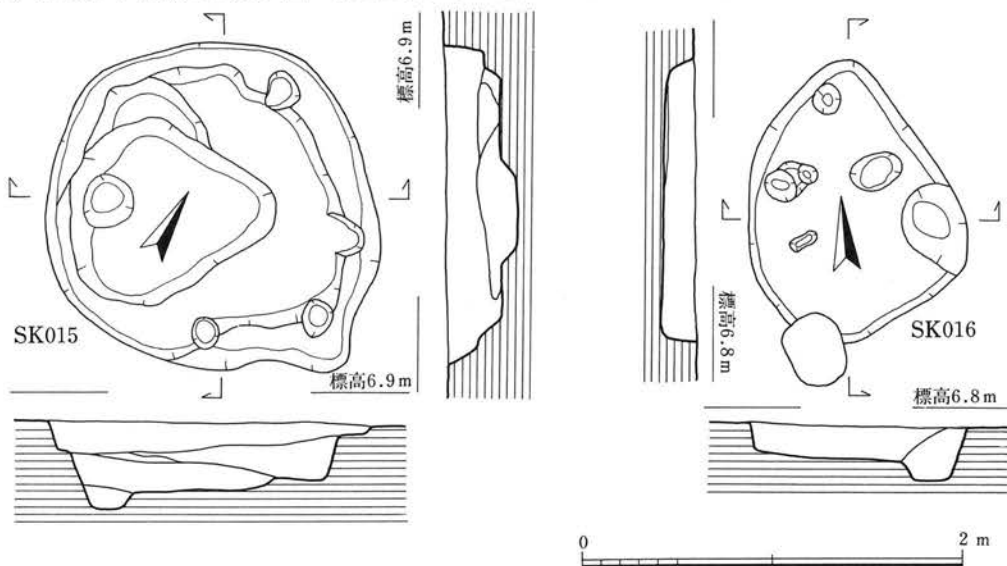


Fig. 68 SK015・016土壌実測図 (1/40)

IV. 調査の記録

口縁部破片で、口縁端部にヘラによる刻目を施した突帯を巡らす。器面は調整不明瞭。工具によるナデか。淡褐色～褐色。3は肩部破片で、いずれもヘラによる刻目を施した突帯を巡らす。外面に条痕を施す。褐色～暗褐色。4・5は底部破片。内外面ナデ調整。4は淡褐色、5は茶褐色を呈する。

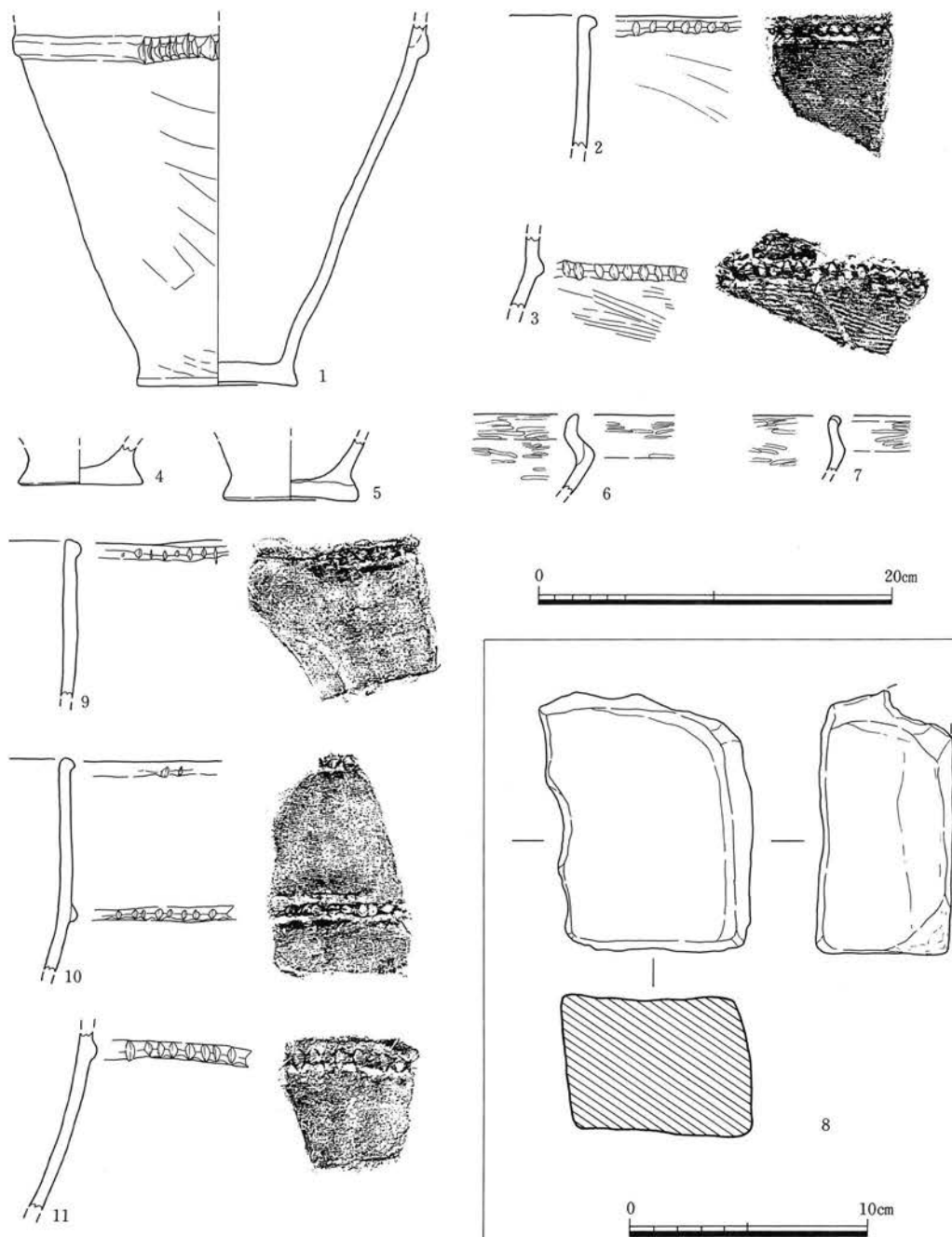


Fig. 69 SK015・016出土遺物実測図 (1/4・1/3)

鉢(6・7) 浅鉢の口縁部破片。内外面ヘラミガキ調整。淡褐色を呈する。

砥石(8) 3面を使用している。

SK016土壌 (Fig. 68)

BZ-77グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。平面形は長軸1.5m、短軸1.1mの不整形を呈し、深さ0.15mを測る。底面は概ね平坦で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土1層で、遺物は埋土中よりわずかに出土した。

出土遺物 (Fig. 69)

甕(9~11) 9・10は口縁部破片。いずれも口縁端部にヘラによる刻目を施した突帯を巡らす。調整不明瞭だが、内外面ナデ調整を施すようである。10は肩部にも刻目突帯を巡らす。両者とも褐色を呈する。11は肩部破片。内外面ナデ調整。ヘラによる刻目を施した突帯を巡らす。暗褐色。

SK033土壌 (Fig. 70)

BF・BG-68グリッドで検出した。検出面の標高は5.9m。遺構の一部は調査区外にある。平

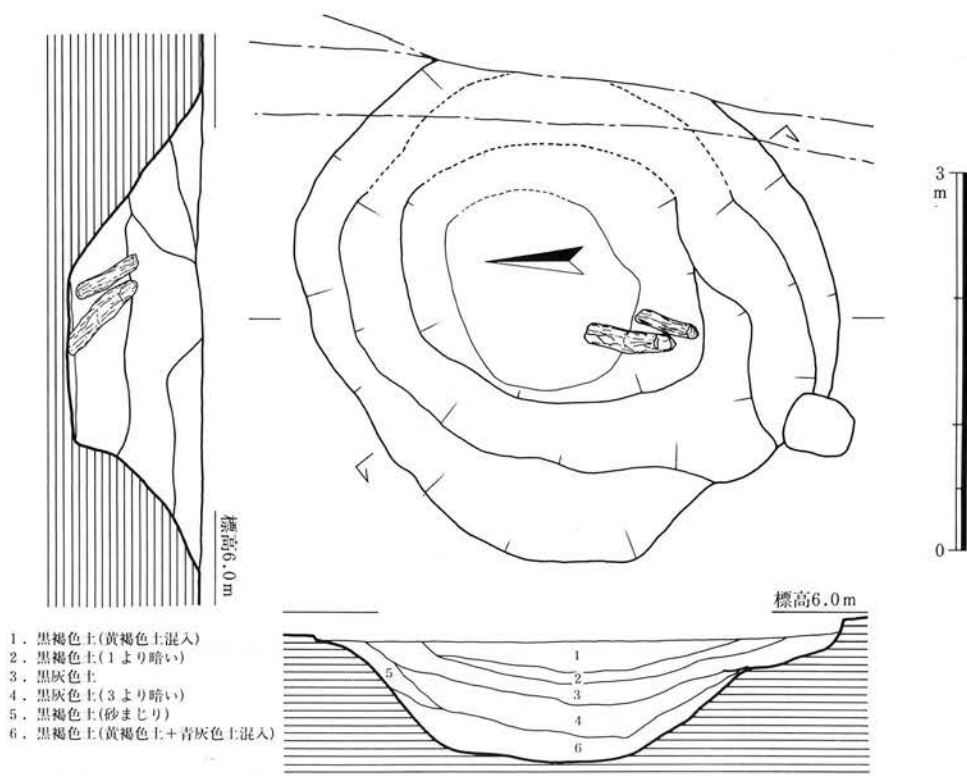


Fig. 70 SK033土壌実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

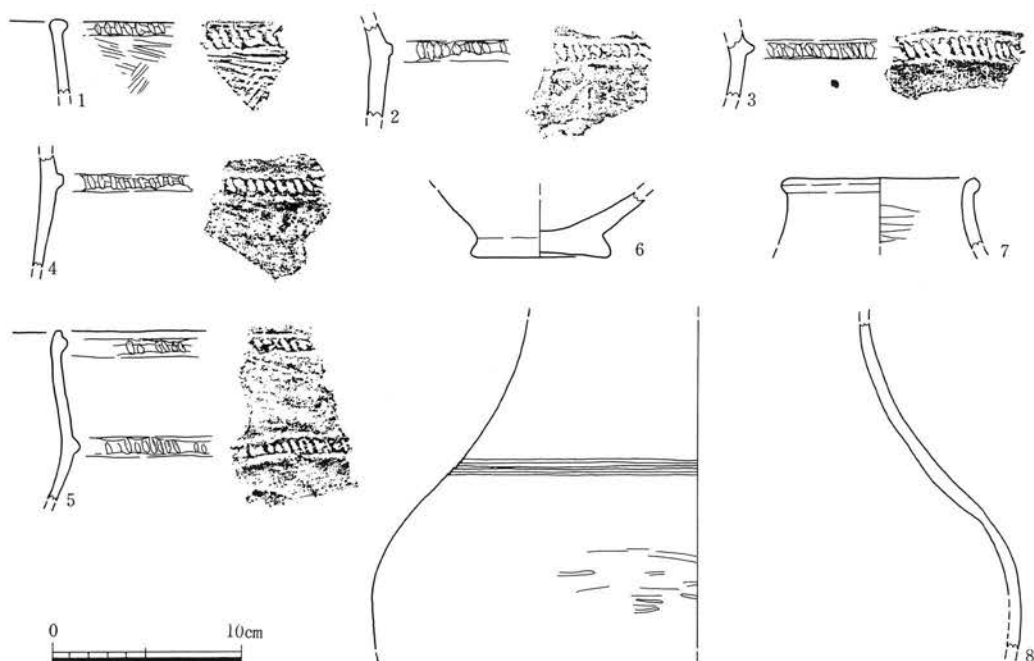


Fig. 71 SK033出土遺物実測図 (1/4)

面形は長軸2.1mの不整円形を呈し、深さ0.5mを測る。底面は浅いレンズ状を呈し、壁面はやや緩やかに立ち上がる。南側底面付近には、自然木を立て架けるたような状態で検出しているが、とくに加工したような状況は観察できなかった。これが梯子のような機能を有していたとすれば、この土坑は貯蔵穴であった可能性がある。埋土は6層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。遺物は埋土中よりコンテナ1箱程度出土した。

出土遺物 (Fig. 71)

甕 (1～6) 1・5は口縁部破片。いずれも口縁端部にヘラによる刻目を施した突帯を巡らす。5は肩部にも刻目突帯を巡らす。1は外面に条痕を施し、内面はナデ調整。淡橙褐色。5は内外面ナデ調整。褐色。2～4は肩部破片。いずれもヘラによる刻目を施す。基本的に内外面ナデ調整。褐色～暗褐色。6は底部破片。内面は擦過、外面はナデ調整。褐色。

壺 (7・9) 7は口縁部破片。復元口径10.4cm。口縁部横ナデ、外面調整不明瞭。内面は不明瞭であるが、ヘラミガキを施すようである。8は頸部から胴部にかけての破片。肩部に3条の沈線を巡らす。全体に調整不明瞭であるが、外面はヘラミガキ、内面はナデ調整を行うようである。褐色を呈する。

SK066土坑 (Fig. 72)

BO・BP-69グリッドで検出した。検出面の標高は6.4～6.5m。平面形は長軸1.5m、短軸

1.4mの隅丸方形を呈し、深さ0.8mを測る。底面は概ね平坦で、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調としていた。遺物は埋土中よりビニール1袋程度出土した。

出土遺物 (Fig. 73)

甕 (1~4) 1・2は口縁端部及び肩部に、口縁端部にヘラによる刻目を施した突帯を巡らす口縁部破片。基本的に口縁部横ナデ、外面工具によるナデ、内面ナデ調整。2は外面に煤が付着する。淡褐色~暗褐色を呈する。3・4は口縁端部にヘラによる刻目突帯を巡らす口縁部破片。外面工具によるナデ、内面ナデ調整。3は外面に煤が付着する。褐色~暗褐色。

鉢 (5・6) いずれも底部破片。5は内外面ヘラミガキ調整。外面暗褐色、内面褐色。6は外面ヘラミガキ、内面ナデ調整。外底に葉脈痕を残す。暗褐色。

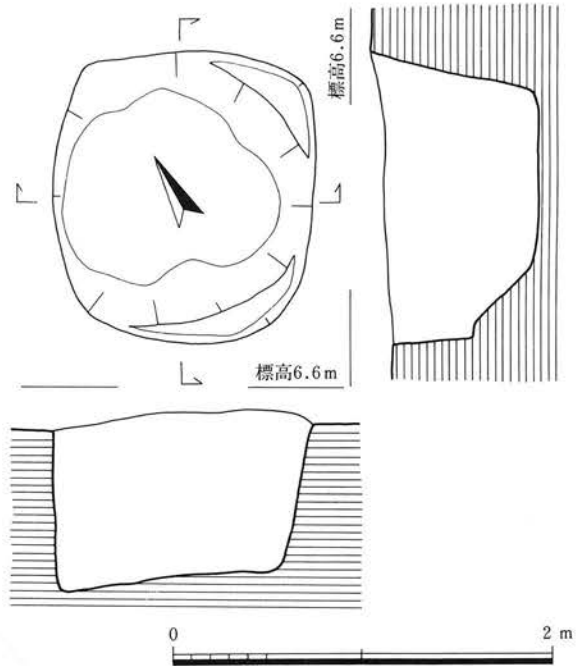


Fig. 72 SK066土壌実測図 (1/60)

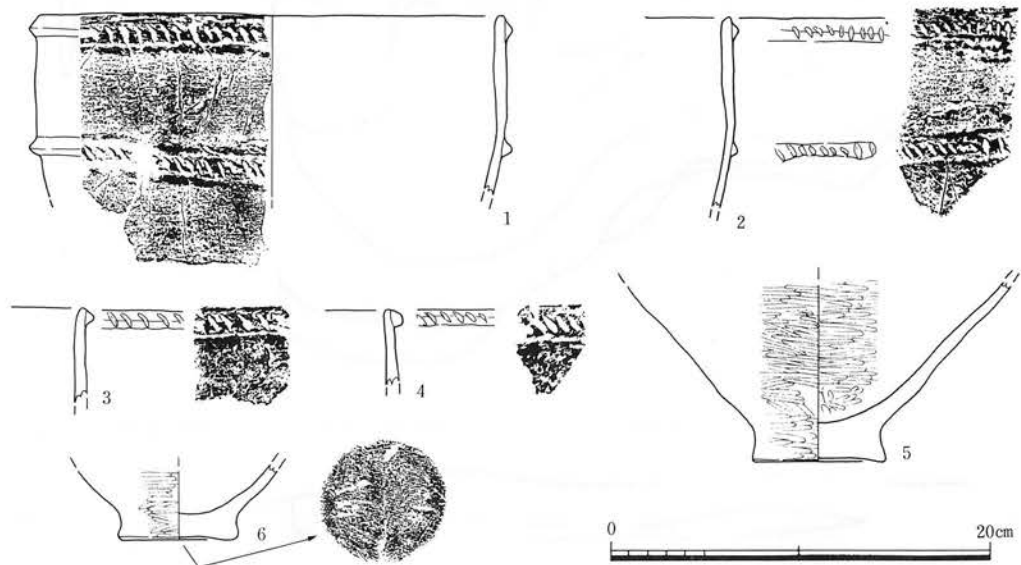


Fig. 73 SK066出土遺物実測図 (1/4)

Ⅳ．調査の記録

SK005土壌 (Fig. 74)

CB・CC-76・77グリッドで検出した。検出面の標高は6.9m。SR011と切り合い関係にあり、本土壌が後出する。平面形は長軸4.0m、短軸2.6mの不整形を呈し、深さ0.5mを測る。底面は多少の凹凸があるものの、概ね平坦で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調としていた。遺物は多く弥生土器等がコンテナ8箱程度出土し、その出土状態から一括投棄されたものと考えられる。

出土遺物 (Fig. 75～81)

甕 (1～15) 1は胴部中位に突帯を巡らす。復元口径24.2cm、底径9.0cm、器高32.8cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。内面には部分的に指頭圧痕を残す。胴部下位から外底にかけて黒斑が認められる。内面淡橙褐色、外面淡褐色。2は口縁部と胴部の境に1条の突帯を巡らす。復元口径36.4cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。外面暗褐色、内面明褐色。3は復元口径28.5cm、底径8.7cm、器高25.8cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面工具による内面ナデ調整。淡褐色。4～6は復元口径27.4～28.8cm、底

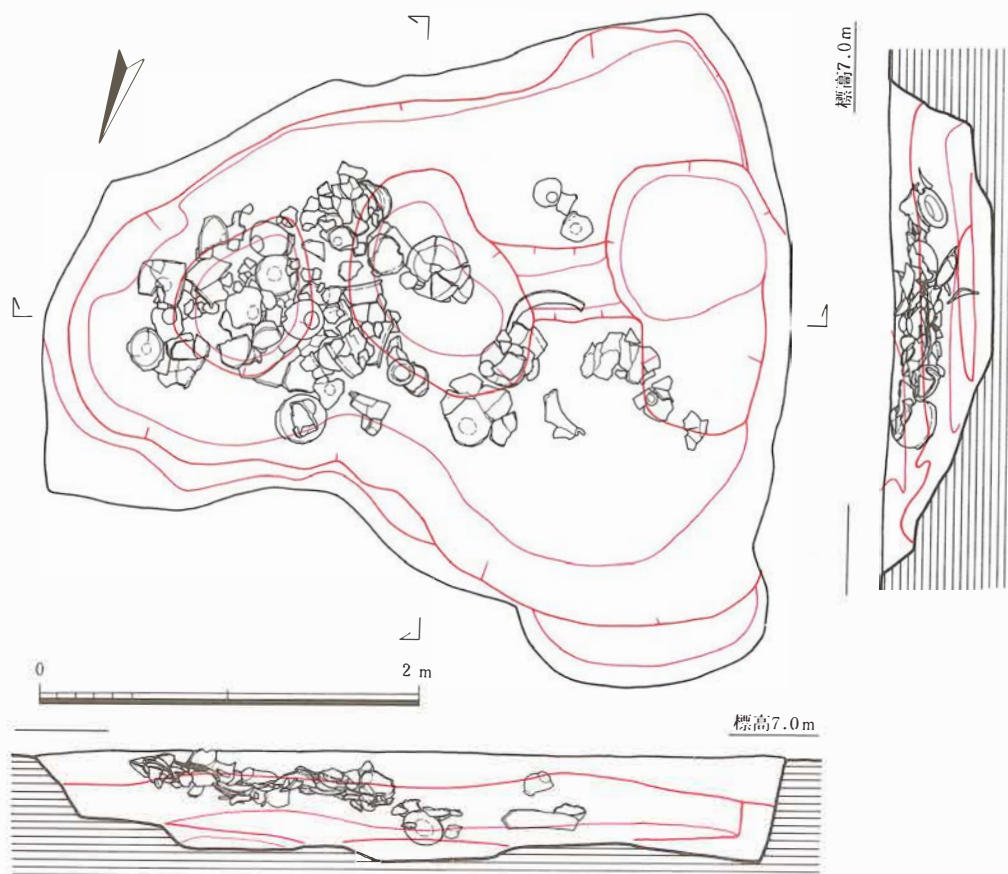


Fig. 74 SK005土壌実測図 (1/40)

1. 弥生時代の遺構と遺物(土壌)

径8.2~9.0cm、器高29.9~34.9cm。基本的に外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。内底付近に指頭圧痕を残す。淡褐色~暗褐色。7・8は復元口径19.2cm、19.8cm、底径6.8cm、8.4cm、器高19.5cm、18.9cm。両者とも口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。7は外面に黒斑が認められる。7は褐色、8は淡褐色を呈する。9は復元口径18.1cm、同底径7.0cm、器高

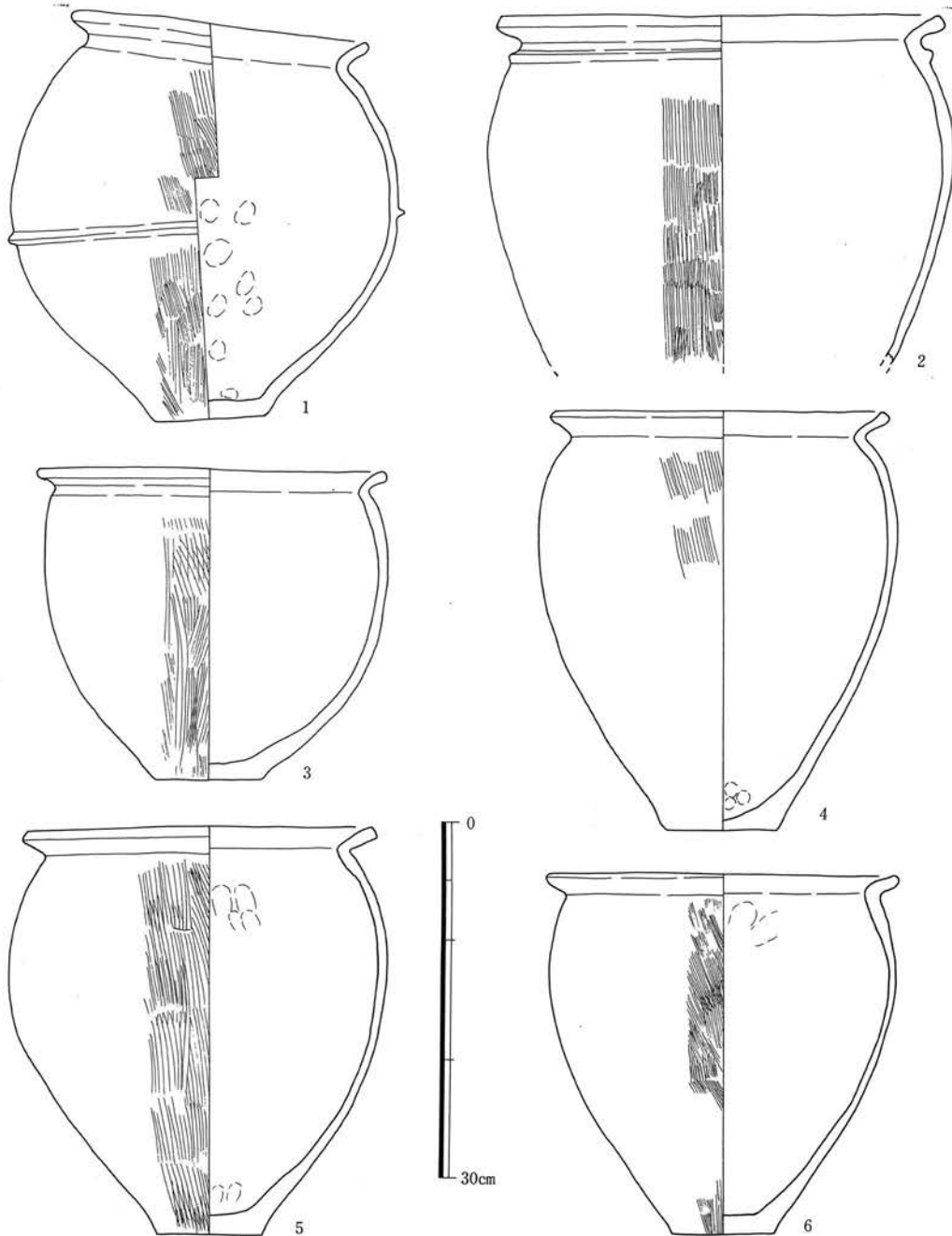


Fig. 75 SK005出土遺物実測図① (1/6)

IV. 調査の記録

16.4cm。口縁部横ナデ、外面工具によるナデ、内面ナデ調整。褐色。10は外口径24.6cm、底径8.0cm、器高24.4cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。橙褐色。11は口径19.2cm、底径8.0cm、器高20.5cm。口縁部外面横ナデ、他はハケ目調整。淡褐色。12は口縁部を欠損する。底径7.0cm。外面ハケ目、内面ナデ調整。胴部外面下半に黒斑が認められる。淡褐色。13~14は復元内口径24.0~25.8cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を基本とする。淡褐色~暗褐色を呈する。

壺 (16) 16~18は広口壺。16は口縁部破片。復元口径35.0cm。口縁端部横ナデ、外面はヘラによる縦方向の暗文施し、内面はヘラミガキ調整を行う。淡橙褐色。17・18は両者とも7割り

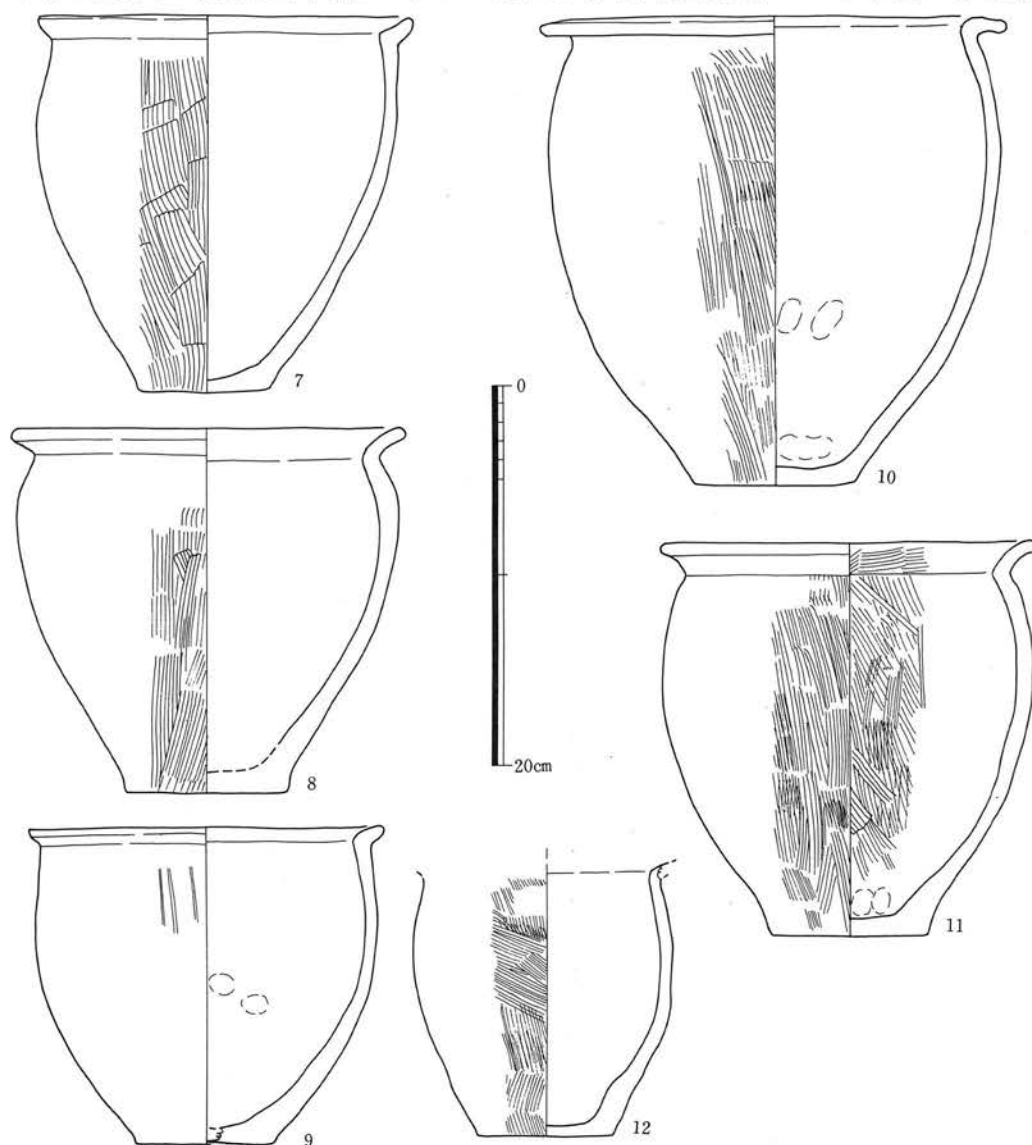


Fig. 76 SK005出土遺物実測図② (1/4)

以上の残存率である。頸部と胴部にそれぞれ1条の突帯を巡らす。それぞれ口径23.0cm、底径9.0cm、10.3cm、器高35.8cm、35.3cm。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。18は口縁部内面に横方向のハケ目調整を行う。17は胴部中位に、18は胴部中位及び胴部下位から外底にかけて黒斑が認められる。淡褐色。19~21は袋状口縁壺。19は復元口径

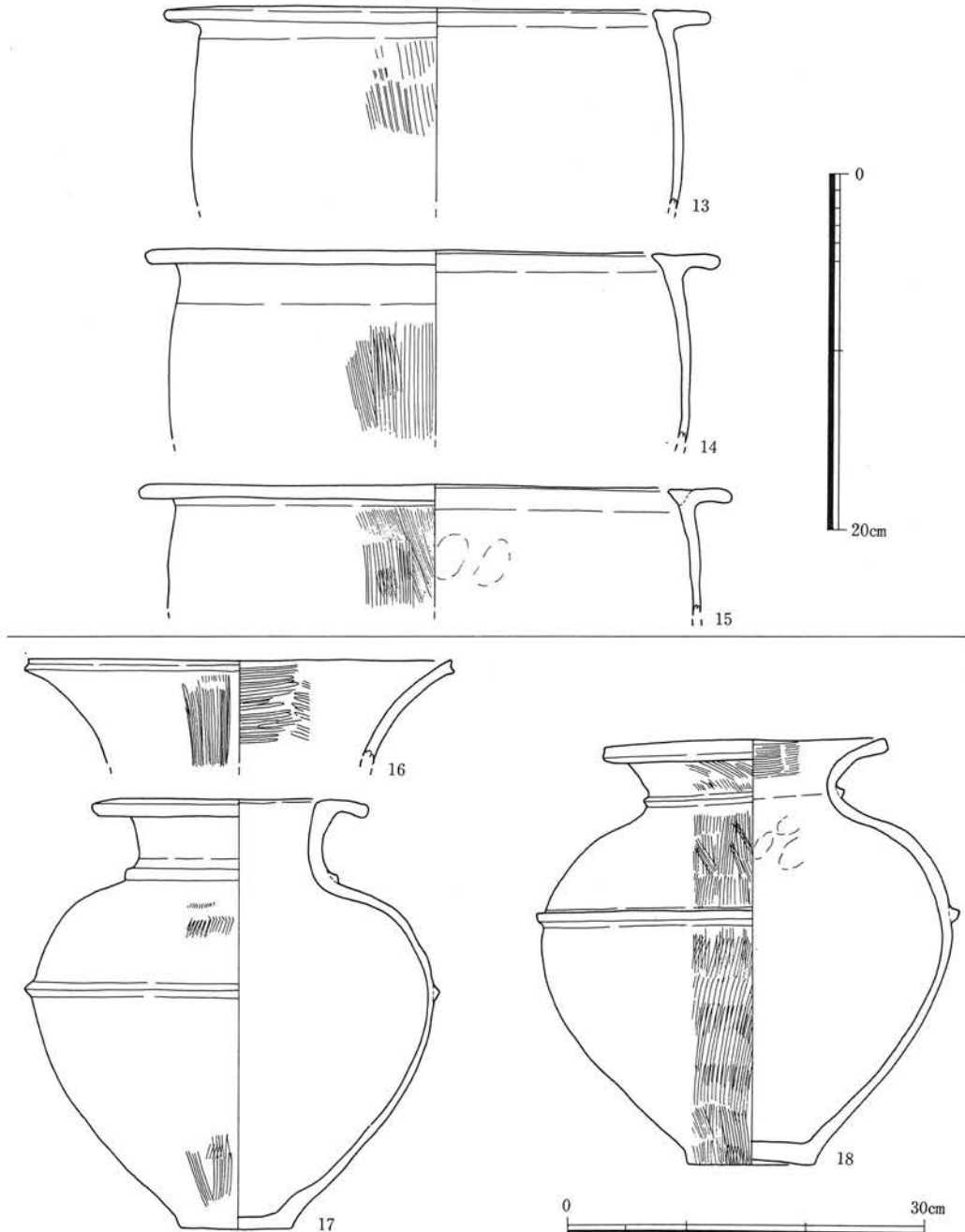


Fig. 77 SK005出土遺物実測図③ (1/4・1/6)

IV. 調査の記録

5.6cm、底径6.7cm、器高18.1cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡褐色。20はほぼ完形に近く、頸部と胴部中位にそれぞれ1条の突帯を巡らす。口径12.0cm、底径9.0cm、器高25.4cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡褐色。21は口縁部を欠損する。底径8.0cm。外面粗いハケ目調整、内面は工具によるナデ調整を基本とするが、部分的にハケ目が認められる。淡褐色。22は復元口径14.6cm、底径8.0cm、器高17.2cm。口縁部横ナデ、外面下位は工具によるナデ、他はハケ目、内面はナデ調整。淡褐色。23は短頸の直口壺で、ほぼ完形品である。口径8.4cm、底径5.8cm、器高13.6cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面指ナデ、内底付近は工具によるナデ調整。口縁部外面と胴部下半に黒斑が認められる。淡褐色。24は無頸壺。復元口径7.4cm、底径6.0cm、器高11.0cm。胴部上位に焼成後に穿たれた穿孔を有する。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面指ナデ調整。外面淡褐色、内面暗褐色。

鉢 (25~37) 25~28は復元口径27.0~29.8cm、底径7.4~9.3cm、器高16.5~21.1cm。基本的に口縁部外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。27は胴部外面下半に黒斑が認められる。

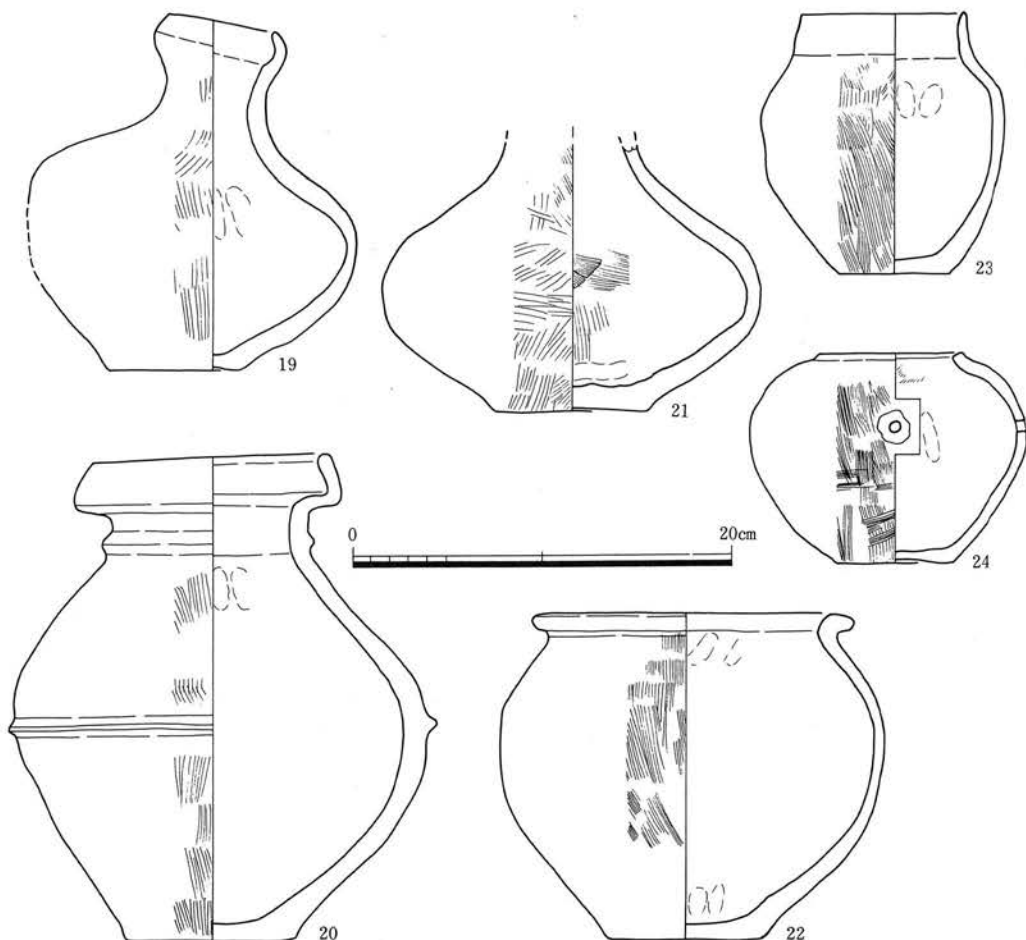


Fig. 78 SK005出土遺物実測図④ (1/4)

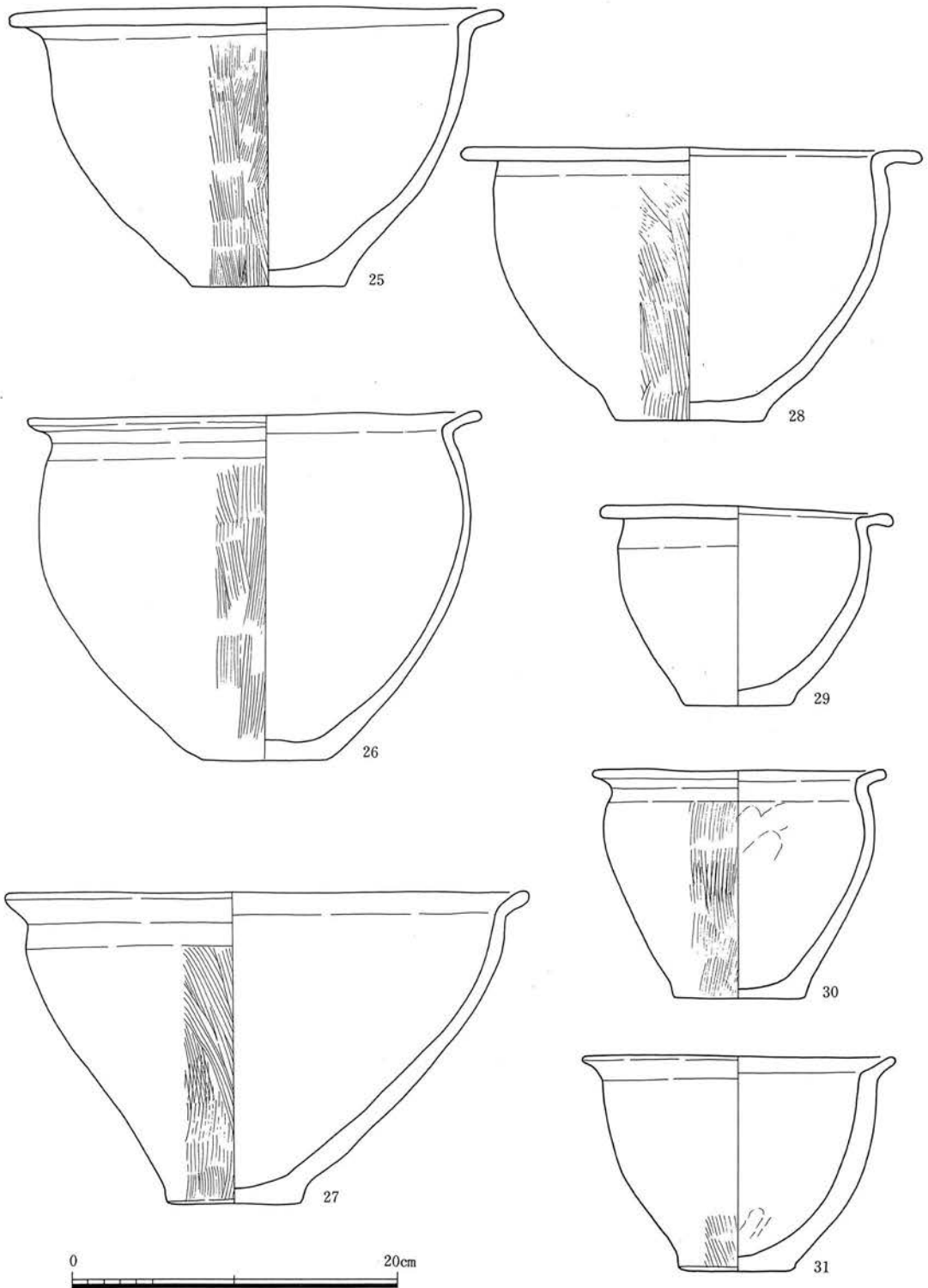


Fig. 79 SK005出土遺物実測図⑤ (1/4)

IV. 調査の記録

いずれも淡褐色を呈する。29～31は復元口径17.0～18.6cm、底径6.4～8.0cm、器高12.0～13.8cm。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面工具によるナデ調整。29は外面に黒斑が認められる。いずれも淡褐色を呈する。32～37は口縁が直口するタイプ。32・33は復元口径26.0cm、26.4cm、同底径10.0cm、11.0cm、器高17.9cm、21.3cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整を基本とする。33は内面に部分的ではあるが、ハケ目調整を行う。32は胴部外面下半に黒斑が認められる。両者とも外面淡褐色、内面暗褐色。34～37は小型の鉢で、34は復元口径12.7cm、底径5.0cm、器高6.8cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。35は復元口径16.1cm、同底径5.6cm、器高8.0cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面不定方向のハケ目調整。外面に黒斑が認められる。褐色。36は完存品で、口径8.6cm、底径5.3cm、器高6.8cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面工具によるナデ調整。淡褐色。37は完存品。口径8.4cm、底径3.7cm、器高6.2cm。器面は指押さえ及び指ナデにより仕上げる。橙褐色。

高坏 (38～42) 38～40は7割り以上の残存率である。38は外口径30.5cm、脚部径18.2cm、器高21.6cm。口縁部横ナデ、坏部外面ハケ目、内面ナデ、脚部外面ナデ調整で、脚部内面にはしほり痕が認められる。淡褐色。39は復元外口径23.4cm、脚部径14.0cm、器高19.7cm。口縁部横

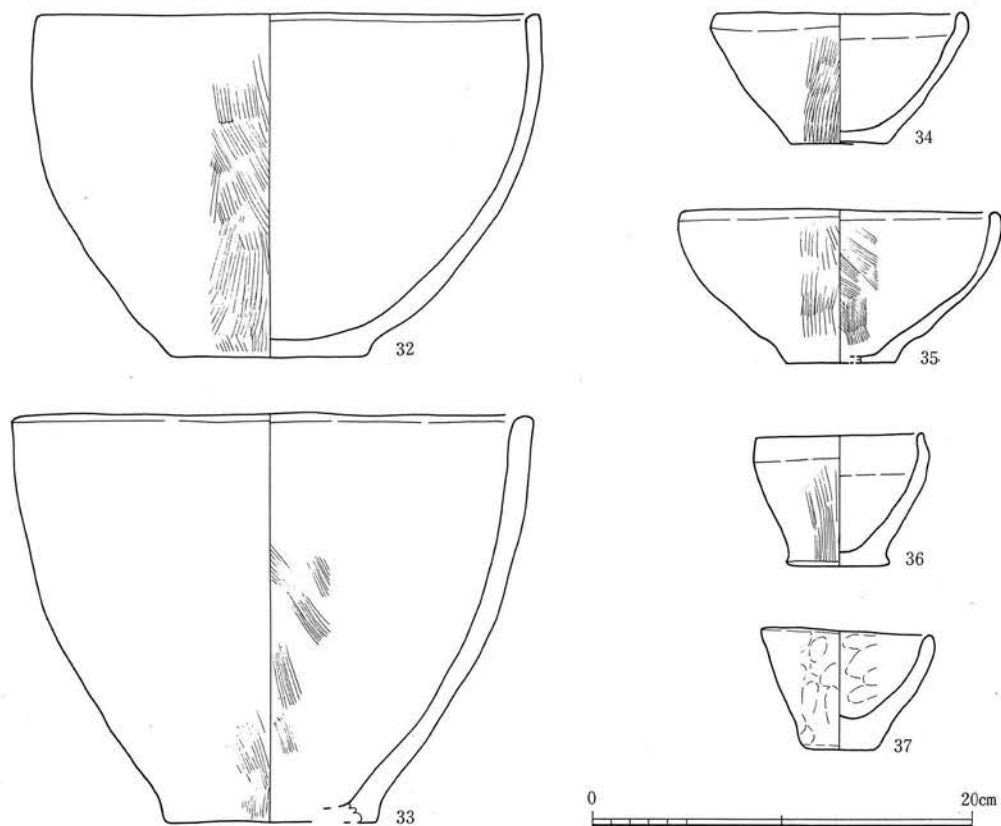


Fig. 80 SK005出土遺物実測図⑥ (1/4)

ナデ、他は調整不明瞭。脚部内面にはしほり痕が認められる。淡橙褐色。40は口縁端部を欠損する。内口径19.2cm、復元脚部径16.5cm、器高19.3cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。淡褐色。41・42は坏部破片。41は復元外口径31.0cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。橙褐色。42は口縁が直口するタイプで、復元口径28.8cm。体部中位に1条の突帯を巡らす。磨耗のため調整不明瞭。淡褐色。

蓋 (43) つまみ部分の破片で、外面ハケ目、内面ナデ調整。褐色を呈する。

器台 (44) 裾部破片で、裾部径11.2cm。外面ハケ目、内面ナデ調整。淡褐色を呈する。

手づくね土器 (45) 壺のような器形を呈する。復元口径4.5cm、器高6.5cm。暗褐色。

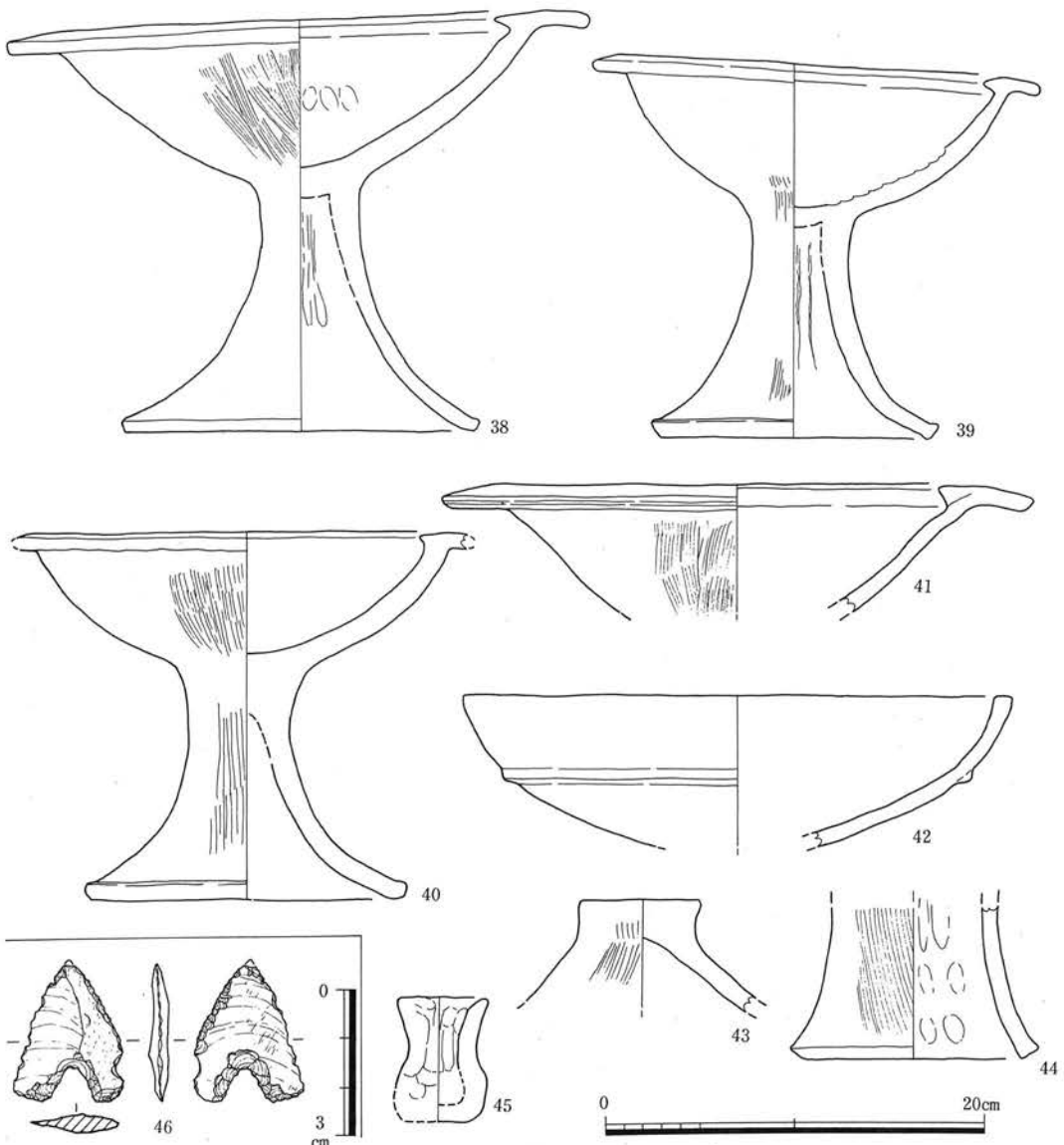


Fig. 81 SK005出土遺物実測図⑦ (1/4・1/2)

IV. 調査の記録

石鏃 (46) 黒曜石製。先端部を欠損する。残存長2.7cm、最大厚0.4cm。

SK006土坑 (Fig. 82)

BZ・CA-76グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。平面形は長軸3.0m、短軸1.6mの長楕円形を呈し、深さ0.6mを測る。底面は多少の凹凸が有り、中央東寄りが窪むものの概ね平坦である。壁面は北側が垂直に近く立ち上がり、南側は2段掘り状を呈し、東西壁は角度をもって立ち上がる。埋土は3層に大別でき、黒褐色土を基調としていた。遺物は多く弥生土器等がコンテナ5箱程度出土し、その出土状態から一括投棄されたものと考えられる。

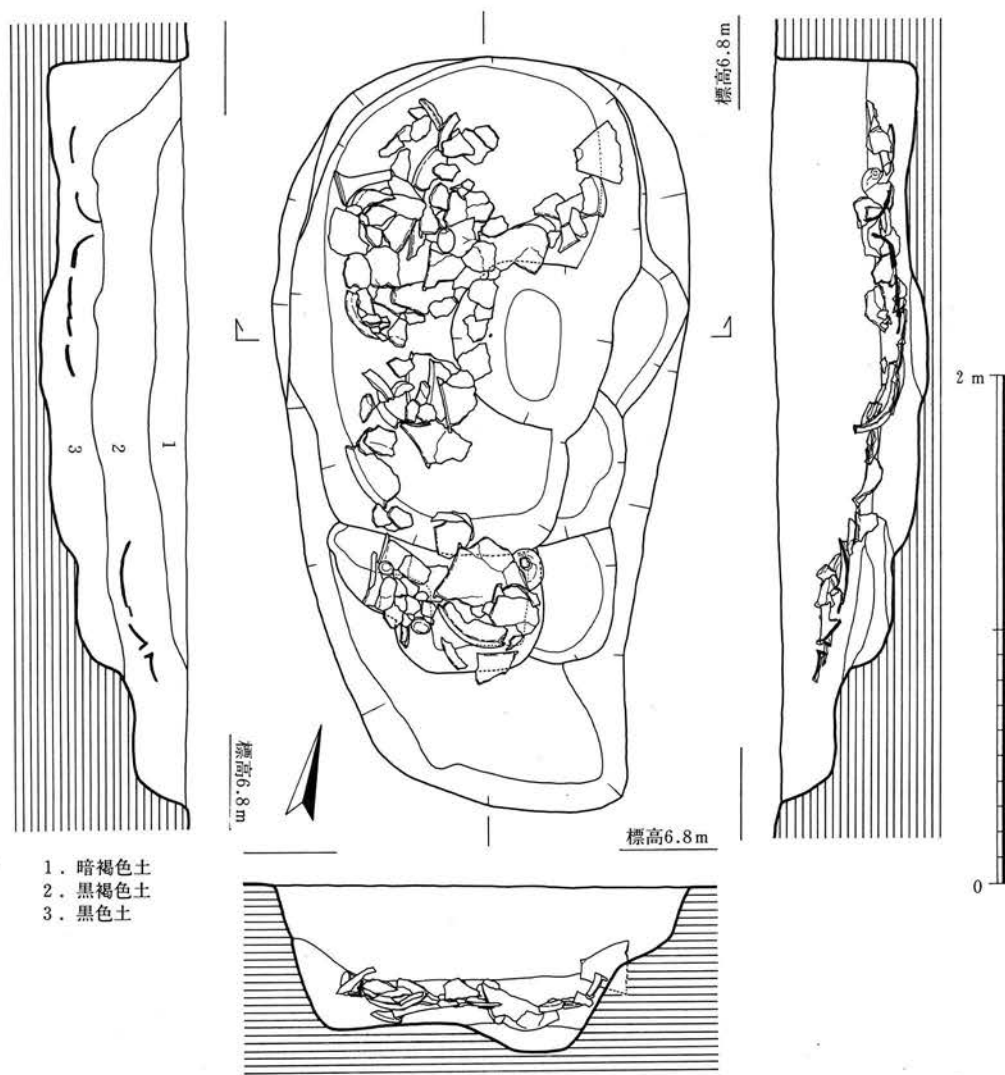


Fig. 82 SK006土坑実測図 (1/30)

出土遺物 (Fig. 83~85)

甕 (1~10) 1は完形で、内口径26.0cm、底径8.0cm、器高37.4cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のナデ、内面ナデ調整。暗褐色。2は底部を欠損する。内口径27.6cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。褐色。3~6は口縁部から胴部にかけての破片。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。3は内口径26.0cm。褐色。4は復元内口径25.0cm。淡褐色。5は内口径26.7cm。褐色。6は内口径25.8cm。褐色。7~10は底部破片。基本的に外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。7は底径8.4cm。暗褐色。8は底径8.1cm。外面暗褐色、内面褐色。9は復元底径7.8cm。暗褐色。10は底径8.0cm。外面に煤の付着が認められる。褐色。

壺 (11) 復元内口径12.0cm、底径16.5cm、器高14.1cm。口縁部横ナデ、外面調整不明瞭、内面ナデ調整。内底付近には指頭圧痕を残す。また口縁部に穿孔を有し、外底には黒斑が認められる。淡褐色を呈する。

高坏 (12~14) 12は坏部

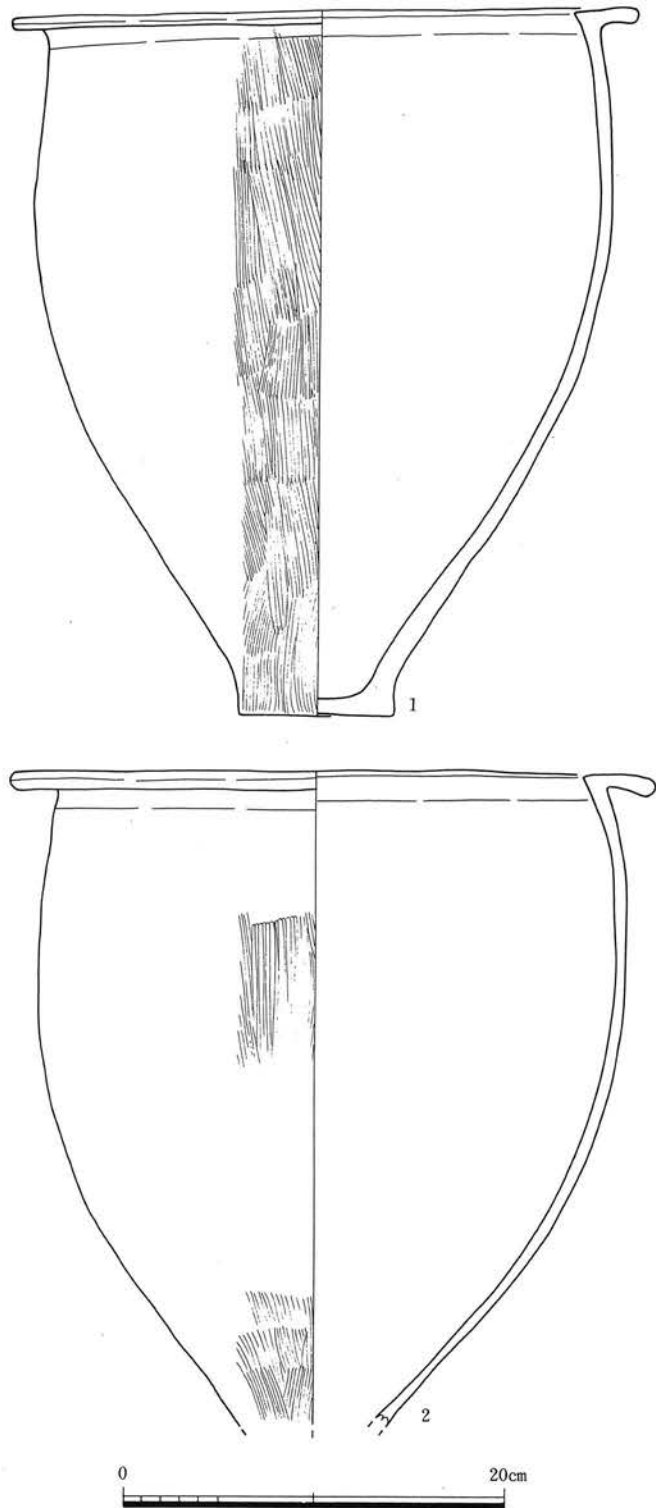


Fig. 83 SK006出土遺物実測図① (1/4)

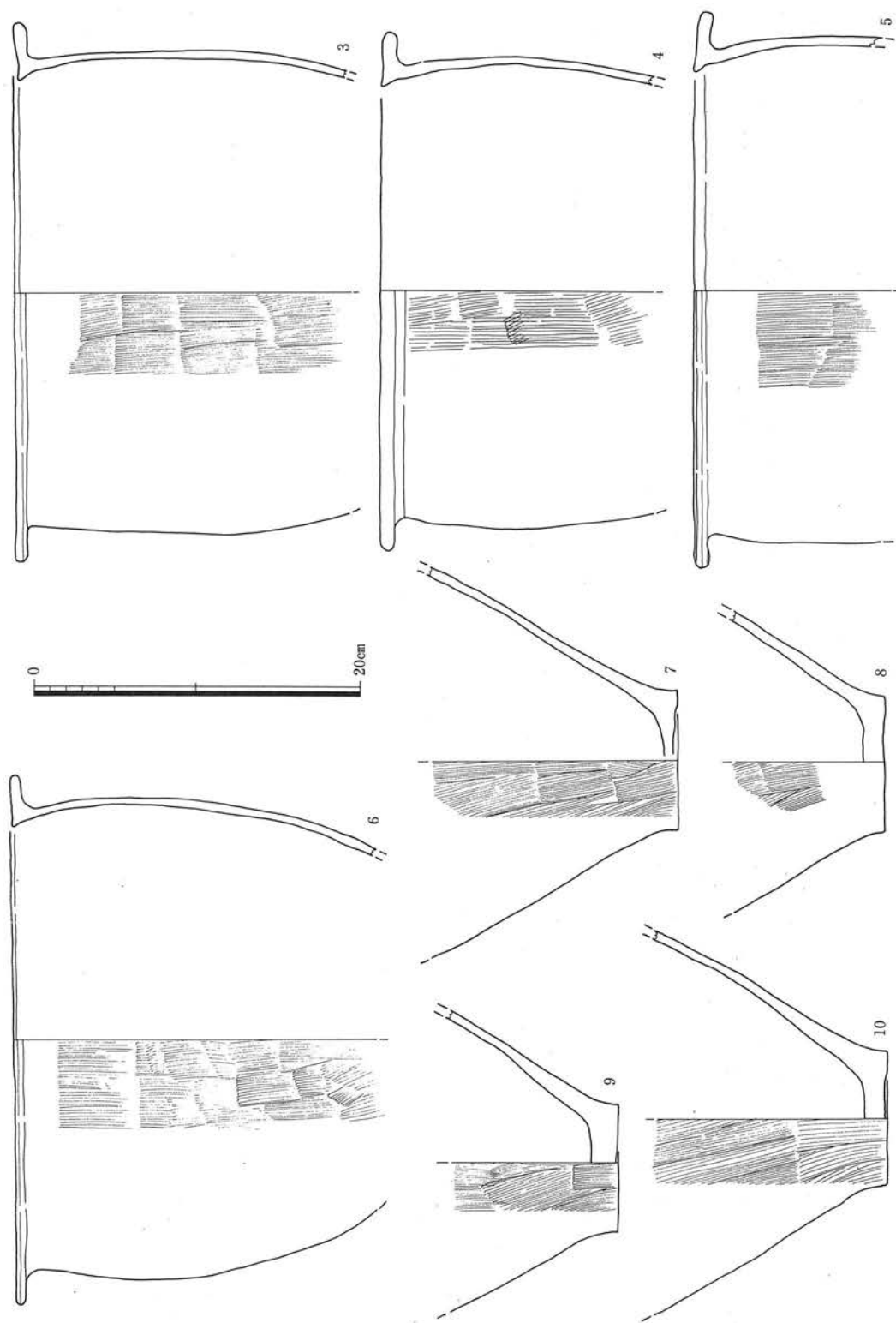


Fig. 84 SK006出土遺物実測図② (1/4)

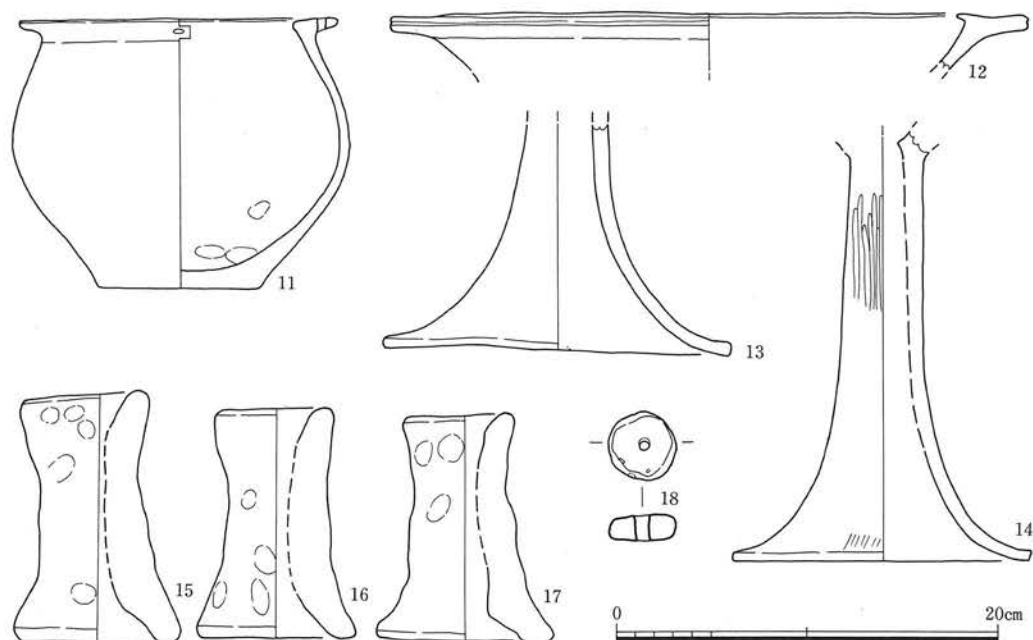


Fig. 85 SK006出土遺物実測図③ (1/4)

口縁破片。復元内口径26.0cm。内外面横ナデ調整。淡褐色。13・14は脚部破片。13は脚部径17.9cm。磨耗のため調整不明瞭。茶褐色。14は脚部径18.0cm。外面縦方向のヘラミガキ、内面ナデ調整。また内面にはしほり痕が認められる。明褐色。

支脚 (15~17) いずれもほぼ完形に近く、受部径5.6~6.2cm、裾部径7.8~9.2cm、器高12.0~13.1cm。器面は基本的にナデ調整。部分的に指頭圧痕を残す。すべて淡褐色を呈する。

土製紡錘車 (18) 完存品で、径3.6cm、厚さ1.4cm。中央に径0.6cmの穿孔を貫通させる。褐色を呈する。

SK034土壌 (Fig. 86)

BJ・BK-69・68グリッドで検出した。検出面の標高は6.1m。遺構の一部は調査区外にあり、その全貌は知り得ないが、かなり大型の土壌で、検出できた部分の長軸は5.5m、深さ1.3m程度である。底面はほぼ平坦で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調としていた。遺物は多く埋土中より弥生土器、石器、木製品等がコンテナ3箱程度出土している。

出土遺物 (Fig. 87~89)

甕 (1~11) 1は大甕で復元口径38.4cm。胴部中位に1条の突帯を巡らす。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。淡褐色。2~9は口縁部破片。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。2は復元外口径23.4cm。淡褐色。3は復元口径20.4cm。

IV. 調査の記録

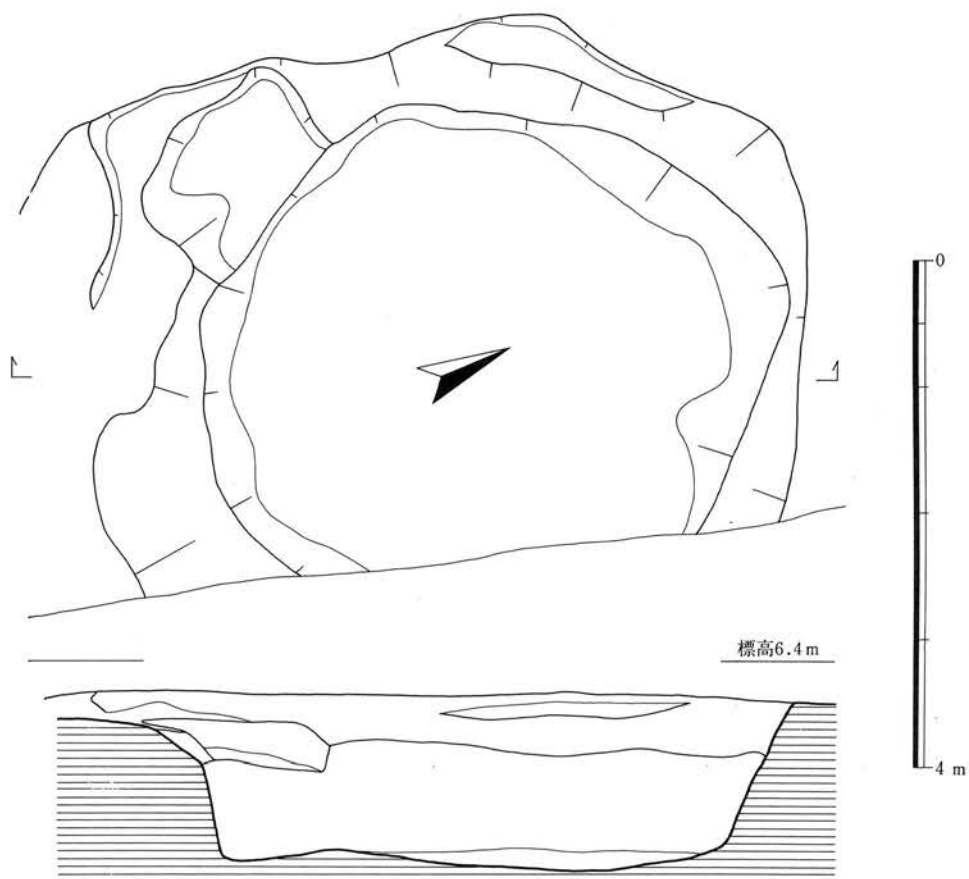


Fig. 86 SK034土壌実測図 (1/60)

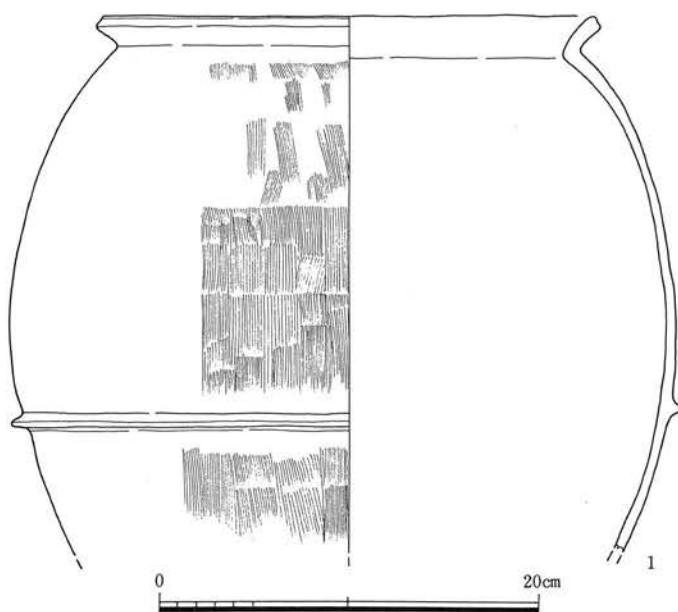


Fig. 87 SK034出土遺物実測図① (1/6)

淡褐色。4は復元口径14.1 cm。外面暗褐色、内面褐色。5は復元内口径22.6 cm。明褐色。6は復元内口径25.8 cm。褐色。7は口縁部と胴部の境に1条の突帯を巡らす。復元口径24.4 cm。褐色。9は復元口径26.4 cm。口縁部内面はハケ目調整を行う。褐色。復元口径25.4 cm。口縁部内面はハケ目調整を行う。褐色。10・11は底部破

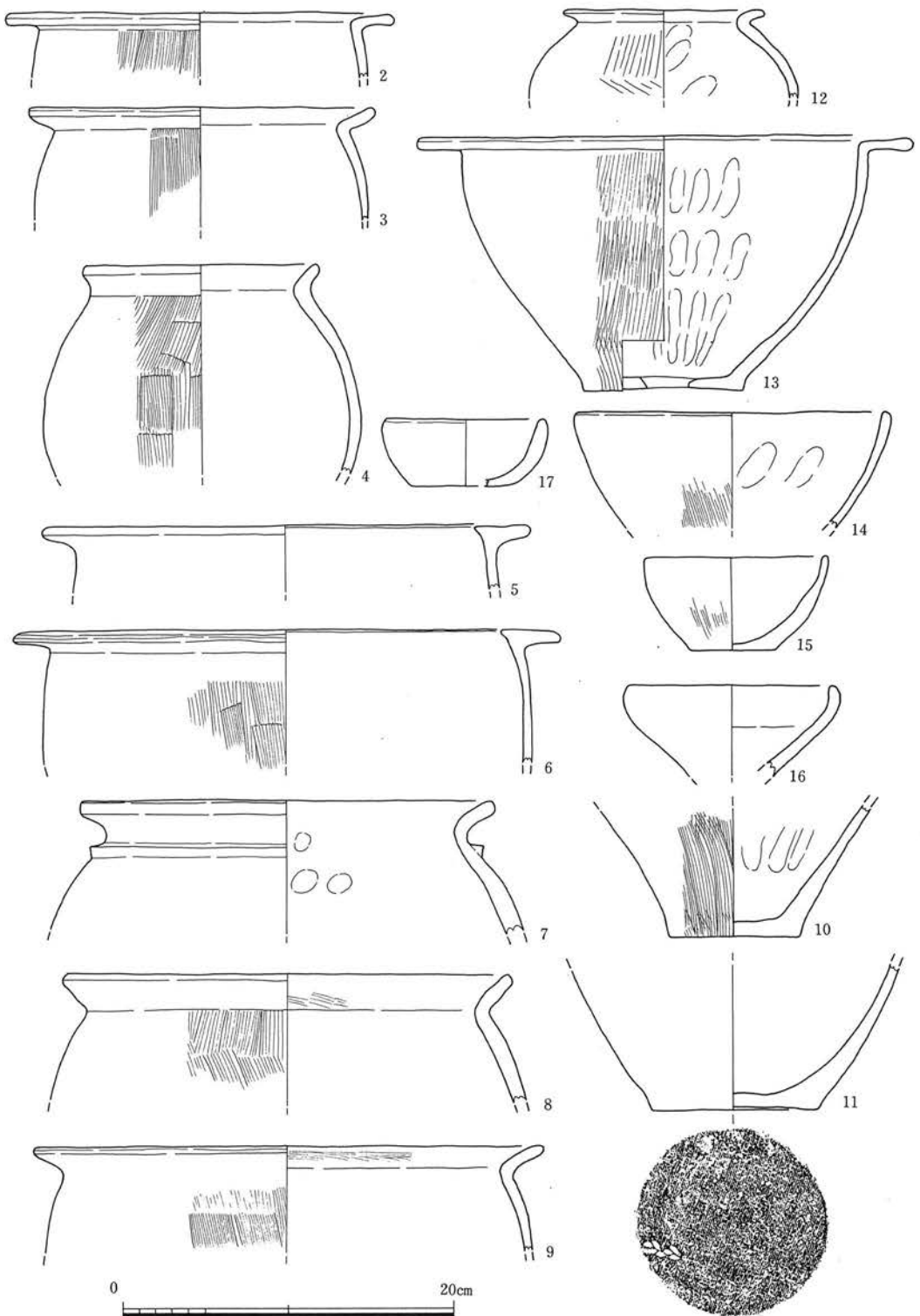


Fig. 88 SK034出土遺物実測図② (1/4)

IV. 調査の記録

片。10は底径7.9cm。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。暗褐色。11は内外面ともナデ調整。外底面には靱圧痕を残す。褐色。

壺 (12) 口縁部破片で、復元口径12.0cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。外面には丹塗りをを行い、内面は丹塗りの痕跡が認められる。淡褐色。

鉢 (13~17) 13は復元内口径23.4cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。淡褐色。15は復元口径10.8cm、同底径5.0cm、器高5.6cm。口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整。体部下端から外底にかけて黒斑が認められる。淡褐色。16は底部を欠損する。復元口径12.2cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。淡褐色。17は復元口径9.5cm、同底径6.3cm、器高4.0cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。淡褐色。

器台 (18) 外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。また内面にはしぼり痕が認められる。淡褐色を呈する。

支脚 (19) 受部を袋状にまとめるタイプで、受部径3.2cm、復元裾部径11.1cm、器高13.2cm。外面縦方向のハケ目、他は横ナデもしくはナデ調整。また内面にはしぼり痕が認められる。淡褐色。

投弾 (20) 完存品で、長さ4.4cm、径2.4cm。淡褐色を呈する。

石器 (21・22) 21は石包丁。残存長9.9cm、幅5.6cm。穿孔は両側から行う。刃部は比較的丁寧に研ぎだす。粘板岩系か。22は石斧。体部及び刃部を欠損する。残存長12.0cm、幅7.4cm。全

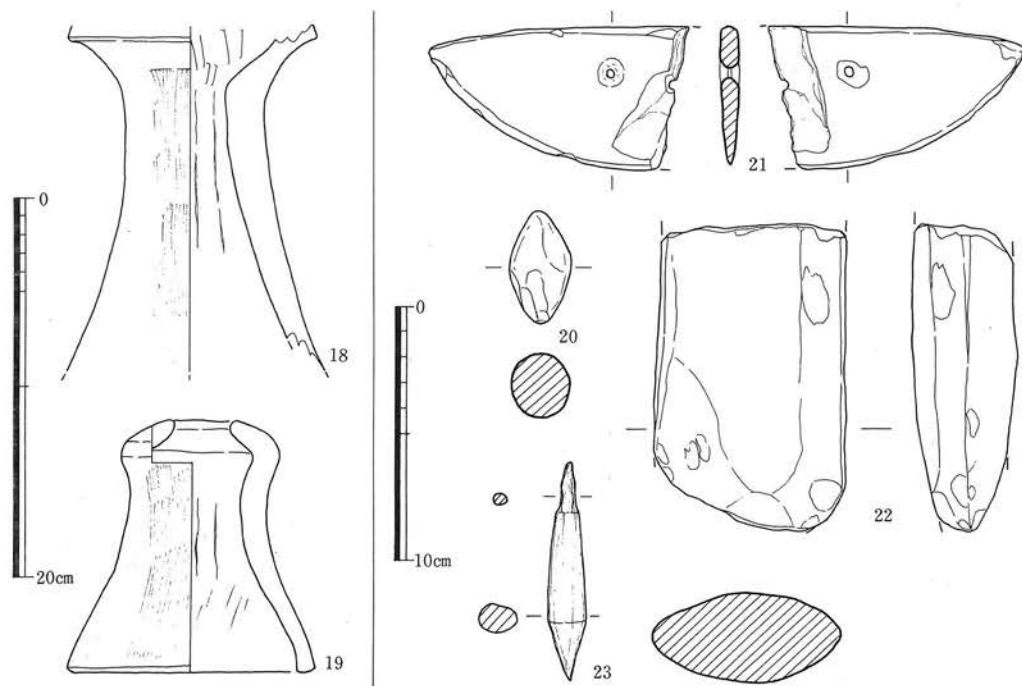


Fig. 89 SK034出土遺物実測図③ (1/4・1・3)

体に磨耗している。

木製品 (23) やすもしくは浮子
か。長さ8.7cm。最大径1.5cm。

SK035土壌 (Fig. 90)

BD-68グリッドで検出した。検出面の標高は5.9m。平面形は長軸2.3m、短軸1.8mの隅丸長方形に近い形状を呈し、深さ0.45mを測る。底面は概ね平坦で、壁面は南北壁はやや緩く、東壁は垂直に近く、西壁は2段掘り状を呈する。埋土は5層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。遺物は埋土中より弥生土器等がビニール1袋程度出土している。

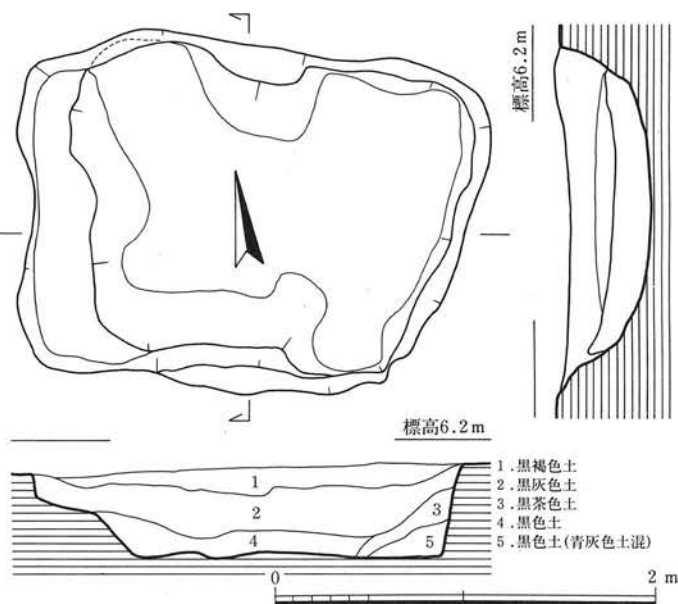


Fig. 90 SK035土壌実測図 (1/40)

出土遺物 (Fig. 92)

甕 (1~3) 1・2は口縁部破片。復元口径21.8cm、33.1cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。褐色を呈する。3は底部破片。外底には葉脈痕を残す。赤褐色。

SK039土壌 (Fig. 91)

BI-68・69グリッドで検出した。検出面の標高は6.0m。平面形は一辺2.1mの不整形方形を呈し、深さ0.6mを測る。底面は浅いレンズ状を呈し、壁面はやや角度をもって立ち上がる。埋土は4層に大別でき、黒褐色土を基調としていた。遺物は多く埋土中より弥生土器等

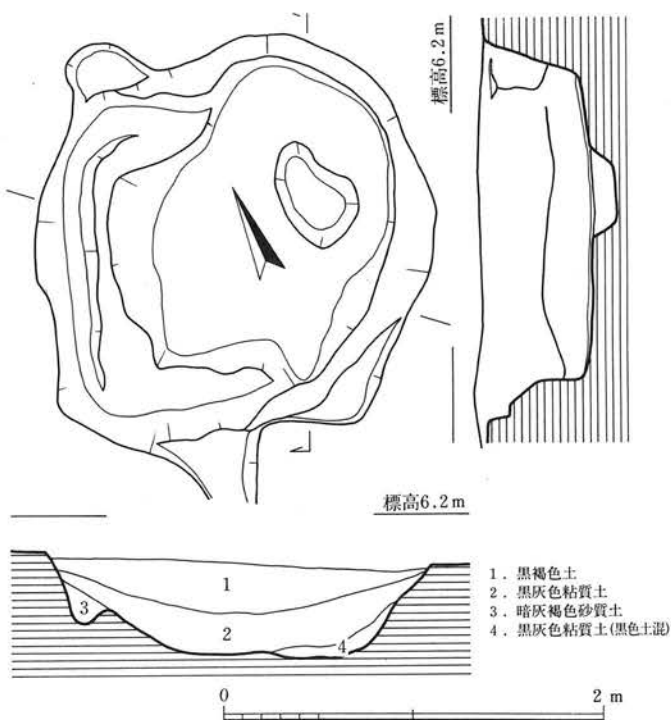


Fig. 91 SK039土壌実測図 (1/40)

IV. 調査の記録

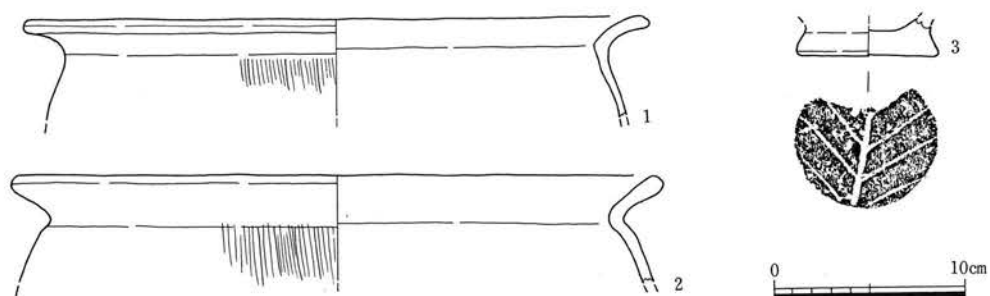


Fig. 92 SK035出土遺物実測図 (1/4)

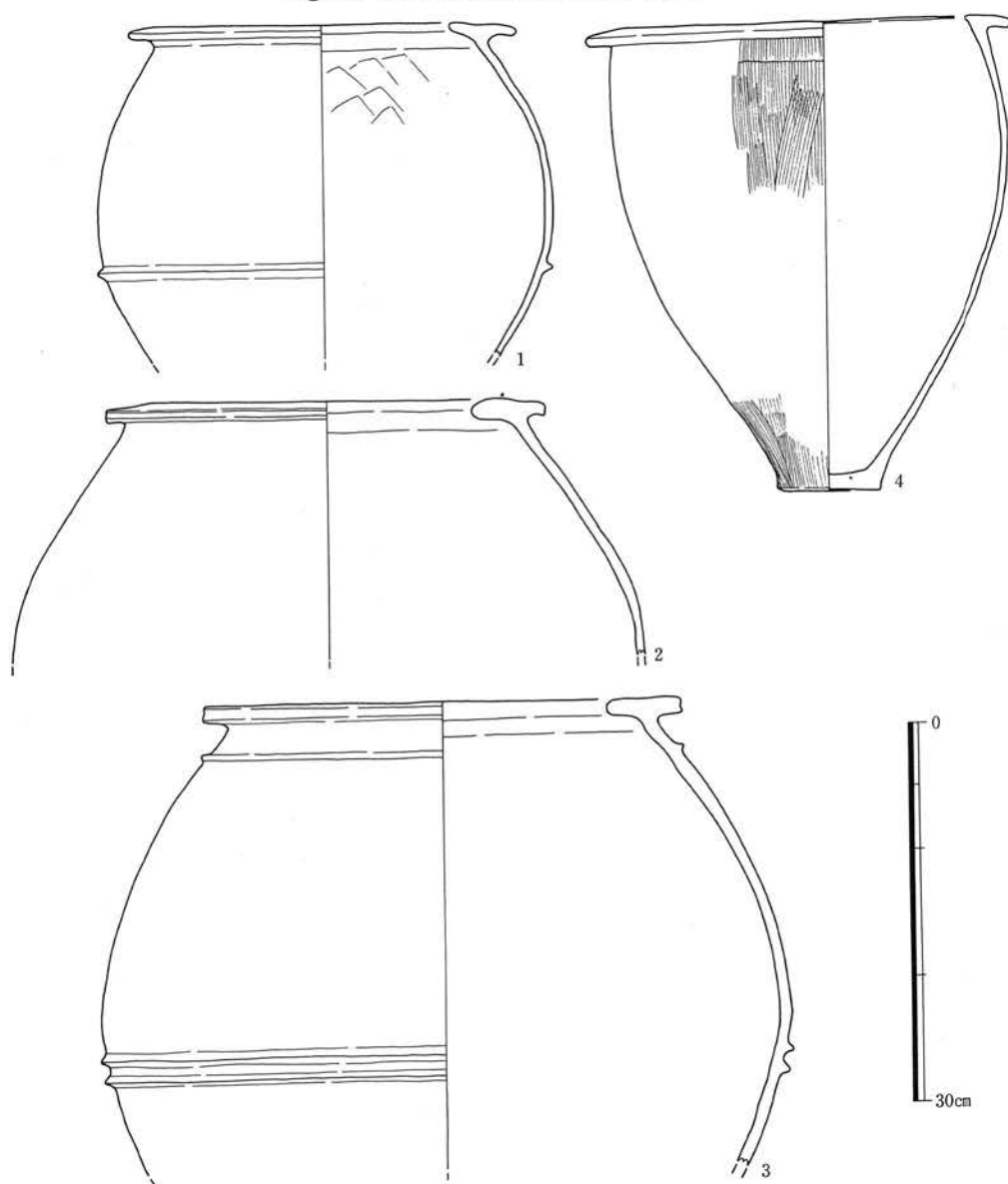


Fig. 93 SK039出土遺物実測図① (1/6)

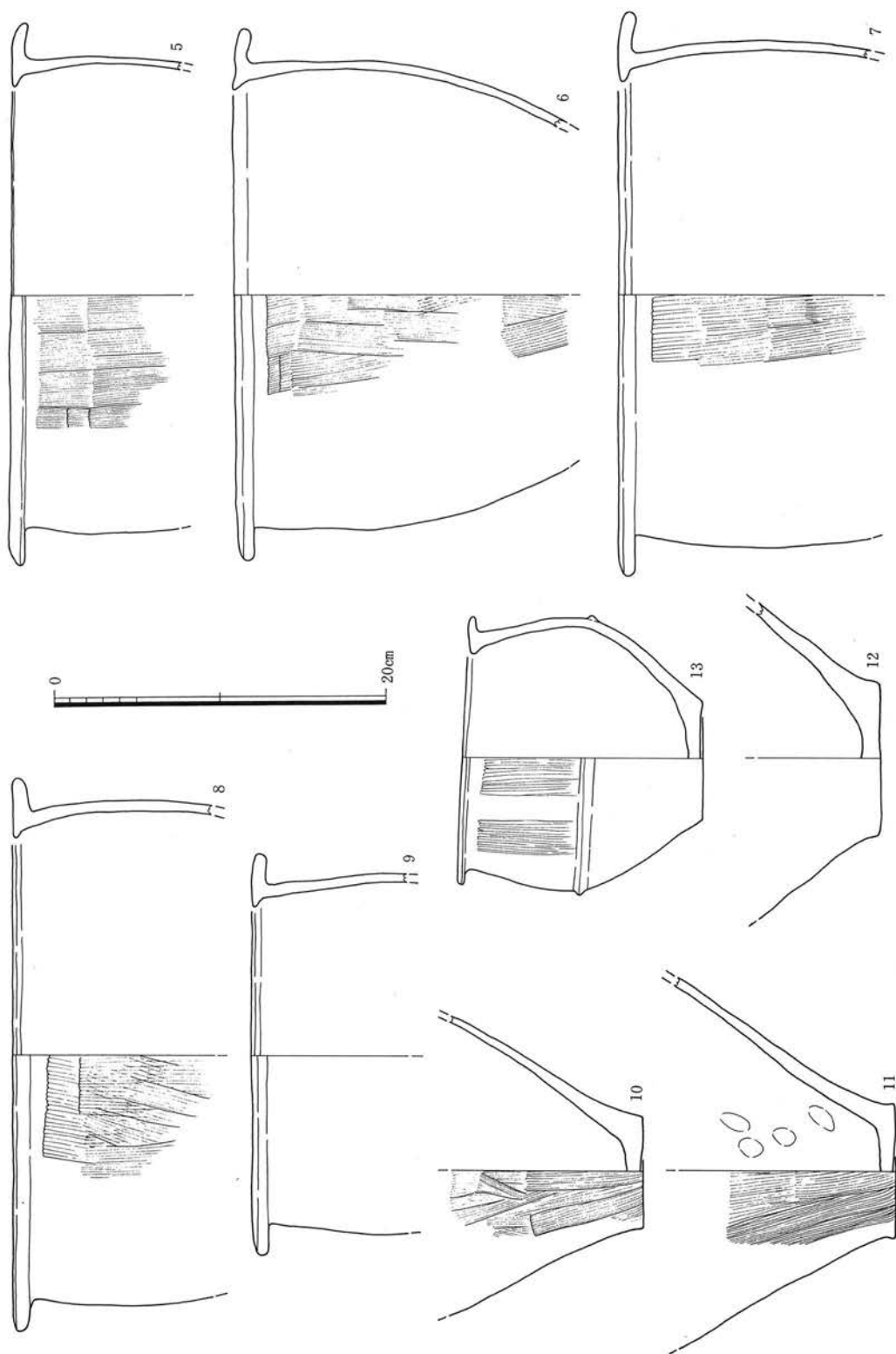


Fig. 94 SK039出土遺物実測図② (1/4)

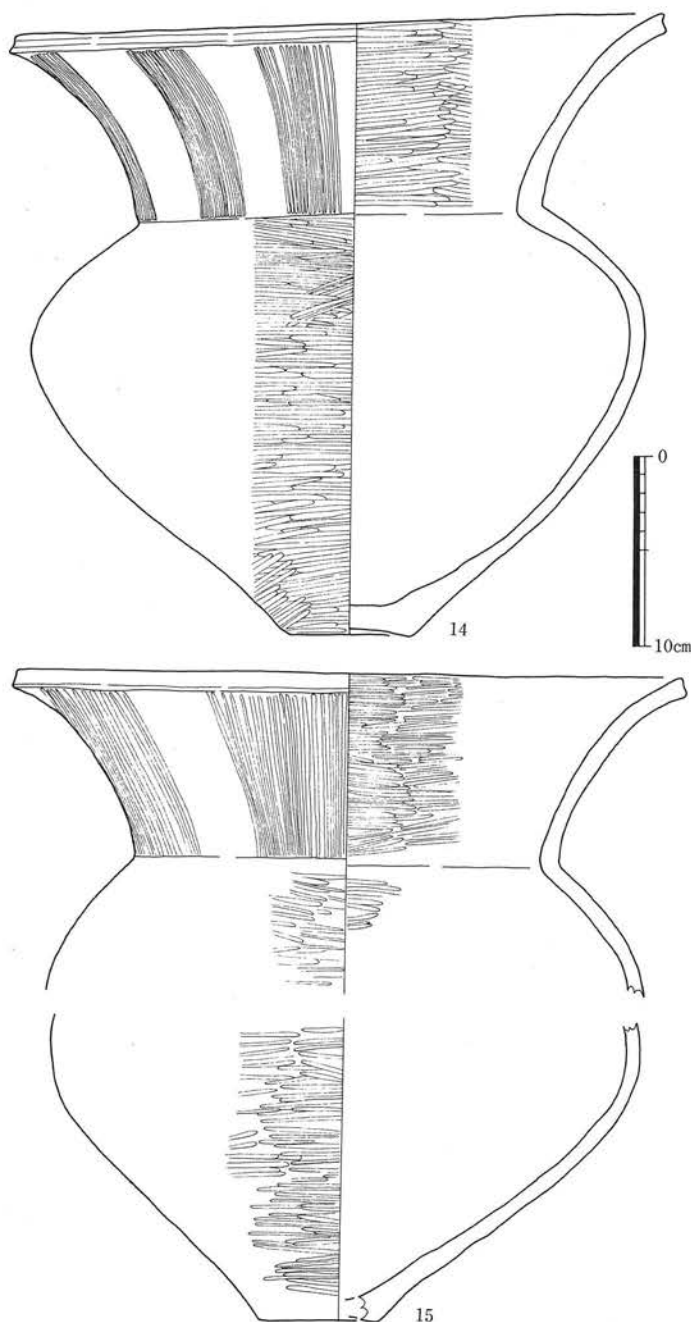


Fig. 95 SK039出土遺物実測図③ (1/4)

がコンテナ 3 箱程度出土した。

出土遺物 (Fig. 92)

甕 (1~13) 1 は胴部中位下半に突帯を巡らす。内口径19.8cm、外口径30.2cm。口縁部横ナデ、他は工具によるナデ調整を行う。胴部外面上位に黒斑が認められる。外面褐色、内面黄褐色。2 は復元内口径22.6cm、同外口径34.4cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。胴部上位から口縁部にかけて、煤の付着が認められる。褐色。3 は胴部中位に 2 条と、上位に 1 条の突帯を巡らす。復元内口径25.8cm、同外口径37.8cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。胴部外面には黒斑が認められる。外面褐色、内面黄褐色。4 は復元内口径26.0cm、底径7.8cm、器高36.8cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。暗褐色。5~6 は口縁から胴部にかけての破片で、基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。23

は復元内口径24.6cm、同外口径32.4cm。暗褐色。6 は復元内口径24.6cm、同外口径31.8cm。口縁部付近に煤が付着する。暗褐色。復元内口径25.4cm、同外口径33.8cm。外面には煤が付着する。暗褐色。内口径26.0cm、外口径33.2cm。内外面に煤の付着が認められる。褐色。9 は復元

内口径17.6cm、同外口径24.0cm。内外面工具によるナデ調整を行う。褐色。10~12は底部破片。10・11は外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。12は内外面とも工具によるナデ調整。10は底径6.6cm。暗褐色。11は底径8.1cm。内面に指頭圧痕を残す。暗褐色。12は底径9.2cm。黄褐色。13は小型の甕で、胴部中位に1条の突帯を巡らす。復元内口径12.4cm、同外口径16.0cm。突帯部から口縁部の間に縦方向にヘラによる暗文を施す。口縁部横ナデ、他はナデ調整。外底に黒斑が認められる。明褐色。

壺 (14~18) いずれも広口壺。14は口径33.8cm、底径6.2cm、器高31.9cm。口縁外面はヘラ状工具による縦方向の暗文を施し、同内面は横方向のヘラミガキ調整を行う。胴部外面も横方向のヘラミガキ、内面はナデ調整を行う。外面から口縁部内面にかけて赤色顔料塗布の痕跡が認められる。橙褐色。15は接合はしなかったが同一個体と思われる。復元口径16.8cm、底径6.1cm。口縁外面はヘラ状工具による縦方向の暗文を施し、同内面は横方向ヘラミガキ調整、胴部

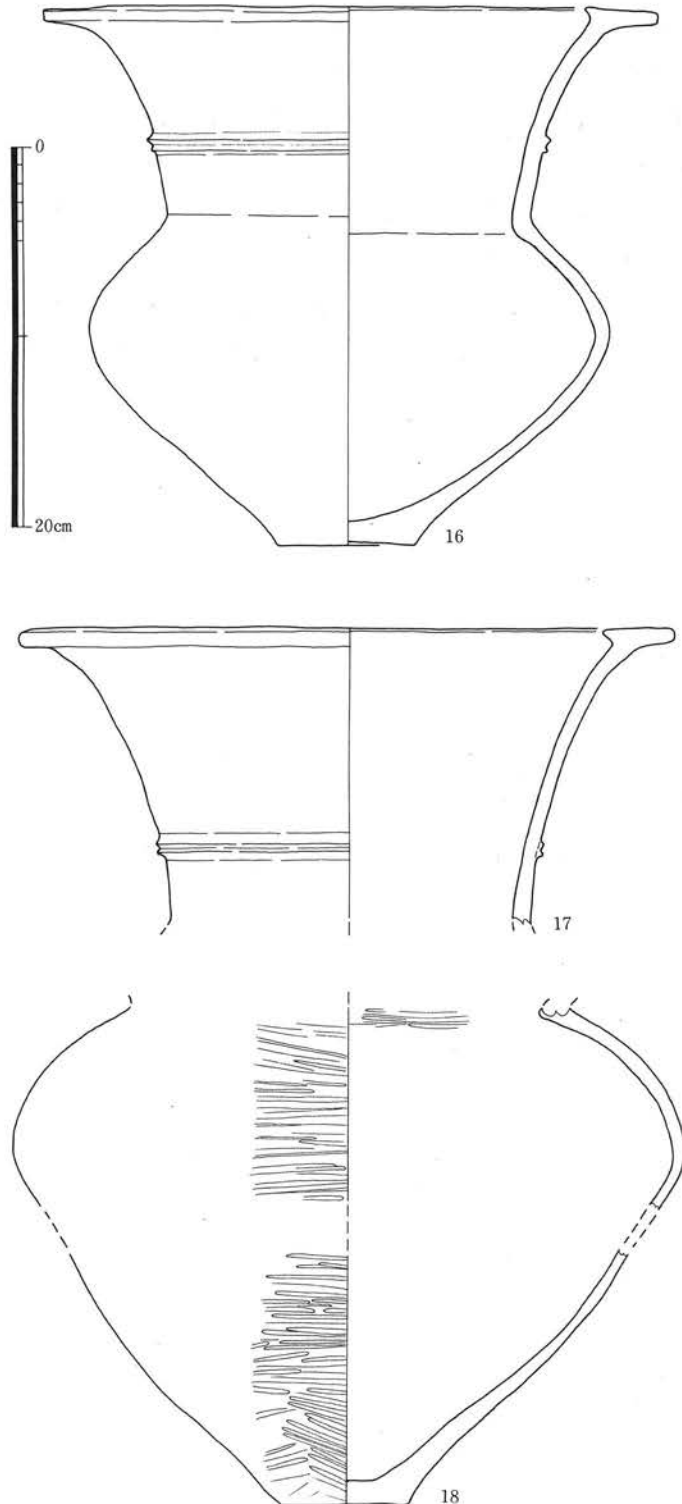


Fig. 96 SK039出土遺物実測図④ (1/4)

IV. 調査の記録

外面も横方向のヘラミガキ、胴部内面ナデ調整を行う。外面および口縁部内面に赤色顔料塗布の痕跡が認められる。茶褐色を呈する。16は頸部に断面M字の突帯を巡らす。内口径24.4cm、外口径32.0cm、底径7.2cm、器高28.4cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。褐色を呈する。17は口縁部破片。復元内口径26.4cm、同外口径34.0cm。断面M字の突帯を巡らす。口縁部横ナデ、他はナデ調整。茶褐色を呈する。18は口縁部を欠損する。底径6.1cm。外面横方向のヘラミガキ、内面ナデ調整。茶褐色を呈する。

蓋 (19・20) 19は復元口径32.5cm、器高10.3cm。外面ハケ目、内面工具によるナデ調整。口縁部付近に黒斑が認められる。内面暗褐色、外面褐色を呈する。20はつまみ部分を欠損する。

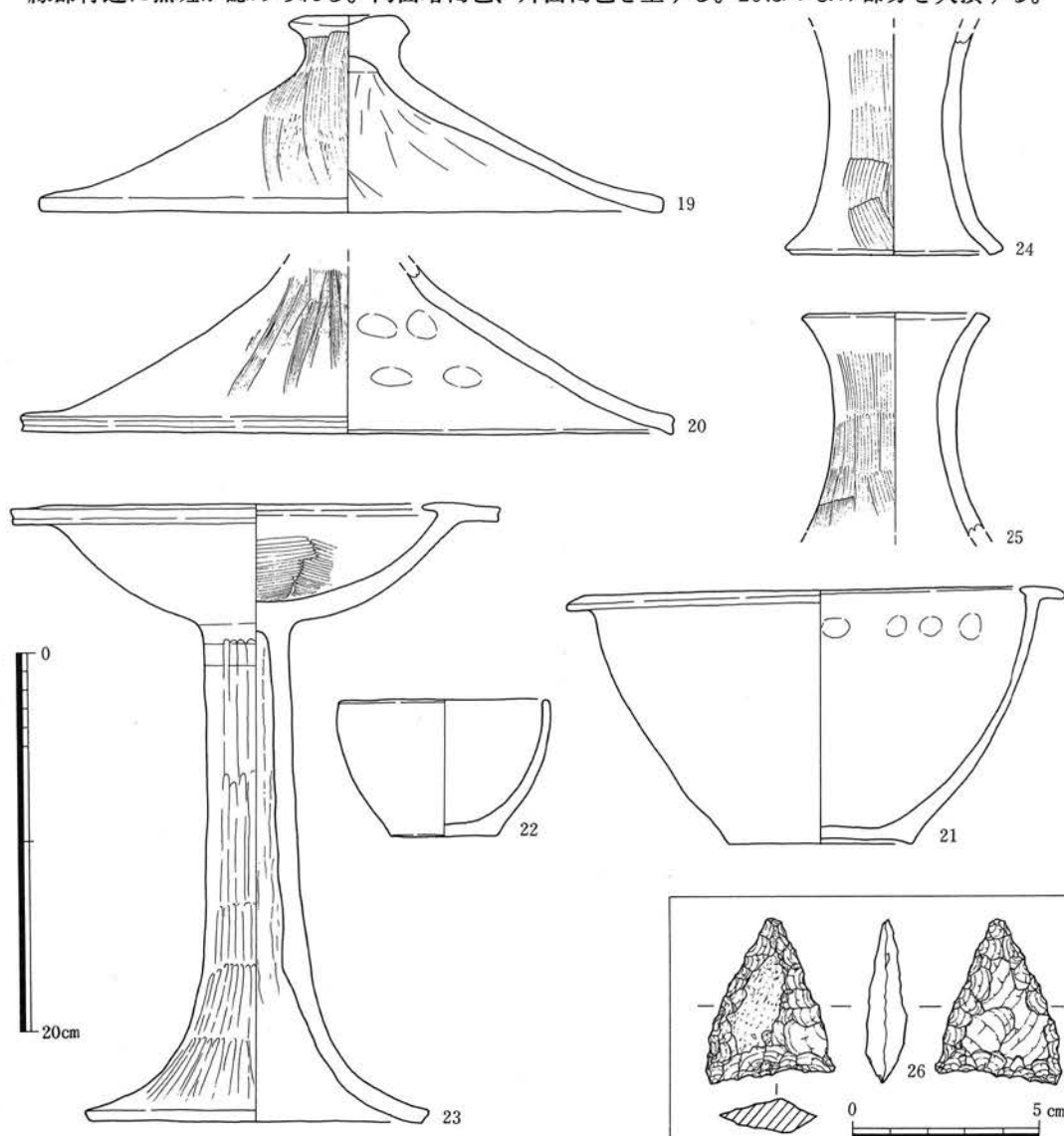


Fig. 97 SK039出土遺物実測図⑤ (1/4・1/2)

口径34.1cm。外面ハケ目、内面工具によるナデ調整。口縁部内面と体部外面上位に黒斑が認められる。内面暗褐色、外面黄褐色を呈する。

鉢 (21・22) 21はほぼ完形に近く、内口径21.6cm、外口径26.3cm、底径9.4cm、器高13.5cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。口縁部付近の内面には指頭圧痕が残る。淡茶褐色。22は口縁が直口するタイプで、復元口径10.7cm、底径5.4cm、器高7.2cm。器面調整は不明瞭で、茶褐色を呈する。

高坏 (23) 内口径17.5cm、外口径25.6cm、脚部径17.4cm、器高32.5cm。口縁部横ナデ調整。坏部外面ナデ、内面ヘラミガキ調整。脚部外面縦方向のヘラミガキ、内面ナデ調整。また脚部内面にはしほり痕が認められる。橙褐色を呈する。

器台 (24・25) 両者とも外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。24は裾部径10.6cm。25は受部径9.0cm。いずれも褐色を呈する。

石鏃 (26) サヌカイト製。完存品で、最大長4.4cm、最大幅3.4cm、最大厚0.9cm。

SK041土壌 (Fig. 98)

BF-68グリッドで検出した。検出面の標高は5.6~5.8m。SK042と切り合い関係にあり、本土壌が後出する。平面形は径1.0m前後の不整形を呈し、深さ0.4m程度である。底面は浅いレンズ状を呈し、壁面はやや角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土1層であった。遺物は埋土中より弥生土器等がビニール2袋程度出土し、その出土状態より一括投棄されたものと考えられる。

出土遺物 (Fig. 99)

甕 (1~5) 1~3は口縁部破片。基本的に口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。1は復元口径36.0cm。茶褐色。2は復元口径23.2cm。淡褐色。3は口径27.5cm。内外面に煤の付着が認められる。器形より鉢になる可能性がある。淡褐色。4・5は底部破片で、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を基本とする。4は復元底径9.6cm。淡褐色。5は底径9.6cm。明褐色。

壺 (6) 復元口径10.6cm、底径5.6cm、器高11.1cm。胴部下位に焼成後に穿たれた穿孔を有する。口縁部横ナデ、外面ヘラミガキ、内面ナデ調整。胴部外面から口縁部内面にかけて丹塗りをを行う。外面赤褐色、内面淡褐色を呈する。

高坏 (7) 坏部破片。復元内口径16.6cm、同外口径

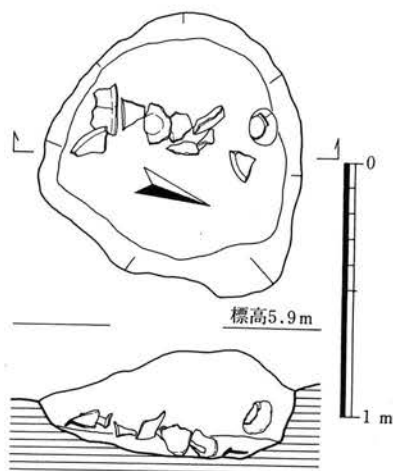


Fig. 98 SK041土壌実測図 (1/3)

IV. 調査の記録

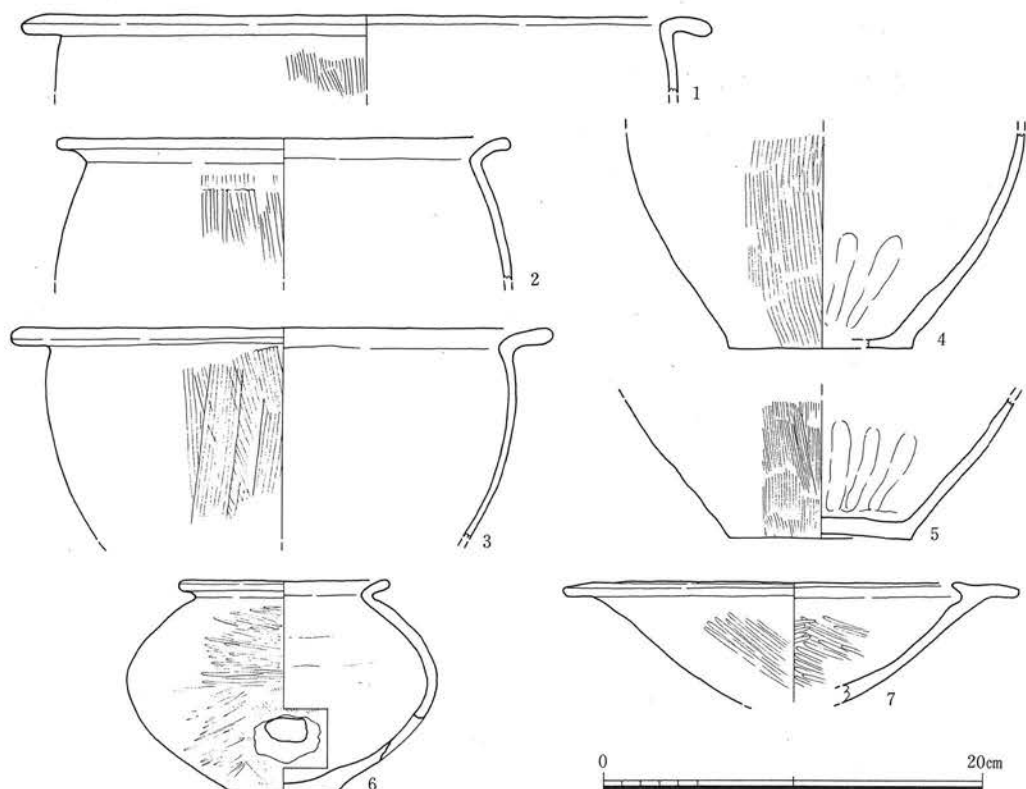


Fig. 99 SK041出土遺物実測図 (1/4)

24.0cm。口縁部横ナデ、他はヘラミガキ調整。口縁部から内面にかけて丹塗りを行う。外面暗褐色、内面赤褐色。

SK042土壌 (Fig. 100)

BF-68グリッドで検出した。検出面の標高は6.0m。SK043を切り、SK041を切られる。他の土壌と切り合うためその全貌は知り得ないが、恐らく長軸2.7m、短軸2.2m、深さ0.2m程度の不整形を呈していたと思われる。埋土は黒褐色の粘質土を基調としていた。遺物は全く出土していない。

SK043土壌 (Fig. 100)

BE-68グリッドで検出した。検出面の標高は6.0m。SK042・044と切り合い関係にあり、いずれも本土壌が後出する。他の土壌と切り合うためその全貌は知り得ない。埋土は黄褐色土が混入する黒褐色粘質土を基調としていた。遺物は埋土中よりわずかに弥生土器片が出土しているが、図示できるものはなかった。

1. 弥生時代の遺構と遺物(土壌)

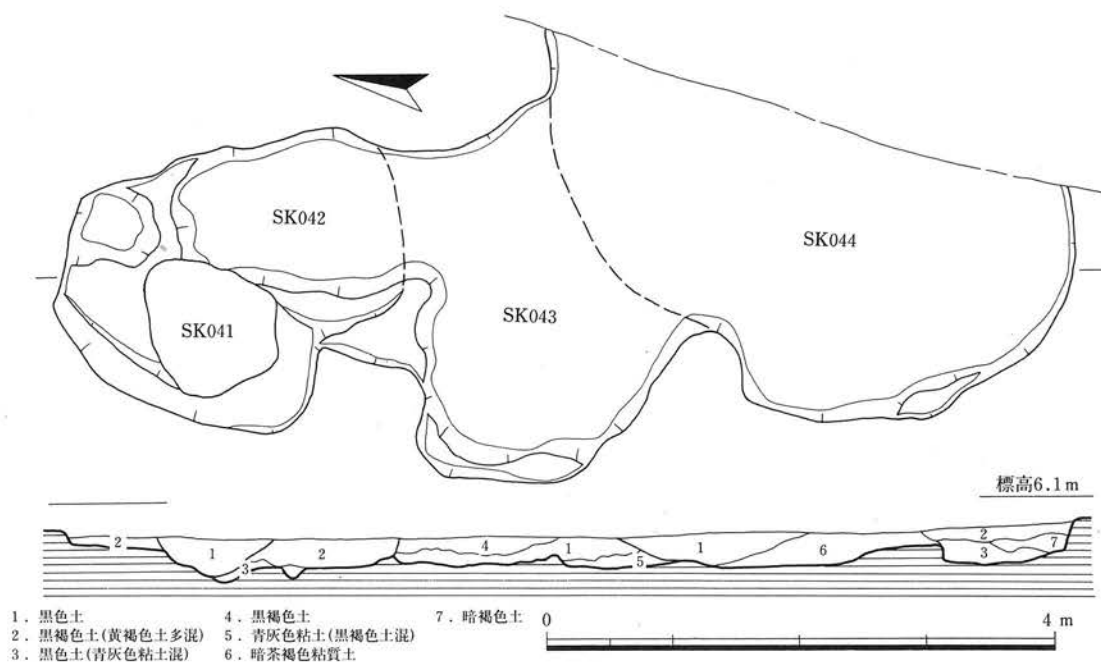


Fig. 100 SK042・043・044土壌実測図 (1/60)

SK044土壌 (Fig. 100)

BE-68グリッドで検出した。検出面の標高は6.0m。SK043を切り、遺構の半分程度は調査区外にある。そのため遺構の全貌は知り得ないが、検出できた部分は長軸約4.4m、深さ0.3m程度である。埋土は黒褐色～暗褐色の粘質土を基調としていた。遺物は埋土中より弥生土器等がビニール2袋程度出土した。

出土遺物 (Fig. 101)

壺(1) 底部破片。底径7.8cm。外面ヘラミガキ、内面ナデ調整。外底付近に黒斑が認めら

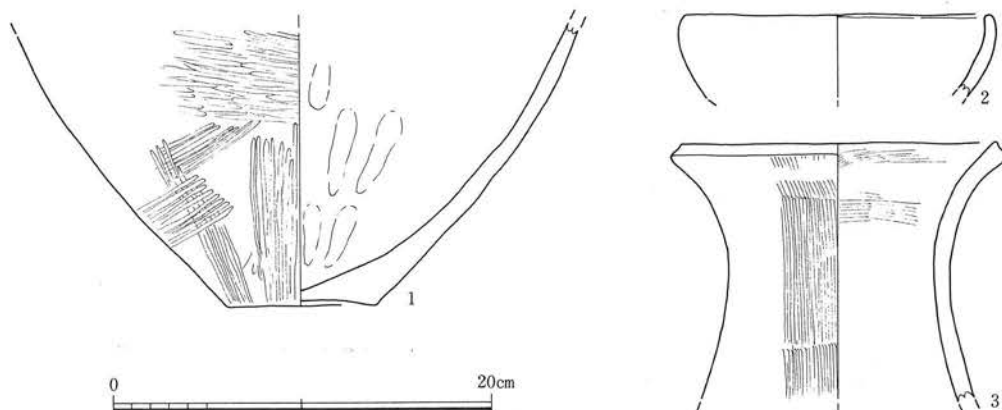


Fig. 101 SK044出土遺物実測図 (1/4)

IV. 調査の記録

れる。淡褐色を呈する。

鉢（2） 復元口径15.8cm。内外面ナデもしくは横ナデ調整。外面に黒斑が認められる。淡褐色を呈する。

器台（3） 復元受部径16.4cm。外面縦方向のハケ目、内面は受部が横方向のハケ目、他はナデ調整。淡褐色を呈する。

SK058土壌 (Fig. 102)

BT・BU-71・72グリッドで検出した。検出面の標高は6.7m。SR056と切り合い関係にあり、本土壌が後出する。平面形は長軸2.4m、短軸2.0mの隅丸長方形を呈し、深さ0.15mを測る。底面はほぼ平坦で、壁面は垂直に近く立ち上がる。また東壁に幅0.7m程度のテラスを付設する。埋土は黄褐色混じりの暗褐色土1層であった。形状から竪穴住居の可能性が考えられなくもないが、規模的な面から判断して土壌として報告する。遺物は埋土中より弥生土器片がビニール1袋程度出土している。SK065と類似する。

出土遺物 (Fig. 103)

甕（1・2） 1は口縁部破片で、復元口径20.4cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。明褐色。2は底部破片で、復元底径6.8cm。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。褐色。

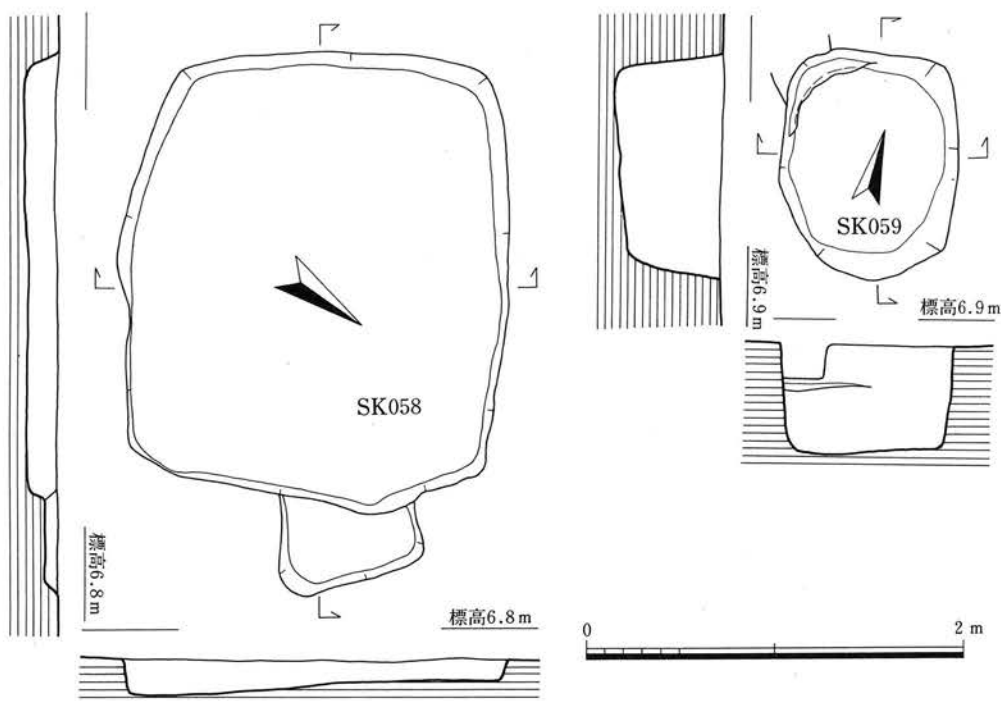


Fig. 102 SK058・059土壌実測図 (1/40)

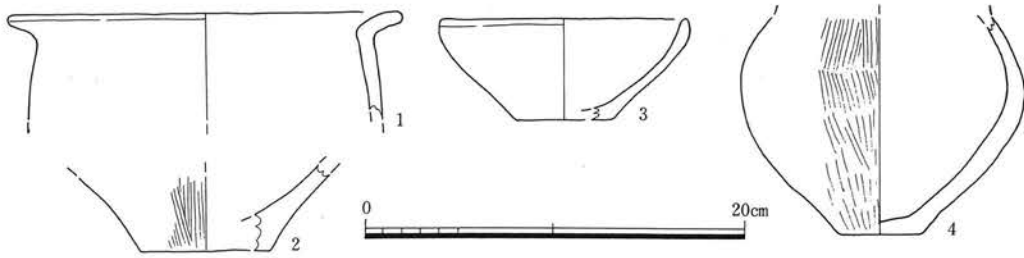


Fig. 103 SK058・059出土遺物実測図 (1/4)

鉢 (3) 復元口径12.8cm、同底径5.0cm、器高5.3cm。口縁端部横ナデ、他はナデ調整。淡橙褐色を呈する。

SK059土壌 (Fig. 102)

BX-75グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。SD064に切られ、SR051を切る。平面形は長軸1.2m、短軸0.9mの隅丸長方形に近く、深さは0.6m程度である。底面は平坦で、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調としていた。遺物は底面付近から、口縁部を打ち欠いた壺が出土している。

出土遺物 (Fig. 103)

壺 (4) 口縁部を欠損する。復元底径4.2cm。外面は上半縦方向のハケ目、下半がヘラ状工具によるナデ、内面はナデ調整。淡褐色を呈する。

SK061土壌 (Fig. 104)

BY-74・75グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。SD064に切られ、さらに中央部を攪乱溝に削られる。平面形は長軸4.1m、短軸0.9~1.1mの長楕円形を呈し、深さ0.6mを測る。断面形はU字形もしくは逆台形を呈する。埋土は4層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。遺物は埋土中より弥生土器がビニール4袋程度出土した。その中でも特に丹塗りの土器が多く含まれており、祭祀土壌であった可能性がある。

出土遺物 (Fig. 105)

甕 (1~7) 1~4は口縁部破片。1~3は基本

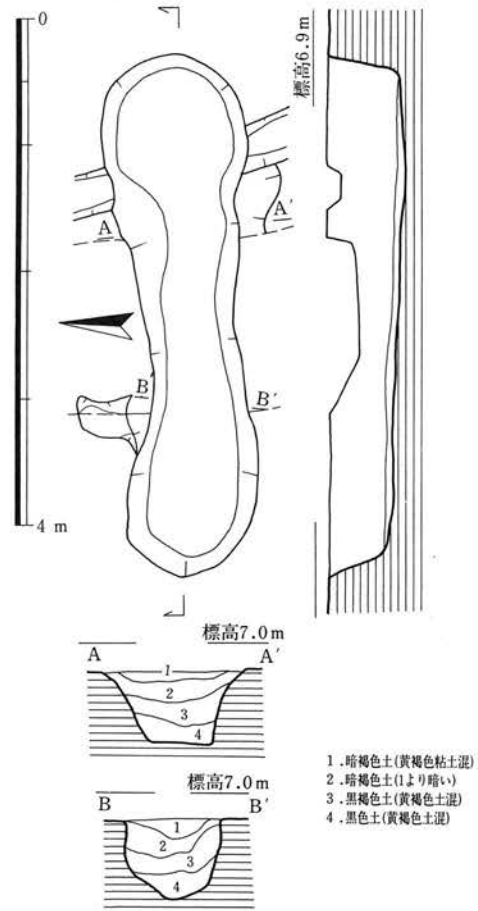


Fig. 104 SK061土壌実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

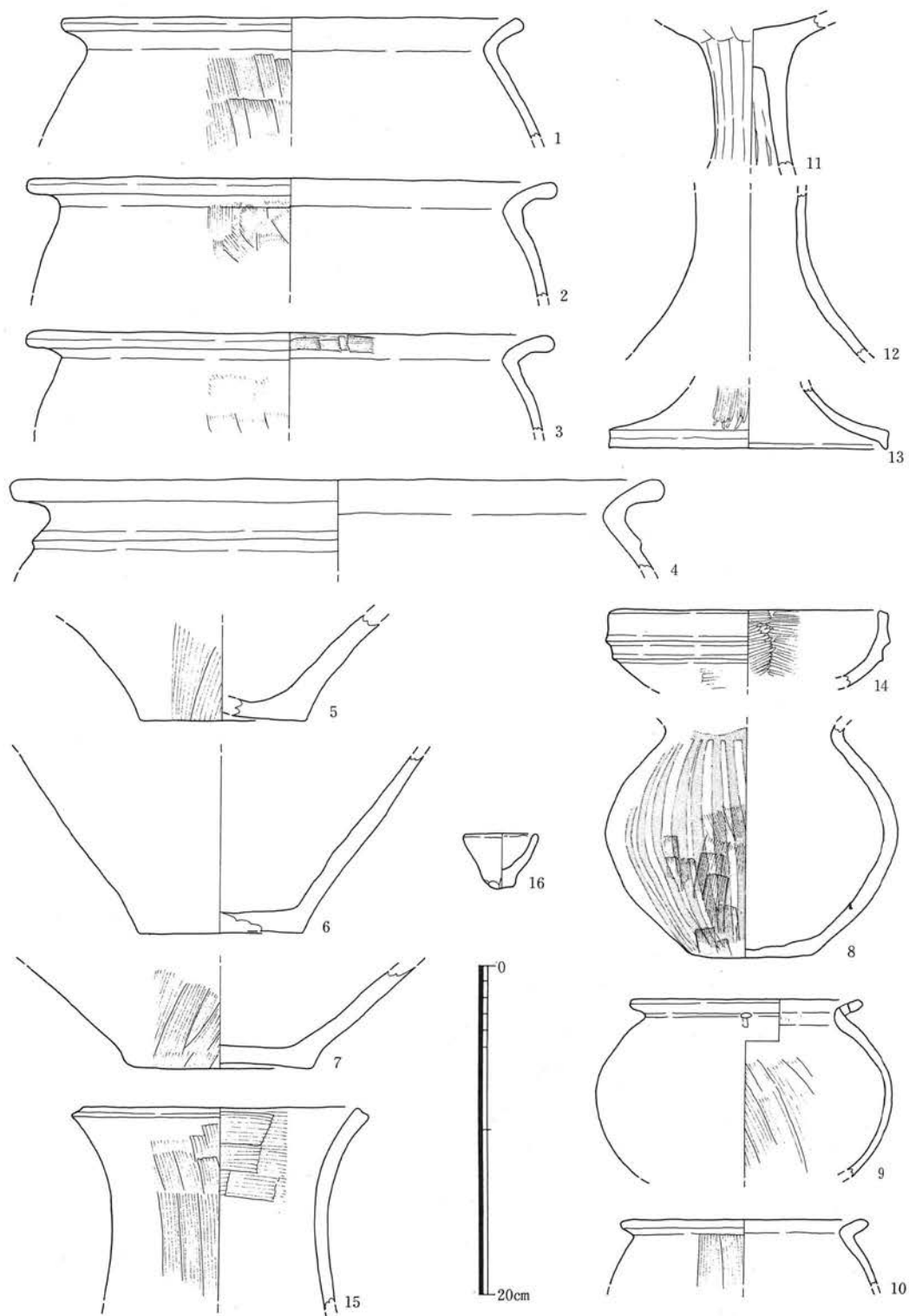


Fig. 105 SK061出土遺物実測図 (1/4)

的に口縁部横ナデ、外面ハケ目、内面ナデ調整を行う。1は復元口径27.0cm。褐色。2は復元口径31.0cm。褐色。3は復元口径30.8cm。口縁部内面は横方向のハケ目調整を行う。褐色。4は胴部上端に1条の突帯を巡らす。復元口径38.4cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。褐色。5～7は底部破片。5は復元底径10.0cm。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。褐色。6は復元底径10.0cm。外面ナデ、内面工具によるナデ調整。外面暗褐色、内面褐色。7は底径11.0cm。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。外面淡赤褐色、内面褐色。

壺(8～10) 8は口縁部を欠損する。胴部には丹で縦方向に彩文が施されている。復元底径7.0cm。外面ハケ目、内面ナデ調整。褐色。9は復元口径14.0cm。口縁部に穿孔を有する。口縁部横ナデ、他はハケ目調整。褐色。10は復元口径14.0cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面工具によるナデ調整。褐色。

高坏(11～14) 11～13は脚部破片。11は外面工具によるナデ、内面ナデ調整。坏部内面及び脚部外面に丹塗りを施す。12内面工具によるナデ、外面は丹塗りのため調整不明瞭。13は復元脚部径16.9cm。外面ヘラミガキ、内面ナデ調整。また外面には丹塗りを施す。褐色。14は坏部破片で、体部に2条の突帯を巡らす。口径15.8cm。内面横方向のヘラミガキ、外面は丹塗りのため調整不明瞭。

器台(15) 復元受部径16.6cm。外面縦方向のハケ目、内面は上半横方向のハケ目、下半ナデ調整。褐色を呈する。

手づくね土器(16) 口径4.2cm、器高3.3cm。褐色を呈する。

SK065土壌 (Fig. 106)

BR・BS-72グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SD069と切り合い関係にあり、本土壌が先行する。平面形は一辺2.0mの隅丸方形を呈し、深さ0.2mを測る。底面はほぼ平坦で、壁面は垂直に近く立ち上がる。埋土は黄褐色混じりの暗褐色土1層であった。形状から竪穴住居の可能性が考えられなくもないが、規模的な面から判断して土壌として報告する。遺物は埋土中より弥生土器片がわずかに出土した。SK058と類似する。

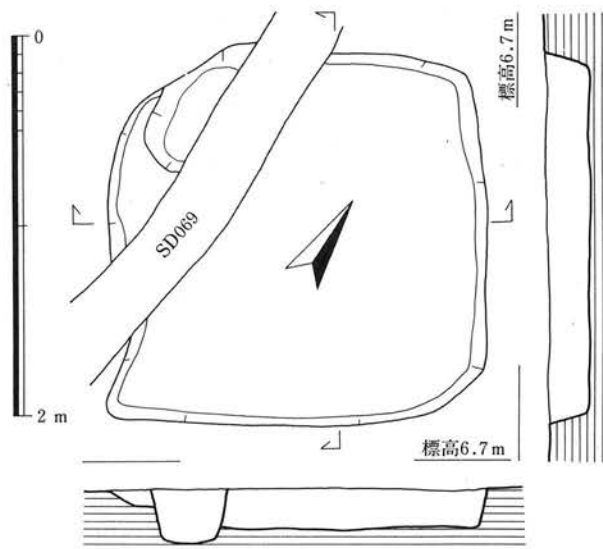


Fig. 106 SK065土壌実測図 (1/60)

IV. 調査の記録

出土遺物 (Fig. 107)

甕 (1・2) いずれも底部破片。1は復元底径10.0cm。外面ハケ目、内面ナデ調整。2は復元底径9.3cm。外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。両者とも暗褐色を呈する。

(6) 溝

SD031溝 (Fig. 108)

BY・BZ-74・75グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。東西方向に検出し、西側の延長は調査区外にあると思われる。東側はSD002に切られるが、それから先へは検出できていない。SD002と切り合う部分で終息している可能性が高い。幅0.7~1.2m、深さ0.35m程度。底面はほぼ平坦で、壁面は部分的に南壁で緩く立ち上がるものの、概ね垂直に近く立ち上がる。埋土は3~4層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。遺物は埋土中よりコンテナ1箱程度出土した。

出土遺物 (Fig. 109)

甕 (1~7) 1は復元口径18.4cm。口縁部横ナデ、他はナデ調整。淡褐色。2は復元口径22.8cm。口縁外面横ナデ、内面横方向のハケ目調整。胴部外面縦方向のハケ目、内面斜方向のハケ目調整。淡褐色。3は復元口径32.0cm。口縁部横ナデ、外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整。淡橙褐色。4は復元内口径30.0cm。口縁端部に刻目を施し、外面に丹塗りを施す。5は復元口径13.0cm。口縁部横ナデ、他はハケ目調整。淡褐色。6・7は底部破片。基本的に外面縦方向のハケ目、内面ナデ調整を行う。両者とも淡褐色を呈する。

高坏 (8~10) 8は坏部口縁破片で、復元外口径28.8cm。口縁部上面には不明瞭ながらもヘラによる暗文を施すようである。丹塗りを施す。9は脚部破片で外面は縦方向のヘラミガキ調整。10も脚部破片で、復元脚部径20.0cm。外面に丹塗りを施す。

支脚 (11~13) 11はほぼ完形で、器高14.6cm。12・13はそれぞれ受部と裾部の破片である。いずれも器面は指ナデによって仕上げ、淡褐色を呈する。

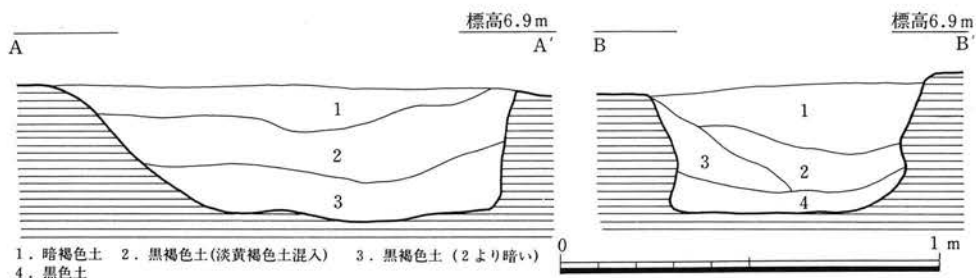


Fig. 108 SD031溝土層断面図 (1/20)

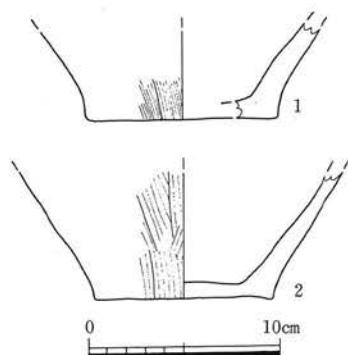


Fig. 107 SK065出土遺物
実測図 (1/4)

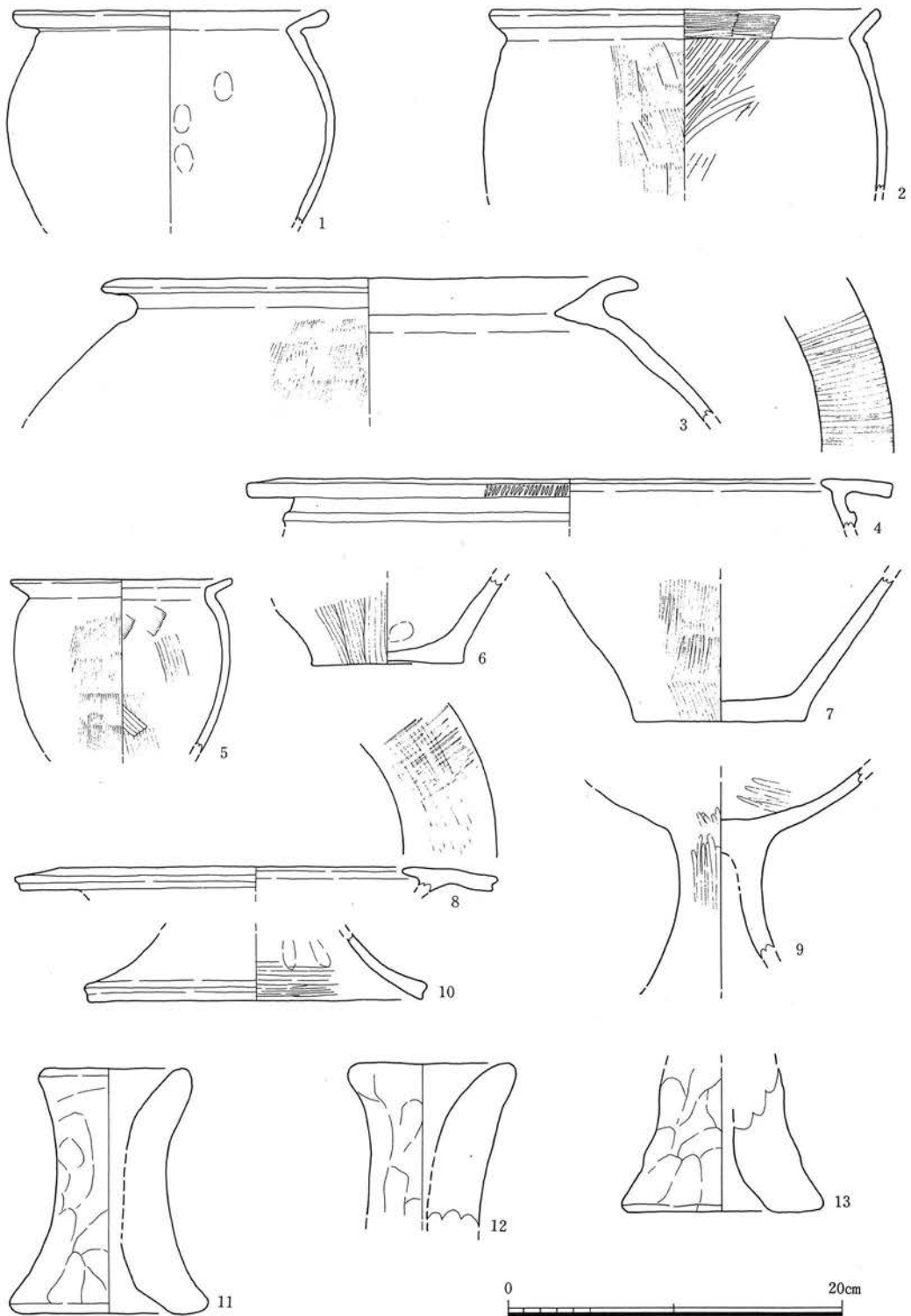


Fig. 109 SK031出土遺物実測図 (1/4)

IV. 調査の記録

2. 平安時代の遺構と遺物

(1) 土 墳

調査区の北寄りに2基検出した。

SK004土墳 (Fig. 110)

CB・CC-76グリッドで検出した。検出面の標高は6.8m。SD003と切り合うがその先後関係は不明。平面形は形0.7~0.8mの円形に近く、深さ1.0m前後である。底面は概ね平坦で、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調としていた。遺物は埋土中より土師器が若干出土した。

出土遺物 (Fig. 111) すべて土師器である。

坏(1・2) 1は底部破片で、器面はナデ及び横ナデ調整。淡褐色。2は高台付で、復元高台径8.2cm。器面はナデ及び横ナデ調整で、淡橙褐色を呈する。

碗(3~5) すべて高台部破片。器面は基本的にナデもしくは横ナデ調整。3・5は淡褐色、4は茶褐色を呈する。

甕(6) 口縁部破片。復元口径19.0cm。口縁部横ナデ、外面タタキ、内面ナデ調整。褐色。

SK067土墳 (Fig. 110)

BT-72グリッドで検出した。検出面の標高は6.6m。SH076と切り合い関係にあり、本土墳が後出する。またSD069と切り合い関係にあると思われるが、その先後関係は不明。平面形は0.8~0.9mの円形に近く、深さは0.9m程度である。底面は浅いレンズ状を呈し、壁面は角度をもって立ち上がる。埋土は黒褐色土を基調としていた。遺物は埋土中より土師器が若干出土した。

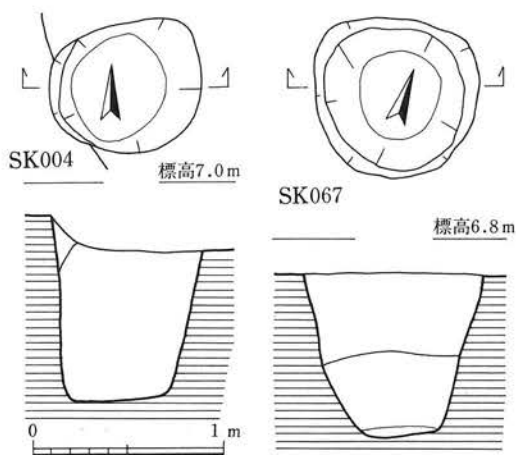


Fig. 110 SK004・067土墳実測図 (1/40)

出土遺物 (Fig. 111) すべて土師器。

坏(7~12) 口径11.9~14.0cm。底部へラ切り、体部横ナデ、内底ナデ調整。7~11には外底に板状圧痕が認められる。淡褐色~橙褐色を呈する。

碗(13~16) 基本的に体部横ナデ、他はナデ調整。13は復元口径13.3cm、同高台径7.4cm、器高4.75cm。橙褐色。14は復元口径16.2cm、同高台径9.2cm、器高7.3cm。淡橙褐色。

15・16は高台部破片。淡褐色~褐色を呈する。

鉢(17) 復元口径8.6cm、器高7.0cm。口縁

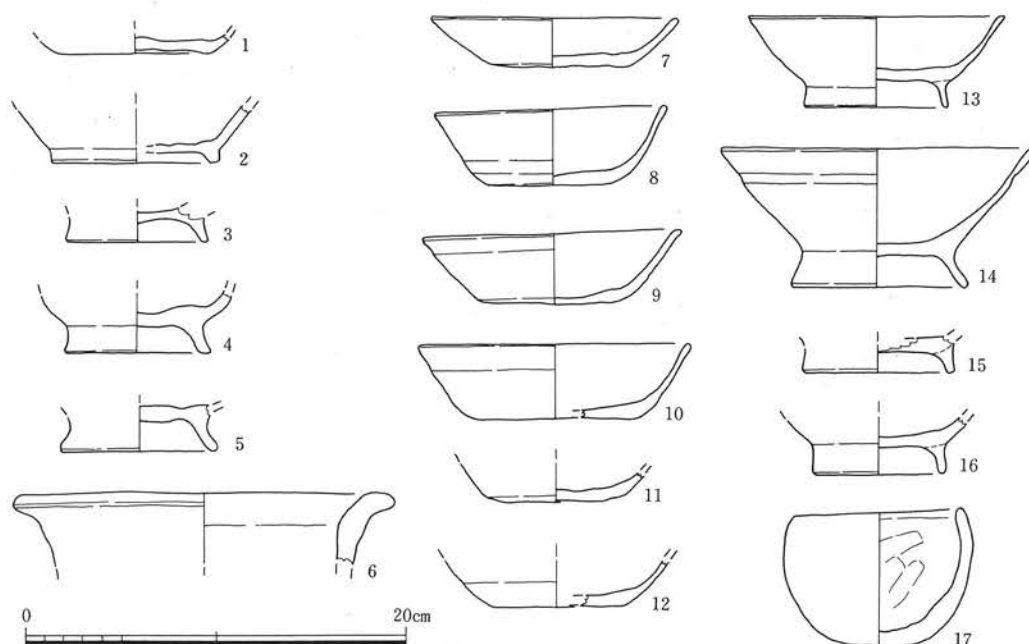


Fig. 111 SK004・067出土遺物実測図 (1/4)

端部横ナデ、他はナデ調整。暗褐色を呈する。

(2) 溝

SD002溝

BX～CC-74～76グリッドで検出した。検出面の標高は6.9～6.8m。J地区のSD102と同一であると思われる。弥生時代の遺構を切る。南北方向に検出し、南にむかって緩やかに傾斜する。その規模は一定せず、平均幅1.6m、同深さ0.5m程度である。底面は凹凸が著しく、壁面は緩く立ち上がる部分と垂直に近い部分とまちまちであった。埋土は砂混じりの褐色～暗褐色土であった。遺物は弥生土器の細片が多く出土している。

SD003溝 (Fig. 112)

BY～CD-75～77グリッドで検出した。検出面の標高は6.8～6.9m。弥生時代の遺構を切

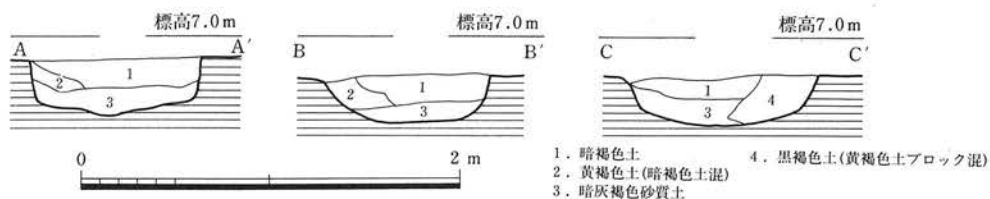


Fig. 112 SD003溝土層断面図 (1/40)

IV. 調査の記録

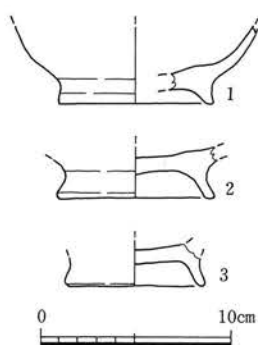


Fig. 113 SD003出土
遺物実測図 (1/4)

り、SK004と切り合うがその先後関係は不明。南北方向に検出し、その延長は調査区外にある。幅は0.8～1.0m、深さ0.2～0.3m前後で、南にむかって緩やかに傾斜する。断面U字形を呈する。埋土は3層に大別でき、いずれも自然堆積による埋没状況を示す。遺物は弥生土器片が大多数であったが、埋土中よりコンテナ1箱程度出土している。

出土遺物 (Fig. 113)

椀(1～3) いずれも高台部破片。器面はナデ及び横ナデ調整。1は茶褐色、2・3は淡褐色を呈する。

3. その他の出土遺物 (Fig. 114)

(1) 玉 類

1はSD003埋土中出土。ガラス小玉。径0.5cm、厚さ0.4cm。ライトブルーを呈する。

2は遺構検出面出土。水晶製切小玉。長さ1.3cm、径0.9cm。半透明を呈する。

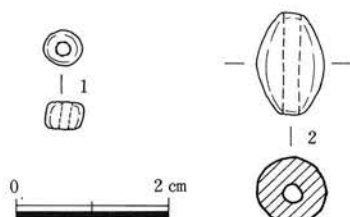


Fig. 114 その他の出土遺物 (1/1)

V. 小 結

今回の村徳永遺跡L地区の調査では、弥生時代の集落跡を中心とした遺構・遺物を検出した。遺構の中心をなすものは後期前半を中心とした竪穴住居、掘立柱建物等で、平成元年度及び2年度に調査されたL・G・J地区とその状況はほとんどかわらなかった。以下集落の主要をなす竪穴住居、掘立柱建物、周溝状遺構について若干まとめてみたい。

1. 竪穴住居

今回調査したL地区では、調査区の北寄りに6軒検出している。平面は一辺3～5m程度の隅丸長方形もしくは隅丸方形を呈し、中には中央部に炉を設けているものも含まれていた。支柱穴はいずれの住居でも検出できなかった。また遺構の遺存状態が悪く、削平によるものとも考えられるのだが、周辺の状況からみて、もともとさほど深く掘り込まれていなかったことが考えられる。さらに住居同志で切り合い関係があるものの時期的にはさほど大差は認められない。以上のことなどを考え合わせると、住居は比較的簡単なつくりで、長期間営まれたものではなく、比較的短期間のうちに建て替えられたことが考えられる。ただ、J地区、G地区では2本支柱で、ベット状遺構を有するものもあり、これらの住居と機能的に違いがあるのかどうかなど検討が必要である。

2. 掘立柱建物

今回の調査で検出した掘立柱建物は、大型の建物であるSB101を除いて2×1間が1棟、1×1間が28棟であった。柱の構造はF地区で検出した建物群のように柱痕や横木が残存しているものはほとんどなく、その構造は知り得ないが、土層断面の観察によれば、横木等を伴わず、柱を直接埋めただけの簡単なつくりであったことが考えられる。狭小な調査区のため明確なグルーピングは困難であるが、桁行方向が時期差を示すとすれば、2～3時期に分離できるようである。F・G・H・J・L地区についていえることだが、掘立柱建物が単独で集中する部分では1×1間の建物はもちろんのこと、2×1間の建物やそれ以上の規模を有する大型の建物等が存在するなどバラエティーに富むのに対し、竪穴住居が集中する周辺では1×1間の建物がほとんどである。これらの分布の違いから1×1間の建物とそれ以上の規模を有する（特に2×1間）建物とでは、機能・用途が異なっていたことが考えられる。また大型の建物であるSB101であるが、柱穴出土の遺物が弥生時代のものに限られることや、周辺の建物との方位の類似性より弥生時代の所産としてよいようである。F地区のSB015やG地区のSB333とともに、掘立柱建物が集中する部分にあり、これらの建物群を統括するような感じで存在している。他の建物とは違った、何か特別な機能を有していたことは間違いないようである。

V. 小 結

2. 周溝状遺構

今回の調査では総数11基を確認した。その特徴は以前に調査されたものと同様で、平面は径4～6mの円形～隅丸長方形を呈する。そのうち竪穴住居と切り合い関係があるものも数例(L地区S R056、G地区S R205・207) あるのだが、掘立柱建物と切り合う例が圧倒的に多く、その分布も重複していることから、何か有機的な関連があったことが考えられる。ただ建物より周溝状遺構のほうが時期的には若干先行しているようであり、同時併存していたというわけではなかったようである。また周溝状遺構が2～3基連結したように検出しているもの(L地区S R012・013、F地区S R065・066・067、J地区S R155・156) があるが、単独で存在しているものと機能・用途に違いがあったのだろうか。

以上遺跡の主要をなす遺構について簡単に述べた。ここではさらにF・G・J・L地区で検出された遺構の分布状況について触れてみたい。いずれも狭小な調査区で断片的なことしか知り得ないが、この狭小な調査区の中でも遺構が集中する部分と、疎になる部分とが存在し、後期前半を中心とした集落が、幾つかの小集落に分割できる可能性がある。F地区の南寄りの掘立柱建物が集中する箇所と、L地区の北寄り及びJ地区にかけての竪穴住居と掘立柱建物が展開する箇所、さらにこれらの部分より谷を隔てたG地区の北寄りには竪穴住居を中心とした集落が存在し、少なくとも3集落に分割可能ではないかと思われる。またその3箇所にはそれぞれ大型の建物—F地区ではS B015(6×5間)、J・L地区ではS B101、G地区ではS B333(7×5間)—が存在していることは興味深い。

今回で村徳永遺跡での弥生集落の調査は4例目で、調査面積は25,000㎡を超える。すべて狭小な調査区で遺跡の全貌は明らかにできないが、多大な調査成果を収めることができた。今後これらの資料の詳細な検討により少しでも村徳永遺跡の性格が明らかにされていくことが望まれる。

既に刊行されている村徳永遺跡の調査報告書は以下のとおり。

- 1) 木島慎治『村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第26集 佐賀市教育委員会 1989
- 2) 福田義彦『立野遺跡・村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第27集 佐賀市教育委員会 1989
- 3) 木島慎治『村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第32集 佐賀市教育委員会 1990
- 4) 前田達男『村徳永遺跡』佐賀市文化財調査報告書第34集 佐賀市教育委員会 1991
- 5) 前田達男『村徳永遺跡・篠木野遺跡』佐賀市文化財調査報告書第37集 佐賀市教育委員会 1991

図 版



村徳永遺跡周辺の景観

遺物写真は挿図と対照できるように
挿図番号を表記した。

15	SK005	(110-6)
図版番号	遺構番号	挿図番号



村徳永遺跡L地区全景



(1) 村徳永遺跡L地区全景（北半）



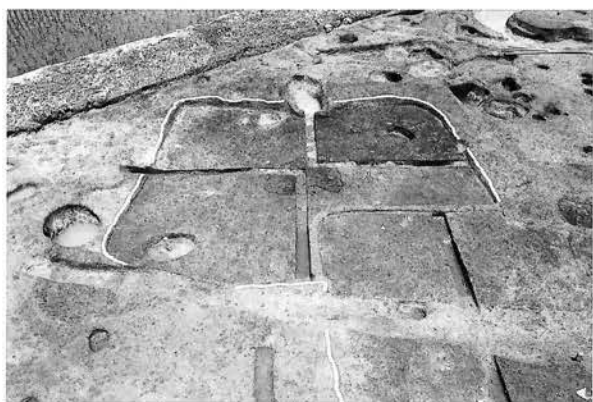
(2) 掘立柱建物群周辺



(1) L地区北端部全景①



(2) L地区北端部全景②



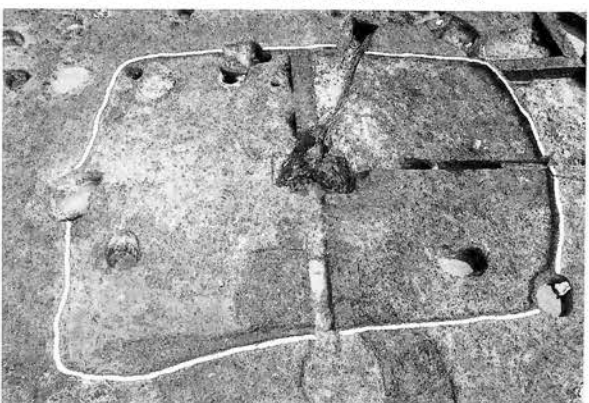
(3) SH072 堅穴住居 (南から)



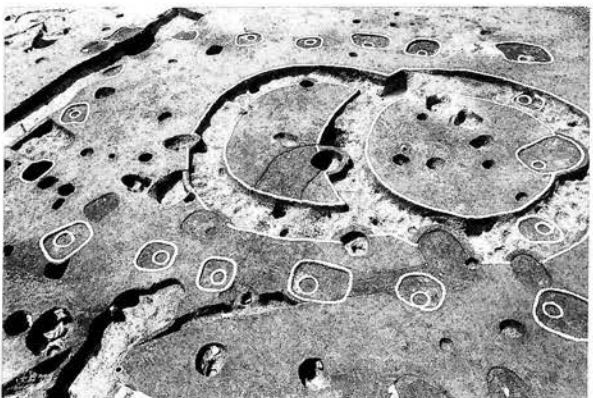
(4) SH073・074型穴住居 (南から)



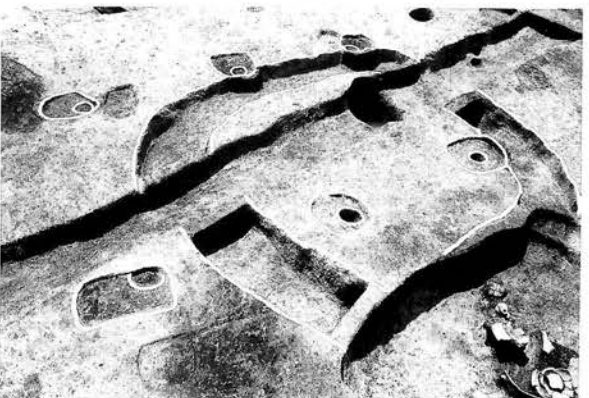
(5) SH074遺物出土状況



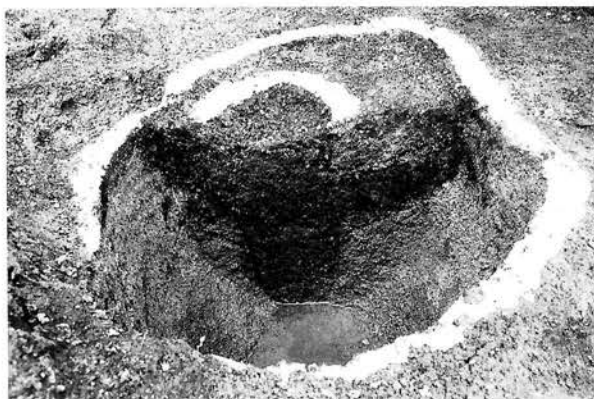
(6) SH076堅穴住居 (北から)



(7) SB101掘立柱建物 (東南から)



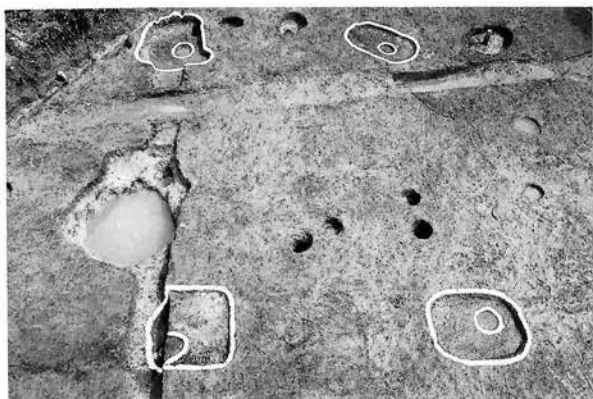
(8) SB102掘立柱建物 (東南から)



(1) SB101 P20土層断面 (南から)



(2) SB105掘立柱建物 (北東から)



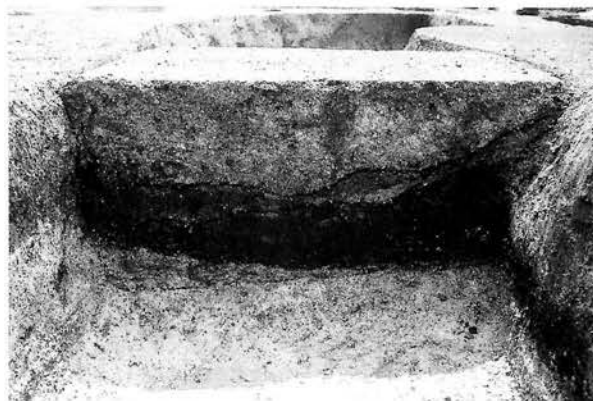
(3) SB113掘立柱建物 (南から)



(4) SB113 P3土層断面 (北から)



(5) SR052周溝状遺構 (北から)



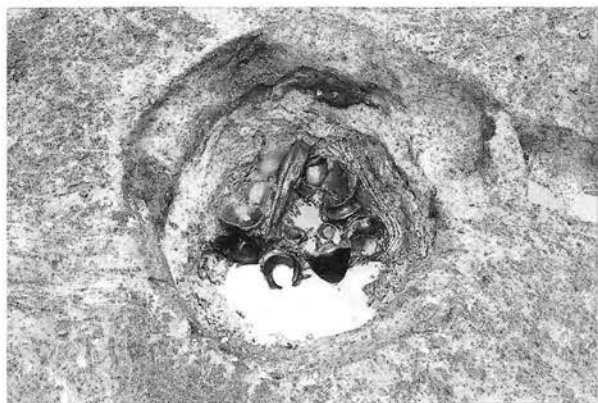
(6) SR052土層断面 (東から)



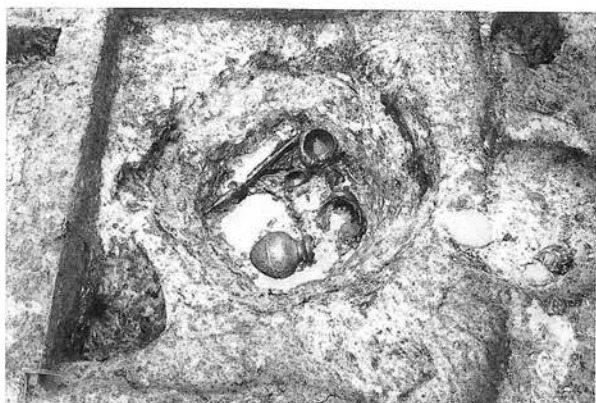
(7) SR051周溝状遺構 (北から)



(8) SE032井戸 (南から)



(1) SE060井戸 (西から)



(2) SE068井戸 (西から)



(3) SK005土壙 (南から)



(5) SK039土壙 (西から)



(4) SK006土壙 (北から)



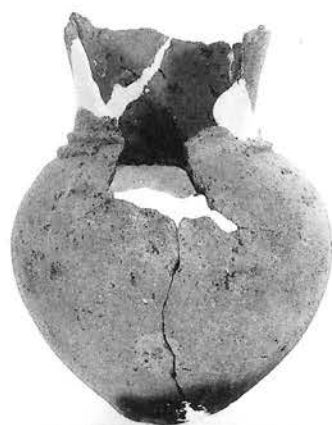
(6) SK041土壙 (西から)



(7) SD003溝 (北から)



1



2



3



4



5



6



7



8

1. SH074 (9-4•5)

2. SE008 (58-12)

3. SE008 (58-13)

4. SE060 (63-15)

5. SE060 (63-13)

6. SE060 (63-14)

7. SE060 (62- 2)

8. SE060 (63- 6)



9



10



11



12



13



14



15



16

9. SE060 (64-20)

10. SE068 (66-4)

11. SK005 (75-4)

12. SK005 (75-5)

13. SK005 (75-1)

14. SK005 (79-26)

15. SK005 (77-17)

16. SK005 (77-18)



17



18



19



20



21



22

17. SK005 (81-39)

18. SK005 (81-40)

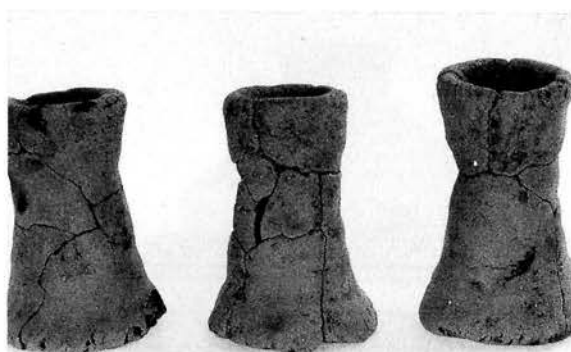
19. SK006 (83-1)

20. SK006 (84-3)

21. SK006 (85-11)

22. SK006 (85-14)

23. SK006 (85-15•16•17)



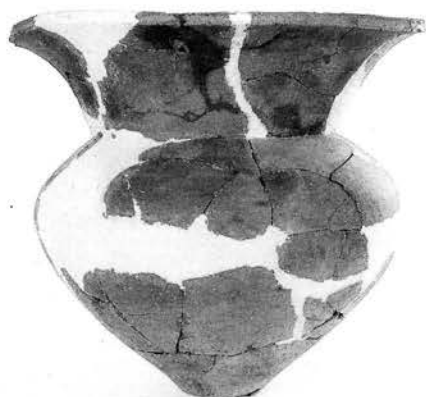
23



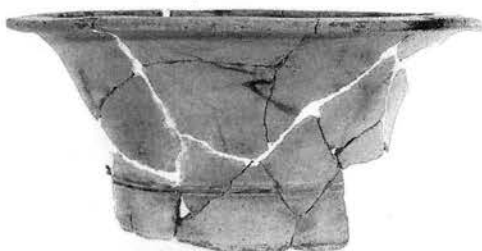
24



25



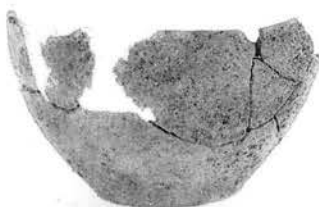
26



27



28



29



30



31

24. SK039 (93-4)

25. SK039 (94-13)

26. SK039 (95-14)

27. SK039 (96-17)

28. SK039 (97-21)

29. SK039 (97-22)

30. SK039 (97-19)

31. SK061 (105-8)

村徳永遺跡収蔵品目録

目録番号	名 称	種 別	時代	断片(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig. 番号	口寸	A・B
MTN-L-001	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 8.1	SD001	1991.05	1-1		32	A
MTN-L-002	石鏃	石器	弥生	完存	長さ 幅	SD001	1991.05	1-2		32	A
MTN-L-003	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 5.6 底径 - 器高 3.0	SD002	1991.04	2-3		32	A
MTN-L-004	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.8 底径 - 器高 4.2	SD002	1991.04	2-4		32	A
MTN-L-005	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.6 底径 - 器高 6.5	SD002	1991.05	2-5		32	A
MTN-L-006	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.4 底径 - 器高 2.9	SD002	1991.05	2-6		32	A
MTN-L-007	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 16.6 底径 - 器高 14.5	SD002	1991.05	2-7		32	A
MTN-L-008	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 5.8 器高 4.0	SD002	1991.05	3-8		32	A
MTN-L-009	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.1 器高 5.5	SD002	1991.05	3-9		32	A
MTN-L-010	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 15.6 底径 - 器高 5.5	SD002	1991.05	3-10		32	A
MTN-L-011	鉢	弥生土器	弥生	20	口径 17.0 底径 - 器高 8.9	SD002	1991.05	3-11		32	A
MTN-L-012	把手	土師器	平安	不明		SD002	1991.05	3-12		32	A
MTN-L-013	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.6 底径 - 器高 3.8	SD003	1991.05	4-13		32	A
MTN-L-014	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.2 底径 - 器高 4.0	SD003	1991.05	4-14		32	A
MTN-L-015	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.6 器高 2.7	SD003	1991.05	4-15		32	A
MTN-L-016	坏	須恵器	古墳	不明	口径 - 底径 - 器高 1.6	SD003	1991.05	4-16		32	A
MTN-L-017	碗	土師器	平安	不明	口径 - 高台径 8.0 器高 4.0	SD003	1991.05	4-17	113-1	32	A
MTN-L-018	碗	土師器	平安	不明	口径 - 高台径 8.0 器高 2.0	SD003	1991.05	4-18	113-2	32	A
MTN-L-019	碗	土師器	平安	不明	口径 - 高台径 7.0 器高 2.1	SD003	1991.05	4-19	113-3	32	A
MTN-L-020	坏	土師器	平安	不明	口径 - 底径 7.6 器高 0.7	SK004	1991.05	5-20	111-1	32	A
MTN-L-021	碗	土師器	平安	不明	口径 - 高台径 7.2 器高 1.3	SK004	1991.05	5-21	111-3	32	A
MTN-L-022	碗	土師器	平安	不明	口径 - 高台径 8.2 器高 2.7	SK004	1991.05	5-22	111-2	32	A
MTN-L-023	碗	土師器	平安	不明	口径 - 高台径 8.0 器高 1.9	SK004	1991.05	5-23	111-5	32	A
MTN-L-024	碗	土師器	平安	不明	口径 - 高台径 7.4 器高 3.0	SK004	1991.05	5-24	111-4	32	A
MTN-L-025	甕	土師器	平安	不明	口径 19.0 底径 - 器高 3.7	SK004	1991.05	5-25	111-6	32	A
MTN-L-026	カマド	土師器	平安	不明		SK004	1991.05	5-26		32	A
MTN-L-027	壺	弥生土器	弥生	70	口径 5.6 底径 6.7 器高 18.1	SK005	1991.05	6-27	78-19	32	A
MTN-L-028	壺	弥生土器	弥生	90	口径 12.0 底径 9.0 器高 25.4	SK005	1991.05	6-28	78-20	32	A
MTN-L-029	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 10.5 底径 - 器高 8.7	SK005	1991.05	7-29		32	A
MTN-L-030	壺	弥生土器	弥生	70	口径 23.0 底径 10.3 器高 35.3	SK005	1991.05	8-30	77-18	33	A
MTN-L-031	壺	弥生土器	弥生	85	口径 23.0 底径 9.0 器高 35.8	SK005	1991.05	9-31	77-17	34	A
MTN-L-032	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 23.0 底径 - 器高 15.2	SK005	1991.05	10-32		32	A
MTN-L-033	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 21.0 底径 - 器高 5.9	SK005	1991.05	7-33		32	A
MTN-L-034	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 35.0 底径 - 器高 8.8	SK005	1991.05	7-34	77-16	32	A
MTN-L-035	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 13.9	SK005	1991.05	11-35	78-21	32	A
MTN-L-036	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 7.9	SK005	1991.05	11-36		32	A
MTN-L-037	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.5 器高 11.7	SK005	1991.05	11-37		32	A
MTN-L-038	壺	弥生土器	弥生	70	口径 7.4 底径 6.0 器高 11.0	SK005	1991.05	11-38	78-24	32	A
MTN-L-039	壺	弥生土器	弥生	70	口径 8.4 底径 5.8 器高 13.6	SK005	1991.05	12-39	78-23	32	A
MTN-L-040	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 16.0 底径 - 器高 5.8	SK005	1991.05	12-40		32	A
MTN-L-041	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 15.0 底径 - 器高 5.4	SK005	1991.05	12-41		32	A
MTN-L-042	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 9.6 底径 - 器高 4.8	SK005	1991.05	12-42		32	A
MTN-L-043	鉢	弥生土器	弥生	75	口径 28.0 底径 9.0 器高 16.5	SK005	1991.05	13-43	79-28	35	A
MTN-L-044	鉢	弥生土器	弥生	80	口径 29.8 底径 9.3 器高 16.9	SK005	1991.05	14-44	79-25	35	A
MTN-L-045	鉢	弥生土器	弥生	30	口径 26.0 底径 10.0 器高 17.9	SK005	1991.05	14-45	80-32	35	A
MTN-L-046	鉢	弥生土器	弥生	45	口径 16.1 底径 5.6 器高 8.0	SK005	1991.05	13-46	80-35	35	A
MTN-L-047	鉢	弥生土器	弥生	50	口径 12.7 底径 5.0 器高 6.8	SK005	1991.05	13-47	80-34	35	A
MTN-L-048	鉢	弥生土器	弥生	70	口径 8.6 底径 5.3 器高 6.8	SK005	1991.05	13-48	80-36	35	A
MTN-L-049	鉢	弥生土器	弥生	70	口径 8.4 底径 3.7 器高 6.2	SK005	1991.05	13-49	80-37	35	A
MTN-L-050	鉢	弥生土器	弥生	50	口径 31.2 底径 8.0 器高 19.1	SK005	1991.05	38-50	79-27	45	A

目錄番号	名 称	種 別	時代	胎率(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	寸法	A・B
MTN-L-051	高坏	弥生土器	弥生	85	口径 21.0 脚部径 18.2 器高 21.6	SK005	1991.05	15-51	81-38	35	A
MTN-L-052	高坏	弥生土器	弥生	85	口径 17.3 脚部径 14.0 器高 19.7	SK005	1991.05	15-52	81-39	36	A
MTN-L-053	高坏	弥生土器	弥生	70	口径 19.2 脚部径 16.5 器高 19.3	SK005	1991.05	16-53	81-40	36	A
MTN-L-054	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 — 器高 8.9	SK005	1991.05	16-54		36	A
MTN-L-055	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 — 器高 9.7	SK005	1991.05	16-55		36	A
MTN-L-056	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 — 器高 11.8	SK005	1991.05	16-56		36	A
MTN-L-057	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 — 器高 10.2	SK005	1991.05	16-57		36	A
MTN-L-058	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 21.2 脚部径 — 器高 6.6	SK005	1991.05	17-58	81-41	36	A
MTN-L-059	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 28.8 脚部径 — 器高 7.9	SK005	1991.05	17-59	81-42	36	A
MTN-L-060	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 — 器高 10.3	SK005	1991.05	18-60		36	A
MTN-L-061	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 14.0 裾部径 — 器高 6.4	SK005	1991.05	18-61		36	A
MTN-L-062	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 15.0 器高 6.0	SK005	1991.05	18-62		36	A
MTN-L-063	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 11.2 器高 8.0	SK005	1991.05	18-63	81-44	36	A
MTN-L-064	甕	弥生土器	弥生	50	口径 28.8 底径 8.2 器高 29.9	SK005	1991.05	19-64	75-6	37	A
MTN-L-065	甕	弥生土器	弥生	80	口径 28.8 底径 8.8 器高 34.1	SK005	1991.05	20-65	75-5	38	A
MTN-L-066	甕	弥生土器	弥生	80	口径 27.4 底径 9.0 器高 34.9	SK005	1991.05	21-66	75-4	39	A
MTN-L-067	甕	弥生土器	弥生	60	口径 24.2 底径 9.0 器高 32.8	SK005	1991.05	22-67	75-1	40	A
MTN-L-068	甕	弥生土器	弥生	90	口径 27.0 底径 7.4 器高 21.1	SK005	1991.05	23-68	79-26	41	A
MTN-L-069	甕	弥生土器	弥生	80	口径 28.5 底径 8.7 器高 25.8	SK005	1991.05	24-69	75-3	41	A
MTN-L-070	甕	弥生土器	弥生	50	口径 14.6 底径 8.0 器高 17.2	SK005	1991.05	24-70	78-22	42	A
MTN-L-071	甕	弥生土器	弥生	60	口径 19.2 底径 6.8 器高 19.5	SK005	1991.05	25-71	76-7	42	A
MTN-L-072	甕	弥生土器	弥生	20	口径 18.1 底径 7.0 器高 16.4	SK005	1991.05	25-72	76-9	42	A
MTN-L-073	甕	弥生土器	弥生	80	口径 17.0 底径 6.4 器高 12.0	SK005	1991.05	23-73	79-29	42	A
MTN-L-074	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.5 器高 10.3	SK005	1991.05	23-74		42	A
MTN-L-075	甕	弥生土器	弥生	80	口径 19.2 底径 8.0 器高 20.5	SK005	1991.05	26-75	76-11	42	A
MTN-L-076	甕	弥生土器	弥生	30	口径 19.8 底径 8.4 器高 18.9	SK005	1991.05	26-76	76-8	42	A
MTN-L-077	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 9.6 器高 6.6	SK005	1991.05	25-77		42	A
MTN-L-078	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.3 器高 10.4	SK005	1991.05	25-78		42	A
MTN-L-079	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.8 器高 13.1	SK005	1991.05	27-79		42	A
MTN-L-080	甕	弥生土器	弥生	25	口径 17.4 底径 8.0 器高 13.8	SK005	1991.05	28-80	79-30	42	A
MTN-L-081	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.0 器高 13.4	SK005	1991.05	28-81		42	A
MTN-L-082	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 5.8 器高 8.9	SK005	1991.05	28-82		42	A
MTN-L-083	甕	弥生土器	弥生	40	口径 24.6 底径 8.0 器高 24.4	SK005	1991.05	29-83	76-10	43	A
MTN-L-084	甕	弥生土器	弥生	25	口径 26.4 底径 11.0 器高 21.3	SK005	1991.05	29-84	80-33	43	A
MTN-L-085	甕	弥生土器	弥生	不明	頭部径 6.2 底径 — 器高 5.3	SK005	1991.05	27-85	81-43	43	A
MTN-L-086	甕	弥生土器	弥生	40	口径 18.6 底径 7.1 器高 13.1	SK005	1991.05	27-86	79-31	43	A
MTN-L-087	甕	弥生土器	弥生	60	口径 19.7 底径 — 器高 19.1	SK005	1991.05	27-87		43	A
MTN-L-088	甕	弥生土器	弥生	60	口径 18.7 底径 10.0 器高 17.3	SK005	1991.05	30-88		43	A
MTN-L-089	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.5 器高 26.0	SK005	1991.05	31-89		44	A
MTN-L-090	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 28.6 底径 — 器高 4.1	SK005	1991.05	32-90		45	A
MTN-L-091	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 — 器高 4.3	SK005	1991.05	31-91		45	A
MTN-L-092	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 36.8 底径 — 器高 4.9	SK005	1991.05	32-92		45	A
MTN-L-093	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 16.8 底径 — 器高 9.2	SK005	1991.05	32-93		45	A
MTN-L-094	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.6 底径 — 器高 12.5	SK005	1991.05	32-94		45	A
MTN-L-095	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.0 底径 — 器高 5.9	SK005	1991.05	33-95		45	A
MTN-L-096	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 37.0 底径 — 器高 7.5	SK005	1991.05	33-96		45	A
MTN-L-097	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 28.0 底径 — 器高 5.1	SK005	1991.05	34-97		45	A
MTN-L-098	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.0 底径 — 器高 7.3	SK005	1991.05	34-98		45	A
MTN-L-099	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.0 底径 — 器高 4.9	SK005	1991.05	34-99		45	A
MTN-L-100	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.0 底径 — 器高 9.3	SK005	1991.05	34-100		45	A

目録番号	名 称	種 別	時代	焼跡(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	寸法	A・B
MTN-L-101	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.0 底径 - 器高 8.9	SK005	1991.05	34-101		45	A
MTN-L-102	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.6 底径 - 器高 8.9	SK005	1991.05	35-102		45	A
MTN-L-103	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.2 底径 - 器高 6.1	SK005	1991.05	35-103		45	A
MTN-L-104	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.2 底径 - 器高 7.2	SK005	1991.05	35-104		45	A
MTN-L-105	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 28.0 底径 - 器高 4.7	SK005	1991.05	35-105		45	A
MTN-L-106	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.2 底径 - 器高 7.4	SK005	1991.05	35-106		45	A
MTN-L-107	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.2 底径 - 器高 8.7	SK005	1991.05	36-107		45	A
MTN-L-108	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.2 底径 - 器高 11.7	SK005	1991.05	36-108		45	A
MTN-L-109	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 18.0 器高 12.4	SK005	1991.05	36-109		45	A
MTN-L-110	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.4 器高 2.8	SK005	1991.05	33-110		45	A
MTN-L-111	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 5.0	SK005	1991.05	33-111		45	A
MTN-L-112	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 6.0	SK005	1991.05	33-112		45	A
MTN-L-113	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 12.3 器高 4.6	SK005	1991.05	37-113	77-15	45	A
MTN-L-114	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 8.3	SK005	1991.05	37-114	77-14	45	A
MTN-L-115	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 10.6	SK005	1991.05	37-115		45	A
MTN-L-116	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.4 器高 6.5	SK005	1991.05	37-116		45	A
MTN-L-117	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 12.3 底径 - 器高 9.6	SK005	1991.05	28-117		45	A
MTN-L-118	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 22.2	SK005	1991.05	38-118		45	A
MTN-L-119	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 17.8	SK005	1991.05	39-119		45	A
MTN-L-120	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.6 器高 12.8	SK005	1991.05	39-120		45	A
MTN-L-121	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 13.7	SK005	1991.05	40-121	77-13	45	A
MTN-L-122	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.8 器高 5.6	SK005	1991.05	40-122		46	A
MTN-L-123	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 9.3	SK005	1991.05	40-123		46	A
MTN-L-124	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.5 器高 6.9	SK005	1991.05	40-124		46	A
MTN-L-125	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.5 器高 7.9	SK005	1991.05	40-125		46	A
MTN-L-126	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.5 器高 10.5	SK005	1991.05	4-126		46	A
MTN-L-127	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.8 底径 - 器高 13.9	SK005	1991.05	42-127		46	A
MTN-L-128	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.9 器高 6.3	SK005	1991.05	37-128		46	A
MTN-L-129	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 5.6 器高 3.3	SK005	1991.05	37-129		46	A
MTN-L-130	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 5.6 器高 4.0	SK005	1991.05	37-130		46	A
MTN-L-131	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.7 器高 13.8	SK005	1991.05	43-131		46	A
MTN-L-132	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 10.0	SK005	1991.05	43-132		46	A
MTN-L-133	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.2 器高 3.9	SK005	1991.05	43-133		46	A
MTN-L-134	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.1 器高 9.1	SK005	1991.05	43-134		46	A
MTN-L-135	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.8 器高 6.8	SK005	1991.05	43-135		46	A
MTN-L-136	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 11.1 器高 11.1	SK005	1991.05	42-136		46	A
MTN-L-137	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 5.6	SK005	1991.05	42-137		46	A
MTN-L-138	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.4 器高 8.5	SK005	1991.05	41-138		46	A
MTN-L-139	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.8 底径 - 器高 6.9	SK005	1991.05	41-139	77-15	46	A
MTN-L-140	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.2 底径 - 器高 10.6	SK005	1991.05	41-140	77-14	46	A
MTN-L-141	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.4 底径 - 器高 7.2	SK005	1991.05	41-141		46	A
MTN-L-142	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.0 底径 - 器高 7.2	SK005	1991.05	44-142		46	A
MTN-L-143	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.0 底径 - 器高 6.9	SK005	1991.05	44-143		46	A
MTN-L-144	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.0 底径 - 器高 8.6	SK005	1991.05	44-144		46	A
MTN-L-145	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.6 底径 - 器高 16.5	SK005	1991.05	44-145		46	A
MTN-L-146	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.2 底径 - 器高 4.3	SK005	1991.05	45-146		46	A
MTN-L-147	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.0 底径 - 器高 11.1	SK005	1991.05	45-147	77-13	46	A
MTN-L-148	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 43.3 底径 - 器高 14.7	SK005	1991.05	45-148		47	A
MTN-L-149	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 36.4 底径 - 器高 29.0	SK005	1991.05	47-149	75-2	47	A
MTN-L-150	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 38.8 底径 - 器高 15.0	SK005	1991.05	46-150		47	A

目録番号	名 称	種 別	時代	断片(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	口寸	A-B
MTN-L-151	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.8 底径 - 器高 18.0	SK005	1991.05	46-151		47	A
MTN-L-152	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 28.0 底径 - 器高 21.8	SK005	1991.05	48-152		47	A
MTN-L-153	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.2 器高 10.8	SK005	1991.05	48-153		47	A
MTN-L-154	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 11.6 器高 16.4	SK005	1991.05	49-154		47	A
MTN-L-155	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.3 器高 12.0	SK005	1991.05	49-155		47	A
MTN-L-156	手くぼ	弥生土器	弥生	85	口径 4.5 底径 3.2 器高 6.5	SK005	1991.05	17-156	81-45	47	A
MTN-L-157	石鏃	石器	弥生	不明	長さ 2.7 厚み 0.4	SK005	1991.05	49-157	81-46	47	A
MTN-L-158	甕	弥生土器	弥生	完形	口径 26.0 底径 8.0 器高 37.4	SK006	1991.05	50-158	83-1	48	A
MTN-L-159	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.6 底径 - 器高 10.7	SK006	1991.05	51-159		49	A
MTN-L-160	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.6 底径 - 器高 34.3	SK006	1991.05	51-160	83-2	50	A
MTN-L-161	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.0 底径 - 器高 20.3	SK006	1991.05	52-161	84-3	49	A
MTN-L-162	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.8 底径 - 器高 22.4	SK006	1991.05	53-162	84-6	51	A
MTN-L-163	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.7 底径 - 器高 11.6	SK006	1991.05	54-163	84-5	51	A
MTN-L-164	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.8 底径 - 器高 18.5	SK006	1991.05	55-164		52	A
MTN-L-165	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.2 底径 - 器高 20.7	SK006	1991.05	54-165		52	A
MTN-L-166	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.3 底径 - 器高 8.2	SK006	1991.05	55-166		53	A
MTN-L-167	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.8 底径 - 器高 12.0	SK006	1991.05	56-167		53	A
MTN-L-168	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.2 底径 - 器高 17.2	SK006	1991.05	56-168		53	A
MTN-L-169	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.0 底径 - 器高 20.0	SK006	1991.05	57-169		54	A
MTN-L-170	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.2 底径 - 器高 8.2	SK006	1991.05	57-170		53	A
MTN-L-171	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.0 底径 - 器高 16.7	SK006	1991.05	58-171	84-4	53	A
MTN-L-172	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.7 底径 - 器高 20.1	SK006	1991.05	58-172		53	A
MTN-L-173	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.8 底径 - 器高 9.0	SK006	1991.05	59-173		53	A
MTN-L-174	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 - 器高 10.8	SK006	1991.05	59-174		55	A
MTN-L-175	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 13.3	SK006	1991.05	60-175	84-10	54	A
MTN-L-176	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.4 器高 17.8	SK006	1991.05	60-176		54	A
MTN-L-177	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.1 器高 9.3	SK006	1991.05	60-177	84-8	54	A
MTN-L-178	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.8 器高 10.2	SK006	1991.05	61-178	84-9	54	A
MTN-L-179	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.1 器高 16.7	SK006	1991.05	61-179		54	A
MTN-L-180	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.4 器高 15.0	SK006	1991.05	61-180	84-7	54	A
MTN-L-181	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 13.1	SK006	1991.05	61-181		55	A
MTN-L-182	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.3 器高 10.1	SK006	1991.05	62-182		55	A
MTN-L-183	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 21.3	SK006	1991.05	62-183		55	A
MTN-L-184	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 15.7	SK006	1991.05	62-184		55	A
MTN-L-185	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 7.5	SK006	1991.05	62-185		55	A
MTN-L-186	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.7 器高 5.6	SK006	1991.05	63-186		55	A
MTN-L-187	壺	弥生土器	弥生	60	口径 12.0 底径 8.2 器高 14.1	SK006	1991.05	63-187	85-11	56	A
MTN-L-188	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.2 器高 3.6	SK006	1991.05	63-188		56	A
MTN-L-189	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.4 器高 4.0	SK006	1991.05	63-189		56	A
MTN-L-190	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 19.2 底径 - 器高 8.9	SK006	1991.05	63-190		56	A
MTN-L-191	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 26.0 底径 - 器高 3.0	SK006	1991.05	64-191	85-12	56	A
MTN-L-192	高坏	弥生土器	弥生	不明	脚部径 17.9 器高 12.1	SK006	1991.05	64-192	85-13	56	A
MTN-L-193	高坏	弥生土器	弥生	不明	脚部径 18.0 器高 21.4	SK006	1991.05	64-193	85-14	56	A
MTN-L-194	支脚	弥生土器	弥生	不明	脚部径 9.0 器高 5.6	SK006	1991.05	64-194		56	A
MTN-L-195	支脚	弥生土器	弥生	不明	脚部径 10.0 器高 7.0	SK006	1991.05	64-195		56	A
MTN-L-196	支脚	弥生土器	弥生	完形	受部径 6.2 脚部径 7.8 器高 12.0	SK006	1991.05	65-196	85-16	56	A
MTN-L-197	支脚	弥生土器	弥生	90	受部径 5.6 脚部径 9.2 器高 12.0	SK006	1991.05	65-197	85-17	56	A
MTN-L-198	支脚	弥生土器	弥生	70	受部径 5.9 脚部径 8.1 器高 13.1	SK006	1991.05	65-198	85-15	56	A
MTN-L-199	紡錘車	土製品	弥生	完形	長さ 3.6 厚み 10.4	SK006	1991.05	65-199	85-18	56	A
MTN-L-200	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.2 底径 - 器高 4.0	SE007	1991.05	66-200	55-1	57	A

目録番号	名 称	種 別	時代	材料(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	口徑	A・B
MTN-L-201	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.6 底径 - 器高 7.0	SE007	1991.05	66-201	55-2	57	A
MTN-L-202	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.4 底径 - 器高 10.2	SE007	1991.05	66-202	55-3	57	A
MTN-L-203	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 34.6 底径 - 器高 8.0	SE007	1991.05	67-203	55-4	57	A
MTN-L-204	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 8.9 底径 - 器高 4.3	SE007	1991.05	67-204	55-8	57	A
MTN-L-205	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 25.2 底径 - 器高 6.7	SE007	1991.05	67-205	55-9	57	A
MTN-L-206	鉢	弥生土器	弥生	70	口径 24.4 底径 7.8 器高 13.2	SE007	1991.05	68-206	55-6	57	A
MTN-L-207	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.3 器高 9.0	SE007	1991.05	68-207	55-7	57	A
MTN-L-208	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 17.6 底径 - 器高 5.6	SE007	1991.05	68-208	55-5	57	A
MTN-L-209	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 21.4 底径 - 器高 7.0	SE008	1991.05	69-209	58-11	57	A
MTN-L-210	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 10.4 底径 - 器高 4.5	SE008	1991.05	69-210	58-14	57	A
MTN-L-211	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 27.0	SE008	1991.05	70-211	58-12	57	A
MTN-L-212	壺	弥生土器	弥生	90	口径 14.1 底径 - 器高 21.0	SE008	1991.05	70-212	58-13	57	A
MTN-L-213	壺	弥生土器	弥生	80	口径 17.8 底径 8.1 器高 34.0	SE008	1991.05	71-213	57-1	57	A
MTN-L-214	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.4 底径 - 器高 3.9	SE008	1991.05	69-214		58	A
MTN-L-215	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 13.6 底径 - 器高 3.5	SE008	1991.05	69-215	57-8	58	A
MTN-L-216	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.8 底径 - 器高 12.0	SE008	1991.05	69-216	57-2	58	A
MTN-L-217	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.8 底径 - 器高 3.0	SE008	1991.05	72-217	57-4	58	A
MTN-L-218	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.0 底径 - 器高 9.3	SE008	1991.05	72-218	57-3	58	A
MTN-L-219	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.4 底径 - 器高 8.8	SE008	1991.05	72-219	57-5	58	A
MTN-L-220	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 10.0 底径 - 器高 2.9	SE008	1991.05	73-220	58-15	58	A
MTN-L-221	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.9 器高 4.9	SE008	1991.05	73-221	57-10	58	A
MTN-L-222	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.5 器高 9.5	SE008	1991.05	73-222		58	A
MTN-L-223	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.4 器高 13.5	SE008	1991.05	73-223	57-9	58	A
MTN-L-224	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.9 器高 13.5	SE008	1991.05	74-224	58-16	58	A
MTN-L-225	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 10.2	SE008	1991.05	73-225	57-7	58	A
MTN-L-226	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 13.0	SE008	1991.05	75-226		58	A
MTN-L-227	甕	弥生土器	弥生	60	口径 17.0 底径 8.2 器高 19.0	SE008	1991.05	76-227	57-6	58	A
MTN-L-228	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 11.0 底径 - 器高 5.5	SE008	1991.05	74-228	58-17	58	A
MTN-L-229	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.7	SE008	1991.05	74-229		58	A
MTN-L-230	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 7.1	SE008	1991.05	74-230	58-19	58	A
MTN-L-231	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 10.0 器高 5.5	SE008	1991.05	74-231	58-18	58	A
MTN-L-232	石包丁	石器	弥生		長さ 8.7 幅 4.9 厚み 0.85	SE008	1991.05	74-232	58-20	58	A
MTN-L-233	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 1.7	SR011	1991.05	77-233	43-1	59	A
MTN-L-234	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.8 器高 3.9	SR011	1991.05	77-234	43-2	59	A
MTN-L-235	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 22.8 脚部径 - 器高 5.6	SR011	1991.05	77-235	43-3	59	A
MTN-L-236	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 40.0 底径 - 器高 4.9	SR012	1991.05	78-236	45-1	59	A
MTN-L-237	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.6 底径 - 器高 3.7	SR012	1991.05	78-237	45-2	59	A
MTN-L-238	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 - 器高 5.3	SR012	1991.05	78-238	45-3	59	A
MTN-L-239	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 13.5 底径 - 器高 6.0	SR012	1991.05	78-239	45-4	59	A
MTN-L-240	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.8 器高 5.4	SR013	1991.05	77-240	45-6	59	A
MTN-L-241	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 9.9 底径 - 器高 4.3	SR013	1991.05	77-241	45-5	59	A
MTN-L-242	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.8 底径 - 器高 5.1	SR014	1991.05	79-242	47-1	59	A
MTN-L-243	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 3.8	SR014	1991.05	79-243	47-2	59	A
MTN-L-244	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.0 器高 5.8	SR014	1991.05	79-244	47-3	59	A
MTN-L-245	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 - 器高 6.6	SR014	1991.05	79-245	47-4	59	A
MTN-L-246	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.2 器高 20.1	SK015	1991.05	80-246	69-9	59	A
MTN-L-247	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 7.5	SK015	1991.05	82-247	69-2	59	A
MTN-L-248	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.1	SK015	1991.05	82-248	69-3	59	A
MTN-L-249	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.0 器高 2.0	SK015	1991.05	80-249	69-4	59	A
MTN-L-250	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.6 器高 3.3	SK015	1991.05	80-250	69-5	59	A

目録番号	名 称	種 別	時代	胎率(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	寸法	A・B
MTN-L-251	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 3.1横	SK015	1991.05	80-251	69-7	59	A
MTN-L-252	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 4.5横	SK015	1991.05	80-252	69-6	59	A
MTN-L-253	砥石	石製品	弥生	80		SK015	1991.05	81-253	69-8	59	A
MTN-L-254	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 8.0横	SK016	1991.05	83-254	69-1	59	A
MTN-L-255	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 12.1横	SK016	1991.05	83-255	69-10	59	A
MTN-L-256	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 10.0横	SK016	1991.05	83-256	69-11	59	A
MTN-L-257	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.1横 底径 — 器高 7.8横	SK017	1991.05	84-257		59	A
MTN-L-258	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.0横 底径 — 器高 6.3横	SK017	1991.05	84-258		59	A
MTN-L-259	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.4横 底径 — 器高 2.3横	SK017	1991.05	84-259		59	A
MTN-L-260	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.8横 底径 — 器高 3.7横	SK017	1991.05	84-260		59	A
MTN-L-261	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 28.0横 底径 — 器高 5.6横	SK017	1991.05	84-261		59	A
MTN-L-262	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.0横 底径 — 器高 7.5横	SK018	1991.05	85-262		59	A
MTN-L-263	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.2横 底径 — 器高 5.1横	SK018	1991.05	85-263		59	A
MTN-L-264	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.8横 底径 — 器高 5.1横	SK018	1991.05	85-264		59	A
MTN-L-265	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.2横 底径 — 器高 5.4横	SK018	1991.05	85-265		59	A
MTN-L-266	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.8横 底径 — 器高 4.7横	SK018	1991.05	86-266		59	A
MTN-L-267	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.0 器高 6.4横	SK018	1991.05	86-267		59	A
MTN-L-268	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.7 器高 11.5横	SK018	1991.05	86-268		59	A
MTN-L-269	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.2 器高 9.0横	SK018	1991.05	86-269		59	A
MTN-L-270	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.4 器高 13.9横	SK018	1991.05	87-270		59	A
MTN-L-271	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 28.8横 底径 — 器高 12.4横	SK018	1991.05	88-271		60	A
MTN-L-272	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 5.6横	SK018	1991.05	88-272		60	A
MTN-L-273	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 17.0横 底径 — 器高 7.7横	SK018	1991.05	88-273		60	A
MTN-L-274	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 16.4 脚部径 — 器高 6.8横	SK018	1991.05	87-274		60	A
MTN-L-275	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 — 器高 11.4横	SK018	1991.05	87-275		60	A
MTN-L-276	器台	弥生土器	弥生	60	受部径 10.0 裾部径 11.6横 器高 15.3	SK018	1991.05	89-276		60	A
MTN-L-277	器台	弥生土器	弥生	30	受部径 9.6横 裾部径 13.5横 器高 14.0	SK018	1991.05	89-277		60	A
MTN-L-278	器台	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 10.3横 器高 10.1横	SK018	1991.05	89-278		60	A
MTN-L-279	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.2横 底径 — 器高 6.6横	SK020	1991.05	90-279		60	A
MTN-L-280	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 2.8横	SK020	1991.05	90-280		60	A
MTN-L-281	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.2横 底径 — 器高 6.6横	SD022	1991.05	91-281		60	A
MTN-L-282	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 2.8横	SD022	1991.05	91-282		60	A
MTN-L-283	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 5.0横	SD022	1991.05	91-283		60	A
MTN-L-284	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 2.7横	SD022	1991.05	91-284		60	A
MTN-L-285	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 4.0横	SD022	1991.05	91-285		60	A
MTN-L-286	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 1.7横	SD022	1991.05	91-286		60	A
MTN-L-287	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.8横 器高 2.7横	SD022	1991.05	91-287		60	A
MTN-L-288	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 39.6横 底径 — 器高 6.4横	SK025	1991.05	92-288		60	A
MTN-L-289	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 37.3横 底径 — 器高 14.0横	SK025	1991.05	92-289		60	A
MTN-L-290	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.6横 底径 — 器高 11.3横	SK025	1991.05	93-290		60	A
MTN-L-291	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.2横 底径 — 器高 5.2横	SK025	1991.05	93-291		60	A
MTN-L-292	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.4横 底径 — 器高 5.5横	SK025	1991.05	93-292		60	A
MTN-L-293	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 10.0横 器高 6.9横	SK025	1991.05	93-293		60	A
MTN-L-294	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 25.0横 底径 — 器高 10.2横	SK025	1991.05	94-294		60	A
MTN-L-295	鉢	弥生土器	弥生	90	口径 9.7 底径 4.3 器高 5.7	SK025	1991.05	94-295		60	A
MTN-L-296	鉢	弥生土器	弥生	60	口径 13.2 底径 5.7 器高 6.7	SK025	1991.05	94-296		60	A
MTN-L-297	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 20.2横 底径 — 器高 8.8横	SK025	1991.05	94-297		60	A
MTN-L-298	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 9.2横 器高 8.3横	SK025	1991.05	94-298		60	A
MTN-L-299	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 8.4横 器高 6.6横	SK025	1991.05	94-299		60	A
MTN-L-300	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 4.0横	SK025	1991.05	93-300		60	A

目録番号	名 称	種 別	時代	断片(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	刀付	A・B
MTN-L-301	甕	弥生土器	弥生	70	口径 17.8 底径 - 器高 20.9	SX027	1991.05	95-301		61	A
MTN-L-302	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.4 底径 - 器高 3.5	SX027	1991.05	96-302		61	A
MTN-L-303	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 10.2 底径 - 器高 7.8	SX027	1991.05	96-303		61	A
MTN-L-304	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.7 底径 - 器高 17.0	SX027	1991.05	95-304		61	A
MTN-L-305	甕	弥生土器	弥生	40	口径 22.2 底径 - 器高 23.0	SX027	1991.05	97-305		61	A
MTN-L-306	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 14.8 器高 6.9	SX027	1991.05	95-306		61	A
MTN-L-307	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 12.4 器高 11.0	SX027	1991.05	95-307		61	A
MTN-L-308	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 12.1 器高 10.7	SX027	1991.05	97-308		61	A
MTN-L-309	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 2.8	SX027	1991.05	96-309		61	A
MTN-L-310	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 2.5	SX027	1991.05	96-310		61	A
MTN-L-311	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 2.3	SX027	1991.05	96-311		61	A
MTN-L-312	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 2.7	SX027	1991.05	96-312		61	A
MTN-L-313	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 3.2	SX027	1991.05	97-313		61	A
MTN-L-314	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.8 底径 - 器高 5.5	SK028	1991.05	98-314		61	A
MTN-L-315	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.0 器高 8.5	SK028	1991.05	98-315		61	A
MTN-L-316	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.2 器高 11.1	SK028	1991.05	98-316		61	A
MTN-L-317	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.0 底径 - 器高 8.1	SD031	1991.06	99-317	109-3	61	A
MTN-L-318	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.8 底径 - 器高 10.8	SD031	1991.06	99-318	109-2	61	A
MTN-L-319	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.4 底径 - 器高 12.7	SD031	1991.06	99-319	109-1	61	A
MTN-L-320	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 13.0 底径 - 器高 10.3	SD031	1991.06	100-320	109-5	61	A
MTN-L-321	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.0 底径 - 器高 2.8	SD031	1991.06	100-321	109-4	61	A
MTN-L-322	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.0 器高 3.1	SD031	1991.06	101-322		61	A
MTN-L-323	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.0 器高 4.8	SD031	1991.06	101-323	109-6	61	A
MTN-L-324	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 8.4	SD031	1991.06	101-324	109-7	61	A
MTN-L-325	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 - 器高 11.7	SD031	1991.06	101-325	109-9	61	A
MTN-L-326	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 28.8 脚部径 - 器高 1.4	SD031	1991.06	101-326	109-8	61	A
MTN-L-327	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 20.0 器高 4.0	SD031	1991.06	101-327	109-10	61	A
MTN-L-328	器台	弥生土器	弥生	90	受部径 8.0 裾部径 11.2 器高 14.6	SD031	1991.06	102-328	109-11	61	A
MTN-L-329	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 9.0 裾部径 - 器高 9.6	SD031	1991.06	102-329	109-12	61	A
MTN-L-330	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 11.0 器高 8.6	SD031	1991.06	102-330	109-13	61	A
MTN-L-331	甕	弥生土器	弥生	80	口径 16.2 底径 9.8 器高 19.0	SE032	1991.05	103-331	60-3	61	A
MTN-L-332	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.2 底径 - 器高 1.7	SE032	1991.05	103-332	60-1	61	A
MTN-L-333	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.4 底径 - 器高 3.2	SE032	1991.05	103-333	60-2	61	A
MTN-L-334	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 16.4 底径 - 器高 4.0	SE032	1991.05	103-334	60-4	61	A
MTN-L-335	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 3.8	SK033	1991.05	104-335	71-1	62	A
MTN-L-336	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 3.7	SK033	1991.05	104-336		62	A
MTN-L-337	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 8.9	SK033	1991.05	104-337	71-5	62	A
MTN-L-338	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 5.0	SK033	1991.05	104-338	71-2	62	A
MTN-L-339	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 5.4	SK033	1991.05	104-339	71-4	62	A
MTN-L-340	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 3.5	SK033	1991.05	104-340	71-3	62	A
MTN-L-341	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.2 器高 3.0	SK033	1991.05	105-341	71-6	62	A
MTN-L-342	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 10.4 底径 - 器高 3.4	SK033	1991.05	105-342	71-7	62	A
MTN-L-343	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 17.1	SK033	1991.05	105-343	71-8	62	A
MTN-L-344	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.6 底径 - 器高 3.8	SK034	1991.05	106-344	88-5	62	A
MTN-L-345	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.2 底径 - 器高 3.1	SK034	1991.05	106-345		62	A
MTN-L-346	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.6 底径 - 器高 2.7	SK034	1991.05	106-346		62	A
MTN-L-347	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.4 底径 - 器高 6.3	SK034	1991.05	106-347	88-9	62	A
MTN-L-348	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.4 底径 - 器高 3.4	SK034	1991.05	107-348		62	A
MTN-L-349	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.4 底径 - 器高 7.7	SK034	1991.05	107-349	88-7	62	A
MTN-L-350	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.9 底径 - 器高 5.9	SK034	1991.05	107-350		62	A

目録番号	名 称	種 別	時代	材料(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	寸法	A・B
MTN-L-351	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.6 底径 - 器高 5.9	SK034	1991.05	107-351		62	A
MTN-L-352	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 - 器高 7.5	SK034	1991.05	107-352	88-8	62	A
MTN-L-353	不明木製品	木製品	弥生	完存	長さ 8.7 径 1.5(小0.55)	SK034	1991.05	112-353	89-23	62	A
MTN-L-354	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.4 底径 - 器高 6.7	SK034	1991.05	108-354	88-3	62	A
MTN-L-355	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.6 底径 - 器高 7.5	SK034	1991.05	108-355		62	A
MTN-L-356	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 18.0 底径 - 器高 3.8	SK034	1991.05	108-356	88-2	62	A
MTN-L-357	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.8 底径 - 器高 8.0	SK034	1991.05	108-357	88-6	62	A
MTN-L-358	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 11.8 底径 - 器高 5.9	SK034	1991.05	108-358		62	A
MTN-L-359	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.2 底径 - 器高 4.7	SK034	1991.05	109-359		62	A
MTN-L-360	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 13.2 底径 - 器高 9.1	SK034	1991.05	109-360		62	A
MTN-L-361	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.4 底径 - 器高 5.1	SK034	1991.05	109-361	87-1	62	A
MTN-L-362	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.6 底径 - 器高 13.5	SK034	1991.05	109-362	88-4	62	A
MTN-L-363	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 11.5 器高 4.7	SK034	1991.05	110-363		62	A
MTN-L-364	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.4 器高 3.5	SK034	1991.05	110-364		62	A
MTN-L-365	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.9 器高 7.6	SK034	1991.05	110-365	88-10	62	A
MTN-L-366	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.2 器高 5.4	SK034	1991.05	110-366		62	A
MTN-L-367	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 8.4	SK034	1991.05	110-367	88-11	62	A
MTN-L-368	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 27.2 底径 - 器高 6.5	SK034	1991.05	111-368		62	A
MTN-L-369	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 12.0 底径 - 器高 5.3	SK034	1991.05	111-369	88-12	62	A
MTN-L-370	鉢	弥生土器	弥生	4 5	口径 23.4 底径 9.6 器高 15.3	SK034	1991.05	111-370	88-13	62	A
MTN-L-371	鉢	弥生土器	弥生	4 5	口径 9.5 底径 6.3 器高 4.0	SK034	1991.05	111-371	88-17	62	A
MTN-L-372	鉢	弥生土器	弥生	5 5	口径 10.8 底径 5.0 器高 5.6	SK034	1991.05	111-372	88-15	62	A
MTN-L-373	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 12.2 底径 - 器高 5.5	SK034	1991.05	111-373	88-16	62	A
MTN-L-374	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 18.3 底径 - 器高 6.9	SK034	1991.05	112-374	88-14	62	A
MTN-L-375	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 - 器高 18.1	SK034	1991.05	112-375	89-18	63	A
MTN-L-376	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 12.2 裾部径 - 器高 8.3	SK034	1991.05	112-376		63	A
MTN-L-377	支脚	弥生土器	弥生	7 0	受部径 3.2 裾部径 11.1 器高 13.2	SK034	1991.05	112-377	89-19	63	A
MTN-L-378	投弾	弥生土器	弥生	完存	長さ 4.4 幅 2.4	SK034	1991.05	112-378	89-20	63	A
MTN-L-379	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.0 底径 - 器高 8.0	SK034	1991.05	113-379		63	A
MTN-L-380	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 8.5	SK034	1991.05	113-380		63	A
MTN-L-381	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.6	SK034	1991.05	113-381		63	A
MTN-L-382	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.0	SK034	1991.05	113-382		63	A
MTN-L-383	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.3	SK034	1991.05	114-383		63	A
MTN-L-384	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 5.9	SK034	1991.05	114-384		63	A
MTN-L-385	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 6.0	SK034	1991.05	114-385		63	A
MTN-L-386	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.8	SK034	1991.05	114-386		63	A
MTN-L-387	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 5.1	SK034	1991.05	115-387		63	A
MTN-L-388	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.8	SK034	1991.05	115-388		63	A
MTN-L-389	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.5 器高 4.0	SK034	1991.05	115-389		63	A
MTN-L-390	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.0 器高 3.8	SK034	1991.05	115-390		63	A
MTN-L-391	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 2.2	SK034	1991.05	115-391		63	A
MTN-L-392	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 2.3	SK034	1991.05	115-392		63	A
MTN-L-393	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 4.0	SK034	1991.05	116-393		63	A
MTN-L-394	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.0 器高 3.5	SK034	1991.05	116-394		63	A
MTN-L-395	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 38.4 底径 - 器高 42.5	SK034	1991.05	117-395		64	A
MTN-L-396	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 12.6 底径 - 器高 5.5	SK034	1991.05	106-396		63	A
MTN-L-397	石包丁	石器	弥生	不明	長さ 5.6 幅 9.9 断面厚0.7	SK034	1991.05	116-397		63	A
MTN-L-398	石斧	石器	弥生	不明	長さ 12.0 断面幅 7.4 断面厚3.5	SK034	1991.05	118-398		63	A
MTN-L-399	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.1 底径 - 器高 5.5	SK035	1991.07	119-399		63	A
MTN-L-400	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.8 底径 - 器高 5.2	SK035	1991.07	119-400		63	A

目録番号	名 称	種 別	時代	群(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	口寸	A-B
MTN-L-401	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 3.8	SK035	1991.07	119-401		63	A
MTN-L-402	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.3 器高 1.6	SK035	1991.07	119-402		63	A
MTN-L-403	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 9.0 器高 2.7	SK035	1991.07	120-403		63	A
MTN-L-404	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 10.4 底径 — 器高 5.4	SR037	1991.05	120-404		63	A
MTN-L-405	鉢	弥生土器	弥生	30	口径 13.4 底径 6.8 器高 9.4	SR037	1991.05	120-405		63	A
MTN-L-406	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 13.1 底径 — 器高 5.3	SR037	1991.05	120-406		63	A
MTN-L-407	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.6 底径 — 器高 19.4	SK039	1991.05	121-407		63	A
MTN-L-408	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.6 底径 — 器高 8.1	SK039	1991.05	121-408		63	A
MTN-L-409	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.8 底径 — 器高 5.8	SK039	1991.05	122-409		63	A
MTN-L-410	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.3 底径 — 器高 12.2	SK039	1991.06	123-410		65	A
MTN-L-411	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.5 底径 — 器高 10.4	SK039	1991.06	123-411		63	A
MTN-L-412	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.0 底径 — 器高 6.5	SK039	1991.06	124-412		63	A
MTN-L-413	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 28.0 底径 — 器高 7.8	SK039	1991.06	124-413		63	A
MTN-L-414	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.0 底径 — 器高 10.0	SK039	1991.06	124-414		63	A
MTN-L-415	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.0 底径 — 器高 5.3	SK039	1991.06	122-415		63	A
MTN-L-416	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.0 底径 — 器高 11.5	SK039	1991.06	122-416		63	A
MTN-L-417	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.3 底径 — 器高 4.8	SK039	1991.06	125-417		65	A
MTN-L-418	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.4 底径 — 器高 6.6	SK039	1991.06	125-418		65	A
MTN-L-419	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.4 底径 — 器高 5.5	SK039	1991.05	125-419		65	A
MTN-L-420	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.2 底径 — 器高 5.8	SK039	1991.05	125-420		65	A
MTN-L-421	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.6 底径 — 器高 9.8	SK039	1991.06	126-421		65	A
MTN-L-422	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.6 底径 — 器高 11.8	SK039	1991.05	126-422		65	A
MTN-L-423	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 — 器高 6.6	SK039	1991.06	127-423		65	A
MTN-L-424	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.4 底径 — 器高 12.4	SK039	1991.06	127-424		65	A
MTN-L-425	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.8 底径 — 器高 4.3	SK039	1991.06	127-425		65	A
MTN-L-426	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.8 底径 — 器高 3.4	SK039	1991.06	127-426		65	A
MTN-L-427	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.6 底径 — 器高 12.0	SK039	1991.05	128-427		65	A
MTN-L-428	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.8 底径 — 器高 19.9	SK039	1991.06	129-428	94-6	66	A
MTN-L-429	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.6 底径 — 器高 10.1	SK039	1991.06	130-429	94-5	66	A
MTN-L-430	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.0 底径 — 器高 5.1	SK039	1991.06	130-430		66	A
MTN-L-431	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.0 底径 — 器高 9.4	SK039	1991.05	130-431	94-2	66	A
MTN-L-432	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 — 器高 16.0	SK039	1991.05	131-432		66	A
MTN-L-433	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.8 底径 — 器高 15.1	SK039	1991.06	132-433	94-7	66	A
MTN-L-434	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.2 底径 — 器高 12.0	SK039	1991.06	132-434		66	A
MTN-L-435	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.0 底径 11.6 器高 9.3	SK039	1991.06	133-435	94-9	66	A
MTN-L-436	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.3 器高 8.0	SK039	1991.05	131-436		66	A
MTN-L-437	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.6 器高 11.5	SK039	1991.05	131-437	94-10	67	A
MTN-L-438	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.0 器高 9.0	SK039	1991.05	134-438		67	A
MTN-L-439	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.1 器高 13.0	SK039	1991.05	134-439	94-11	67	A
MTN-L-440	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.1 器高 15.0	SK039	1991.05	134-440		67	A
MTN-L-441	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.7 器高 17.8	SK039	1991.05	135-441		67	A
MTN-L-442	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.6 器高 11.5	SK039	1991.05	136-442		67	A
MTN-L-443	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.5 器高 8.6	SK039	1991.05	136-443		67	A
MTN-L-444	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 9.9 器高 5.7	SK039	1991.06	136-444		67	A
MTN-L-445	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 10.0 器高 5.0	SK039	1991.05	136-445		67	A
MTN-L-446	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 12.0 器高 3.2	SK039	1991.06	136-446		67	A
MTN-L-447	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 11.0 器高 8.8	SK039	1991.06	137-447		67	A
MTN-L-448	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 9.2 器高 7.3	SK039	1991.06	137-448	94-12	67	A
MTN-L-449	甕	弥生土器	弥生	60	口径 33.2 底径 7.8 器高 36.8	SK039	1991.05	138-449	93-4	68	A
MTN-L-450	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.2 底径 — 器高 26.0	SK039	1991.06	139-450	93-1	69	A

目録番号	名 称	種 別	時代	材料(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	口寸	A・B
MTN-L-451	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.6 底径 - 器高 20.1	SK039	1991.06	140-451	93-2	69	A
MTN-L-452	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 37.8 底径 - 器高 37.4	SK039	1991.06	141-452	93-3	70	A
MTN-L-453	甕	弥生土器	弥生	70	口径 12.4 底径 7.1 器高 13.9	SK039	1991.06	142-453	94-13	69	A
MTN-L-454	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 34.7 底径 6.1 器高 15.9	SK039	1991.06	143-454	95-15	69	A
MTN-L-455	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 23.5 底径 - 器高 6.6	SK039	1991.05	142-455		69	A
MTN-L-456	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 26.5 底径 - 器高 19.6	SK039	1991.06	144-456		69	A
MTN-L-457	広口壺	弥生土器	弥生	70	口径 33.8 底径 6.2 器高 31.9	SK039	1991.06	145-457	95-14	71	A
MTN-L-458	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 24.4 底径 7.2 器高 16.7	SK039	1991.05	146-458	96-16	72	A
MTN-L-459	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.1 器高 14.2	SK039	1991.05	147-459	96-18	72	A
MTN-L-460	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 - 器高 15.5	SK039	1991.06	148-460	96-17	72	A
MTN-L-461	鉢	弥生土器	弥生	90	口径 21.6 底径 9.4 器高 13.5	SK039	1991.05	149-461	97-21	72	A
MTN-L-462	鉢	弥生土器	弥生	40	口径 10.65 底径 5.4 器高 7.2	SK039	1991.05	149-462	97-22	72	A
MTN-L-463	蓋	弥生土器	弥生	70	頭部径 - 口径 34.1 器高 8.8	SK039	1991.05	150-463	97-20	73	A
MTN-L-464	蓋	弥生土器	弥生	30	頭部径 6.3 口径 32.5 器高 10.3	SK039	1991.05	150-464	97-19	73	A
MTN-L-465	坏	弥生土器	弥生	80	口径 25.6 脚部径 17.4 器高 32.5	SK039	1991.06	151-465	97-23	73	A
MTN-L-466	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 10.6 器高 11.5	SK039	1991.05	152-466	97-24	73	A
MTN-L-467	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 9.0 裾部径 - 器高 11.4	SK039	1991.05	152-467	97-25	73	A
MTN-L-468	石鏃	石器	弥生	完形	最大長 4.4 最幅 3.4 最厚 0.9	SK039	1991.06	152-468	97-26	73	A
MTN-L-469	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.5 底径 - 器高 11.1	SK041	1991.06	153-469	99-3	74	A
MTN-L-470	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 36.0 底径 - 器高 3.9	SK041	1991.06	153-470	99-1	74	A
MTN-L-471	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.2 底径 - 器高 7.4	SK041	1991.06	153-471	99-2	74	A
MTN-L-472	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.6 器高 11.2	SK041	1991.06	154-472	99-4	74	A
MTN-L-473	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.8 器高 5.5	SK041	1991.05	154-473		74	A
MTN-L-474	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.6 器高 7.1	SK041	1991.06	154-474	99-5	74	A
MTN-L-475	壺	弥生土器	弥生	80	口径 10.6 底径 5.6 器高 11.1	SK041	1991.06	154-475	99-6	74	A
MTN-L-476	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 16.6 脚部径 - 器高 6.3	SK041	1991.06	154-476	99-7	74	A
MTN-L-477	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 - 器高 8.5	SK043	1991.05	155-477		74	A
MTN-L-478	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.2 底径 - 器高 6.0	SK043	1991.05	155-478		74	A
MTN-L-479	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.2 底径 - 器高 1.8	SK043	1991.05	155-479		74	A
MTN-L-480	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.5 器高 3.7	SK043	1991.05	155-480		74	A
MTN-L-481	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.8 器高 4.2	SK043	1991.05	155-481		74	A
MTN-L-482	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.4 器高 3.5	SK043	1991.05	155-482		74	A
MTN-L-483	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.8 器高 14.3	SK043	1991.05	156-483	101-1	74	A
MTN-L-484	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 15.8 底径 - 器高 4.3	SK043	1991.05	156-484	101-2	74	A
MTN-L-485	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 16.4 裾部径 - 器高 13.3	SK043	1991.05	156-485	101-3	74	A
MTN-L-486	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 6.0	SK043	1991.05	156-486		74	A
MTN-L-487	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.0 底径 - 器高 12.6	SK045	1991.05	157-487		75	A
MTN-L-488	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.6 底径 - 器高 2.5	SK045	1991.05	157-488		75	A
MTN-L-489	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.2 底径 - 器高 3.3	SK045	1991.07	157-489		75	A
MTN-L-490	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.4 底径 - 器高 5.8	SK045	1991.07	157-490		75	A
MTN-L-491	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.3 底径 - 器高 3.3	SK045	1991.05	157-491		75	A
MTN-L-492	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.2 底径 - 器高 2.6	SK045	1991.05	158-492		75	A
MTN-L-493	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 12.4 器高 3.5	SK045	1991.05	158-493		75	A
MTN-L-494	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 9.8 底径 - 器高 2.6	SK045	1991.05	158-494		75	A
MTN-L-495	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 16.0 底径 - 器高 7.5	SK045	1991.07	158-495		75	A
MTN-L-496	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 16.0 底径 - 器高 4.0	SK045	1991.07	158-496		75	A
MTN-L-497	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 3.6	SK045	1991.07	158-497		75	A
MTN-L-498	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.0 底径 - 器高 5.5	SK046	1991.06	159-498		75	A
MTN-L-499	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.6 底径 - 器高 7.2	SK046	1991.06	159-499		75	A
MTN-L-500	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.6 底径 - 器高 3.4	SK046	1991.06	159-500		75	A

目録番号	名 称	種 別	時代	材料(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	口寸	A・B
MTN-L-501	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.4 底径 - 器高 6.1	SK046	1991.06	159-501		75	A
MTN-L-502	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.0 底径 - 器高 9.4	SK046	1991.06	159-502		75	A
MTN-L-503	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.0 底径 - 器高 5.2	SK046	1991.06	160-503		75	A
MTN-L-504	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.4 底径 - 器高 4.6	SK046	1991.06	160-504		75	A
MTN-L-505	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.4 底径 - 器高 12.1	SK046	1991.06	160-505		75	A
MTN-L-506	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.6 底径 - 器高 7.8	SK046	1991.06	160-506		75	A
MTN-L-507	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.0 底径 - 器高 11.6	SK046	1991.06	161-507		75	A
MTN-L-508	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.2 底径 - 器高 3.2	SK046	1991.06	161-508		75	A
MTN-L-509	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.4 底径 - 器高 7.8	SK046	1991.06	161-509		75	A
MTN-L-510	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.2 底径 - 器高 8.9	SK046	1991.06	162-510		75	A
MTN-L-511	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 11.1 器高 5.0	SK046	1991.06	162-511		75	A
MTN-L-512	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.2 器高 7.4	SK046	1991.06	162-512		75	A
MTN-L-513	鉢	弥生土器	弥生	30	口径 13.5 底径 6.7 器高 8.2	SK046	1991.06	162-513		75	A
MTN-L-514	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 39.4 底径 - 器高 6.9	SK048	1991.06	163-514		75	A
MTN-L-515	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.1 底径 - 器高 4.6	SK048	1991.06	163-515		75	A
MTN-L-516	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.6 底径 - 器高 3.5	SK048	1991.06	163-516		75	A
MTN-L-517	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.0 底径 - 器高 3.2	SK048	1991.06	164-517		75	A
MTN-L-518	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.5 底径 - 器高 4.3	SK048	1991.06	164-518		75	A
MTN-L-519	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.7 底径 - 器高 2.9	SK048	1991.06	164-519		75	A
MTN-L-520	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.8 底径 - 器高 2.8	SK048	1991.06	164-520		75	A
MTN-L-521	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.1 底径 - 器高 3.3	SK048	1991.06	164-521		75	A
MTN-L-522	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.9 底径 - 器高 5.0	SK048	1991.06	165-522		75	A
MTN-L-523	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.8 底径 - 器高 4.3	SK048	1991.06	165-523		75	A
MTN-L-524	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 36.4 底径 - 器高 4.0	SK048	1991.06	165-524		75	A
MTN-L-525	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 29.8 底径 - 器高 5.7	SK048	1991.06	165-525		75	A
MTN-L-526	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.7 底径 - 器高 3.4	SK048	1991.06	166-526		75	A
MTN-L-527	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.4 底径 - 器高 5.7	SK048	1991.06	166-527		75	A
MTN-L-528	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.6 底径 - 器高 3.3	SK048	1991.06	166-528		75	A
MTN-L-529	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.3 器高 10.1	SK048	1991.06	167-529		76	A
MTN-L-530	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 8.7	SK048	1991.06	167-530		76	A
MTN-L-531	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 6.7	SK048	1991.06	167-531		76	A
MTN-L-532	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.0 器高 5.5	SK048	1991.06	168-532		76	A
MTN-L-533	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.5 器高 8.4	SK048	1991.06	168-533		76	A
MTN-L-534	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.8 器高 3.9	SK048	1991.06	168-534		76	A
MTN-L-535	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.3 器高 3.9	SK048	1991.06	168-535		76	A
MTN-L-536	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 5.7	SK048	1991.06	168-536		76	A
MTN-L-537	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 3.8	SK048	1991.06	168-537		76	A
MTN-L-538	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.6 器高 1.9	SK048	1991.06	169-538		76	A
MTN-L-539	蓋	弥生土器	弥生	不明	鈕径 6.2 底径 - 器高 9.6	SK048	1991.06	169-539		76	A
MTN-L-540	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 34.4 底径 - 器高 11.8	SK048	1991.06	170-540		76	A
MTN-L-541	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径 25.4 底径 - 器高 16.1	SK048	1991.06	170-541		76	A
MTN-L-542	鉢	弥生土器	弥生	90	口径 22.3 底径 8.1 器高 12.0	SK048	1991.06	171-542		76	A
MTN-L-543	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 18.6 器高 26.8	SK048	1991.06	171-543		76	A
MTN-L-544	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 9.2 器高 6.4	SK048	1991.06	172-544		76	A
MTN-L-545	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 8.4 器高 4.6	SK048	1991.06	172-545		76	A
MTN-L-546	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 - 裾部径 9.8 器高 7.9	SK048	1991.06	172-546		76	A
MTN-L-547	鉢	弥生土器	弥生	80	口径 6.9 底径 3.2 器高 5.2	SR051	1991.06	173-547	50-1	77	A
MTN-L-548	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 39.0 底径 - 器高 7.6	SR052	1991.06	174-548	50-2	77	A
MTN-L-549	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.2 器高 5.6	SR052	1991.06	174-549	50-3	77	A
MTN-L-550	鉢	弥生土器	弥生	15	口径 11.8 底径 5.8 器高 6.2	SR052	1991.06	174-550	50-4	77	A

目錄番号	名 称	種 別	時代	群(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig. 番号	寸法	A-B
MTN-L-551	鉢	弥生土器	弥生	20	口径 13.6 底径 6.8 器高 10.3	SR052	1991.06	174-551	50-5	77	A
MTN-L-552	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 16.2 底径 — 器高 6.6	SR052	1991.06	174-552	52-1	77	A
MTN-L-553	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 5.6 器高 4.1	SR053	1991.06	175-553	52-2	77	A
MTN-L-554	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.8 器高 6.2	SR053	1991.06	175-554	52-3	77	A
MTN-L-555	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 9.6 器高 5.8	SR053	1991.06	175-555	52-4	77	A
MTN-L-556	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 13.4 底径 — 器高 4.3	SR053	1991.06	175-556	52-5	77	A
MTN-L-557	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 14.8 底径 — 器高 6.0	SR053	1991.06	175-557		77	A
MTN-L-558	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 38.2 底径 — 器高 15.0	SR054	1991.07	176-558		77	A
MTN-L-559	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.3 器高 3.0	SR054	1991.07	176-559		77	A
MTN-L-560	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.4 器高 3.2	SR054	1991.07	176-560		77	A
MTN-L-561	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 8.0	SK057	1991.06	177-561		77	A
MTN-L-562	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.1 器高 5.2	SK057	1991.06	177-562		77	A
MTN-L-563	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.8 器高 6.3	SK057	1991.06	177-563		77	A
MTN-L-564	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.6 器高 3.2	SK057	1991.06	177-564		77	A
MTN-L-565	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.6 器高 2.2	SK057	1991.06	177-565		77	A
MTN-L-566	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 20.4 底径 — 器高 5.4	SK058	1991.06	178-566	103-1	77	A
MTN-L-567	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.8 器高 4.0	SK058	1991.06	178-567	103-2	77	A
MTN-L-568	鉢	弥生土器	弥生	25	口径 12.8 底径 5.0 器高 5.3	SK058	1991.06	178-568	103-3	77	A
MTN-L-569	壺	弥生土器	弥生	90	口径 — 底径 4.2 器高 11.6	SK059	1991.06	178-569	103-4	77	A
MTN-L-570	甕	弥生土器	弥生	95	口径 24.4 底径 8.5 器高 36.9	SE060	1991.06	179-570	62-2	78	A
MTN-L-571	甕	弥生土器	弥生	90	口径 23.8 底径 10.0 器高 33.8	SE060	1991.06	180-571	62-1	79	A
MTN-L-572	甕	弥生土器	弥生	80	口径 23.6 底径 7.4 器高 33.3	SE060	1991.06	181-572	62-3	80	A
MTN-L-573	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.8 底径 — 器高 17.5	SE060	1991.06	182-573	62-7	77	A
MTN-L-574	甕	弥生土器	弥生	80	口径 18.8 底径 — 器高 17.0	SE060	1991.06	182-574	63-12	77	A
MTN-L-575	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 26.8 底径 — 器高 10.3	SE060	1991.06	183-575	62-5	77	A
MTN-L-576	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.2 底径 — 器高 13.0	SE060	1991.06	183-576	62-4	77	A
MTN-L-577	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.8 底径 — 器高 20.0	SE060	1991.06	184-577	62-6	77	A
MTN-L-578	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.8 底径 — 器高 26.7	SE060	1991.06	184-578	62-8	77	A
MTN-L-579	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.9 器高 28.5	SE060	1991.06	185-579	62-10	81	A
MTN-L-580	甕	弥生土器	弥生	95	口径 19.2 底径 6.8 器高 19.4	SE060	1991.06	186-580	63-11	81	A
MTN-L-581	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.8 器高 20.3	SE060	1991.06	186-581	62-9	81	A
MTN-L-582	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.8 器高 11.4	SE060	1991.06	187-582		81	A
MTN-L-583	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.8 器高 11.1	SE060	1991.06	187-583		81	A
MTN-L-584	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.6 器高 5.9	SE060	1991.06	187-584		81	A
MTN-L-585	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.0 器高 6.5	SE060	1991.06	187-585		81	A
MTN-L-586	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.2 器高 29.2	SE060	1991.06	188-586	63-15	82	A
MTN-L-587	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 17.5 底径 — 器高 19.4	SE060	1991.06	189-587	63-14	82	A
MTN-L-588	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 17.8 底径 — 器高 10.3	SE060	1991.06	189-588	63-13	82	A
MTN-L-589	鉢	弥生土器	弥生	70	口径 25.8 底径 — 器高 10.4	SE060	1991.06	190-589	63-17	83	A
MTN-L-590	鉢	弥生土器	弥生	80	口径 24.0 底径 8.0 器高 14.1	SE060	1991.06	190-590	63-16	83	A
MTN-L-591	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 19.0 底径 — 器高 5.1	SE060	1991.06	191-591		83	A
MTN-L-592	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 13.7 器高 10.4	SE060	1991.06	190-592	64-18	83	A
MTN-L-593	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 19.6 器高 12.5	SE060	1991.06	190-593	64-19	83	A
MTN-L-594	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 11.4 器高 10.5	SE060	1991.06	191-594	64-21	83	A
MTN-L-595	器台	弥生土器	弥生	80	受部径 5.9 裾部径 8.8 器高 7.3	SE060	1991.06	191-595	64-23	83	A
MTN-L-596	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 13.2 器高 8.7	SE060	1991.06	191-596		83	A
MTN-L-597	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 13.0 器高 11.9	SE060	1991.06	191-597	64-22	83	A
MTN-L-598	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 15.5 器高 7.5	SE060	1991.06	192-598		83	A
MTN-L-599	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 8.6 裾部径 — 器高 9.1	SE060	1991.06	192-599		83	A
MTN-L-600	器台	弥生土器	弥生	完形	受部径 11.5 裾部径 13.5 器高 18.3	SE060	1991.06	193-600	64-20	83	A

目録番号	名 称	種 別	時代	群(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	刃分	A-B
MTN-L-601	石包丁	石器	弥生	不明	長さ 6.6 幅 5.0 厚み 0.7	SE060	1991.06	193-601	64-24	83	A
MTN-L-602	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.0 底径 - 器高 34.5	SK061	1991.07	194-602		84	A
MTN-L-603	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 56.0 底径 - 器高 17.0	SK061	1991.07	195-603		84	A
MTN-L-604	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.0 底径 - 器高 6.8	SK061	1991.07	196-604	105-2	84	A
MTN-L-605	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.0 底径 - 器高 7.1	SK061	1991.06	196-605	105-1	84	A
MTN-L-606	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.3 底径 - 器高 8.0	SK061	1991.06	196-606	105-5	84	A
MTN-L-607	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 38.4 底径 - 器高 5.4	SK061	1991.06	197-607	105-4	84	A
MTN-L-608	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.1 底径 - 器高 4.2	SK061	1991.07	197-608		84	A
MTN-L-609	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.8 底径 - 器高 5.8	SK061	1991.07	197-609	105-3	84	A
MTN-L-610	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 14.0 底径 - 器高 3.9	SK061	1991.06	197-610	105-10	84	A
MTN-L-611	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 15.8 底径 - 器高 3.0	SK061	1991.07	198-611		84	A
MTN-L-612	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 10.7	SK061	1991.06	198-612	105-6	84	A
MTN-L-613	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 5.8	SK061	1991.06	198-613		84	A
MTN-L-614	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 5.2	SK061	1991.07	198-614		84	A
MTN-L-615	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 11.0 器高 6.2	SK061	1991.06	199-615	105-7	84	A
MTN-L-616	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.0 器高 13.9	SK061	1991.06	199-616	105-8	84	A
MTN-L-617	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 14.0 底径 - 器高 10.7	SK061	1991.07	199-617	105-9	84	A
MTN-L-618	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 15.8 底径 - 器高 4.7	SK061	1991.07	199-618	105-14	84	A
MTN-L-619	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 - 器高 9.6	SK061	1991.06	200-619	105-12	84	A
MTN-L-620	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 16.9 器高 3.7	SK061	1991.06	200-620	105-13	84	A
MTN-L-621	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 - 器高 8.2	SK061	1991.06	200-621	105-11	84	A
MTN-L-622	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 16.6 裾部径 - 器高 11.6	SK061	1991.06	201-622	105-15	84	A
MTN-L-623	手ぐし	土製品	弥生	80	口径 4.2 底径 1.9 器高 3.3	SK061	1991.07	201-623		84	A
MTN-L-624	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 14.4 器高 5.3	SK062	1991.06	202-624		84	A
MTN-L-625	石籤	石器	弥生			SK062	1991.06	202-625		84	A
MTN-L-626	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 40.2 底径 - 器高 5.0	SK063	1991.06	202-626		84	A
MTN-L-627	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 28.4 底径 - 器高 3.1	SK063	1991.06	202-627		84	A
MTN-L-628	支脚	土製品	弥生	不明	長さ - 幅 - 器高 10.2	SK064	1991.06	203-628		84	A
MTN-L-629	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 9.3 器高 6.5	SK065	1991.06	203-629	107-2	84	A
MTN-L-630	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.0 器高 4.6	SK065	1991.06	203-630	107-1	84	A
MTN-L-631	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.0 底径 - 器高 9.4	SK066	1991.06	204-631	73-1	84	A
MTN-L-632	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 9.9	SK066	1991.06	204-632	73-2	84	A
MTN-L-633	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.5	SK066	1991.06	204-633	73-3	84	A
MTN-L-634	甕	弥生土器	平安	?不明	口径 - 底径 - 器高 3.6	SK066	1991.06	204-634	73-4	84	A
MTN-L-635	壺	土師器	弥生	不明	口径 9.0 底径 - 器高 2.3	SK066	1991.06	205-635		84	A
MTN-L-636	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.0 器高 9.1	SK066	1991.06	205-636	73-5	84	A
MTN-L-637	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 5.9 器高 3.6	SK066	1991.06	205-637	73-6	84	A
MTN-L-638	坏	土師器	平安	70	口径 13.8 底径 6.4 器高 2.6	SK067	1991.06	206-638	111-7	84	A
MTN-L-639	坏	土師器	平安	70	口径 11.9 底径 7.0 器高 4.0	SK067	1991.06	206-639	111-8	84	A
MTN-L-640	坏	土師器	平安	80	口径 13.0 底径 7.7 器高 3.7	SK067	1991.06	206-640	111-9	84	A
MTN-L-641	坏	土師器	平安	40	口径 14.0 底径 9.0 器高 3.9	SK067	1991.06	206-641	111-10	84	A
MTN-L-642	坏	土師器	平安	不明	口径 - 底径 6.9 器高 2.4	SK067	1991.06	206-642	111-12	84	A
MTN-L-643	坏	土師器	平安	不明	口径 - 底径 7.2 器高 2.0	SK067	1991.06	206-643	111-11	84	A
MTN-L-644	高台付坏	土師器	平安	50	口径 13.3 底径 7.4 器高 4.7	SK067	1991.06	207-644	111-13	84	A
MTN-L-645	高台付坏	土師器	平安	60	口径 16.2 底径 9.2 器高 7.3	SK067	1991.06	206-645	111-14	84	A
MTN-L-646	高台付坏	土師器	平安	不明	口径 - 底径 7.4 器高 1.5	SK067	1991.06	207-646	111-15	84	A
MTN-L-647	高台付坏	土師器	平安	不明	口径 - 底径 6.7 器高 2.7	SK067	1991.06	207-647	111-16	84	A
MTN-L-648	鉢	土師器	平安	60	口径 8.6 底径 - 器高 7.0	SK067	1991.06	207-648	111-17	84	A
MTN-L-649	甕	弥生土器	弥生	95	口径 16.6 底径 7.4 器高 17.7	SE068	1991.07	208-649	66-3	86	A
MTN-L-650	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 33.0 底径 - 器高 5.6	SE068	1991.07	208-650	66-1	86	A

目録番号	名 称	種 別	時代	断片(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	口弁	A・B
MTN-L-651	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.4 器高 21.6	SE068	1991.07	208-651	66-2	86	A
MTN-L-652	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.6 器高 6.1	SE068	1991.07	209-652		86	A
MTN-L-653	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 7.6 器高 5.9	SE068	1991.07	209-653		86	A
MTN-L-654	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.6 器高 11.3	SE068	1991.07	209-654		86	A
MTN-L-655	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 9.4 器高 4.5	SE068	1991.07	209-655		86	A
MTN-L-656	壺	弥生土器	弥生	95	口径 14.0 底径 8.5 器高 36.2	SE068	1991.07	210-656	66-4	85	A
MTN-L-657	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 18.4 底径 — 器高 11.3	SE068	1991.07	211-657	66-6	86	A
MTN-L-658	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 19.9 底径 — 器高 14.2	SE068	1991.07	211-658	66-5	86	A
MTN-L-659	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 13.8	SE068	1991.06	212-659	66-7	86	A
MTN-L-660	鉢	弥生土器	弥生	70	口径 13.7 底径 5.3 器高 7.8	SE068	1991.06	213-660	66-8	86	A
MTN-L-661	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 3.4 器高 2.6	SE068	1991.06	213-661		86	A
MTN-L-662	投弾	土製品	弥生	不明	長さ 4.2 幅 2.5 厚さ 2.5	SE068	1991.06	213-662	67-9	86	A
MTN-L-663	砥石	石製品	弥生	不明	長さ 6.4 幅 6.1 厚さ 3.0	SE068	1991.06	213-663	67-10	86	A
MTN-L-664	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.6 底径 — 器高 7.7	SH072	1991.06	214-664	6-3	84	A
MTN-L-665	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.2 底径 — 器高 3.5	SH072	1991.06	214-665	6-2	84	A
MTN-L-666	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.0 器高 7.0	SH072	1991.06	214-666	6-4	84	A
MTN-L-667	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 10.0 器高 6.0	SH072	1991.06	214-667	6-5	84	A
MTN-L-668	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 16.4 底径 — 器高 3.1	SH072	1991.06	214-668	6-6	84	A
MTN-L-669	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 13.0 底径 — 器高 3.8	SH072	1991.06	214-669	6-7	84	A
MTN-L-670	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 13.8 底径 — 器高 4.5	SH072	1991.06	214-670	6-8	84	A
MTN-L-671	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 21.4 底径 — 器高 7.1	SH072	1991.06	214-671	6-1	84	A
MTN-L-672	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 15.8 底径 — 器高 5.0	SH072	1991.06	215-672	6-10	84	A
MTN-L-673	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 13.4 底径 — 器高 5.5	SH072	1991.06	215-673	6-9	84	A
MTN-L-674	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 — 脚部径 — 器高 7.0	SH072	1991.06	215-674	6-11	84	A
MTN-L-675	石斧	石器	弥生	不明	最大長 5.8 最大幅 1.6 最大厚 1.2	SH072	1991.06	215-675	6-12	84	A
MTN-L-676	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 25.2 底径 — 器高 4.3	SH073	1991.07	216-676	8-1	86	A
MTN-L-677	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 28.0 底径 — 器高 7.9	SH073	1991.07	216-677	8-3	86	A
MTN-L-678	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 27.0 底径 — 器高 6.6	SH073	1991.07	216-678	8-2	86	A
MTN-L-679	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 36.0 底径 — 器高 5.3	SH073	1991.07	216-679	8-4	86	A
MTN-L-680	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 9.8 器高 10.8	SH073	1991.06	216-680	8-5	86	A
MTN-L-681	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.8 器高 5.7	SH073	1991.07	217-681	8-6	86	A
MTN-L-682	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 19.6	SH073	1991.07	217-682	8-8	86	A
MTN-L-683	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 11.8 底径 — 器高 5.4	SH073	1991.07	217-683	8-9	86	A
MTN-L-684	器台	弥生土器	弥生	40	受部径 16.6 裾部径 17.2 器高 22.2	SH073	1991.07	218-684	8-11	86	A
MTN-L-685	支脚	弥生土器	弥生	不明	受部径 — 裾部径 9.7 器高 9.8	SH073	1991.07	217-685	8-10	86	A
MTN-L-686	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 2.4	SH073	1991.06	218-686		86	A
MTN-L-687	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 8.4 器高 2.2	SH073	1991.07	218-687	8-7	86	A
MTN-L-688	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 — 器高 3.7	SH074	1991.06	219-688		86	A
MTN-L-689	鉢	弥生土器	弥生	25	口径 14.4 底径 6.0 器高 9.6	SH074	1991.07	219-689	9-1	86	A
MTN-L-690	鉢	弥生土器	弥生	60	口径 16.4 底径 5.2 器高 8.2	SH074	1991.07	219-690	9-2	86	A
MTN-L-691	鞆羽口	弥生土器	弥生	不明	径 6.1 残存長 6.2	SH074	1991.07	219-691	9-3	86	A
MTN-L-692	石包丁	石器	弥生	完存	長さ 13.5 幅 3.6 断面厚 0.65	SH074	1991.07	220-692	9-5	86	A
MTN-L-693	石包丁	石器	弥生	完存	長さ 11.8 幅 4.3 断面厚 0.4	SH074	1991.07	219-693	9-4	86	A
MTN-L-694	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 13.0 底径 — 器高 7.3	SH074	1991.08	220-694		86	A
MTN-L-695	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 — 底径 6.4 器高 7.2	SH075	1991.06	221-695	11-1	86	A
MTN-L-696	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 10.6 底径 — 器高 4.5	SH075	1991.06	221-696	11-2	86	A
MTN-L-697	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 4.6 底径 — 器高 5.0	SH075	1991.06	221-697	11-3	86	A
MTN-L-698	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径 11.5 裾部径 — 器高 5.3	SH075	1991.06	221-698	11-4	86	A
MTN-L-699	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 22.8 底径 — 器高 4.3	SH076	1991.06	222-699	13-2	87	A
MTN-L-700	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 19.6 底径 — 器高 4.5	SH076	1991.06	222-700	13-1	87	A

目録番号	名 称	種 別	時代	胎率(%)	法 量 (cm)	遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	刀寸	A-B
MTN-L-701	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 5.3 器高 3.3	SH076	1991.06	222-701	13-3	87	A
MTN-L-702	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 16.0 器高 4.3	SH076	1991.06	222-702	13-4	87	A
MTN-L-703	器台	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 14.0 器高 6.7	SH076	1991.06	222-703	13-5	87	A
MTN-L-704	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 30.2 底径 - 器高 4.9	SK077	1991.07	223-704		87	A
MTN-L-705	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 8.8	SK077	1991.07	223-705		87	A
MTN-L-706	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.2 器高 1.8	SK077	1991.07	223-706		87	A
MTN-L-707	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 4.4 器高 3.2	SK077	1991.07	223-707		87	A
MTN-L-708	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 5.1	SK078	1991.07	223-708		87	A
MTN-L-709	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 24.8 底径 - 器高 3.5	SD080	1991.07	224-709		87	A
MTN-L-710	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 8.6 底径 - 器高 4.7	SD080	1991.07	224-710		87	A
MTN-L-711	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 15.0 器高 2.8	SD080	1991.07	224-711		87	A
MTN-L-712	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.7 器高 3.6	SD081	1991.07	224-712		87	A
MTN-L-713	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 14.3 底径 - 器高 4.7	SD085	1991.07	224-713		87	A
MTN-L-714	不明土製品	土製品	弥生	不明	長さ 9.4 最大幅 4.6 最大厚 4.2	SD085	1991.07	224-714		87	A
MTN-L-715	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 4.8 器高 3.8	SK087	1991.07	225-715		87	A
MTN-L-716	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 40.6 底径 - 器高 7.0	SB101	1991.05	225-716	15-1	87	A
MTN-L-717	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.6 底径 - 器高 4.9	SB101	1991.05	225-717	15-2	87	A
MTN-L-718	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 12.7 器高 5.7	SB101	1991.05	226-718	15-3	87	A
MTN-L-719	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 10.2 器高 4.6	SB101	1991.05	226-719	15-4	87	A
MTN-L-720	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 6.0 器高 4.5	SB101	1991.05	226-720	15-5	87	A
MTN-L-721	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 8.2 底径 - 器高 3.9	SB101	1991.05	226-721	15-6	87	A
MTN-L-722	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 34.1 底径 - 器高 4.5	SB101	1991.05	227-722	15-7	87	A
MTN-L-723	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 - 器高 6.5	SB101	1991.05	226-723	15-8	87	A
MTN-L-724	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 2.1	SB101	1991.05	227-724		87	A
MTN-L-725	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.6 底径 - 器高 2.8	SB102	1991.05	228-725	18-1	87	A
MTN-L-726	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 23.2 底径 - 器高 4.9	SB103	1991.05	229-726	18-3	87	A
MTN-L-727	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 31.0 底径 - 器高 5.2	SB103	1991.05	229-727	18-4	87	A
MTN-L-728	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 21.6 底径 - 器高 4.8	SB103	1991.05	229-728	18-2	87	A
MTN-L-729	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 32.8 底径 - 器高 3.2	SB103	1991.05	229-729	18-5	87	A
MTN-L-730	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 5.5	SB103	1991.05	230-730	18-6	87	A
MTN-L-731	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 2.8	SB103	1991.05	230-731		87	A
MTN-L-732	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.8 器高 15.9	SB104	1991.05	231-732	20-1	87	A
MTN-L-733	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 9.6 底径 - 器高 4.9	SB104	1991.05	231-733	20-2	87	A
MTN-L-734	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 6.5	SB105	1991.05	231-734		87	A
MTN-L-735	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.8	SB106	1991.05	231-735		87	A
MTN-L-736	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 5.0	SB106	1991.05	231-736		87	A
MTN-L-737	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.0	SB109	1991.05	232-737	24-2	87	A
MTN-L-738	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 4.6	SB109	1991.05	232-738	24-3	87	A
MTN-L-739	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 15.2 底径 - 器高 3.6	SB109	1991.05	232-739	24-1	87	A
MTN-L-740	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 2.6	SB109	1991.05	232-740	24-4	87	A
MTN-L-741	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 12.6 底径 - 器高 4.6	SB109	1991.05	232-741	24-5	87	A
MTN-L-742	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 4.1 器高 1.9	SB109	1991.05	232-742	24-6	87	A
MTN-L-743	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 22.0 脚部径 - 器高 2.4	SB109	1991.05	232-743	24-7	87	A
MTN-L-744	高坏	弥生土器	弥生	不明	口径 - 脚部径 8.9 器高 9.6	SB109	1991.05	232-744	24-8	87	A
MTN-L-745	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 5.7 器高 16.5	SB115	1991.07	233-745	28-1	87	A
MTN-L-746	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 8.0 器高 5.2	SB115	1991.07	233-746	28-2	87	A
MTN-L-747	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 7.6 器高 5.2	SB115	1991.07	233-747	28-3	87	A
MTN-L-748	壺	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 3.8	SB115	1991.07	233-748	28-4	87	A
MTN-L-749	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 9.6	SB115	1991.07	233-749	28-5	87	A
MTN-L-750	甕	弥生土器	弥生	不明	口径 - 底径 - 器高 3.2	SB121	1991.07	234-750	33-2	87	A

目録番号	名 称	種 別	時代	焼跡(%)	法 量 (cm)				遺構名	出土年月	実測番号	Fig.番号	寸法	A・B		
MTN-L-751	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	10.0	器高	3.2	SB121	1991.07	234-751	33-1	87	A
MTN-L-752	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	8.4	器高	23.9	SB123	1991.06	235-752	35-1	87	A
MTN-L-753	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	20.0	底径	—	器高	6.9	SB124	1991.07	236-753		87	A
MTN-L-754	鉢	弥生土器	弥生	4 O	口径	21.4	底径	8.0	器高	7.6	SB124	1991.07	236-754		87	A
MTN-L-755	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径	32.8	底径	—	器高	7.0	SB124	1991.07	236-755		87	A
MTN-L-756	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径	15.0	底径	—	器高	4.1	SB124	1991.07	236-756		87	A
MTN-L-757	鉢	弥生土器	弥生	不明	口径	14.4	底径	—	器高	16.1	SB124	1991.07	237-757		87	A
MTN-L-758	鉢	弥生土器	弥生	完存	口径	6.4	底径	丸底	器高	3.4	SB124	1991.07	237-758		87	A
MTN-L-759	器台	弥生土器	弥生	不明	受部径	14.0	裾部径	—	器高	8.7	SB124	1991.07	237-759		87	A
MTN-L-760	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	31.8	底径	—	器高	8.7	SB127	1991.07	238-760		87	A
MTN-L-761	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	17.2	底径	—	器高	6.2	SB129	1991.07	239-761	40-1	87	A
MTN-L-762	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	30.1	底径	—	器高	6.8	SB130	1991.07	240-762	40-4	87	A
MTN-L-763	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	24.0	底径	—	器高	5.8	SB130	1991.07	240-763	40-3	87	A
MTN-L-764	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	21.8	底径	—	器高	20.8	SB130	1991.07	241-764	40-2	88	A
MTN-L-765	甕	弥生土器	弥生	7 O	口径	18.8	底径	7.6	器高	12.0	SB130	1991.07	240-765	40-7	88	A
MTN-L-766	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	9.4	器高	3.7	SB130	1991.07	240-766	40-5	87	A
MTN-L-767	壺	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	9.2	器高	33.9	SB130	1991.07	242-767	40-6	88	A
MTN-L-768	器台	弥生土器	弥生	4 O	口径	15.5	底径	15.5	器高	18.5	SB130	1991.07	241-768	40-8	87	A
MTN-L-769	壺	弥生土器	弥生	不明	口径	15.4	底径	—	器高	16.2	P16	1991.05	243-769		87	A
MTN-L-770	壺	弥生土器	弥生	不明	口径	18.4	底径	—	器高	5.3	P16	1991.05	243-770		87	A
MTN-L-771	壺	弥生土器	弥生	不明	口径	11.4	底径	—	器高	3.4	P16	1991.05	243-771		87	A
MTN-L-772	坏	黑色土器	平安	不明	口径	13.6	底径	—	器高	4.5	P42	1991.05	244-772		87	A
MTN-L-773	高台付坏	黑色土器	平安	不明	口径	—	底径	9.6	器高	4.8	P42	1991.05	244-773		87	A
MTN-L-774	石包丁	石器	弥生	完存	長さ	5.2	幅	9.8	厚さ	0.7	P43	1991.05	244-774		87	A
MTN-L-775	くぼみ石	石器	弥生	完存	長さ	12.5	幅	9.9	厚さ	5.5	P50	1991.05	244-775		87	A
MTN-L-776	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	8.0	器高	4.6	P78	1991.05	245-776		87	A
MTN-L-777	壺	弥生土器	弥生	不明	口径	7.7	底径	—	器高	7.3	P108	1991.07	245-777		87	A
MTN-L-778	鉢	弥生土器	弥生	4 O	口径	9.7	底径	4.0	器高	9.4	P140	1991.07	245-778		87	A
MTN-L-779	甕	弥生土器	弥生	3 O	口径	21.8	底径	9.4	器高	23.4	P122	1991.07	246-779		87	A
MTN-L-780	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	—	器高	18.3	P122	1991.07	246-780		87	A
MTN-L-781	壺	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	6.4	器高	11.4	P122	1991.07	247-781		88	A
MTN-L-782	壺	弥生土器	弥生	7 O	口径	22.6	底径	8.1	器高	13.7	P122	1991.07	248-782		88	A
MTN-L-783	器台	弥生土器	弥生	3 O	受部径	14.0	裾部径	14.3	器高	19.0	P122	1991.07	247-783		87	A
MTN-L-784	広口壺	弥生土器	弥生	不明	口径	31.9	底径	—	器高	8.6	P139	1991.07	249-784		87	A
MTN-L-785	砥石	石器	弥生	不明	最大長	12.0	最大幅	8.4	最大厚	5.0	P145	1991.07	250-785		87	A
MTN-L-786	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	32.8	底径	—	器高	9.6	BP69	1991.07	251-786		87	A
MTN-L-787	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	21.4	底径	—	器高	13.2	BS73	1991.07	251-787		87	A
MTN-L-788	甕	弥生土器	弥生	不明	口径	—	底径	9.8	器高	8.9	BS73	1991.07	251-788		87	A
MTN-L-789	高台付坏	土師器	弥生	不明	口径	—	底径	6.9	器高	3.4	表探	1991.07	252-789		87	A
MTN-L-790	石包丁	石器	弥生	不明	長さ	6.3	幅	6.2	断面厚	0.85	表探	1991.07	252-790		87	A
MTN-L-791	小玉	ガラス製	弥生	不明	長さ	—	径	0.5	厚さ	0.4	SD003	1991.07	253-791	114-1	87	A
MTN-L-792	切小玉	水晶製	弥生	不明	長さ	1.3	径	0.9	厚さ	—	表探	1991.07	253-792	114-2	87	A
			</													

佐賀市文化財調査報告書第42集

村 徳 永 遺 跡

— L地区の調査—

平成4年3月31日

発行 佐賀市教育委員会
佐賀市栄町1番1号

印刷 誠 文 堂 印 刷
佐賀市兵庫町藤木396-1

